

平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果 分析報告書

平成 27 年 10 月 30 日
三重県教育委員会

目 次

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果・分析について		1
調査の概要		2
1	調査の目的	2
2	調査の対象学年	2
3	調査の内容	2
	(1)教科に関する調査	2
	(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	2
4	調査実施日	2
5	調査を実施した学校・児童生徒数〔三重県：公立〕	2
第1章 三重県全体概況		3
1	教科に関する調査結果概況	3
	平均正答率	3
	平均無解答率	4
2	児童生徒・学校質問紙調査結果の概要	5
	学校での組織的な取組	5
	家庭での過ごし方（生活習慣・学習習慣）	6
	読書習慣	8
	家庭・地域との関わり	8
	自尊感情	9
第2章 小学校詳細分析～教科に関する調査～		10
1	平均正答率による学校の分布	10
	国語A、国語B、算数A、算数B、理科	10
2	正答数の度数分布	11
	国語、算数、理科	11
3	領域、観点、問題形式別／設問別分析	14
	国語A 領域、観点、問題形式別	14
	国語A 設問別	14
	国語B 領域、観点、問題形式別	16
	国語B 設問別	16
	算数A 領域、観点、問題形式別	18
	算数A 設問別	18
	算数B 領域、観点、問題形式別	20
	算数B 設問別	20
	理科 領域、観点、問題形式別	22
	理科 設問別	22
4	無解答率の分析	24
第3章 小学校詳細分析～学校質問紙～		27
1	結果の状況	27
	全国との比較	27
	指導改善の状況	29
2	学力向上のための優先課題	32
3	就学援助を受けている児童の在籍割合との関係について	35
4	日本語指導が必要な児童の在籍数との関係について	37
第4章 小学校詳細分析～児童質問紙～		39
1	児童質問紙と教科に関する調査との関連	39
	国語への関心	39
	算数への関心	40

	理科への関心	41
	学校での学び	43
	総合的な学習への関心	44
	規範意識	45
	自尊感情	46
	言語活動・読解力	48
	学習習慣 1	49
	学習習慣 2	50
	解答への姿勢	52
第5章 中学校詳細分析～教科に関する調査～		54
1	平均正答率による学校の分布 国語A、国語B、数学A、数学B、理科	54
2	正答数の度数分布 国語、数学、理科	55
3	領域、観点、問題形式別／設問別分析 国語A 領域、観点、問題形式別 国語A 設問別 国語B 領域、観点、問題形式別 国語B 設問別 数学A 領域、観点、問題形式別 数学A 設問別 数学B 領域、観点、問題形式別 数学B 設問別 理科 領域、観点、問題形式別 理科 設問別	58
4	無解答率の分析	67
第6章 中学校詳細分析～学校質問紙～		68
1	結果の状況 全国との比較 指導改善の状況	68
2	学力向上のための優先課題	74
3	就学援助を受けている生徒の在籍割合との関係について	78
4	日本語指導が必要な生徒の在籍数との関係について	80
第7章 中学校詳細分析～生徒質問紙～		82
1	生徒質問紙と教科に関する調査との関連 国語への関心 数学への関心 理科への関心 総合的な学習への関心 規範意識 自尊感情 言語活動・読解力 生活習慣 学習習慣 1 学習習慣 2 家庭・地域との関わり 学校での学び 解答への姿勢	82

第8章 県内の取組事例	98
ー 1歳から15歳までの「16年一貫教育の実現」	[東員町教育委員会] 98
学校が動きやすいようにバックアップ	[松阪市教育委員会] 100
「チーム笹川東小学校」の力を発揮	[四日市市立笹川東小学校] 102
「まなびばセット」の活用で授業が変わった	[鈴鹿市立稲生小学校] 104
進路保障をめざすキャリア教育の充実	[伊賀市立柘植小学校] 106
生徒の成長を目指した、落ち着いた学校づくり	[四日市市立常磐中学校] .. 108
居心地のよい落ち着いた集団づくりとともに行事を通した自己肯定感の育成	[紀北町立紀北中学校] 110
第9章 県外の取組事例	112
1 学校の取組	112
2 教育委員会の取組	118
第10章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況	121
1 学力向上に向けた県の施策における取組等の状況	121
2 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標（三重県の経年比較）	127
児童生徒質問紙	127
学校質問紙	129
3 関係事業における取組状況	130
平成26年度学力向上に向けた指導体制確立支援事業について	130
平成26年度地域と協働する学校運営支援事業について	133
平成26年度地域による学力向上支援事業について	136
平成26年度子ども支援ネットワーク構築事業について	139
平成26年度いじめを許さない「絆」プロジェクト事業について	141
平成26年度学力向上のための読書活動推進事業について	142
第11章 児童生徒の学力向上のための県教育委員会による今後の取組	145
第12章 各市町等別の質問紙調査	148
1 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標（市町別の経年比較）	148
2 各市町等別調査の結果・分析と今後の取組	160

用語の説明

「肯定的な回答の割合」「トップボックス」

学校質問紙、児童質問紙、生徒質問紙では、次のような4択の質問が多くを占めています。

(例)	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行わなかった	全く行わなかった
A県	50%	30%	15%	5%
全国	30%	50%	10%	10%

ここでは、(選択肢1の割合+選択肢2の割合)を「肯定的な回答の割合」といい、選択肢1のみの割合を「トップボックス」と呼んでいます。

例えば上の例では、「肯定的な回答の割合」を見るとA県も全国もどちらも80%で差はないこととなりますが、「トップボックス」を見るとA県のほうが高く、徹底度に差があることがわかります。全体的な状況を見ると、徹底度や注力度を見るとときどき使い分けています。

PDCAサイクルとは

「PDCAサイクル」は、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（見直し）の頭文字を取ったもので、児童生徒の学力の向上という目標に対して、学校が指導計画を作成し（P）、その指導計画に基づいた授業改善を実践し（D）、児童生徒が目標どおりの変容をしたかを評価（C）、取組全体を見直す（A）という一連のサイクルをいいます。

平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析について

三重県教育委員会
平成 27 年 10 月 30 日

本年 4 月に小学校第 6 学年、中学校第 3 学年を対象に実施された「平成 27 年度全国学力・学習状況調査」の結果が、8 月 25 日に文部科学省から公表されました。

本県における全国学力・学習状況調査の結果は、依然として、全ての教科で全国の平均正答率を下回るという厳しいものでした。児童生徒の能力を最大限に引き出すことができているとは言い難い状況にあることを、引き続き重く受け止め、学力向上の取組をより加速させていく必要があると考えます。

一方、昨年度大きな課題が見られた「小学校国語」や「小学校算数」を含め、10 教科中 9 教科で全国の平均正答率との差が前回より縮まり、小中学校ともに改善の兆しが見られました。特に、小学校国語 B や中学校数学 A は、ほぼ全国の平均正答率の水準となったことをはじめ、小学校では 4 教科(国語 B、算数 A、算数 B、理科)で、全国の平均正答率との差が調査開始以来最も縮まるなど、前回からの変動において全国トップクラスの伸びも示しました。

また、無解答率の状況についても、前回と比べ、全国の平均無解答率との差が、小学校・中学校の全教科で大幅に改善しました。

各学校の取組においては、校長のリーダーシップによる組織的・継続的な取組に注力してきたことにより、校長による授業の見回りや、教員による授業での「目標の提示」、「振り返る活動」の徹底が進むとともに、子どもたちが粘り強く問題に取り組んだ結果、無解答率も改善されるなどの結果が出ています。

これらのことは、県・市町等教育委員会、学校、さらには、保護者、県民の皆様が連携し、それぞれの役割を果たすべく取り組んできたことや、各小中学校において、校長のリーダーシップのもと教職員が一丸となって、「わかる授業」や「個に応じた指導」を行ってきたことの結果であると考えます。あわせて、子どもたち一人ひとりにとっても、日頃子どもたちと接している教職員にとっても、「やればできる」ということを実感することにつながるものと考えます。

今後、校長のリーダーシップによる組織的な取組等、これまでの取組の検証を含めて行った今回の詳細な分析結果を活用し、市町等教育委員会や学校と連携し、取組のさらなる充実を図っていきたいと考えています。

私たち教育に携わる全ての者は、「毎日が未来への分岐点」との認識のもとに、「わかる喜びを実感できること」を大切にしながら、子どもたちの能力を最大限引き出すとともに、子どもたちの笑顔があふれる学校づくりのために取り組んでまいります。引き続き、学校・家庭・地域が一体となって県民総参加で三重の子どもたちの学力を育んでいただきますよう、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「7 (5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項等」をご覧ください。(P. 160 に抜粋して掲載しています。)

なお、本報告書は、株式会社ベネッセコーポレーションの分析協力も得て作成いたしました。

調査の概要

以下、1～4については、文部科学省が示す「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づく

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年

- ・小学校第6学年及び中学校第3学年の原則として全児童生徒を対象とする。
- ・特別支援学校小学部第6学年及び中学部第3学年の原則として全児童生徒を対象とする。
- ・ただし、特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

- ・小学校：国語A、国語B、算数A、算数B、理科
- ・中学校：国語A、国語B、数学A、数学B、理科

A. 主として「知識」に関する問題	B. 主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査実施日

平成27年4月21日（火）

5 調査を実施した学校・児童生徒数〔三重県：公立〕

【小学校調査】

	対象学校数	実施学校数(実施率)	児童数
小学校	374	374 (100%)	約16,500人

※学校数には、県立特別支援学校を含む。

【中学校調査】

	対象学校数	実施学校数(実施率)	生徒数
小学校	162	162 (100%)	約16,700人

※学校数には、県立特別支援学校を含む。

第1章 三重県全体概況

1 教科に関する調査結果概況

平均正答率 【関連：第2章P.10～、第5章P.54～】

ほぼ全ての教科において改善の兆しが見られます。

全ての教科で全国の平均正答率を下回る結果でしたが、昨年度大きな課題が見られた「小学校国語」や「小学校算数」を含め、10教科中9教科で全国の平均正答率との差が前回より縮まり、小中学校ともに改善の兆しが見られます。

特に、小学校では4教科（国語B、算数A、算数B、理科）で、全国の平均正答率との差が調査開始以来最も縮まる結果となりました。

		H19		H20		H21		H22		H24		H25		H26		H27	
		平均正答率		平均正答率		平均正答率		平均正答率の95%信頼区間 (平均正答率の推計値±誤差の幅)		平均正答率の95%信頼区間 (平均正答率の推計値±誤差の幅)		平均正答率		平均正答率		平均正答率	
		全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県
小学校	国語A	81.7	80.6	65.4	62.9	69.9	67.8	83.2~83.5 (83.3±0.2)	80.9~82.5 (81.7±0.8)	81.4~81.7 (81.6±0.2)	79.0~80.2 (79.6±0.6)	62.7	60.3	72.9	69.6	70.0	68.0
		<-1.1>		<-2.5>		<-2.1>		<-1.6>		<-2.0>		<-2.4>		<-3.3>		↗	<-2.0>
	国語B	62.0	60.0	50.5	47.1	50.5	46.9	77.7~78.0 (77.8±0.2)	74.2~76.2 (75.2±1.0)	55.4~55.8 (55.6±0.2)	51.8~53.5 (52.7±0.9)	49.4	46.7	55.5	52.5	65.4	65.3
		<-2.0>		<-3.4>		<-3.6>		<-2.6>		<-2.9>		<-2.7>		<-3.0>		↗	<-0.1>
	算数A	82.1	81.1	72.2	70.9	78.7	76.0	74.0~74.4 (74.2±0.2)	71.5~73.4 (72.4±1.0)	73.1~73.5 (73.3±0.2)	71.4~73.0 (72.2±0.8)	77.2	75.8	78.1	76.2	75.2	74.8
	<-1.0>		<-1.3>		<-2.7>		<-1.8>		<-1.1>		<-1.4>		<-1.9>		↗	<-0.4>	
	算数B	63.6	61.4	51.6	49.7	54.8	52.5	49.1~49.5 (49.3±0.2)	46.5~48.2 (47.3±0.9)	58.7~59.1 (58.9±0.2)	56.0~57.6 (56.8±0.8)	58.4	55.3	58.2	56.0	45.0	44.1
		<-2.2>		<-1.9>		<-2.3>		<-2.0>		<-2.1>		<-3.1>		<-2.2>		↗	<-0.9>
	理科									60.8~61.1 (60.9±0.2)	57.2~58.8 (58.0±0.8)					60.8	59.2
										<-2.9>						↗	<-1.6>
中学校	国語A	81.6	81.6	73.6	72.6	77.0	75.9	75.0~75.2 (75.1±0.1)	73.5~74.7 (74.1±0.6)	75.0~75.2 (75.1±0.1)	73.3~74.7 (74.0±0.7)	76.4	75.0	79.4	78.0	75.8	75.0
		<0.0>		<-1.0>		<-1.1>		<-1.0>		<-1.1>		<-1.4>		<-1.4>		↗	<-0.8>
	国語B	72.0	71.0	60.9	59.5	74.5	73.3	65.1~65.5 (65.3±0.2)	63.3~65.0 (64.1±0.9)	63.2~63.4 (63.3±0.1)	60.4~61.8 (61.1±0.7)	67.4	65.8	51.0	49.0	65.8	64.3
		<-1.0>		<-1.4>		<-1.2>		<-1.2>		<-2.2>		<-1.6>		<-2.0>		↗	<-1.5>
	数学A	71.9	73.1	63.1	63.8	62.7	62.7	64.4~64.8 (64.6±0.2)	64.3~66.4 (65.4±1.1)	62.0~62.3 (62.1±0.2)	60.7~62.6 (61.6±1.0)	63.7	63.2	67.4	67.1	64.4	64.3
	<+1.2>*		<+0.7>*		<0.0>		<+0.8>*		<-0.5>		<-0.5>		<-0.3>		↗	<-0.1>	
	数学B	60.6	60.6	49.2	49.3	56.9	56.5	43.1~43.5 (43.3±0.2)	41.7~43.8 (42.8±1.1)	49.2~49.5 (49.3±0.2)	46.9~49.1 (48.0±1.1)	41.5	39.3	59.8	58.3	41.6	40.6
		<0.0>		<+0.1>*		<-0.4>		<-0.5>		<-1.3>		<-2.2>		<-1.5>		↗	<-1.0>
	理科									50.9~51.1 (51.0±0.1)	49.7~51.4 (50.6±0.9)					53.0	51.9
										<-0.4>						↘	<-1.1>

※網掛け→全国平均との差において、各教科、8回の中で最も良好な値。

太字+「*」→全国平均より良かった値。

※< >内の数値→(三重県の平均正答率) - (全国の平均正答率)の値。

※平成23年度の調査は東日本大震災のため、実施されませんでした。

※平成22年度及び平成24年度の抽出調査における全国及び本県(公立)の結果については、誤差を含めた数値の幅「平均正答率の95%信頼区間」(95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲)で示しています。また、下段の()内については、この区間を「平均正答率の推計値±誤差の幅」により表したものです。

国語、算数・数学において、全国の平均正答率を上回る学校数が増えました。

実施年度	国語A			国語B			算数A・数学A			算数B・数学B			理科(参考)	
	H25	H26	H27	(H24)	H27									
小学校	132校 34.0%	105校 27.9%	139校 37.2%	118校 30.4%	119校 31.6%	185校 49.5%	158校 40.7%	143校 37.9%	180校 48.1%	115校 29.6%	139校 36.9%	157校 42.0%	抽出 調査	153校 40.9%
	↓		↑	→		↑	↓		↑	↓		↑	-	
中学校	61校 37.4%	59校 37.1%	67校 41.6%	64校 39.3%	55校 34.6%	57校 35.4%	80校 49.1%	76校 47.8%	81校 50.3%	59校 36.2%	65校 40.9%	66校 41.0%	抽出 調査	68校 42.2%
	→		↑	↓		↑	↓		↑	↑		↑	-	

※小学校の割合(%)は、平成25年度実施校388校、平成26年度実施校377校、平成27年度374校に占める割合を、中学校の割合(%)は、平成25年度実施校163校、平成26年度実施校159校、平成27年度161校に占める割合を示しています。

平均無解答率

【関連：第2章P.24～、第5章P.67～】

全ての教科において無解答率が改善されました。

	H19		H20		H21		H22(抽出調査)		H24(抽出調査)		H25		H26		H27		
	平均無解答率		平均無解答率		平均無解答率		平均無解答率		平均無解答率		平均無解答率		平均無解答率		平均無解答率		
	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	
小学校	国語A	2.03 <0.42>	2.45	10.93 <1.99>	12.92	9.90 <1.92>	11.82	2.63 <0.88>	3.51	2.98 <1.01>	3.99	10.68 <1.65>	12.33	2.30 <0.56>	2.86	3.56 ↑ <-0.22>	3.34
	国語B	8.67 <2.54>	11.21	12.30 <2.88>	15.18	12.10 <3.93>	16.03	4.22 <1.71>	5.93	6.61 <2.53>	9.14	13.59 <3.25>	16.84	9.20 <2.20>	11.40	6.09 ↑ <0.02>	6.11
	算数A	1.12 <0.22>	1.34	2.95 <0.44>	3.39	2.10 <0.46>	2.56	2.41 <0.44>	2.85	2.26 <0.62>	2.88	1.66 <0.30>	1.96	0.90 <0.11>	1.01	1.79 ↑ <-0.13>	1.66
	算数B	5.87 <1.40>	7.27	6.05 <1.56>	7.61	6.20 <1.79>	7.99	6.21 <1.81>	8.02	4.62 <1.17>	5.79	6.31 <1.80>	8.11	4.30 <1.06>	5.36	9.12 ↑ <0.52>	9.64
	理科									3.08 <1.20>						3.21 ↑ <0.05>	3.26
中学校	国語A	3.52 ↑ <-0.23>	3.29	3.77 ↑ <-0.20>	3.57	3.30 ↑ <-0.03>	3.27	2.70 ↑ <-0.10>	2.60	3.53 <0.45>	3.98	2.41 <0.13>	2.54	3.10 <0.14>	3.24	2.57 ↑ <-0.17>	2.40
	国語B	5.17 ↑ <-0.06>	5.11	8.65 <0.18>	8.83	5.60 <0.19>	5.79	6.80 <0.00>	6.80	4.81 <0.60>	5.41	2.83 <0.04>	2.87	3.50 <0.34>	3.84	2.23 ↑ <0.06>	2.29
	算数A	4.05 ↑ <-0.37>	3.68	6.64 ↑ <-0.49>	6.15	5.10 ↑ <-0.31>	4.79	6.27 ↑ <-0.37>	5.90	2.65 <0.31>	2.96	5.31 <0.15>	5.46	4.30 <0.02>	4.32	3.72 ↑ <-0.48>	3.24
	算数B	14.44 ↑ <-0.46>	13.98	13.45 ↑ <-0.70>	12.75	9.70 <0.04>	9.74	19.30 <0.20>	19.50	13.08 <0.87>	13.95	16.71 <1.38>	18.09	10.90 <0.51>	11.41	15.34 ↑ <-0.49>	14.85
	理科									9.39 <0.46>						6.98 ↑ <-0.28>	6.70

※網掛け→全国平均との差において、各教科、8回の中で最も良好な値。 □ 囲い→全国平均を下回る良好な値。

※< >内の数値→(三重県の平均無解答率)-(全国の平均無解答率)の値。

※平成23年度の調査は東日本大震災のため、実施されませんでした。

◆◆学校での組織的な取組◆◆

《改善が見られた項目》

学習指導要領では、児童生徒が主体的に学習に取り組むために、授業において見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を取り入れることが示されています。

県では、校長のリーダーシップによる組織的・継続的な取組に注力してきたことにより、調査結果から、校長による授業の見回りや、教員による授業での「目標の提示」、「振り返る活動」については、一定の改善が見られ意識が高まっていると考えられます。

項目	手立て	結果
授業の目標の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 ・国の調査官を招聘した授業改善に係る研修会 ・県・市町指導主事の研修会及び会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児童：75.7→83.0 〈全国〉：〈82.0〉 〈86.3〉 小学校：91.3→97.8 〈全国〉：〈96.9〉 〈98.1〉 中生徒：62.1→75.5 〈全国〉：〈71.5〉 〈79.7〉 中学校：88.3→87.6 〈全国〉：〈94.0〉 〈95.7〉 <p>(H26→H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、児童質問紙、学校質問紙いずれにおいても、全国平均を下回っているものの、実施している割合は増加し、全国平均との差も縮まっている。 ・中学校では、生徒質問紙において、全国平均を下回っているものの、実施している割合は増加し、全国平均との差も縮まっている。一方、学校質問紙は全国平均を下回り、その差も広がっている。これらの結果、学校と生徒との割合の差は縮まり、全国の差よりも小さくなった。
授業の振り返る活動の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 ・国の調査官を招聘した授業改善に係る研修会 ・県・市町指導主事の研修会及び会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児童：67.1→71.4 〈全国〉：〈71.9〉 〈75.3〉 小学校：76.3→89.9 〈全国〉：〈91.6〉 〈93.9〉 中生徒：51.4→58.3 〈全国〉：〈53.3〉 〈59.3〉 中学校：84.5→87.5 〈全国〉：〈89.2〉 〈90.9〉 <p>(H26→H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・学校の全ての結果において、昨年度の割合や全国平均と比べても、大きな改善が見られる。ただし、小学校では、学校の認識ほど児童の認識は高まっておらず、今後、その差を縮める必要がある。

校長の授業の見回り	<ul style="list-style-type: none"> ・校長研修会実施(4/3) ・学校訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校：65.1→84.5→95.4 〈全国〉：〈81.5〉 〈91.6〉 〈93.1〉 中学校：53.3→69.2→81.4 〈全国〉：〈68.3〉 〈79.3〉 〈81.4〉 (H21→H26→H27) ・小中学校ともに大きな改善が見られ、特に小学校では、全国平均を上回った。
-----------	--	---

◆◆家庭での過ごし方（生活習慣・学習習慣）◆◆

《改善が見られた項目》

本年度の調査結果からは、テレビ等の視聴時間の減少とともに、家庭での学習習慣について、主体的な学習（計画的な学習、予習、復習）を行っている児童生徒の割合の増加が見られ、家庭での過ごし方の改善が見られます。

（生活習慣）

項目	手立て	結果
平日のテレビ等視聴時間(3時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児童：47.1→38.4→35.8 〈全国〉：〈45.7〉 〈38.0〉 〈36.1〉 中学生徒：42.1→35.2→32.4 〈全国〉：〈38.0〉 〈31.5〉 〈30.5〉 (H21→H26→H27) ・小中学校ともに、視聴時間は減少し、小学校の割合は、全国と比べても減少している。

（学習習慣）

項目	手立て	結果
家で、自分で計画を立てて勉強している	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・〈計画を立てて勉強〉 小児童：51.5→59.4→60.5 中学生徒：36.8→47.3→51.0
家で、学校の宿題をしている		<ul style="list-style-type: none"> ・〈宿題〉 小児童：96.1→97.3→97.3 中学生徒：80.9→87.7→90.9
家で、学校の授業の予習をしている		<ul style="list-style-type: none"> ・〈予習〉 小児童：33.9→42.0→42.0 中学生徒：29.0→34.6→37.4
家で、学校の授業の復習をしている		<ul style="list-style-type: none"> ・〈復習〉 小児童：39.1→48.7→50.1 中学生徒：33.7→45.5→48.9 (H21→H26→H27) ・特に中学校での改善が著しい。 ・小学校の「宿題をしている割合」「予習をしている割合」以外の全ての項目については、H21、H26に比べ、増加している。

《改善が見られない項目》

テレビ等の視聴時間は、改善の傾向がある（前頁参照）ものの、スマホの使用時間の増加が著しく、このことが学習時間に影響していると考えられます。

（生活習慣）

項目	手立て	結果
基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合（朝食を毎日食べている・毎日、同じくらの時刻に起床就寝している）	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施 「スマートフォン等の使用に関する実態調査」（H26）公立小中学校の抽出校での実施、結果のフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> 小児童： 87.2→88.3→88.3 〈全国〉：〈87.1〉 〈88.7〉 〈88.7〉 中学生： 84.0→86.9→86.8 〈全国〉：〈84.2〉 〈86.6〉 〈86.9〉 (H21→H26→H27) H21と比較すると割合は改善されているものの、小学校では、全国との差が広がっている。 特に、小学校の朝食の習慣や同時刻の起床については、全国との差が大きくなっている。 (全国との差) 同時刻の起床： H21 +0.3 H26 0.0 H27 -0.3 朝食の習慣： H21 -0.2 H26 -0.3 H27 -0.3
平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）		<ul style="list-style-type: none"> 小児童： 4.0→5.6→6.3 中学生： 10.2→24.5→21.5 (H21→H26→H27) 昨年度の割合と比較すると改善の傾向が見られるものの、H21と比較すると割合の増加が著しい。（スマホの普及が一要因と考えられる。）

（学習習慣）

項目	手立て	結果
平日の学習時間（1時間以上）	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小児童： 55.4→59.4→58.4 〈全国〉：〈57.2〉 〈62.0〉 〈62.7〉 中学生： 64.6→64.4→66.5 〈全国〉：〈65.3〉 〈67.9〉 〈69.0〉 (H21→H26→H27) 全国との差は広がる傾向にある。 小中学校ともに顕著な改善が見られない。
休みの日の学習時間（3時間以上）		<ul style="list-style-type: none"> 小児童： 8.8→9.0→9.0 〈全国〉：〈11.3〉 〈11.5〉 〈11.9〉 中学生： 11.2→12.6→12.9 〈全国〉：〈15.4〉 〈16.9〉 〈17.7〉 (H21→H26→H27) 小中学校ともに割合は微増しているものの、全国との差が広がる傾向にある。

◆◆読書習慣◆◆

《改善が見られた項目》

学校における学校図書館を活用した授業の実施状況については、著しく改善されています。

項目	手立て	結果
学校図書館を活用した授業を計画的に実施(学期に数回以上)	<ul style="list-style-type: none"> 「第三次三重県子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進 司書派遣事業の実施(6市町11校) 学校訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校：69.8→77.2→81.8 中学校：35.2→39.5→44.7 (H21→H26→H27) 小中学校ともに授業で計画的に実施する学校の割合が高くなった。

《改善が見られない項目》

生活習慣・読書習慣チェックシートを活用するなどし、読書を習慣づけるよう取り組んできました。

授業における学校図書館の活用は、実施率が高くなっているものの、昼休みや放課後、休みの日などに図書館を利用する児童生徒の割合は、減少しており、自主的なものにはなっていません。

項目	手立て	結果
学校図書館・室や地域の図書館の利用(月1回以上)	<ul style="list-style-type: none"> 「第三次三重県子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進 生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小児童：39.8→42.1→40.0 〈全国〉：〈42.5〉 〈42.9〉 〈40.7〉 中生徒：17.5→18.4→17.4 〈全国〉：〈18.4〉 〈18.9〉 〈19.6〉 (H21→H26→H27) 小学校では、全国平均と比べるとその差は縮まっているものの、割合は減少している。一方、中学校においては、割合も減少しており、全国平均との差も広がっている。

◆◆家庭・地域との関わり◆◆

《改善が見られた項目》

調査開始以来、児童生徒の地域の行事に参加する割合は、全国と比較しても高く、特に小学生の参加の割合は高い傾向にあります。あわせて、小学校で保護者等の学校行事への参加も高い傾向にあります。

項目	手立て	結果
地域行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> 「みえの学力向上県民運動」の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 小児童：65.7→73.2→72.0 〈全国〉：〈62.4〉 〈68.0〉 〈66.9〉 中生徒：43.6→50.4→50.7 〈全国〉：〈37.8〉 〈43.5〉 〈44.8〉 (H21→H26→H27) H27においては、小学校で減少傾向にあるものの、小中学校ともに全国平均を大きく上回る状況にある。
家の人の学校行事への参観等		<ul style="list-style-type: none"> 小児童：97.4→97.6 〈全国〉：〈96.5〉 〈96.6〉 (H26→H27) 割合は大きな増加はないものの、全国平均を上回っており、その差も若干広がっている。

《改善が見られない項目》

保護者等の学校行事への参加については、小学校で全国平均を上回っているのとは対照的に、中学校では全国平均を下回っており、学校と家庭との連携について考えることが必要です。

項目	手立て	結果
家の人の学校行事への参観等	<ul style="list-style-type: none"> 「みえの学力向上県民運動」の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 中生徒：78.8→78.9 〈全国〉：〈83.1〉〈83.4〉 (H26→H27) 割合は若干増加しているものの、全国平均を大きく下回り、昨年度の割合よりもその差は広がっている。

◆◆自尊感情◆◆

《改善が見られた項目》

中学校では、「自分には、よいところがあると思う」も増加傾向にあり、将来に希望を見出し、自尊感情をもった生徒が増加していると考えられます。

項目	手立て	結果
自分には、よいところがあると思う	<ul style="list-style-type: none"> 「みえの学力向上県民運動」の促進（三重のまなび場づくりの実施） 「子どもの支援ネットワークモデル中学校区」の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 中生徒：63.0→69.1→69.4 〈全国〉：〈61.2〉〈67.1〉〈68.1〉 (H21→H26→H27) 中学校生徒の割合は、増加している。全国平均と比較すると、その差は縮まっているものの、全国平均を上回っている。

《改善が見られない項目》

小中学校ともに「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」・「将来の夢や目標を持っている」については、若干の増加傾向にあるものの、全国と比較すると改善したとは言い難い状況です。小学校児童の「自分には、よいところがあると思う」の割合について、改善が見られません。

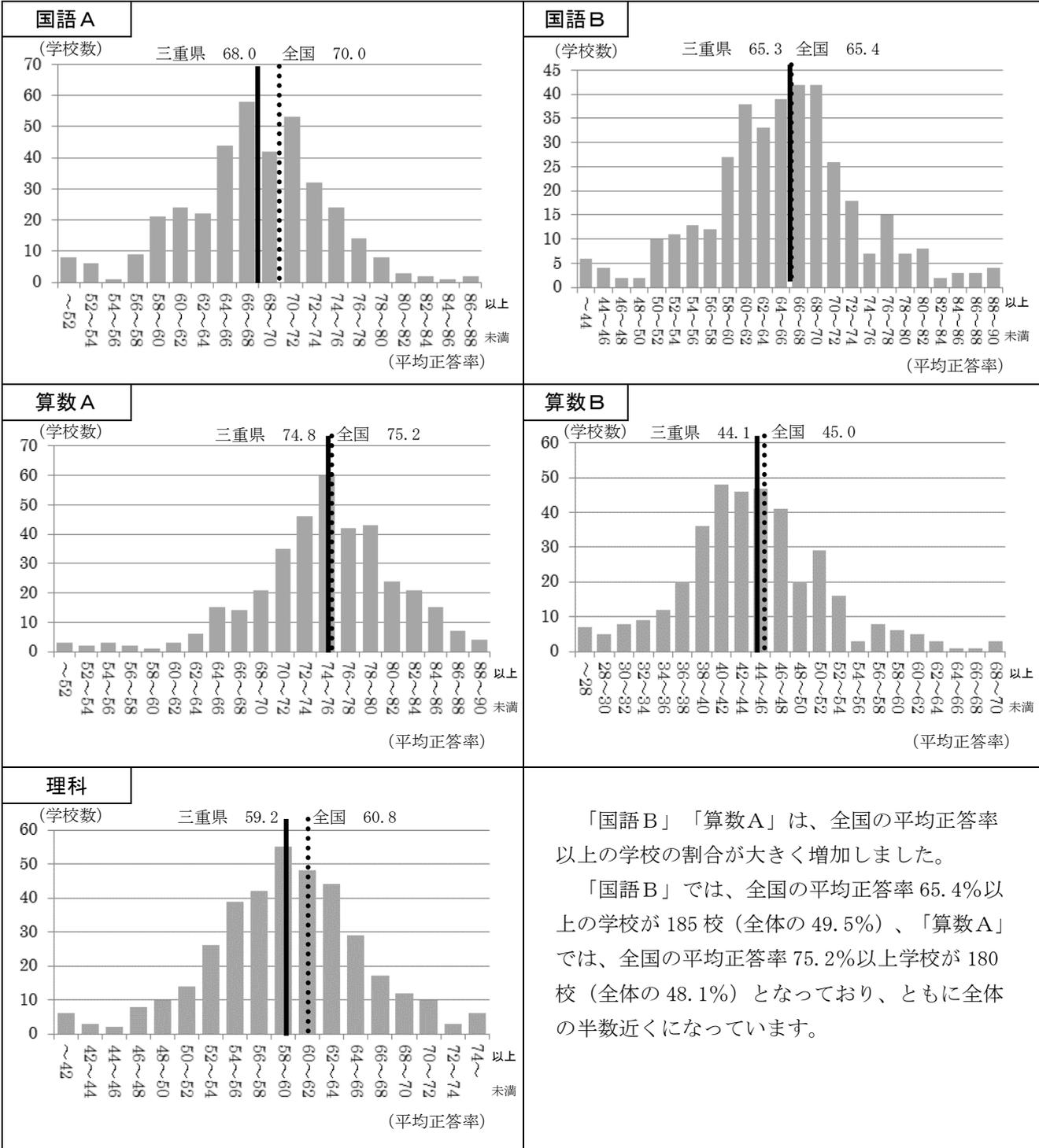
項目	手立て	結果
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する・将来の夢や目標を持っている	<ul style="list-style-type: none"> 「みえの学力向上県民運動」の促進（三重のまなび場づくりの実施） 「子どもの支援ネットワークモデル中学校区」の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 小児童：80.6→81.0 〈全国〉：〈80.9〉〈81.5〉 中生徒：70.6→70.7 〈全国〉：〈69.7〉〈70.3〉 (H26→H27) 若干の改善が見られるものの、全国平均と比較すると、小学校では全国を下回っており、その差は広がっている。中学校は、全国より上回っているものの、その差は縮まっている。
自分には、よいところがあると思う		<ul style="list-style-type: none"> 小児童：75.1→75.7→75.1 〈全国〉：〈74.6〉〈76.1〉〈76.4〉 (H21→H26→H27) 小学校児童の割合は、増加が見られない。全国平均と比較しても、全国を下回り、その差も広がっている。

第2章 小学校詳細分析～教科に関する調査～

1 平均正答率による学校の分布

【関連：第5章P.54～】

学校ごとの分析を踏まえ、各学校の課題に応じた取組を進めましょう。



「国語 B」「算数 A」は、全国の平均正答率以上の学校の割合が大きく増加しました。

「国語 B」では、全国の平均正答率 65.4%以上の学校が 185 校 (全体の 49.5%)、「算数 A」では、全国の平均正答率 75.2%以上学校が 180 校 (全体の 48.1%) となっており、ともに全体の半数近くになっています。

2

正答数の度数分布

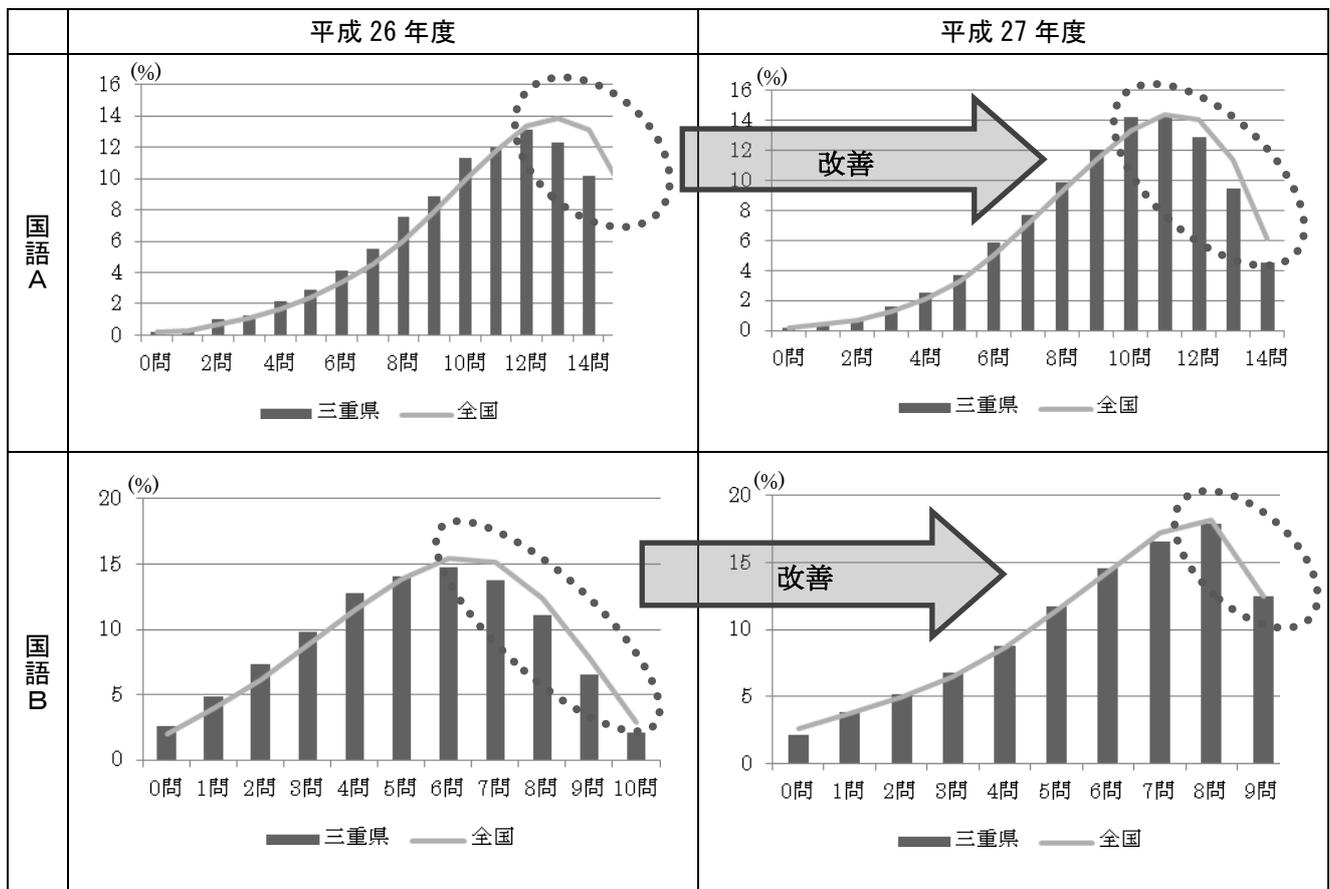
【関連：第5章P.55～】

正答数による度数分布グラフを各教科2か年分並べ、過年度からの変化を見ていきます。

国語

「国語B」においては、全国の分布とほぼ同じ形になっています。

「国語A」においては、学力を高めていく取組として、児童が該当単元につけるべき国語の能力を確実に身に付けられるよう、指導事項を明確に把握し、ねらいにふさわしい言語活動を位置付けることが大切です。また、学習した知識や技能を活用できるようにするために、児童自身が目的意識や必要感を実感できるような言語活動を単元に位置付けて指導を行ったり、実際の生活場面において使いこなす機会を多くもったりするなど、学習指導の工夫が大切です。

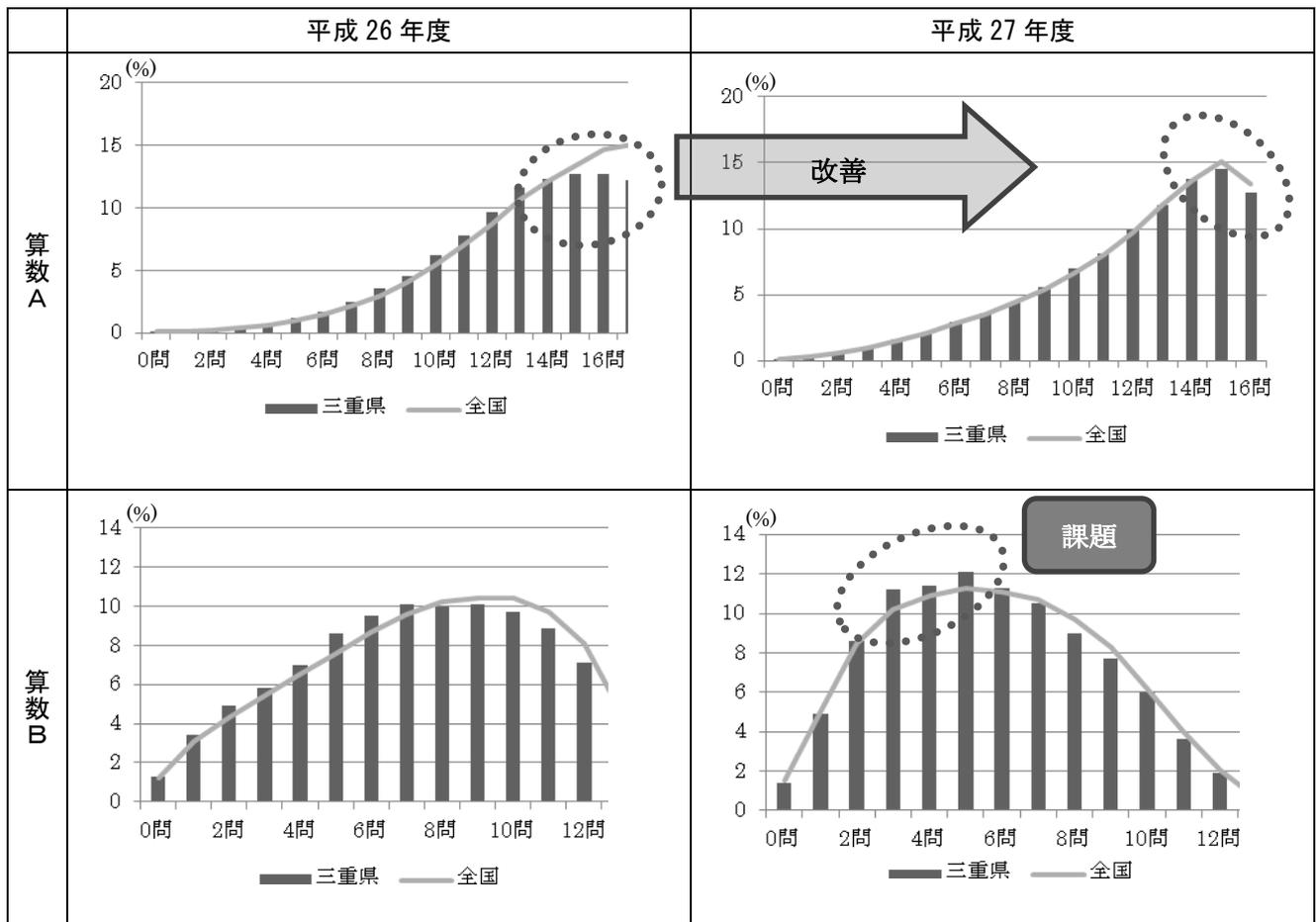


算数

「算数A」においては、全国の分布とほぼ同じ形になっています。

「算数A」が全国とほぼ同じ形であるということから、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていると考えられます。このことから、知識・技能を活用して、見通しを持ち筋道を立てて考える能力の育成が必要です。そのためにも、自分の考えたことを表現したり、他者に説明したりする学習活動を取り入れていくことが大切です。

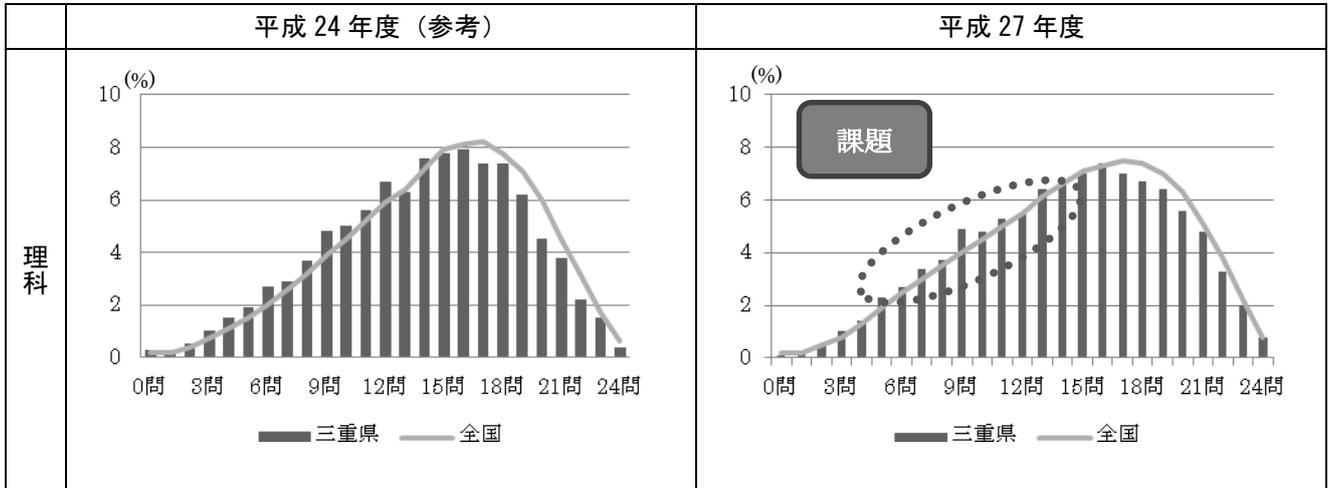
知識の活用を主眼に置いた指導の組み立てにおいては、課題の設定により児童の興味・関心を高めるとともに、学習後、場面や数値などの条件を変えて、発展的に考える活動を取り入れるなど、知識の活用の仕方を定着させていくことが大切です。



理科

全国に比べて、全体的にやや正答数が低いところに分布しています。

全国に比べ、正答数が低いところの分布がやや多く、正答数が高い分布はやや少ない状況です。



全体、観点、領域、問題形式ごとに全国の平均正答率との差をグラフに示しました。

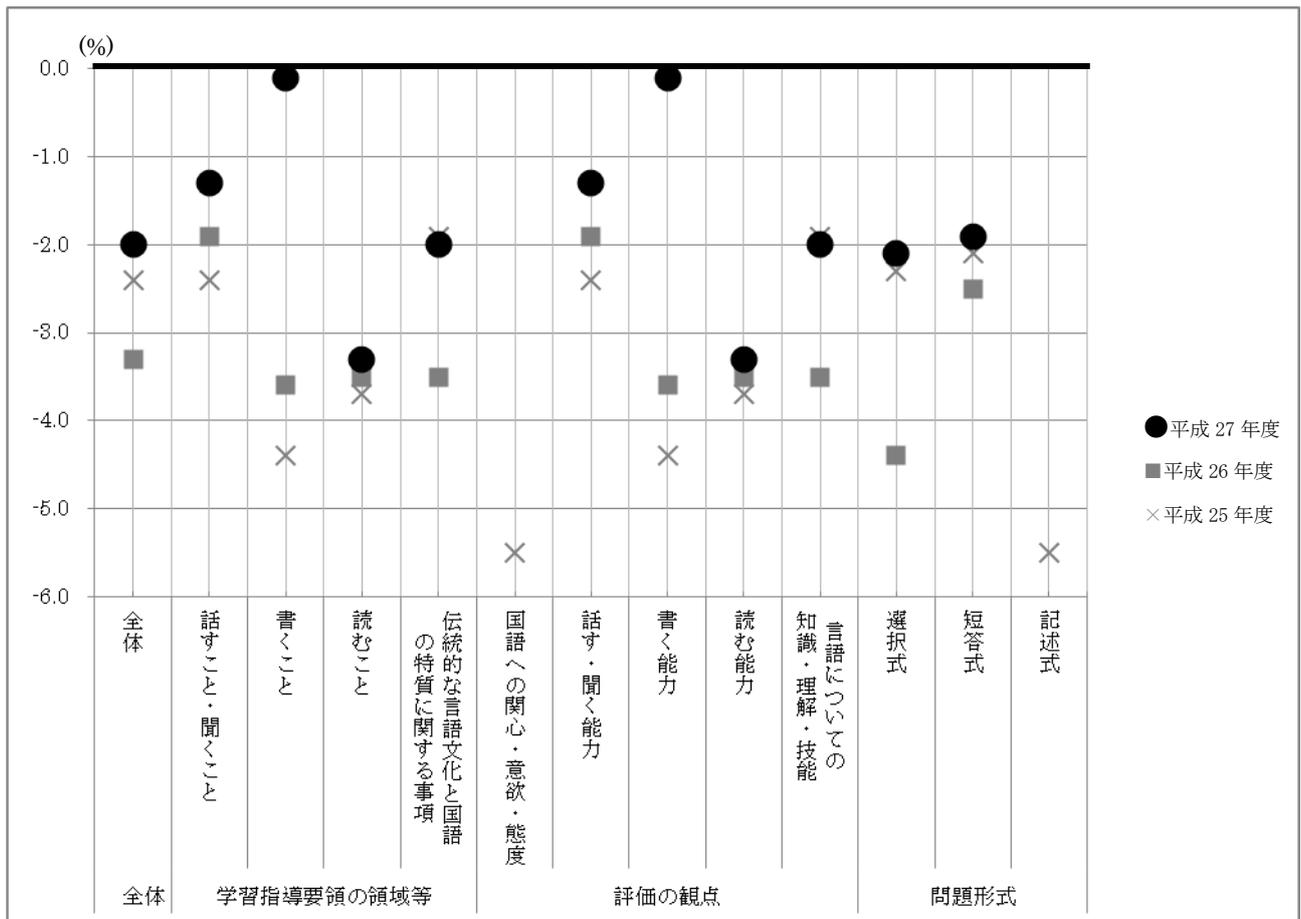
国語 A

領域、観点、問題形式別

「書く能力」の伸びが顕著。一方「読む能力」は顕著な変化なし。

全般的に改善されており、特に「書くこと」「書く能力」に大きく改善が見られます。

「読むこと」「読む能力」については、顕著な改善が見られません。



※該当の出題がない年度には印がありません。

国語 A

設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1-2	漢字を読む (自分の信念をつらぬく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	96.1	96.0	0.1
1-1	漢字を読む (友人を家に招く)		97.5	97.5	0.0

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 二 3	漢字を書く (びょういんに行く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	71.2	74.9	-3.7
5 二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える	15.0	19.8	-4.8
7	応募のきまりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る	69.7	73.9	-4.2

漢字の書きの問題は3問中3問とも全国の平均正答率を下回っています。モジュール学習^(注)や宿題等を活用した繰り返しの学習が必要です。

領域・観点別のデータにもあったように、「読むこと」に関する設問で全国との差が開いており、過去3年間、同様の状況になっています。平成27年度の問題では、設問番号5二、設問番号7で比較的大きな差がついていました。

(注)モジュール学習：モジュールは時間等の「単位」を意味しており、モジュール学習とは、10分、15分などの時間を単位として、取り組む学習形態である。[文部科学省HPより抜粋]

< 5 二 >

誤答の解答類型を見ると、「子ども読書」や「世界本の日」、あるいは「ゼロ弾きの」と解答しているものが、全国における割合より大きい状況です。固有名詞や書籍名で使っている「」や『』に引っ張られて解答しており、正しい「引用」の意味の理解が必要です。

< 7 >

誤答の解答類型を見ると、特にどれかの選択肢に誤りが集中していることもなく、どの誤答選択肢も全国における割合より大きい状況です。必要な情報を読み取る力に課題があると言えます。募集案内やポスターなどの文章や資料について情報を的確に捉えるためには、全体の構成や見出しなどに着目し、資料全体の情報を捉えるように指導することが必要です。

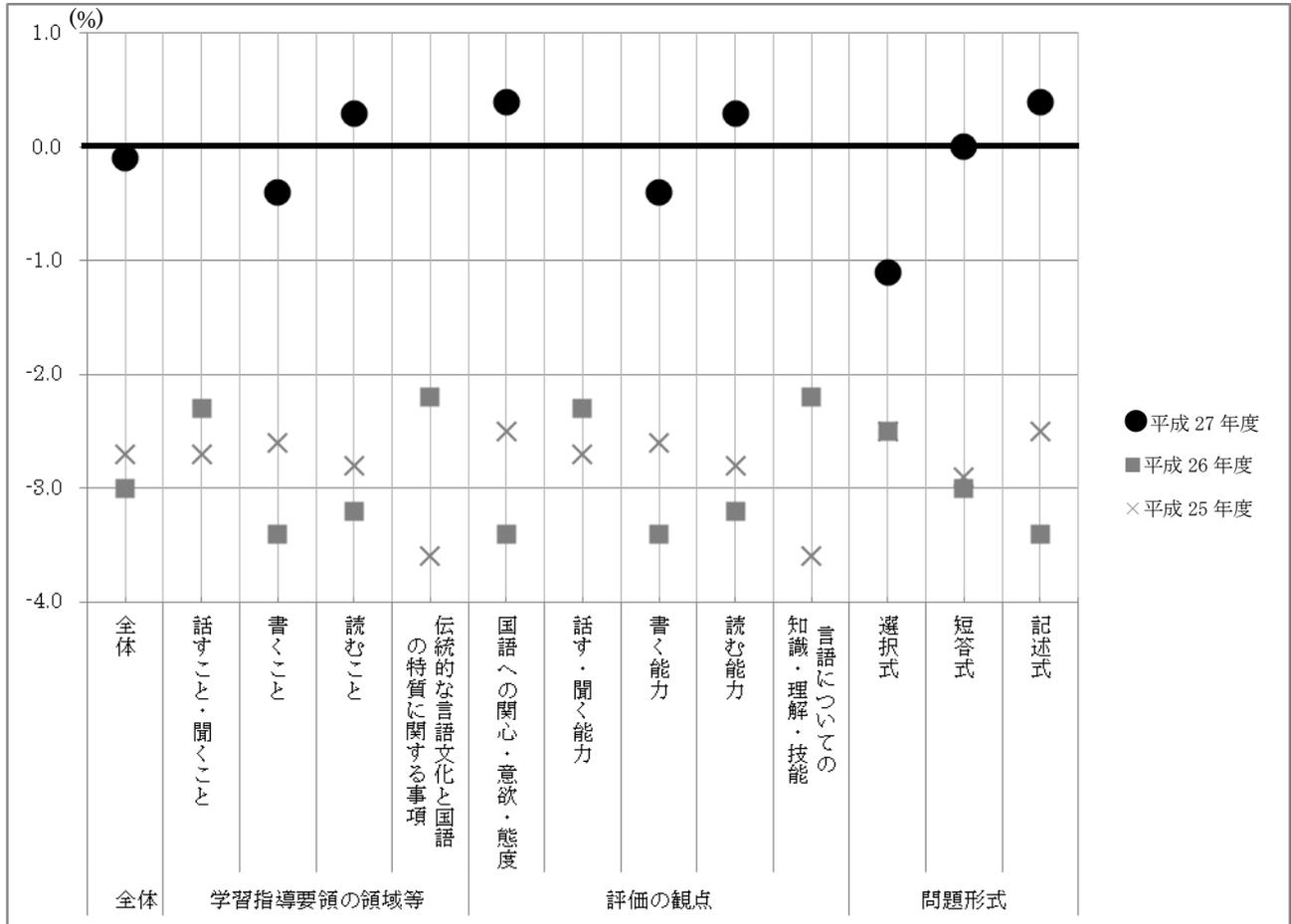
そのためには、児童自身にさまざまな資料を作る経験を積ませることが有効です。「国語」の問題では、チラシ、案内文などを児童自身が発信対象を明確にして作成し、それを児童同士で評価しあったり、作成上の工夫について考えたりというような学習場面の設定がよく出てきます。運動会や学習発表会などの行事で、児童自身に保護者や地域の方へのチラシや案内書の作成体験ができます。対象に対して伝えるべきことが網羅されているかを考えることを積み重ねていくことで考えるべき情報の広さ、多さに対応できるようになっていきます。

言語活動というと話し合いや発表等に偏りがちですが、「複数の情報を正しく読み取り、理解したうえでじっくり考えて文章を書く」という活動もバランスよく行うことが大切です。

国語B 領域、観点、問題形式別

全ての領域、観点において大きく改善されています。

「国語A」と比べ、「国語B」では、「書くこと」「書く能力」とともに、「読むこと」「読む能力」が大きく改善されています。



国語B 設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く	35.6	34.7	0.9
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く	43.9	41.6	2.3
3一	〈絵3〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える	61.5	60.4	1.1

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする	73.1	74.6	-1.5
1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける	68.1	70.8	-2.7
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する	65.6	66.6	-1.0

「国語A」の設問番号7は、複数の情報が与えられ、選択肢が適切な内容であるかどうか、与えられた情報全体を押さえながら検討することが求められている問題です。一方、「国語B」では、設問番号2三や設問番号3一は、与えられた文章の中でどの部分に着目して考えればよいか、設問によってある程度限定されている問題です。解答を導き出す力は身に付いていますが、必要な情報を取り出す力に課題があります。複数の情報を与えられ、そこから適切な情報を取り出す力の習得が大切です。

全国の平均正答率よりも低かった設問番号1一、設問番号1二、設問番号3二は、いずれも与えられた情報から必要な情報を取り出して考える問題です。

<1一>

新聞に書かれていることが、出来事なのか、調査なのか、紹介なのか、内容を読んで抽象化することが求められています。

<1二>

要約したり見出しを付けたりする学習活動や、対話の中で抽象的な言葉でまとめ直させるなどの活動の充実が必要です。

<3二>

声に出して読むときの工夫とその理由を書くというこの問題でも、事実と感想、意見などを区別して説明することが求められています。

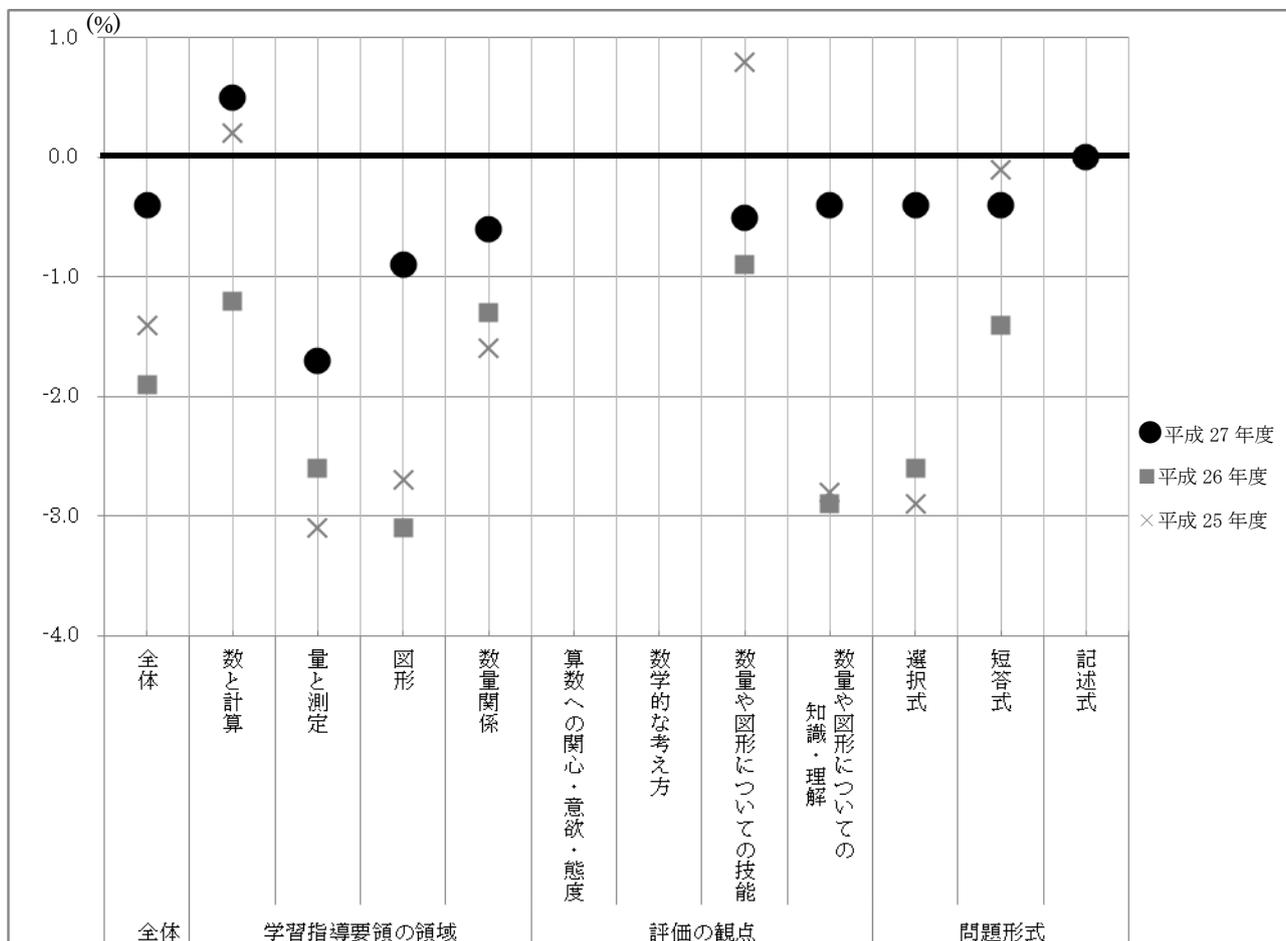
算数A

領域、観点、問題形式別

全ての領域・観点において、大きく改善されています。

「数と計算」については、全国の平均正答率を上回っています。

「量と測定」については、改善されつつありますが、一層の改善が必要です。



算数A

設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (1)	8.9-0.78 の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	73.5	71.0	2.5
1 (3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	加法における計算の確かめの方法を理解している	82.9	82.0	0.9
2 (2)	6.79-0.8 を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	70.9	69.5	1.4

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	72.6	74.8	-2.2
4(1)	90°、180°、270°、360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることができる	79.7	81.3	-1.6
4(2)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	56.5	58.0	-1.5
5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる	63.0	64.5	-1.5

量と測定の領域からの出題全てが全国よりも下回っており、時間や角度の考え方や計算に課題が見られません。

< 3 >

誤答の解答類型を見ると、2時50分または3時5分と、家から学校、または学校から図書館のどちらか片方の条件だけを考慮した解答が全国の割合よりも大きい状況です。時計の読み取り等の習得が必要です。

< 4(1)・(2) >

180°を超える角度の取り扱いについての定着が弱いと考えられます。

特に分度器の使い方の定着に課題が見られます。指導については、操作活動を通して行うなど、効果的な指導方法の工夫が必要です。

< 5(2) >

角度の計算が必要な問題です。誤答の解答類型では、70°と解答している割合が全国よりも大きい状況にあります。論理的に考える前に、見た目、または角を表す弧を使った記号が⑦と⑧で同じであることに着目して、根拠や筋道を立てて説明できるように指導することが大切です。また、円と半径、二等辺三角形の定義や性質などの理解を深める必要もあります。

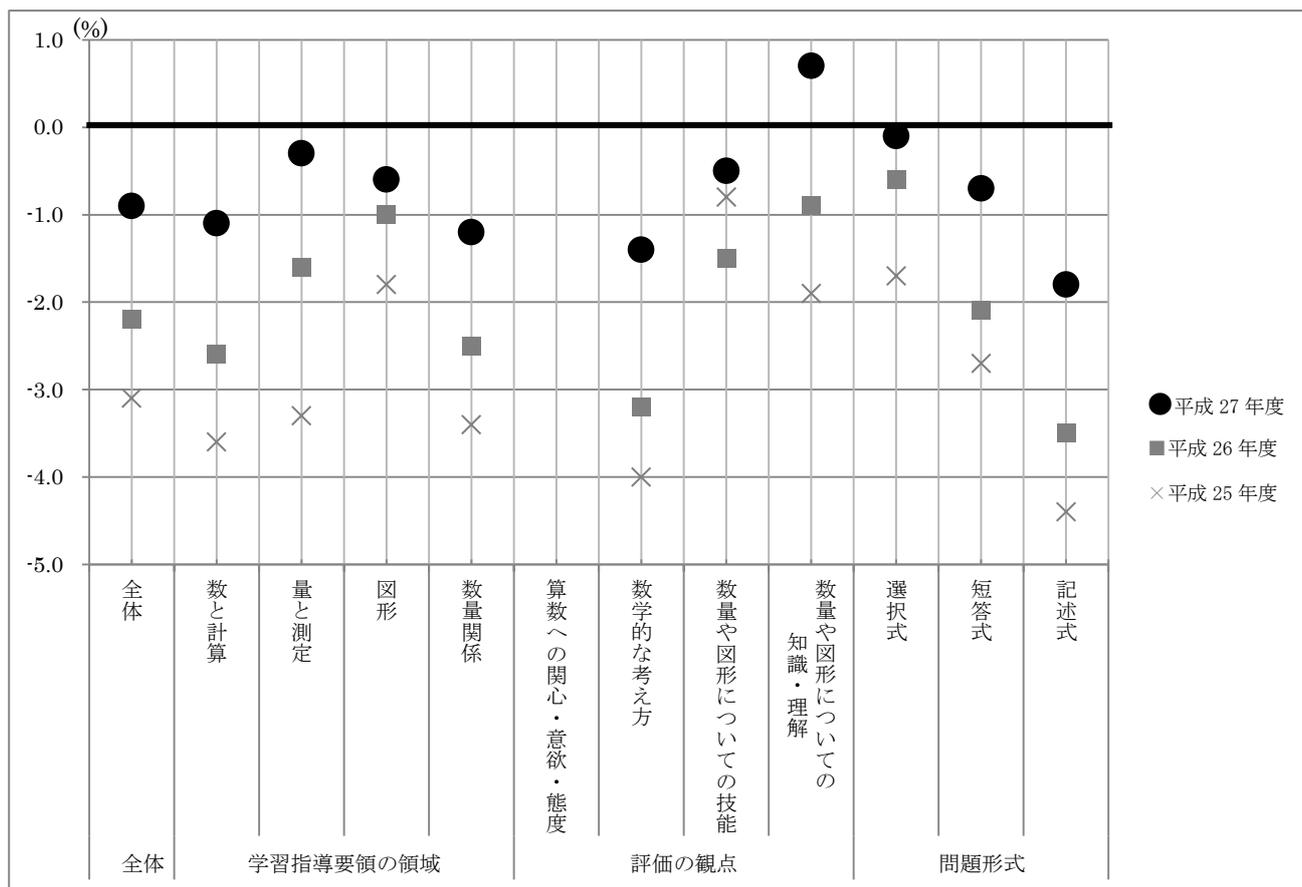
算数B

領域、観点、問題形式別

全ての領域、観点において、大きく改善が見られます。

「数量や図形についての知識・理解」の観点では全国平均正答率を上回っています。一方、「記述式」の形式については、改善されつつあるものの、課題が見られます。

「記述式」の問題では、事柄が成り立つことの根拠を説明するため、見通しをもち筋道を立てて考え、書くことが必要です。そのため、算数についても考え方やプロセス、理由・根拠を説明できるよう言語活動の充実を図る必要があります。



算数B

設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (1)	平行四辺形を構成することができる、四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している	95.5	95.2	0.3
1 (2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している	55.7	54.6	1.1
2 (1)	トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く	単分量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができる	65.1	64.8	0.3

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる	26.0	27.7	-1.7
2 (3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できる	48.8	51.0	-2.2
3 (2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、⑦の角が 30° になるわけを書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、⑦の角が 30° になる理由を記述できる	45.7	49.1	-3.4

「算数B」の活用に関する問題の出題の特徴として、設定や状況に関する長い文章その他の情報を読み取り、その中から必要な情報を取り出しながら答えを出すだけでなく、理由や思考のプロセスを説明することが挙げられます。国語においては「書く能力」に改善が見られ、記述式の問題に課題があるとのデータは見られませんでした。しかし算数における記述式の問題では、説明する等の表現する力の定着に結びついていません。

「国語B」も同様ですが、これらの問題を解くために必要な力は、子どもたちが身に付けてほしい力であるとの出題者からのメッセージと捉え、指導に生かしていくことが大切です。

< 1 (3) >

誤答の解答類型を見ると、平行四辺形であることは書けているが、その特徴を書いていないものと無解答が全国の割合よりも大きい状況です。図形の特徴を言葉で説明するなどの力が必要です。

< 2 (3) >

正しい答え270ができていて説明が不十分な解答が、三重県で14.1%、全国で12.9%と1.2%の差がありました。一方、無解答率の差は三重県が13.2%、全国が12.8%とそれほど大きくはありません。答えはわかっても、適切に言葉で説明することができていない状況です。指導において、自分の考えをまとめ、表現するような場面の設定が必要です。

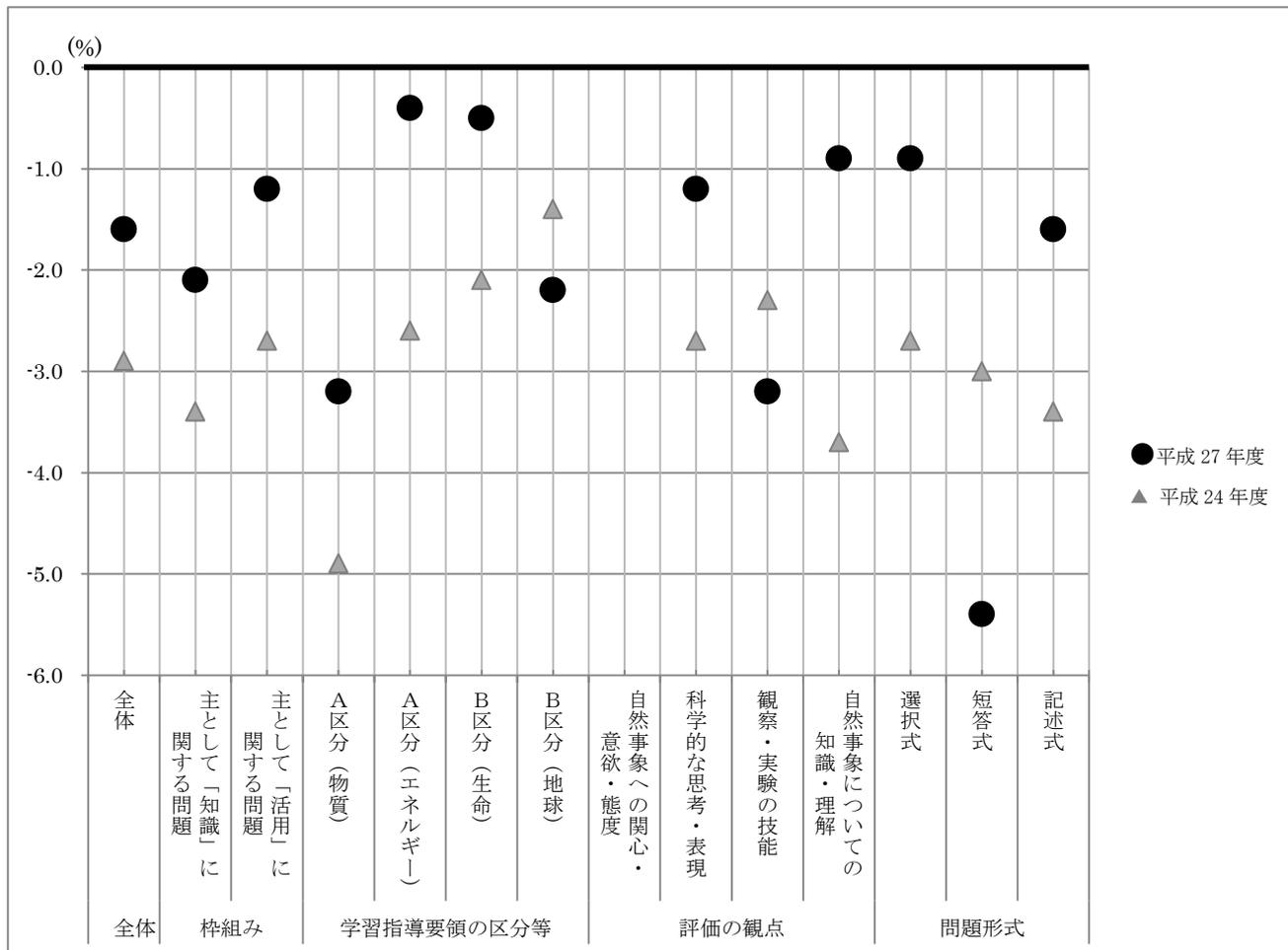
< 3 (2) >

2(3)と違い、答えは 30° であることが示されている問題です。この問題の無解答率は三重県が20.8%、全国が18.9%とやや差があります。求められていることは2(3)同様、解答を導くプロセスの言葉による説明です。普段の授業で、答えのみを重視するのではなく、プロセスの説明を大切にすることが必要です。

理科 領域、観点、問題形式別

全ての区分、観点において、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られます。

抽出調査だった平成24年度の結果と比べると改善している領域・観点が多くありますが、「物質」の区分、「観察・実験の技能」の観点で特に全国平均正答率との差が開いており、課題が見られます。



理科 設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (5) ア	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる	73.0	72.7	0.3
2 (1)	メダカをめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	メダカの雌雄を見分ける方法を理解している	82.9	78.0	4.9
2 (3)	示された器具(顕微鏡)の名称を書く	顕微鏡の名称を理解している	61.8	61.6	0.2

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
3 (4)	示された器具（メスシリンダー）の名称を書く	メスシリンダーの名称を理解している	60.0	70.7	-10.7
3 (5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けている	47.1	51.7	-4.6
4 (5)	水が水蒸気になる現象について、その名称を書く	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している	52.9	58.5	-5.6

必ずしも一般化できる分析ではありませんが、メダカのみすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ問題は全国平均正答率を大きく上回っていました。教室でメダカを飼育するなど、観察ができる環境をつくっていることの現れから、子どもたちにとって身近な動物に関する興味・関心が高いのではないかと考えられます。

化学の実験に関する問題の平均正答率が低い状況にあります。

< 3 (4) >

実験器具の名称の定着が図られていません。使用の目的を明らかにし、具体的な操作方法を示すとともに、安全に留意しながら、全ての児童が実際に器具を使うことにより操作方法を確実に習得できるようにすることが必要です。

< 3 (5) >

学校質問紙における観察、実験に関する全項目で「よく行っている」と回答した割合は、全国の割合を下回っており、観察、実験の経験不足があると考えられます。

< 4 (5) >

「じょう発」という言葉の知識が不足しているか、「じょう発」という言葉を知っていても、「水が水蒸気になって空気中に出ていく」という説明と結び付けられなかったことが考えられます。科学的な用語はその現象や定義などの理解を深めながら覚えていく必要があります。

全教科において大きな改善が見られます。

全教科で無解答率は、全国の平均無解答率と同程度ですが、「国語B」「算数B」は、全ての設問で全国の平均無解答率より高く、課題が見られます。

		三重県	全国	差	全国平均より上回っている (課題がある)	
					設問数	比率
国語 A	選択式	1.30%	1.49%	-0.19	0/7	0.00%
	短答式	5.39%	5.63%	-0.24	2/7	28.57%
	合計	3.34%	3.56%	-0.21	2/14	14.29%
国語 B	選択式	2.47%	3.60%	-1.13	0/3	0.00%
	短答式	4.25%	4.60%	-0.35	0/2	0.00%
	記述式	9.78%	8.70%	1.08	4/4	100.00%
	合計	6.11%	6.09%	0.02	4/9	44.44%
算数 A	選択式	1.40%	1.64%	-0.24	0/5	0.00%
	短答式	1.77%	1.86%	-0.09	2/11	18.18%
	合計	1.66%	1.79%	-0.14	2/16	12.50%
算数 B	選択式	1.53%	1.67%	-0.13	0/3	0.00%
	短答式	6.14%	6.24%	-0.10	2/5	40.00%
	記述式	18.00%	16.46%	1.54	5/5	100.00%
	合計	9.64%	9.12%	0.52	7/13	53.85%
理科	選択式	1.32%	1.41%	-0.09	2/18	11.11%
	短答式	15.33%	14.00%	1.33	2/3	66.67%
	記述式	2.83%	3.20%	-0.37	0/3	0.00%
	合計	3.26%	3.21%	0.05	4/24	16.67%

※問題形式別および全体について、設問ごとの無解答率を平均した数値です。

※網かけは、三重県のほうが全国に比べて無解答率が大ききところを示しています。

※太枠は、問題形式別に見て全ての設問で三重県のほうが全国よりも無解答率が高いところを示しています。

●国語B及び算数Bの記述式問題における平均正答率と平均無解答率との関係●

<国語Bの記述式問題>

設問	平均正答率			平均無解答率		
	三重県	全国	差	三重県	全国	差
1三	35.6	34.7	0.9	4.8	4.0	0.8
2二	78.2	78.4	-0.2	8.1	7.0	1.1
2三	43.9	41.6	2.3	10.2	8.7	1.5
3二	65.6	66.6	-1	16.0	15.1	0.9
平均	55.8	55.3	0.5	9.8	8.7	1.1

<児童質問紙(57)>

質問		最後まで 努力した	あきら めた	書かな かった	その他	無回答
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたか、どのように解答しましたか	三重県	78.2	19.0	2.1	0.4	0.3
	全 国	77.7	19.7	1.9	0.4	0.3
	差	0.5	-0.7	0.2	0.0	0.0

全ての設問で全国の平均無解答率より高い状況です。

平均正答率では、3問中2問で三重県が全国の平均正答率を上回っており、関連する児童質問紙(57)では、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合が全国の割合より高い状況です。

<算数Bの記述式問題>

設問	平均正答率			無解答率		
	三重県	全国	差	三重県	全国	差
1(3)	26.0	27.7	-1.7	15.6	14.3	1.3
2(3)	48.8	51.0	-2.2	13.2	12.8	0.4
3(2)	45.7	49.1	-3.4	20.8	18.9	1.9
4(3)	20.9	22.3	-1.4	17.5	15.3	2.2
5(1)	12.0	12.5	-0.5	22.9	21.0	1.9
平均	30.7	32.5	-1.8	18.0	16.5	1.5

<児童質問紙(57)>

質問		最後まで 努力した	あきら めた	書かな かった	その他	無回答
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか	三重県	74.7	22.5	2.0	0.5	0.4
	全 国	73.3	24.0	1.9	0.4	0.4
	差	1.4	-1.5	0.1	0.1	0.0

<学校質問紙(31)>

質問			よく行 った	どちら かとい えば、 行った	あまり 行って いない	全く行 ってい ない	無回答
(31)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	三重県	23.8	63.9	12.0	0.3	0.0
		全 国	26.9	64.8	8.1	0.0	0.1
		差	-3.1	-0.9	3.9	0.3	-0.1

<学校質問紙(109)>

質問			よくしている	どちらかといえば、している	あまりしていない	全くしていない	無回答
(109)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	三重県	30.5	59.9	9.6	0.0	0.0
		全国	34.4	57.2	8.2	0.1	0.1
		差	-3.9	2.7	1.4	-0.1	-0.1

「算数B」においては、無解答率は全国より高く、平均正答率は全国より低い結果でした。

児童質問紙では、決して途中であきらめた児童が多いわけではなく、解答意欲の問題ではありません。

「算数B」の記述式の問題を解答できる学力を高めていくことに課題があるということがわかります。

そこで、「算数B」の記述式の問題と関係の深い、言語活動の状況を学校質問紙の国語以外の教科における取組状況について、質問番号(31)(109)を見ると、「各教科等」で「国語科だけではなく」言語活動を「よく」行っている比率が全国よりも3%以上低い状況です。算数における言語活動の在り方の研究を進める必要があります。

第3章 小学校詳細分析～学校質問紙～

1

結果の状況

【関連：第1章P.5～、第6章P.68～】

学校質問紙について、肯定的な回答をした学校の割合と全国の割合との差が5%以上のものについて、成果と課題として以下に挙げます。

全国との比較

【成果】教員研修、調査結果の保護者等への情報共有に注力されています。

分類	番号	質問	三重県	全国	差
教員研修	(103)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか（年間11回以上）	49.0	38.5	10.5
調査結果の保護者等への情報共有	(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	96.5	88	8.5
地域の人材・施設の活用	(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	82.9	76.3	6.6
コンピュータなどを活用した教育	(48)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか（月1回以上）	52.7	46	6.7
	(49)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか（月1回以上）	66.6	61.5	5.1

【課題】主体的な学びを引き出す授業づくり、個に応じた指導、理科の指導法に課題が見られます。

分類	番号	質問	三重県	全国	差
地域の人材・施設の活用	(84)	調査対象学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか（複数回実施した場合は、最も長期のもの）（2泊3日以上）	0.8	38.9	-38.1
個に応じた指導	(55)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか（年間の授業のうち1/2以上で実施）	15.3	32.4	-17.1
	(56)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか（年間の授業のうち1/2以上で実施）	8.0	23.4	-15.4
理科の指導方法	(70)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか	43.9	55.8	-11.9
	(71)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	40.3	47.2	-6.9
	(77)	調査対象学年の児童に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	2.4	13.2	-10.8
家庭学習～理科の指導～	(98)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	77.3	84.3	-7.0
指導方法・学習規律	(34)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	87.2	94.1	-6.9
	(36)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	76.2	81.3	-5.1
	(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	67.1	73	-5.9
	(39)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	76.2	85.9	-9.7

指導改善の状況

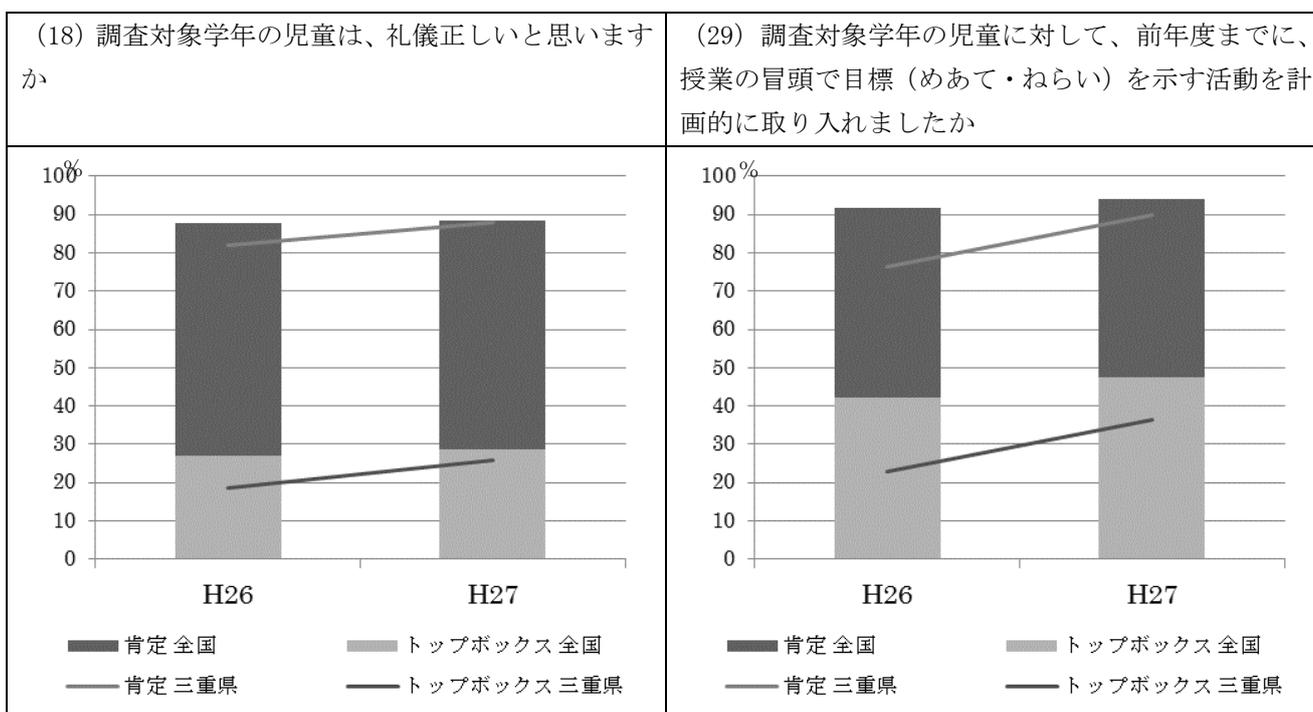
平成26年度と平成27年度の学校質問紙で同じ質問項目の結果を比較し、全体的に小学校でどのような指導改善に注力されているのかを確認します。

特に大きく変化したと考えてよいものとして、次の条件の全てに当てはまる質問を抽出しました。

- 肯定的な回答をした割合が5%以上向上したもの
- 特に力を入れたと考えられる「よく行った」などのトップボックスの割合が5%以上向上したもの
- 肯定的な回答をした割合の全国との差を5%以上縮めたもの
- トップボックスの割合の全国との差を5%以上縮めたもの

ほぼ全ての項目で改善が見られました。

目標（めあて・ねらい）・振り返る活動の設定、全国学力・学習状況調査の保護者等への情報共有、校長の授業の見回りにおいて、大きく改善が見られます。



<p>(30) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか</p>	<p>(52) 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)</p>
<p>(54) 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか</p>	<p>(112) 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか(週に2～3日程度以上)</p>

◇◇◇調査結果を正面から受け止める◇◇◇

まず、質問番号 (52)、(54) にあるように、全国学力・学習状況調査の結果を正面から受け止めて、自校の状況を保護者や地域の方と共有し、指導改善に活用するという姿勢が全国よりも高くなっています。

また、質問番号 (54) にあるように、地方公共団体独自の学力調査の実施と活用も増えており、第6学年だけでなくもっと学齢の低い段階での状況を把握し、教育指導の改善を図っていこうという機運が高まっています。

◇◇◇学ぶ雰囲気づくり◇◇◇

次に、学習に向かう以前に大切なこととして、児童の基本的な生活態度や学習規律にも大きな変化が見られました。学力向上のためには、前向きな学校生活ができ、その中で授業に集中できることが大切です。

質問番号(18)は礼儀正しさについての質問ですが、そのほかにも、質問番号(17)の「授業中の私語が少なく、落ち着いている」という質問に対する「とてもそう思う」と回答した割合が昨年度と比べ+7.0%、質問番号(16)の「児童は、熱意をもって勉強している」という質問に対する「とてもそう思う」と回答した割合が+9.1%と大きく変化しています。学ぶ雰囲気づくりがより良い形でできてきている状況がうかがえます。

◇◇◇主体的な学び◇◇◇

質問番号(29)の目標の提示、質問番号(30)の振り返る活動の設定について大きく改善しています。授業の始めに目標を明確にし、終了時に学習を振り返ることは、その日の学習事項の把握し、児童自身によるPDC Aサイクルや目標達成動機を高めていくこととなります。このことは、主体的な学び、ひいては生きる力の育成につながっていきます。

これらの項目については、グラフからもわかるように、まだ全国平均の水準まで届いていないのが現状です。また、質問番号(34)の「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか」という質問への肯定的な回答率は全国に比べ-6.9%低くなっており、児童への浸透も含めて課題ととらえ、さらなる授業改善が必要です。

◇◇◇校長による授業の見回りが、組織的な取組の第一歩です。◇◇◇

学校を取り巻く課題が複雑化してきており、一人の教員だけでは解決できない状況もあります。そのような中で「学校全体」で課題を共有し、教員がチームとしてその課題を解決していくことはとても重要なことです。

質問番号(112)「校長の授業の見回りについて」は、「ほぼ毎日」見て回ると回答した割合が大きく上昇しています。

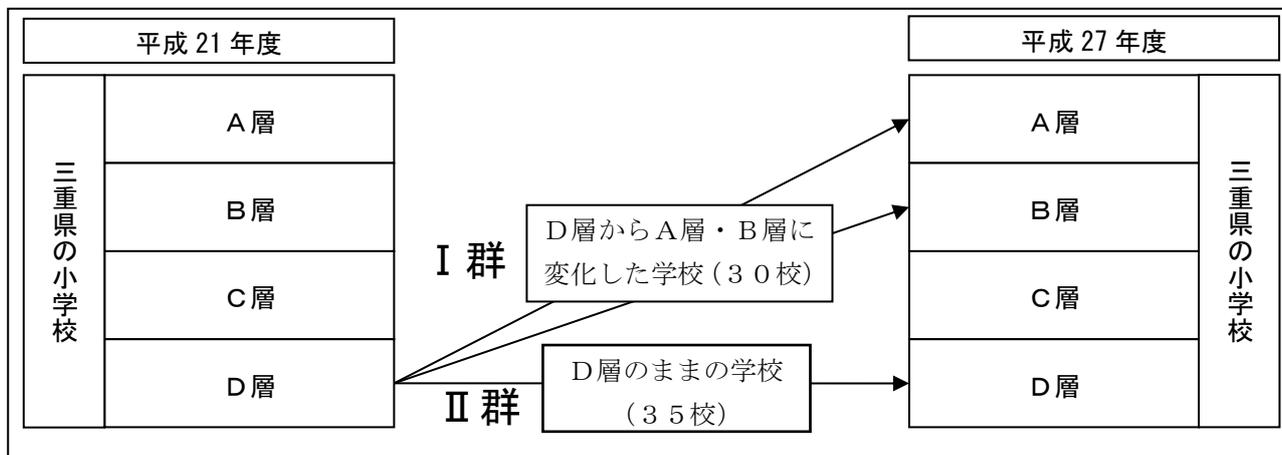
また、全国の小学校では実施頻度に応じて、全教科で平均正答率が高い傾向があります。三重県では、実施頻度は大幅に改善したものの、平均正答率との関連は必ずしも大きくないことから、今後質的充実を図ることが必要です。例えば、指導計画・指導案が見通しを持って立てられているか、指導計画どおりの授業が行われているか、学習規律、目標(めあて・ねらい)・振り返り、板書、説明・指示・発問等の授業マネジメントが適切かなどを自らの目で見て回り、適宜教員とコミュニケーションを取りながら、指導・助言することが大切です。

2 学力向上のための優先課題

【関連：第6章P.74～】

学校においては、個々に置かれた環境が異なり、構成する教職員や児童もそれぞれで異なります。

ここでは、平成21年度と平成27年度の調査結果における教科に関する調査の平均正答率の状況から、小学校を4つの層に分けて、学校質問紙の結果を比較分析します。



分析は、I群の学校質問紙の回答状況で肯定的な回答率が5%以上向上した質問項目を抽出し、それらの質問項目について、I群とII群の肯定的な回答率の差から比較します。

下の表は、太枠で囲った列の値の昇順で並べています。

番号	質問項目 (I群の経年差が5%以上改善した項目を抽出)	I群			II群			I群-II群
		H21	H27	差	H21	H27	差	H27
(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	13.3%	30.0%	16.7%	25.7%	42.9%	17.1%	-12.9%
(100)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	86.7%	96.7%	10.0%	88.6%	100.0%	11.4%	-3.3%
(87)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	70.0%	80.0%	10.0%	65.7%	82.9%	17.1%	-2.9%
(65)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	80.0%	90.0%	10.0%	91.4%	91.4%	0.0%	-1.4%
(112)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか(週2～3回程度以上)	50.0%	96.7%	46.7%	65.7%	97.1%	31.4%	-0.5%
(62)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	83.3%	93.3%	10.0%	88.6%	91.4%	2.9%	1.9%
(85)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	30.0%	36.7%	6.7%	37.1%	34.3%	-2.9%	2.4%
(29)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか	83.3%	100.0%	16.7%	94.3%	97.1%	2.9%	2.9%
(92)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	90.0%	100.0%	10.0%	100.0%	97.1%	-2.9%	2.9%
(90)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	90.0%	100.0%	10.0%	100.0%	94.3%	-5.7%	5.7%
(12)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	76.7%	93.3%	16.7%	85.7%	85.7%	0.0%	7.6%

(41)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	60.0%	73.3%	13.3%	68.6%	65.7%	-2.9%	7.6%
(105)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか	90.0%	96.7%	6.7%	94.3%	88.6%	-5.7%	8.1%
(11)	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	86.7%	96.7%	10.0%	82.9%	85.7%	2.9%	11.0%
(40)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	6.7%	20.0%	13.3%	11.4%	8.6%	-2.9%	11.4%
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか（学期に数回程度以上）	50.0%	83.3%	33.3%	74.3%	71.4%	-2.9%	11.9%
(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	66.7%	86.7%	20.0%	57.1%	68.6%	11.4%	18.1%
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか（週に複数回以上）	80.0%	93.3%	13.3%	74.3%	74.3%	0.0%	19.0%
(61)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	83.3%	96.7%	13.3%	77.1%	74.3%	-2.9%	22.4%
(67)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	43.3%	80.0%	36.7%	51.4%	57.1%	5.7%	22.9%
(60)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	33.3%	50.0%	16.7%	22.9%	20.0%	-2.9%	30.0%
(66)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	26.7%	63.3%	36.7%	40.0%	31.4%	-8.6%	31.9%
(39)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	76.7%	90.0%	13.3%	80.0%	51.4%	-28.6%	38.6%

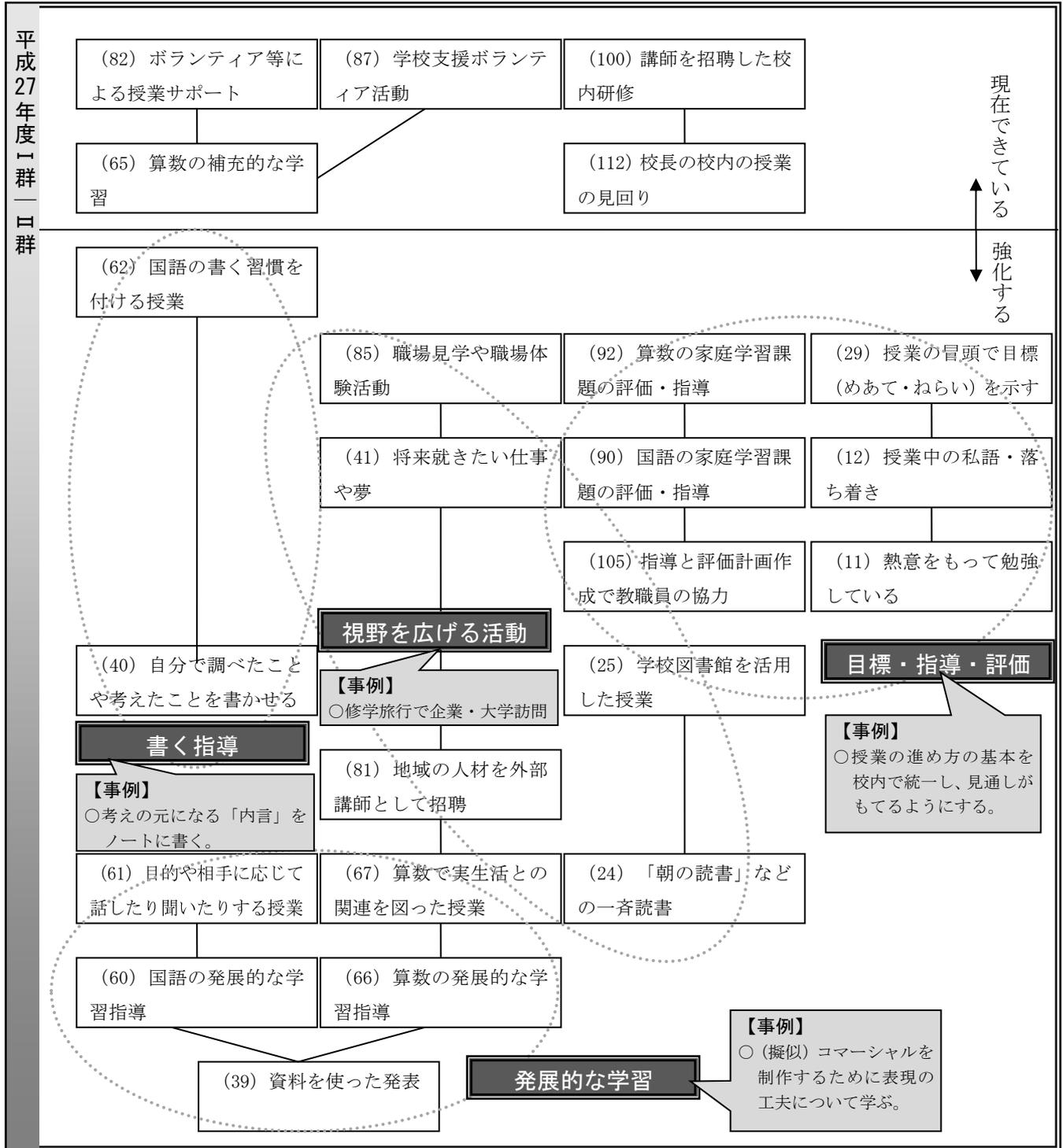
《結果より》

I群とII群との間で取組の差が大きかった（I群で効果が大きかった）と考えられる項目

- ・資料を使って発表ができるよう指導
- ・発展的な学習の指導（国語、算数）
- ・実生活における事象との関連を図った授業（算数）
- ・目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業（国語）
- ・一斉読書の時間の設定（朝の読書など）
- ・地域の人材を外部講師として招聘した授業
- ・学校図書館を活用した授業
- ・自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導 等

これらの項目は、授業における児童の主体的な学習の実現に向けて、取り組んでいく優先課題の設定の参考になります。自校の状況、児童の状況に応じて、取組の内容を選択し、組織的・継続的な取組とすることが大切です。

●項目数が多く、表では全体像をつかみにくいので、図でまとめました



前出の表の質問項目を要約したボックスをほぼ同様の並びで縦に並べ、関連する項目を線でつなぐと、

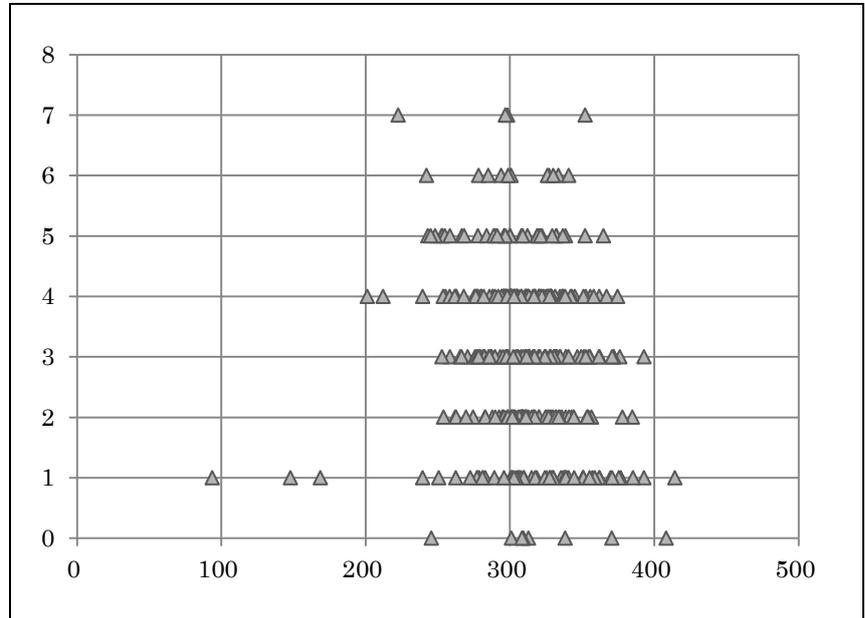
- 家庭学習も含めた指導と評価の一体化、目標の共有による授業への集中
- 一定のスキルが必要である「書くこと」の指導の強化
- さまざまなことに興味関心を抱けるよう視野を広げる活動
- 発展的な学習、話し合う活動や資料等を使った発表等の授業の設定

というポイントが見えてきます。現在できている補充的な学習など基礎基本を重視した指導も大切ですが、併せて上位層を伸ばす発展的な学習や活用しながら習得に戻るような指導も大切です。また、書く指導は、まずは「習慣」化していくことから始め、その後、「考え」を記述させる、という段階的な指導がよく行われています。

就学援助を受けている児童の在籍状況と、学力との関係を見るために、県内の各小学校が選んだ選択肢（縦軸）ごとに、その学校の教科に関する調査の平均正答率の合計がどこに位置しているかをプロットしました。

<選択肢>

- 1 在籍していない
- 2 5%未満
- 3 5%以上、10%未満
- 4 10%以上、20%未満
- 5 20%以上、30%未満
- 6 30%以上、50%未満
- 7 50%以上
- 0 無回答・不明



今回の調査では、就学援助を受けている児童の在籍数と平均正答率の合計との間には、明確な関係性は見られませんでした。

しかしながら、そうした中で、就学援助を受けている児童の在籍数が同じような状況の学校の中にも平均正答率が高い学校とそうでない学校があります。それらの学校の指導の違いを学校質問紙から探ってみます。

児童の20%以上が就学援助を受けている学校（選択肢5～7を選択）は26校あり、そのうち、国語A・国語B・算数A・算数B・理科の合計が全国平均を超えている学校が4校ありました。これらをI群とし、26校の中で平均正答率の合計が低い方の4校をII群とします。

I群とII群の学校質問紙の回答状況の差がある質問を抽出し、同様の環境の中でどのような指導の違いがあるのかを見ると、教員研修、言語活動・主体的な学習、学習規律、読書指導、授業の振り返り等に差異があることがわかります。

(数字は選択肢)

番号	質問項目	群	回答状況			
(103)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	I群	1	1	1	5
		II群	6	5	1	7
(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	I群	2	1	2	1
		II群	3	3	3	2

第3章 小学校詳細分析～学校質問紙～

(44)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	I 群	1	1	1	1
		II 群	2	2	3	2
(95)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数共通）	I 群	1	2	2	2
		II 群	4	2	3	3
(17)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	I 群	2	1	1	2
		II 群	2	3	4	1
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	I 群	3	3	2	2
		II 群	2	2	5	5
(95)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	I 群	1	3	1	1
		II 群	3	3	2	2
(36)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	I 群	2	1	2	1
		II 群	2	3	3	2
(38)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	I 群	2	1	2	2
		II 群	2	3	3	3
(39)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	I 群	2	2	2	2
		II 群	3	3	3	3
(97)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	I 群	2	3	2	2
		II 群	4	3	3	3
5教科区分の平均正答率の合計		I 群	319.2	320.3	330	336.8
		II 群	242.2	243.2	245.2	253.2

4

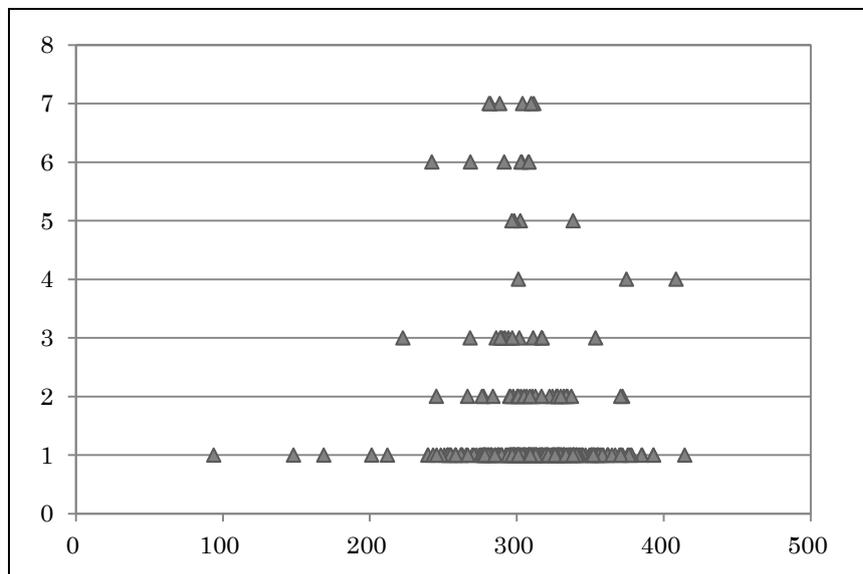
日本語指導が必要な児童の在籍数との関係について

【関連：第6章P.80～、第10章P.123】

日本語指導が必要な児童の在籍状況と、学力との関係を見るために、県内の各小学校が選んだ選択肢（縦軸）ごとに、その学校の教科に関する調査の平均正答率の合計がどこに位置しているかをプロットしました。

<選択肢>

- 1 在籍していない
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人
- 5 4人
- 6 5～7人
- 7 8人以上
- 0 無回答不明



日本語指導が必要な児童の在籍数と平均正答率の合計との間には、明確な関係性は見られません。

しかしながら、そうした中で、日本語指導が必要な児童の在籍数が同じような状況の学校の中にも平均正答率が高い学校とそうでない学校があります。それらの学校の指導の違いを学校質問紙から探ってみます。

複数名の日本語指導が必要な児童がいる学校（選択肢3～7を選択）は33校あり、そのうち、国語A・国語B・算数A・算数B・理科の合計が全国平均を超えている学校が6校ありました。これらをI群とし、33校の中で平均正答率の合計が低い方の6校をII群とします。

I群とII群の学校質問紙の回答状況の差がある質問を抽出し、同様の環境の中でどのような指導の違いがあるのかを見ると、読書指導、地域との関わり、きめ細かい家庭学習指導、教員研修の在り方等に差異があることがわかります。

(数字は選択肢)

番号	質問	群	回答状況					
			2	2	1	1	2	1
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	I群	2	2	1	1	2	1
		II群	5	1	5	3	2	3
(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	I群	3	2	1	1	2	1
		II群	2	2	4	2	3	2
(95)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数共通）	I群	2	2	2	1	2	1
		II群	1	4	3	3	2	2

第3章 小学校詳細分析～学校質問紙～

(96)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数共通)	I群	1	2	2	1	1	1
		II群	1	2	4	2	2	2
(88)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	I群	1	2	2	1	2	2
		II群	2	2	3	2	3	2
(101)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	I群	1	1	1	1	1	1
		II群	1	1	2	2	3	1
(104)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	I群	2	1	2	1	2	1
		II群	2	2	3	2	2	2
5教科区分の平均正答率の合計		I群	316.9	317.2	338.4	353.7	374.7	408.4
		II群	222.6	242.2	268.2	268.4	281.2	282.0

第4章 小学校詳細分析～児童質問紙～

1

児童質問紙と教科に関する調査との関連

【関連：第1章P.5～、第7章P.82～】

「全国学力・学習状況調査結果チャート[児童生徒]」の領域名を基本に分類しています。
各領域では、教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目について以下に分析します。

◆◆国語への関心◆◆

「理由がわかるように書く」ということを常に意識できるような指導が大切です。

【関連項目】

番号	質問
(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか
(55)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

よく言われるように国語の力は全ての教科の基礎であり、質問番号(50)は全ての教科において関連が見られます。

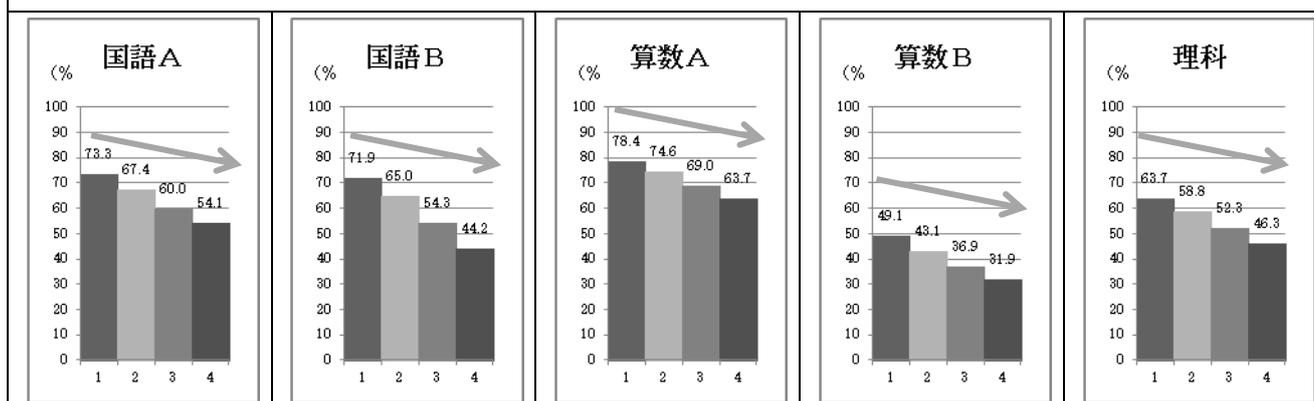
また、質問番号(55)は、「判断してその理由を書くような問題」を解決できるような学習・練習ができていないかを聞いているもので、全教科に関連があり、「国語B」との関連が顕著に出ています。

理由を挙げて書く場合、「なぜかという～」、「その理由は～」、「～のためである。」などの表現についても指導する必要があります。また、普段から、理由や事例などを挙げながら、筋道を立てて話すことを意識させることも大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

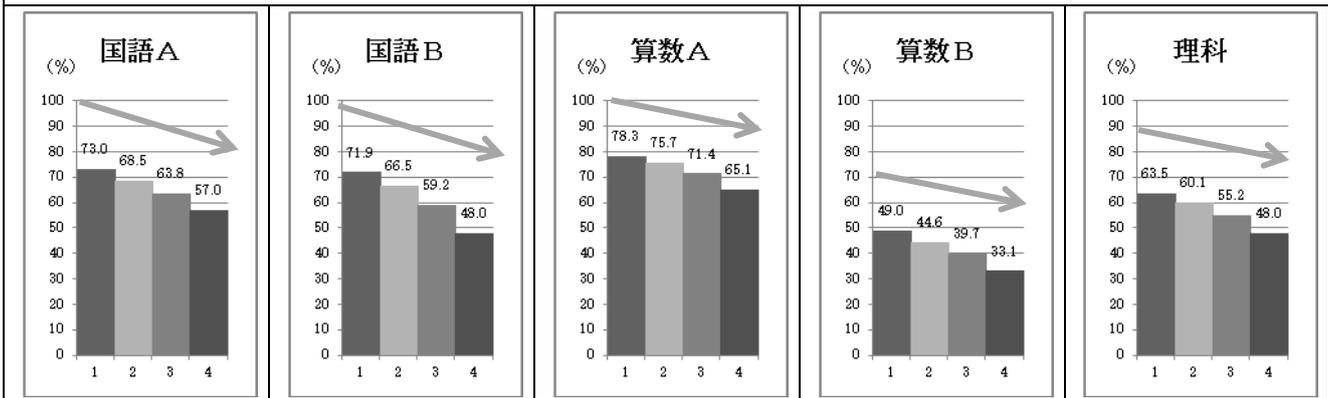
(50) 国語の授業の内容はよく分かりますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(55) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆算数への関心◆◆

「わけ」を考え、理解することと、答えを導くプロセスが大切です。

【関連項目】

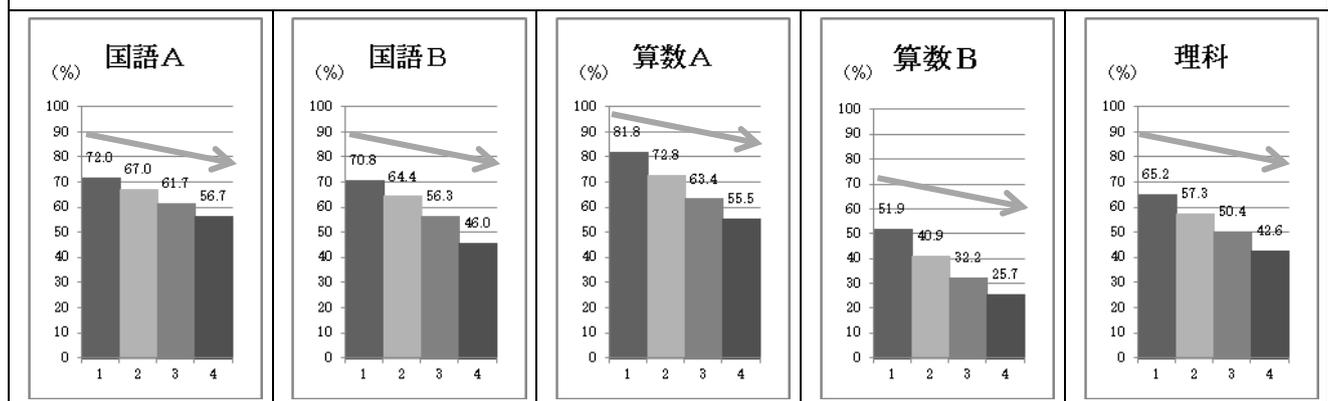
番号	質問
(60)	算数の授業の内容はよく分かりますか
(66)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
(67)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

算数科の学習では根拠を明らかにして論理的に考える力や課題を解決するためのプロセスを組み立て、実行する力を養っているという認識をもって指導し、そのことが児童にも伝わるような工夫が必要です。これらの力は国語科とも共通しており、他教科との関連も深くなっています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

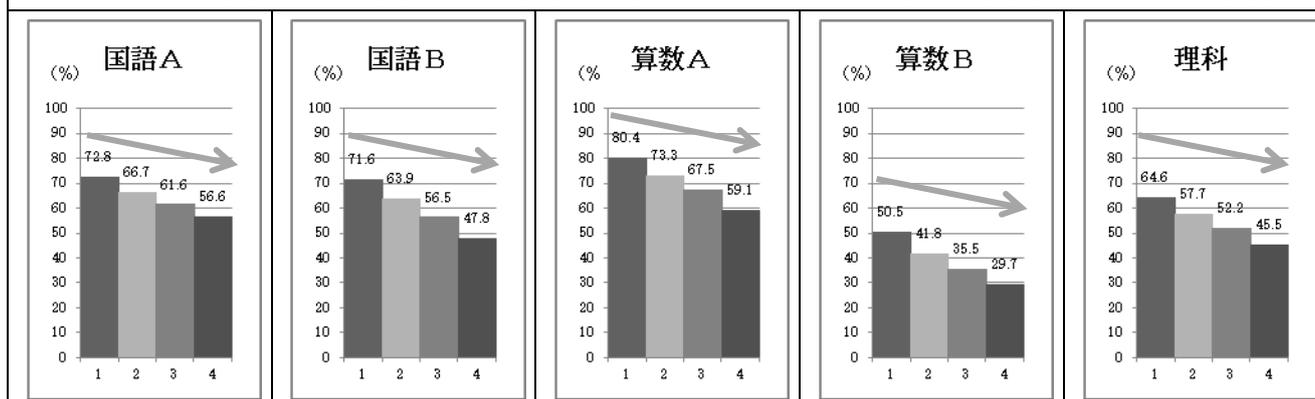
(60) 算数の授業の内容はよく分かりますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



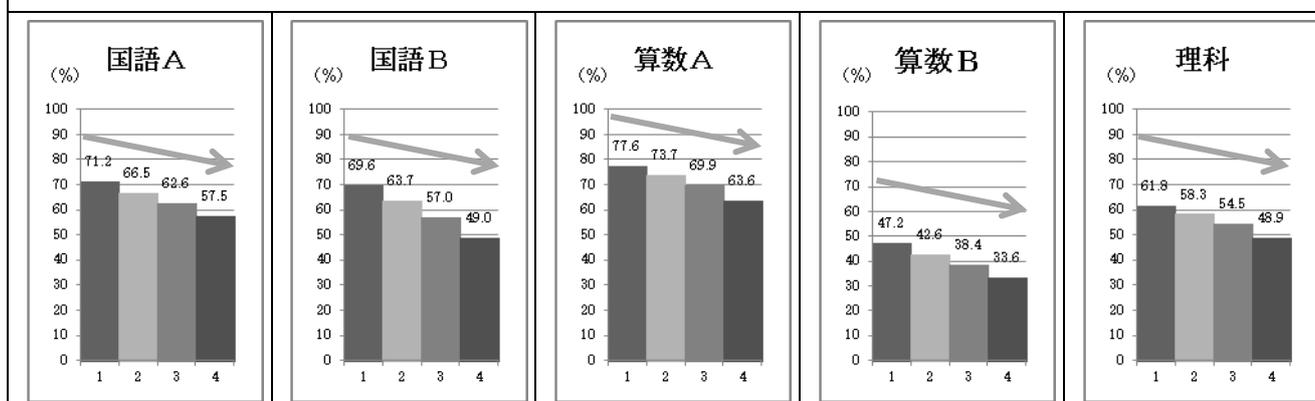
(66) 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(67) 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆理科への関心◆◆

理科の授業で観察、実験を通して自分の考えを説明する場面をつくりましょう。

【関連項目】

番号	質問
(80)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか
(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか
(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

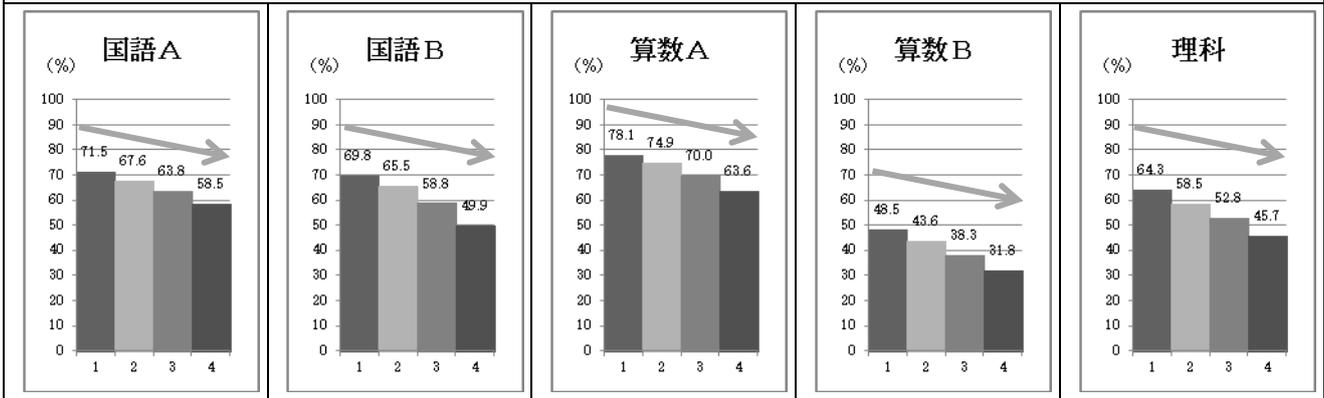
質問番号(80)と平均正答率との関連から、観察・実験を通じて考察する力が「国語B」や「算数B」と関連していることがわかります。

観察・実験では、事前の仮説、方法、結果、考察をできるだけ個人個人が考えたうえでノートに書くようにし、それを相互に発表し、考え方を学び合える場をつくるのが大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

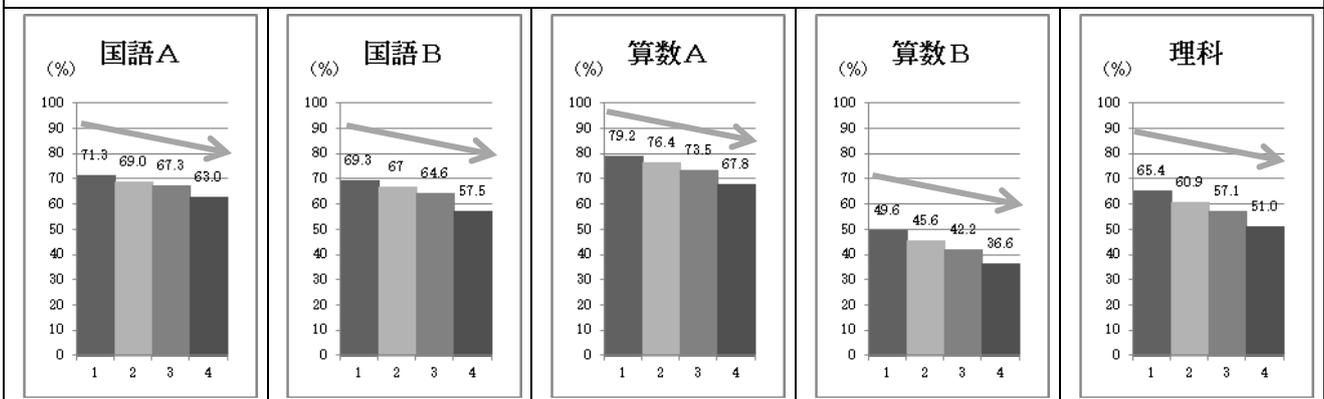
(80) 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



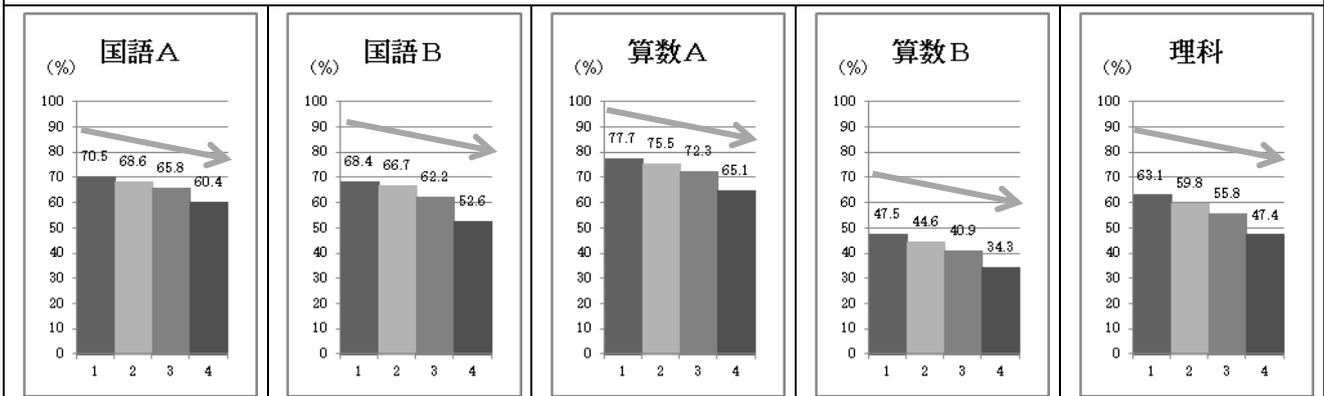
(76) 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(79) 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆学校での学び◆◆

授業の「めあて」の理解は全体の学力に、「振り返り」は特に下位層に影響しています。

【関連項目】

番号	質問
(41)	5年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか
(43)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか
(42)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

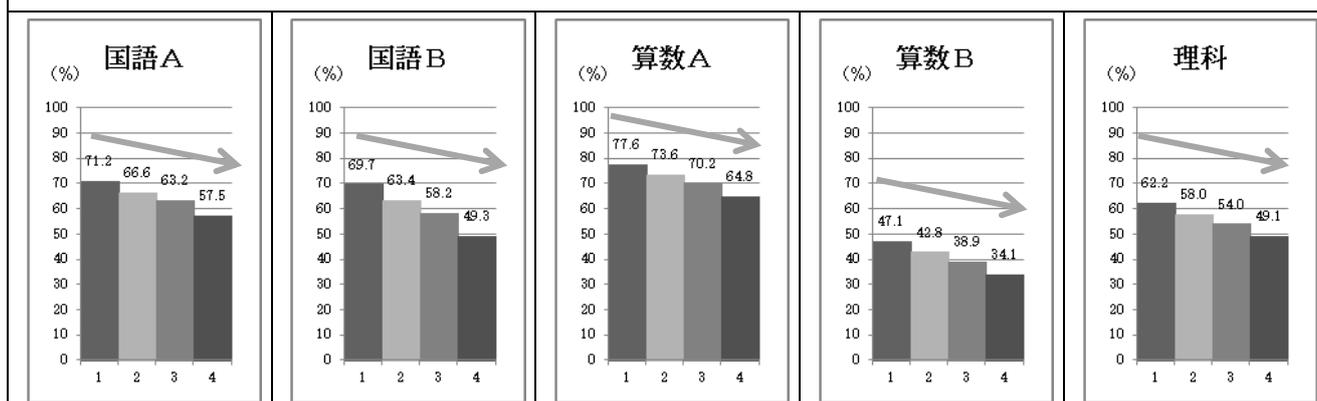
授業の目標（めあて・ねらい）が示されていたか、ノートに書いたか、という質問番号（41）と（43）と平均正答率の関係は、どの教科とも関連が見られます。

一方、質問番号（42）の振り返る活動については、「当てはまらない」と答えた児童の平均正答率がやや目立って低くなっています。振り返りシートを配って書かせるだけでなく、振り返り方や振り返る内容を個別に指導することが必要な児童もいます。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

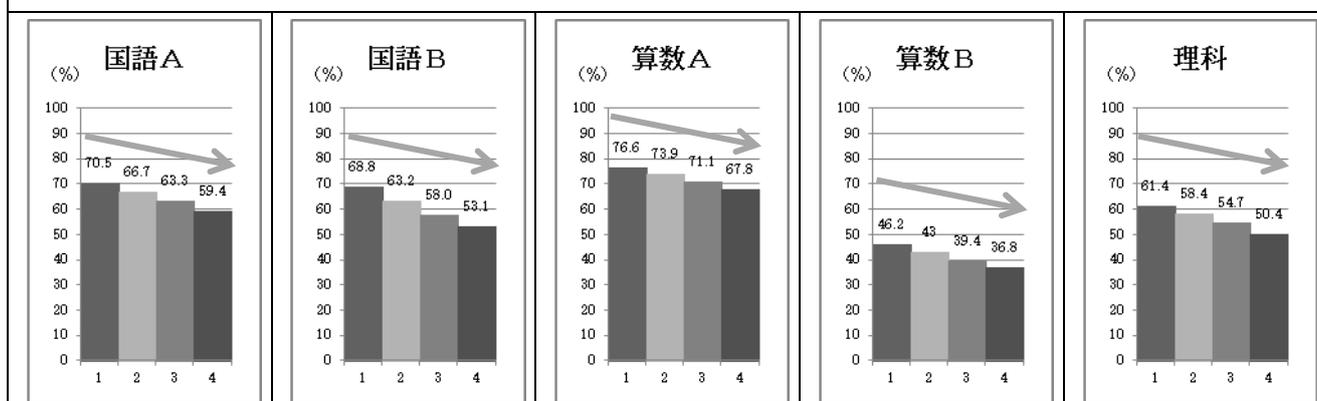
(41) 5年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



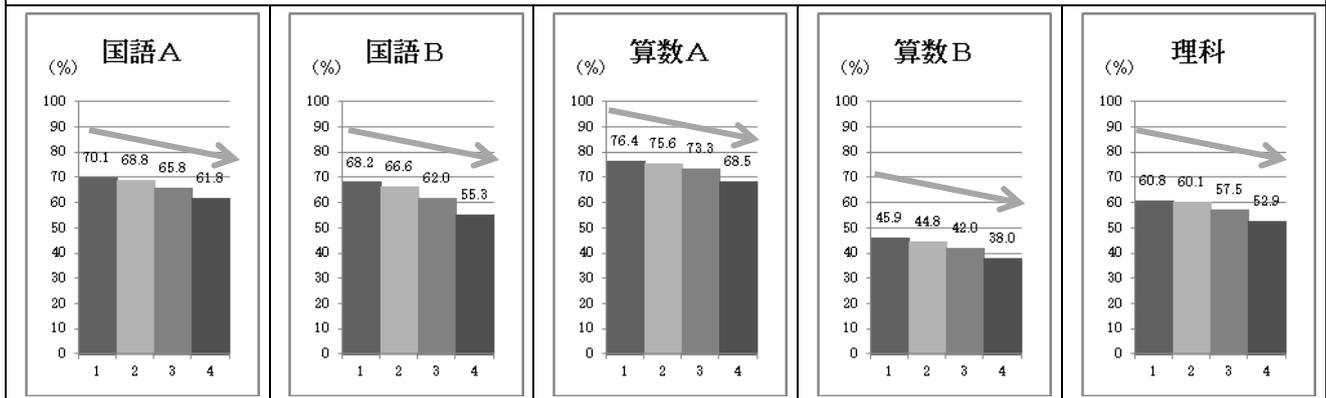
(43) 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(42) 5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆総合的な学習への関心◆◆

社会で求められる力と小学校で培う力の関連の可視化と主体的な学び方の獲得が大切です。

【関連項目】

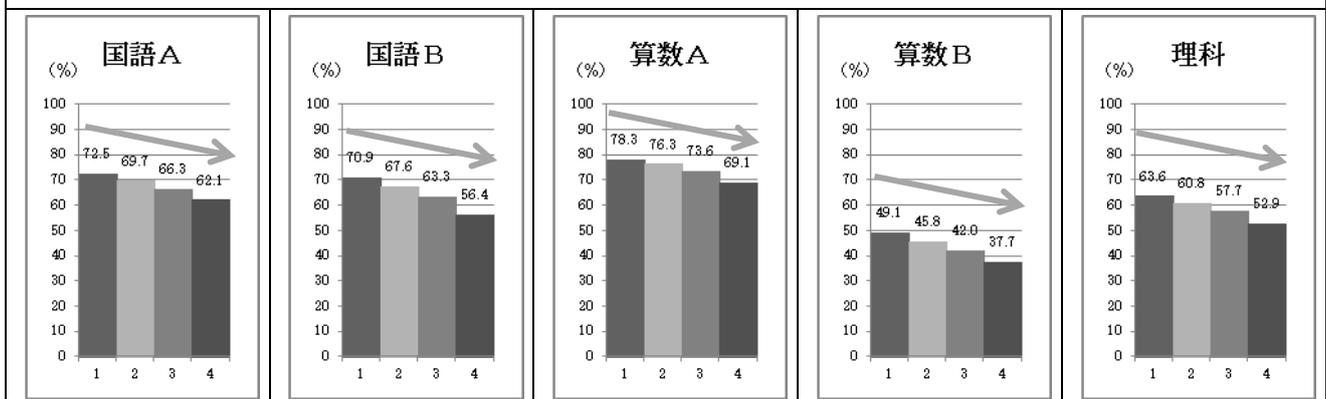
番号	質問
(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

学校は子どもたちに力を付けて社会に送り出していく所です。「総合的な学習の時間」の中で社会で求められるどのような力をつけるのか、その力をつけるためにどのような活動を行うのかを明確にする必要があります。次期学習指導要領では、この考え方が各教科等にも広がっていき、どの教科でどのような力をつけるのかを明確にしていく方向で検討されています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

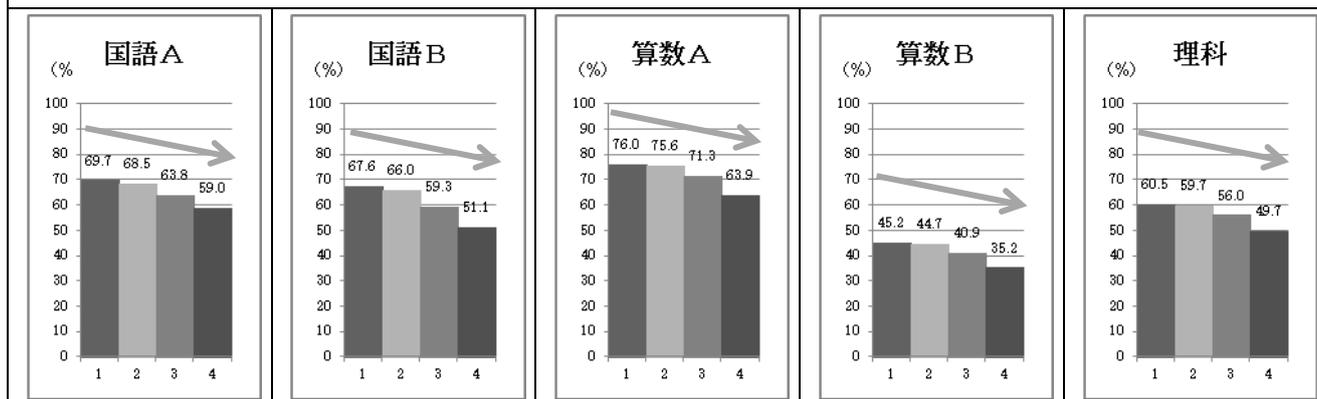
(37) 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(36)「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆規範意識◆◆

規範意識は「国語B」との関連が見られます。

【関連項目】

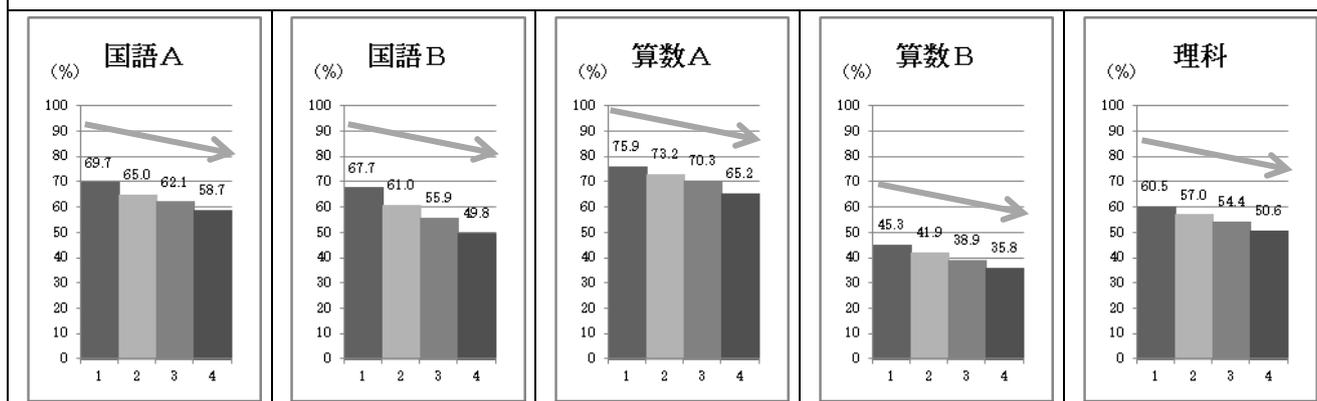
番号	質問
(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
(35)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

質問番号 (33)、(35)、(34) いずれも「国語B」との関連が最も顕著です。論理的に考え、相手の言葉を受け止め、伝え合う言葉をもつことが規範意識にも影響しています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

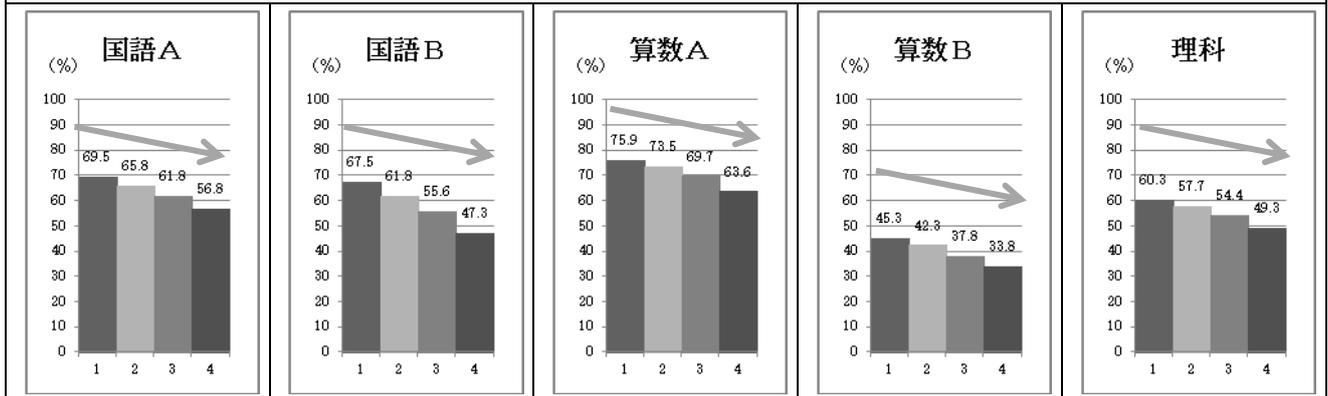
(33) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



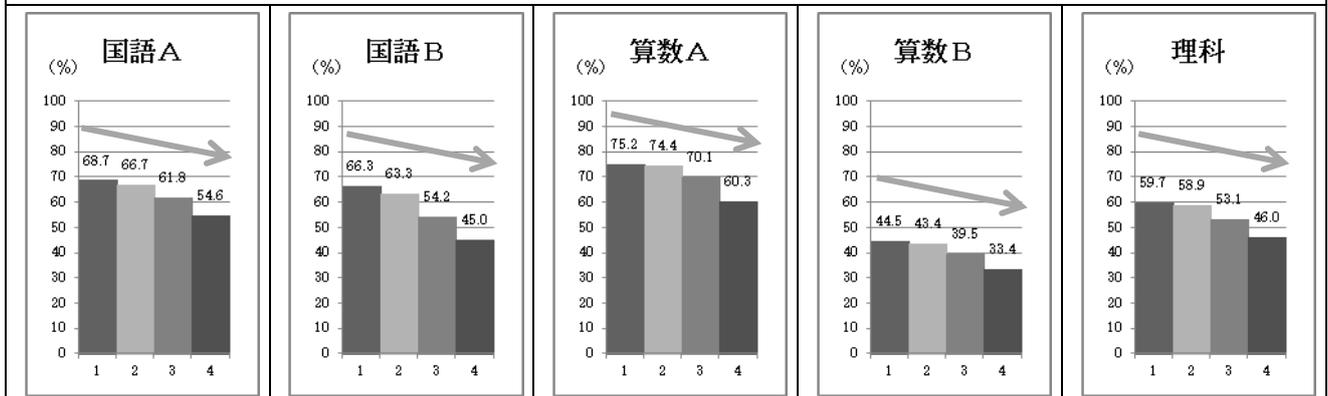
(35) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(34) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆自尊感情◆◆

全員が自己肯定感を持てるようなしかけづくりが大切です。

【関連項目】

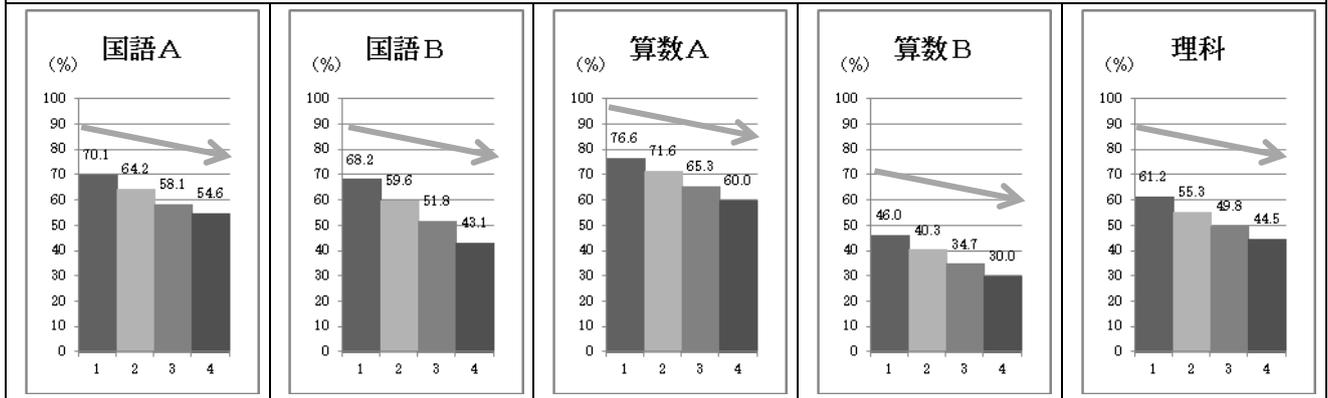
番号	質問
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
(6)	自分には、よいところがあると思いますか
(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

質問番号(4)については全体的に平均正答率との関連が見られます。しかし質問番号(6)、(5)は選択肢1～3ではあまり差がなく、選択肢4を選んだ児童の平均正答率が他を選んだ児童よりも低くなっています。全体としての自尊感情を高めることも大切ですが、一部の児童については、個に応じた指導等が必要です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

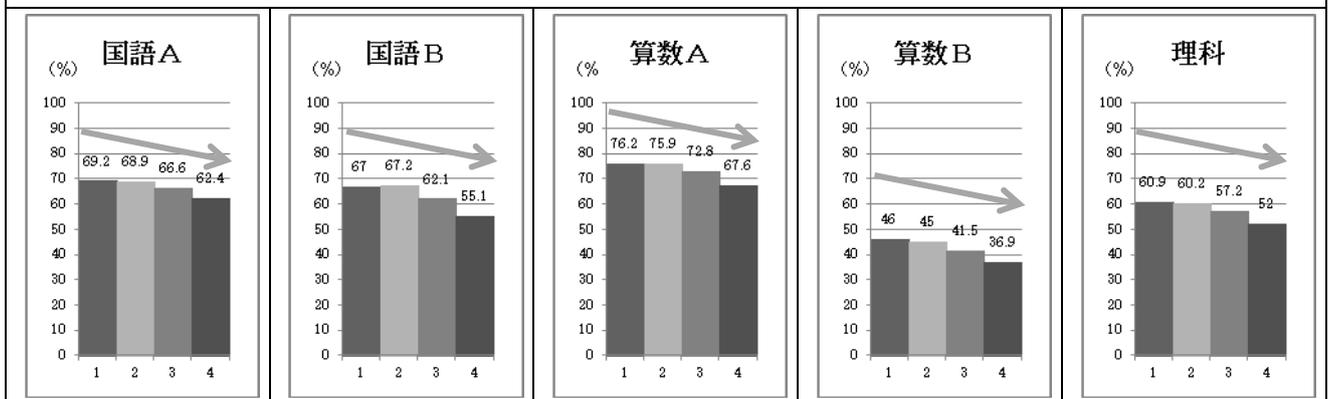
(4) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



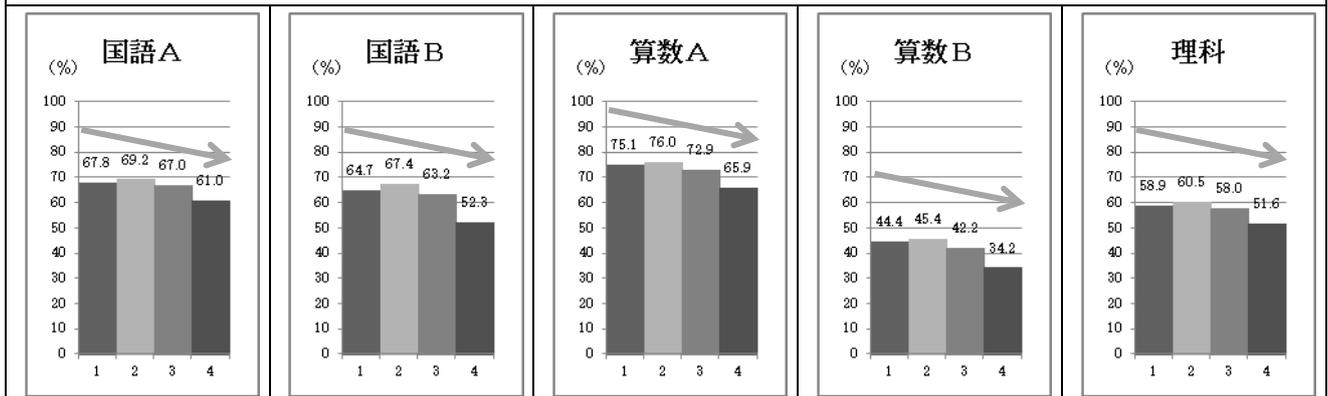
(6) 自分には、よいところがあると思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(5) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆言語活動・読解力◆◆

「自分の考えを発表する機会」の有無はどの教科とも関連しています。

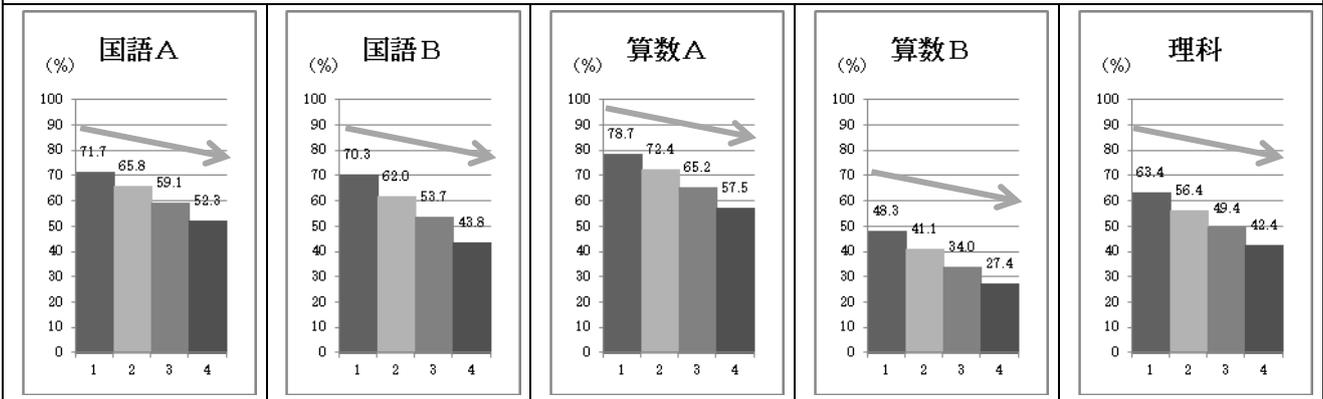
【関連項目】

番号	質問
(38)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

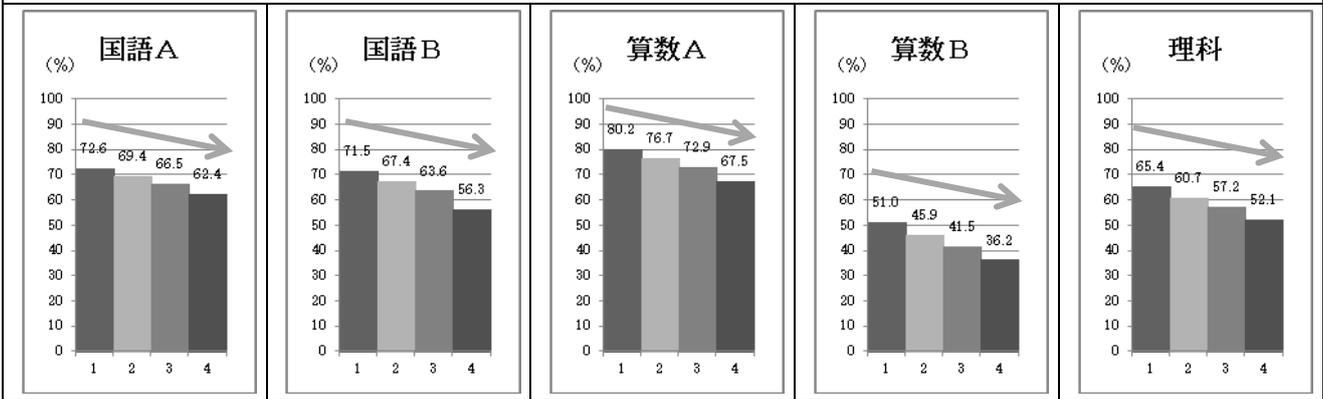
質問番号(38)はどの教科とも関連が深く、「発表の指導をした」ではなく個々の児童が発表する機会が与えられていたか、という観点での見直しも必要です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

(38) 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
 (1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(7) 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
 (1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆学習習慣1◆◆

まずは宿題、そして自分で計画を立てて復習をできるようにすることが重要です。

【関連項目】

番号	質問
(21)	家で、学校の宿題をしていますか
(22)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか
(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか

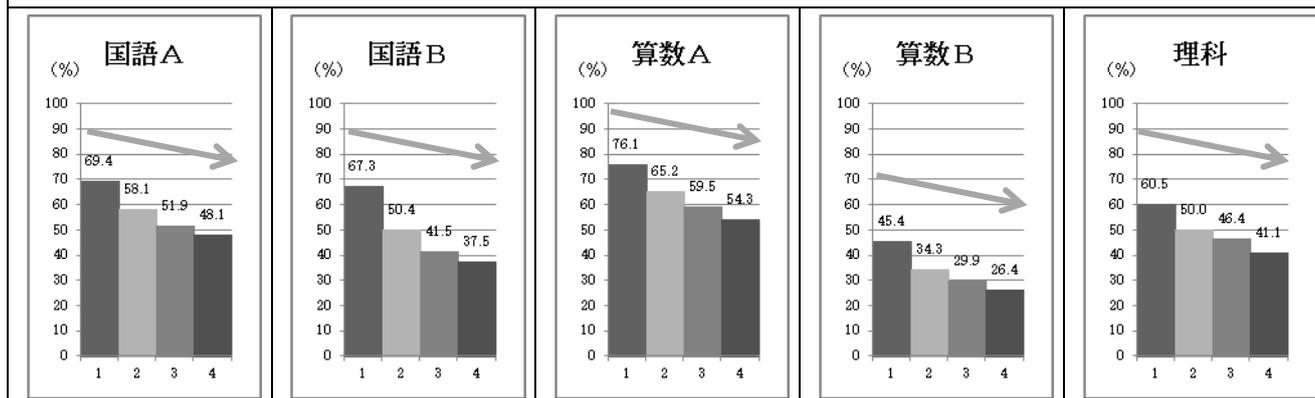
質問番号 (21) の宿題については、選んだ選択肢によるはっきりとした段差がついています。まずは宿題をきちんとやるのが大切です。放課後の学校施設の利用等、政策としてこの課題を解決しようとしている自治体も増えています。

質問番号 (20) の学習計画と質問番号 (23) の復習は同じような傾向を示しています。最初から自主性を発揮することはできません。自主的な復習とは何をどうすればよいのか、その方法を教え、実行できる支援をしながら徐々に「自主」へと導いていくことが大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

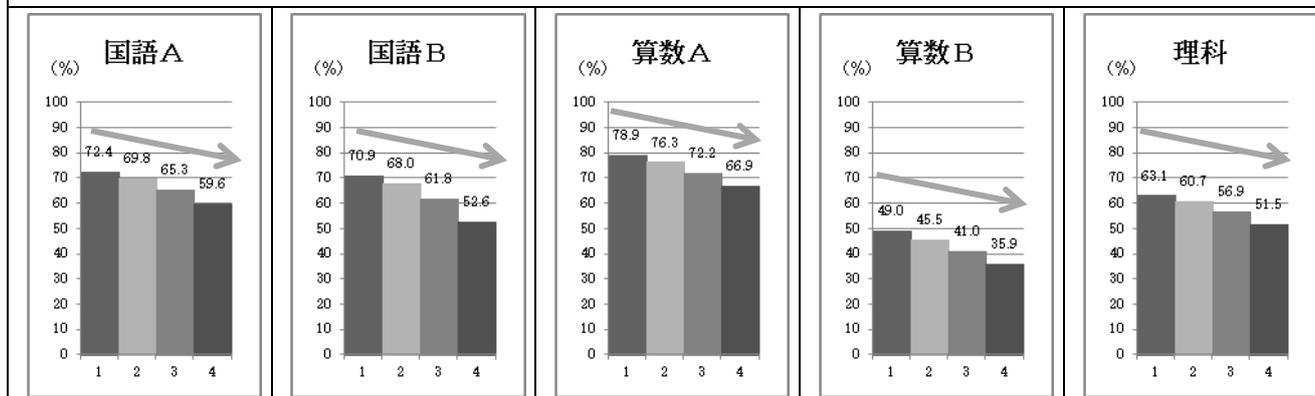
(21) 家で、学校の宿題をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



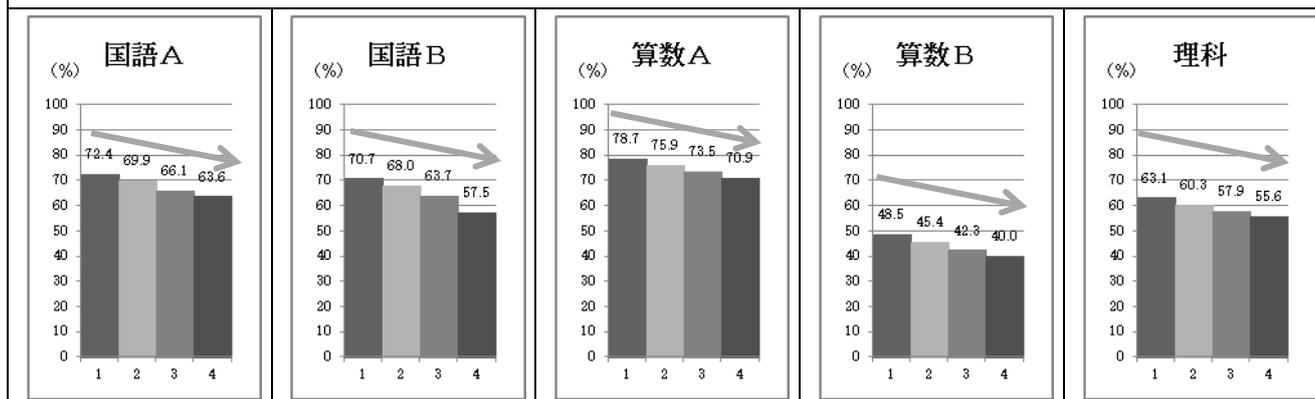
(20) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



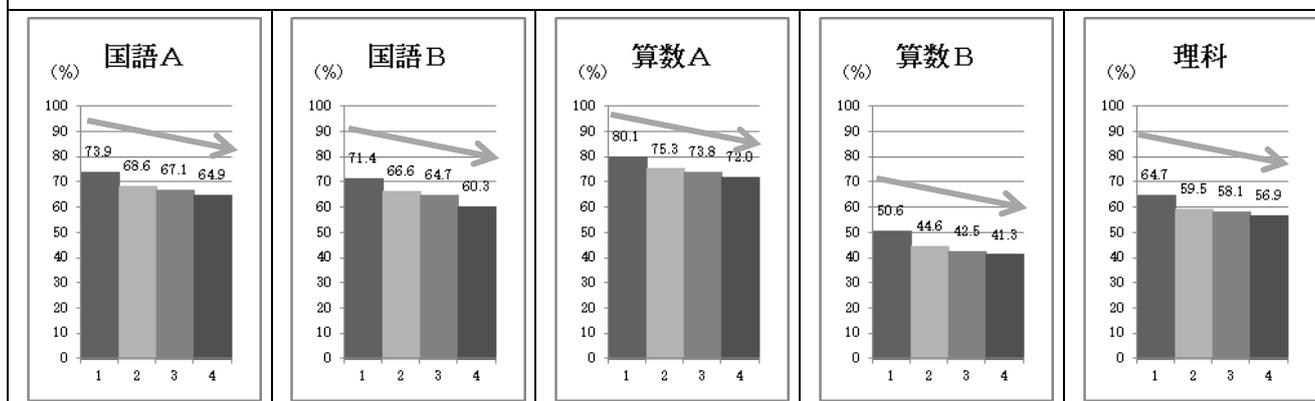
(23) 家で、学校の授業の復習をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



(22) 家で、学校の授業の予習をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



◆◆学習習慣2◆◆

土日も含めた家庭学習の促進と各家庭でのルールづくりについて会話をすることが大切です。

【関連項目】

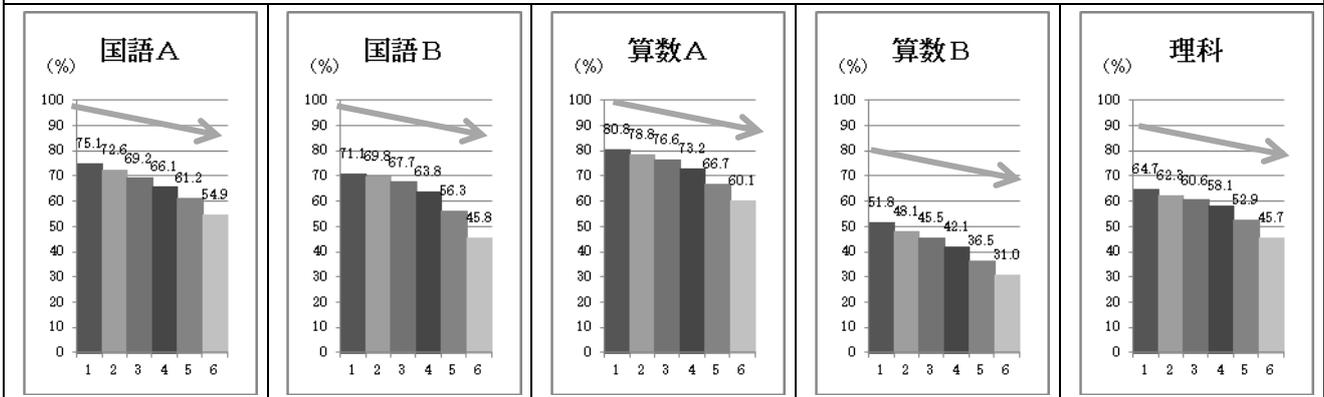
番号	質問
(13)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
(14)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
(12)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）
(11)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

家庭での時間の使い方は学校だけでは解決できない課題です。家庭への協力を求めるとともに、協力を求める際にも、自治体や学校が規則を決めて「守らせる」というやり方だけではなく、親子が話し合って自らルールをつくり、それを守る、という方法が増えてきています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

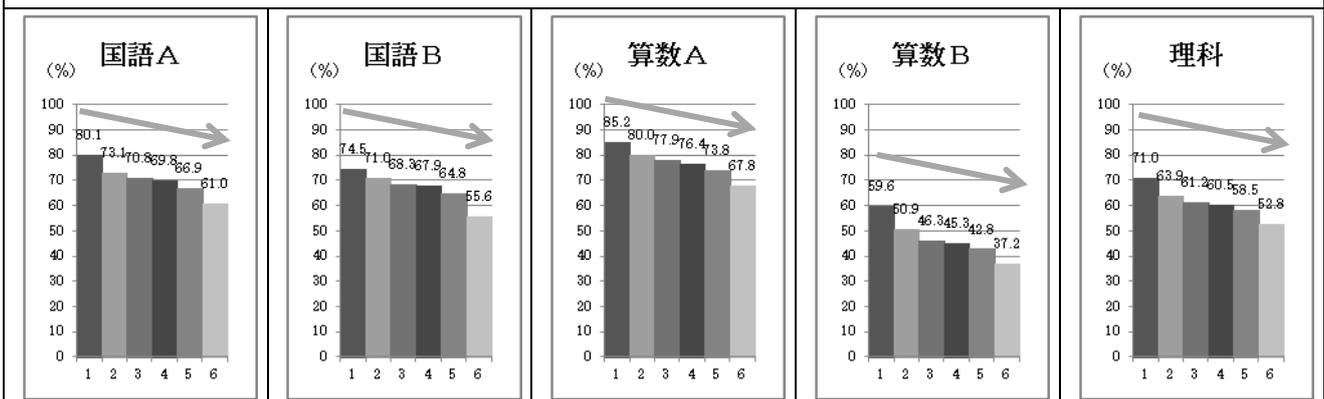
(13) 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

- (1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない)



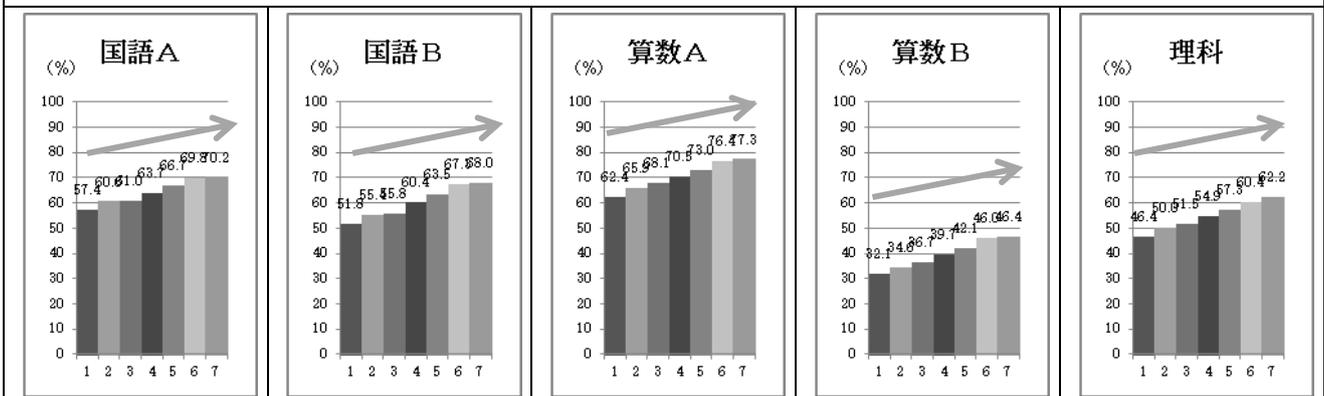
(14) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

- (1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない)



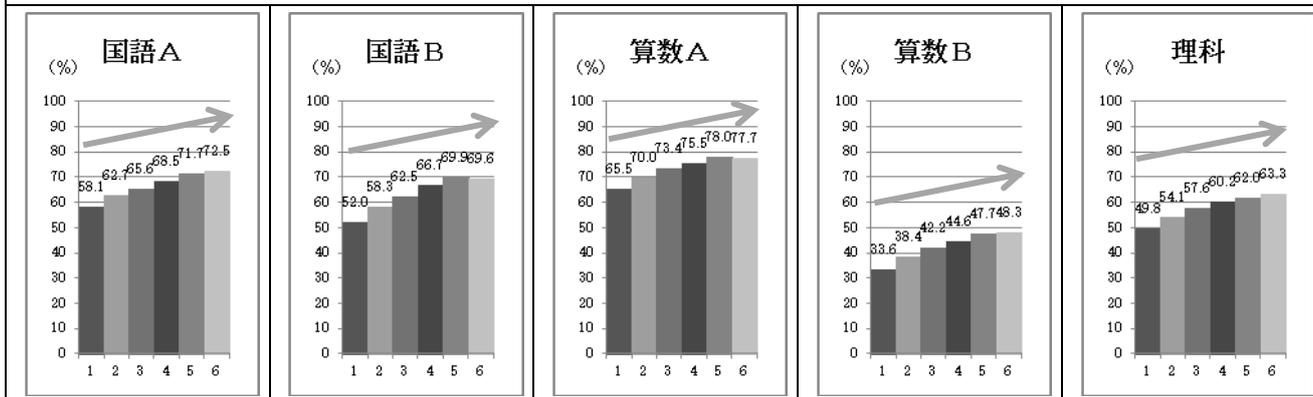
(12) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

- (1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 30分以上、1時間より少ない 6 30分より少ない 7 携帯電話やスマートフォンを持っていない)



(11) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

- (1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない)



◆◆解答への姿勢◆◆

調査実施に対する事前の児童の心構えの形成が大切です。

【関連項目】

番号	質問
(57)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか
(68)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか
(82)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか

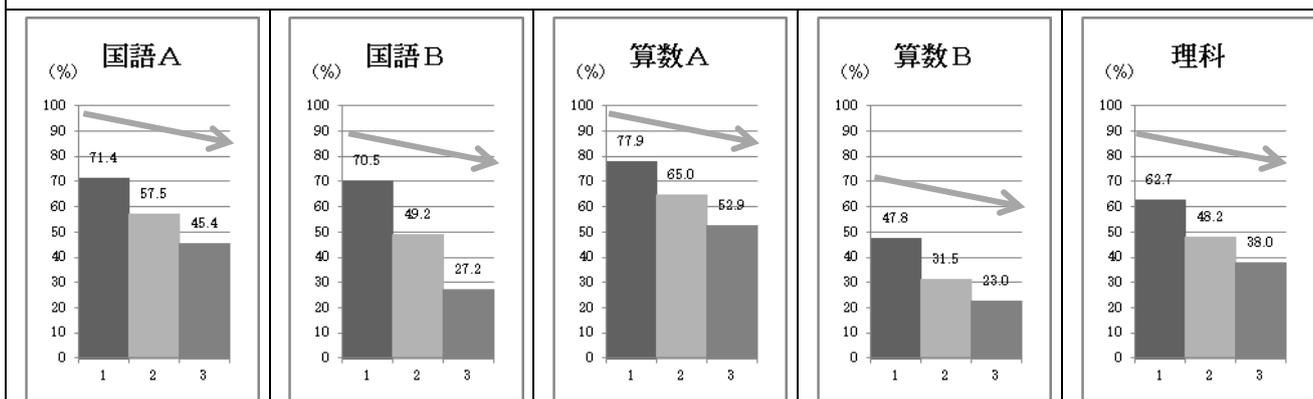
どの質問項目も全ての教科と明確な関連があることがわかります。教科に関係なく、調査問題に対して最後まで粘り強く取り組めるかということ、もっと言えば、何事にも粘り強く取り組むことができるか、ということが結果に反映されています。

また、担任等からの調査前の意義の説明や調査中の励ましの有無にも影響があると考えられます。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

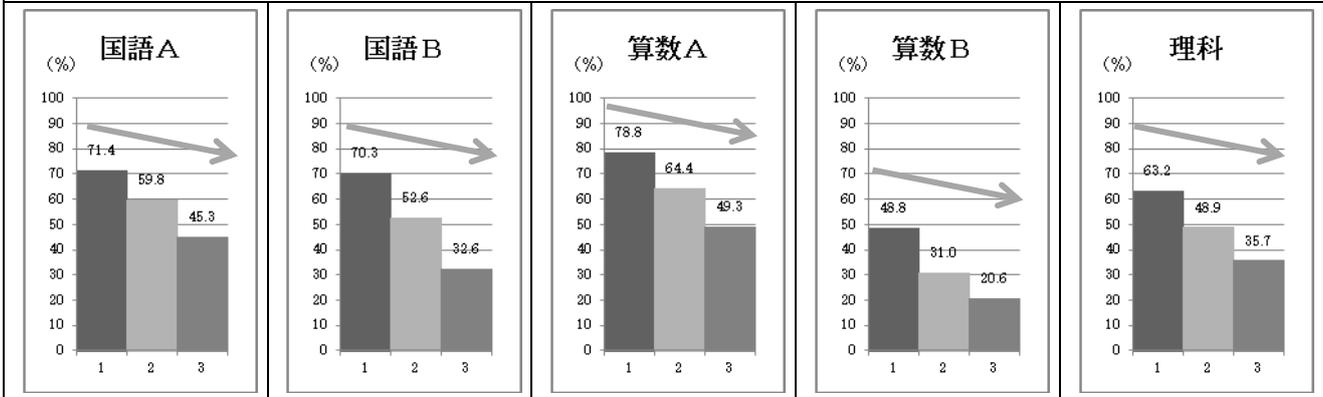
(57) 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

- (1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めた
りしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった)



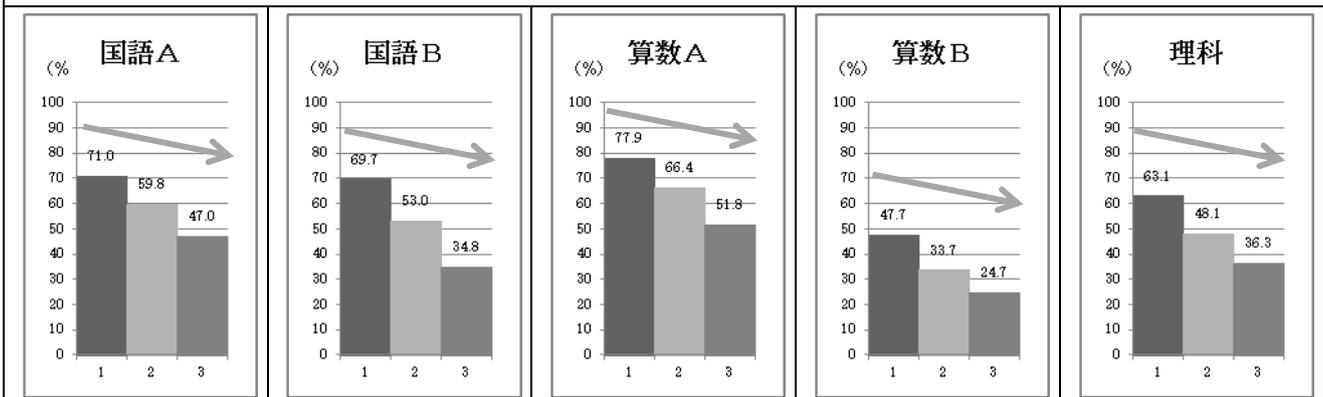
(68) 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか

- (1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めた
りしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった)



(82) 今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか

- (1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めた
りしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった)



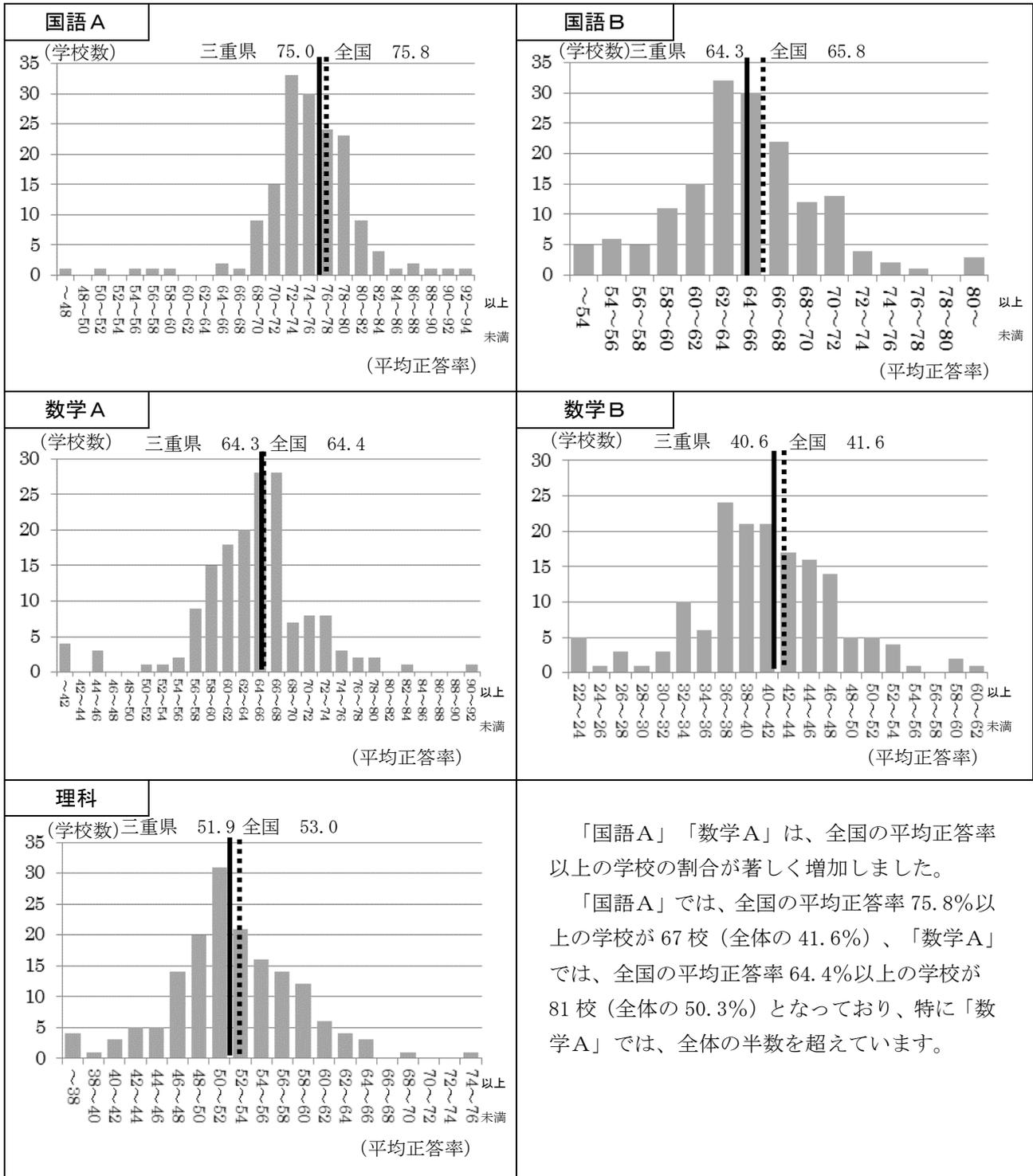
第5章 中学校詳細分析～教科に関する調査～

1

平均正答率による学校の分布

【関連：第2章P.10～】

学校ごとの分析を踏まえ、各学校の課題に応じた取組が必要です。



「国語A」「数学A」は、全国の平均正答率以上の学校の割合が著しく増加しました。

「国語A」では、全国の平均正答率75.8%以上の学校が67校（全体の41.6%）、「数学A」では、全国の平均正答率64.4%以上の学校が81校（全体の50.3%）となっており、特に「数学A」では、全体の半数を超えています。

2

正答数の度数分布

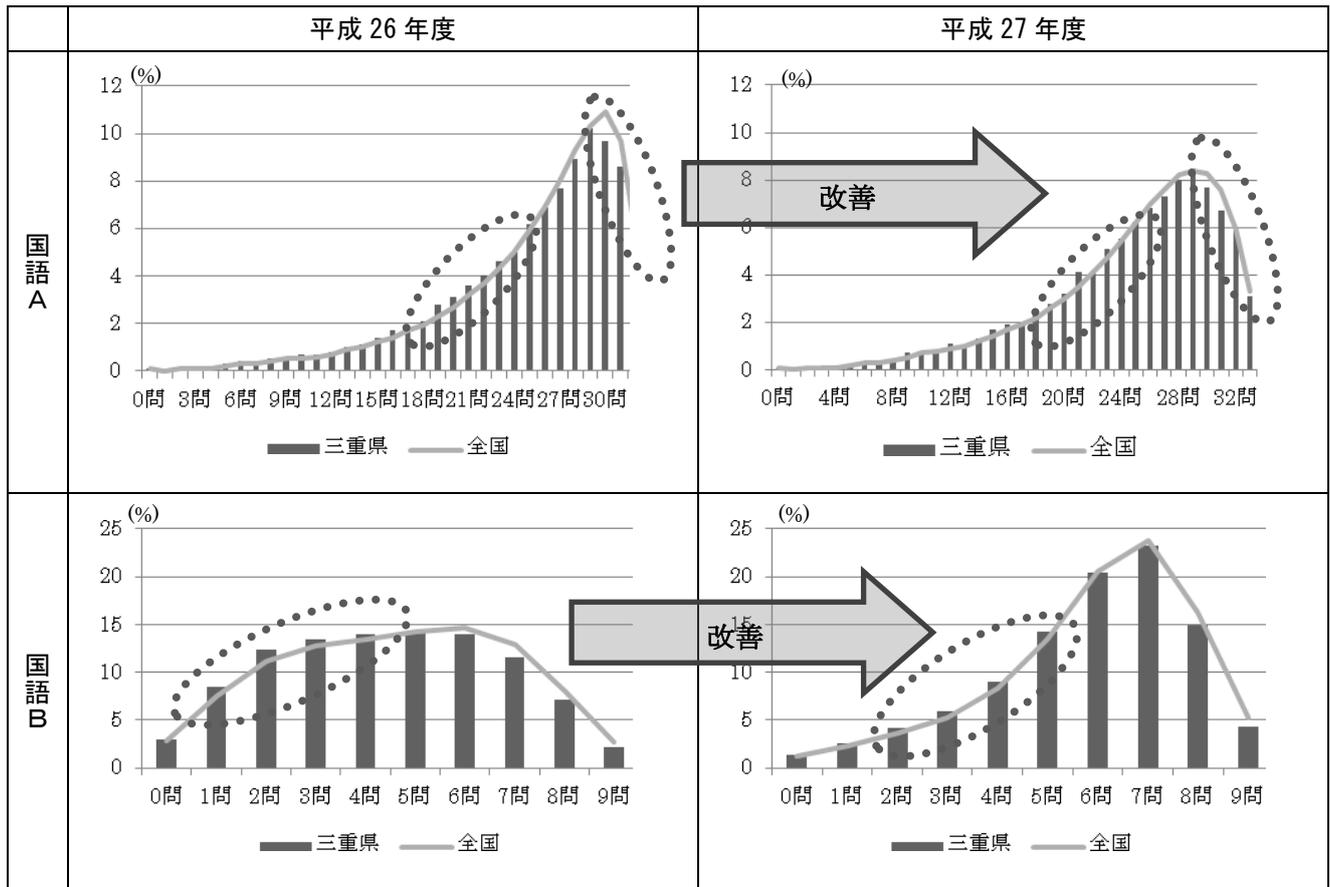
【関連：第2章P.11～】

正答数による度数分布グラフを各教科2か年分並べ、過年度からの変化を見ていきます。

国語

「国語A」「国語B」ともに、全国の分布とほぼ同じ形になっています。

「国語A」「国語B」ともに、全国の分布とほぼ同じ形になっており、正答数の割合において、全国との差が縮まり、やや改善されている傾向が見られます。「国語A」では、正答数が多い分布においてもやや改善が見られます。

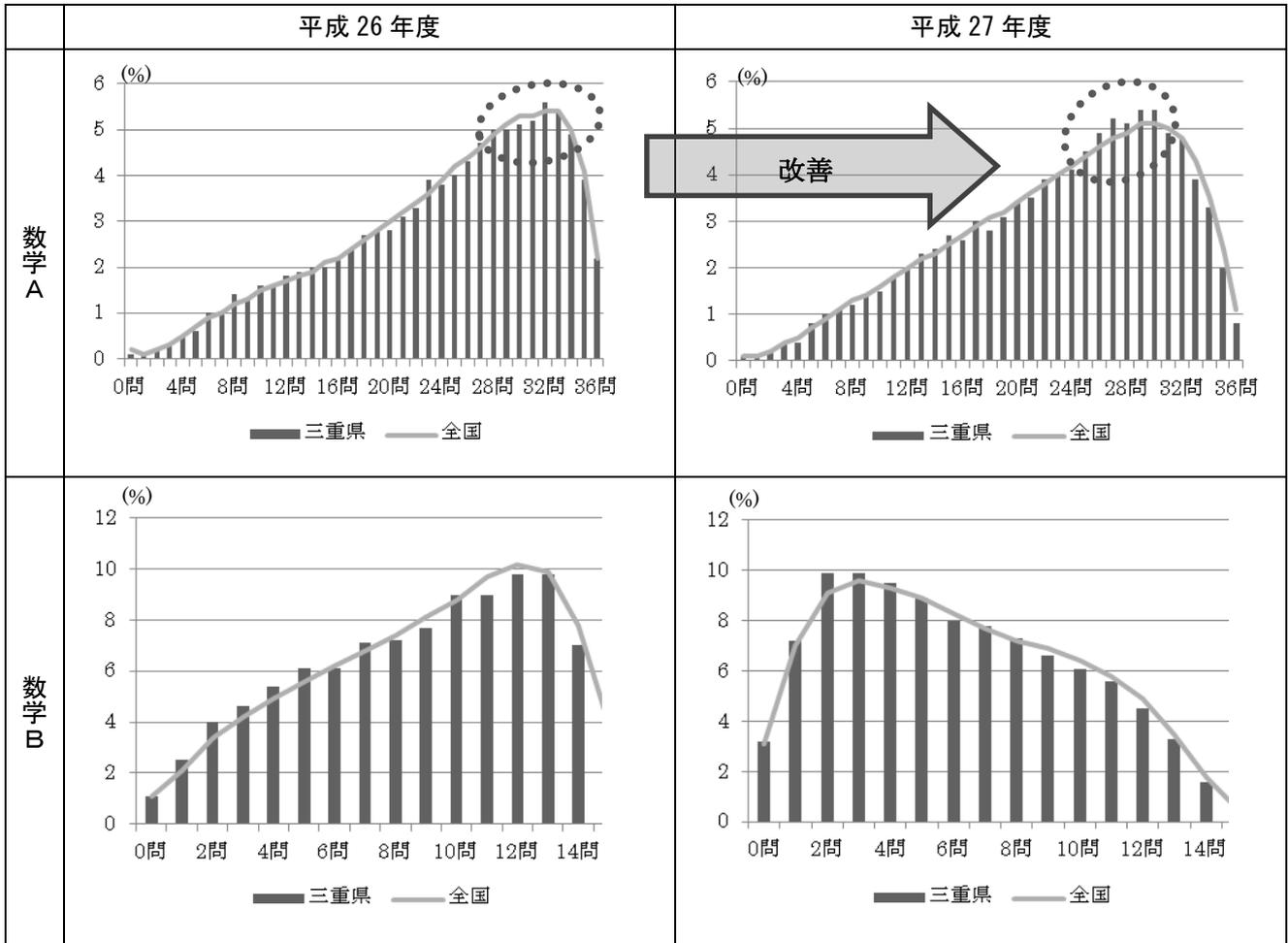


数学

大きな変化はなく、全国の分布とほぼ同じ形になっています。

全国と同様の分布となっています。

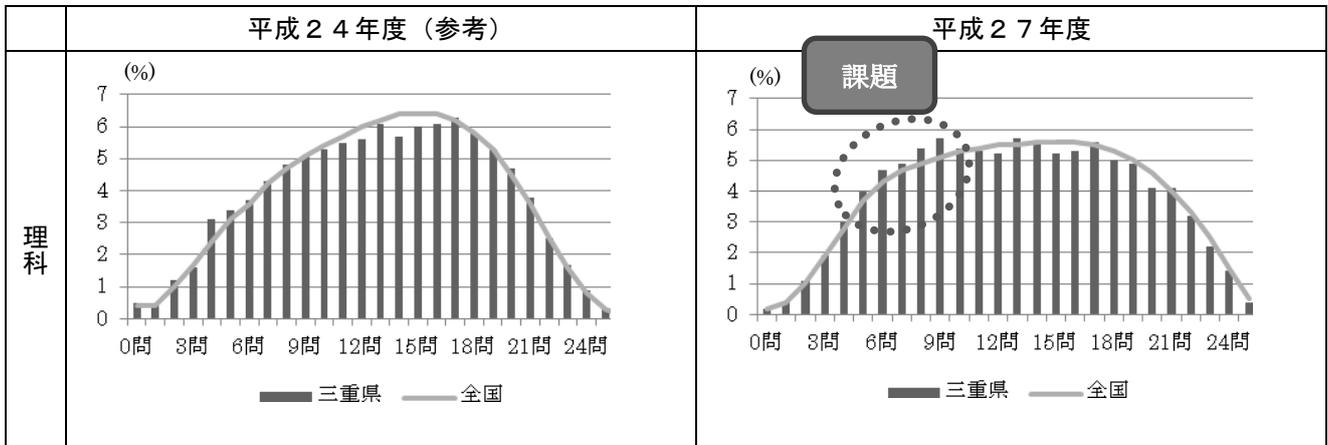
さらなる学力向上に向けて、特に記述式問題においては、数学的な表現を用いた理由の説明、図形の性質を用いた方法の説明等に課題があることから、授業で説明する活動を充実させることが大切です。



理科

正答数の低い割合が全国と比べ、やや多い状況です。

正答数が低い割合が全国に比べて、やや多く分布し、課題が見られます。



全体、観点、領域、問題形式ごとに全国の平均正答率との差をグラフに示しました。

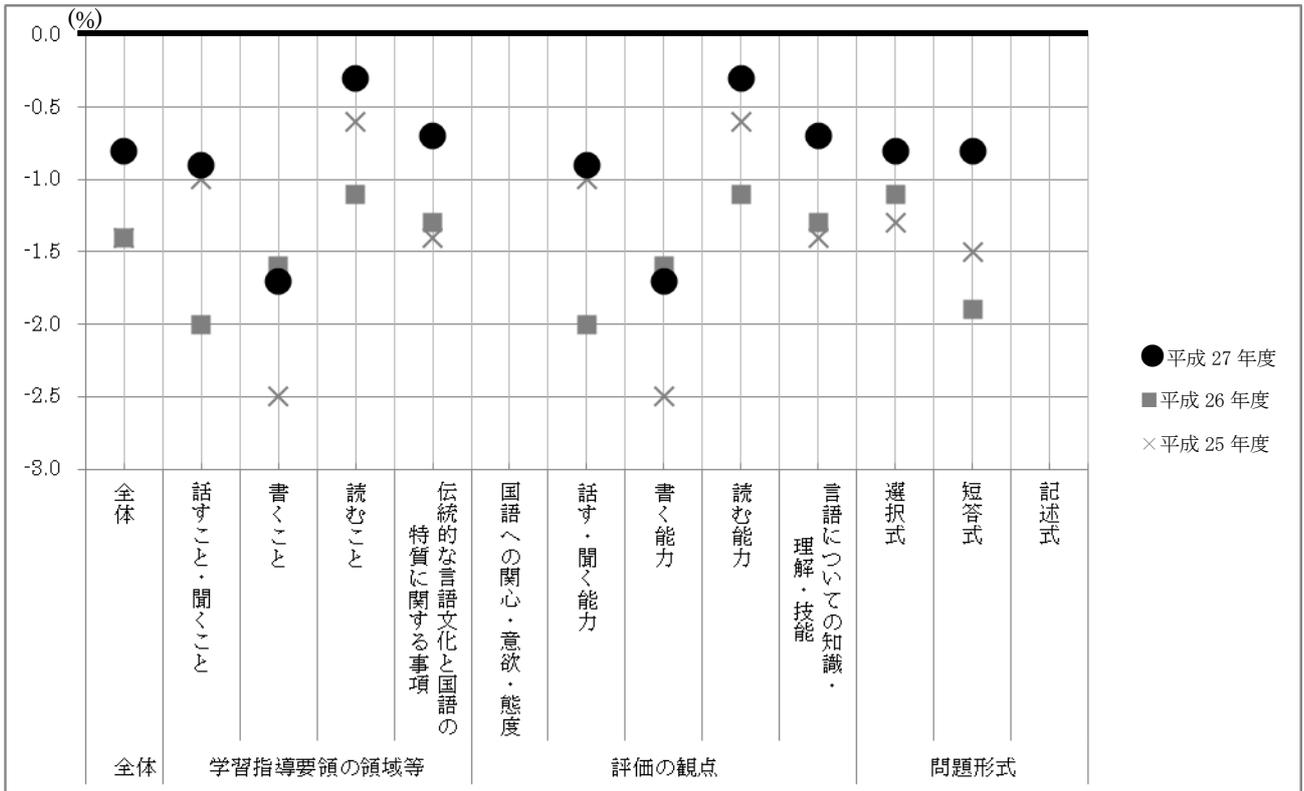
国語 A

領域、観点、問題形式別

全般的に改善が見られる中、「書くこと」「書く能力」はやや課題が見られます。

全般的に改善が見られ、特に「話す・聞く能力」について、大きく改善が見られます。一方、「書くこと」「書く能力」は、昨年度を下回っています。

小学校では、「書くこと」「書く能力」の改善が見られますので、小中の連携により指導の一貫性をより確実にすることが大切です。



※該当の出題がない年度には印がありません。

国語 A

設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
3-1	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	表現の技法について理解する	60.4	58.3	2.1
9三オ	適切な語句を選択する(たなびく雲の間から、春の光がもれている)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	51.4	49.0	2.4
9七2	古典の作品名を漢字で書く	代表的な古典の作品に関心をもつ	68.1	66.7	1.4

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
9二1	漢字を読む（詳細に述べる）	文脈に即して漢字を正しく読む	74.4	78.2	-3.8
9三エ	適切な語句を選択する（彼女は、学級の縁の下の力持ちと言える存在だ）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	63.0	70.8	-7.8
9六	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する	手紙の書き方を理解して書く	55.6	58.2	-2.6

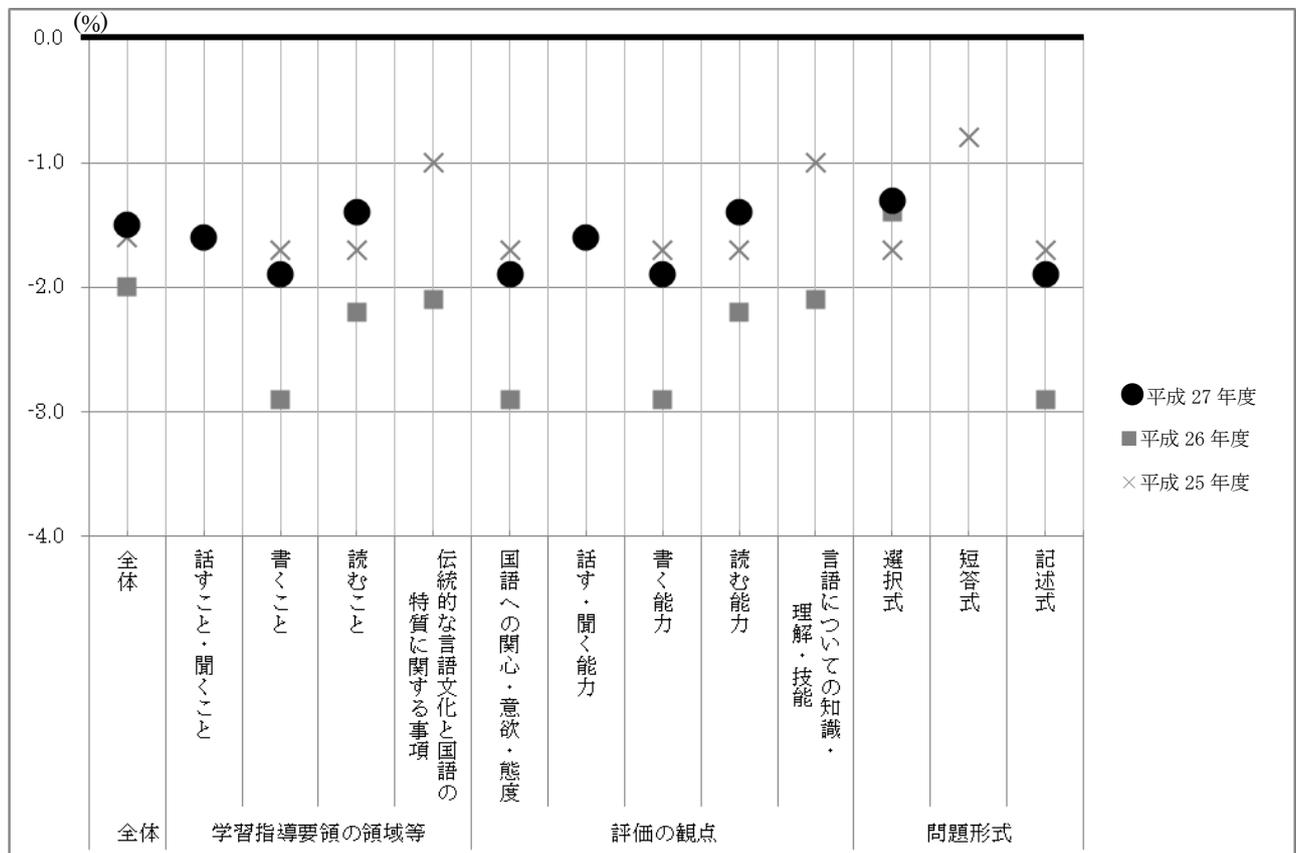
【よくできていた設問】、【課題があると考えられる設問】の全てが言語についての知識・理解・技能の問題です。

【よくできていた設問】は、文学的文章に関するものでした。【課題があると考えられる設問】は、論理的な文章で出てくる「詳細」の読み、慣用句、フォーマルな手紙の書き方など、言語に関する設問でした。

慣用句を正確に覚えるよう、日頃から慣用句を使う場面の設定や宿題等での取組を通して確実な定着を図ることが必要です。また、授業で扱う語句も、なぜそれを使うのか、なぜそれを選ぶのかなどを含めて理解を促すようにすることが大切です。

国語B 領域、観点、問題形式別

全ての領域、観点、問題形式に昨年度より改善が見られますが、まだ全国平均には至っていません。



※該当の出題がない年度には印がありません。

国語B

設問別

【よくできていた設問】

(全国平均正答率を上回った設問はありませんでした。)

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1一	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	状況に応じて、資料を活用して話す	70.1	73.2	-3.1
2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く	20.9	23.0	-2.1
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く	28.4	31.1	-2.7

<1一>

スピーチの際の発表用のノートに「発表の流れ」とともに「その他の情報」が書かれており、それらの情報は発表時のどのような状況において役立つかを、さまざまな複数の場面を想定して考える場面設定が必要です。

<2三・3三>

提示された複数の資料、複数の条件に従って文章をまとめる場面の設定が必要です。

「国語B」では、このように複数の資料が与えられ、そこから適切な情報を取り出し、複数の条件に従ってまとめる、というような解答のプロセスが必要な問題が多く出題され、より複雑な思考のプロセスが必要になります。

また、これらの力は充実した言語活動において培われていきます。

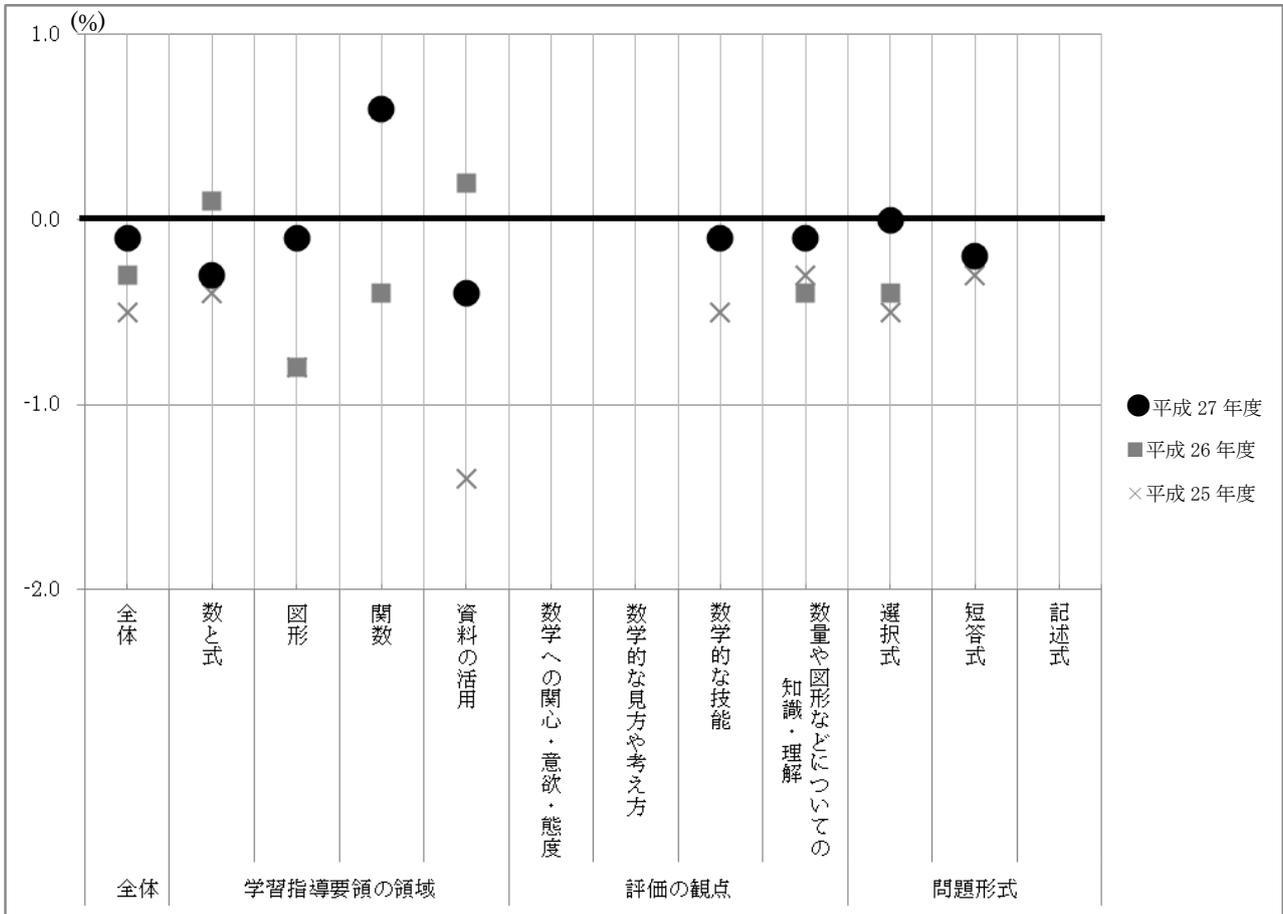
学校質問紙の「言語活動に重点を置いた指導計画の作成」「国語科だけでない言語活動の学校全体での取組」を「よく行っている」と回答した割合が全国よりも低い状況にあります。

学習指導要領においても、国語科だけでなく、他の教科等においても言語活動を充実させるように示されており、全ての教科での言語活動の充実を図る必要があります。

数学 A 領域、観点、問題形式別

「関数」の領域の改善が見られ、全国平均を上回っています。

「数と式」、「資料の活用」の領域では、昨年度より全国との差が広がり、課題が見られます。



※該当の出題がない年度には印がありません。

数学 A 設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
3 (3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることのできる	47.3	44.9	2.4
7 (2)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	78.4	76.1	2.3
15 (2)	さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	58.0	55.4	2.6

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (4)	ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温との差から、前日の最低気温を求める	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	73.8	75.4	-1.6
2 (2)	赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	19.2	22.2	-3.0
14 (1)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	42.4	46.0	-3.6

設問番号7 (2) や設問番号15 (2) は、基礎的・基本的な知識・技能を問われている問題であり、また、設問番号3 (3) は文章で書かれたとおりに立式することができるかどうか問われている問題でした。これらの問題ができるということから、基礎的な事項の習熟の定着が見られます。

一方、文章から立式するのが難しく、何を文字で置くのかから考えなければならない設問番号1 (4) や、具体物の関係を考えてから立式しなければならない設問番号2 (2) は全国の平均正答率よりも低く、課題が見られます。

< 1 (4) >

実生活の様々な場面における数量や増減などを正の数と負の数を用いて表す場面を設定し指導することが必要です。その際、数直線上に表すなど、確認する活動を取り入れることが大切です。

< 2 (2) >

$(\frac{3}{5})a$ という解答の割合が全国の割合より高い状況です。テープの絵または線分図を描いたり、具体的な数や言葉を使った式を利用したりして関係を捉え、その関係を文字式に表すことができるよう指導することが必要です。

< 14 (1) >

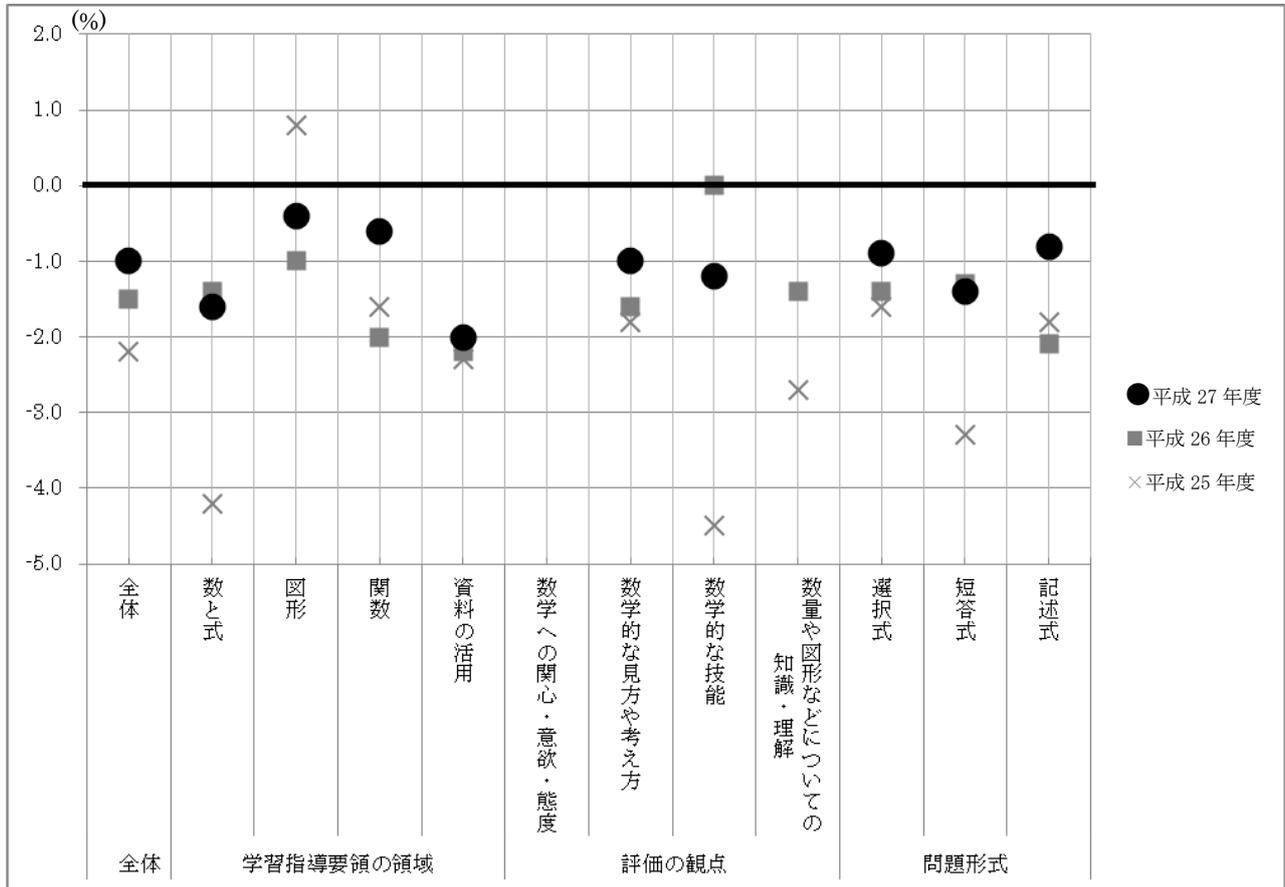
他の2問とは異なり、「中央値」という用語の理解が不足していると考えられます。

授業において、分布の形が様々な資料を題材として、資料の傾向を捉えるためにどの代表値を用いるとよいかを考察する活動を取り入れ、代表値の必要性和意味を理解し、適切な代表値を求めることができるよう指導することが必要です。

数学B 領域、観点、問題形式別

「関数」の領域や記述式に改善が見られるものの、「資料の活用」の領域は全国との差も大きく、課題が見られます。

「数学A」同様、「関数」の領域において改善が見られます。しかしながら、「数学A」同様、「資料の活用」の領域は全国との差も大きく、課題が見られます。また、「数学的な技能」については、全国との差が1%以上となり、昨年度を下回り、課題が見られます。



※該当の出題がない年度には印がありません。

数学B 設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
4 (2)	正方形 ABCD を平行四辺形 ABCD に変えても、 $AE = CF$ となることの証明を完成する	発展的に考え、条件を変えた場合について証明することができる	50.7	49.6	1.1
6 (1)	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における 2 つの数量の関係が比例であることを判断できる	47.8	46.5	1.3

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (2)	投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ	必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる	33.1	35.1	-2.0

2 (1)	連続する3つの整数が19、20、21のとき、それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	76.8	78.8	-2.0
2 (3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	61.7	63.8	-2.1
5 (1)	1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	37.1	39.1	-2.0
5 (2)	2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	21.3	23.3	-2.0
5 (3)	記名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することができる	65.2	67.3	-2.1

「数学A」同様、書かれていることがそのまま答えにつながる問題はよくできています。設問番号4(2)は正方形での証明に準じ、平行四辺形の特徴を使って証明する問題、設問番号6(1)は表または式から比例の関係にあることを読み取る問題です。基礎的な概念理解はできている状況です。

設問番号5(1)は、割合を求める式を答える問題で、小学校での学習事項です。この問題の正答率は37.1%(全国:39.1%)で、無解答率が26.4%(全国:26.8%)でした。シンプルな問題ですが、中学校範囲の学習ではあまり出合わない問題のためか、全国と比べても無解答率が高い状況です。中学校範囲の学習事項の定着はもちろん重要ですが、思考の基礎となるような小学校の学習事項も折に触れて復習する機会をつくるのが大切です。みえスタディ・チェックやワークシートは小学校範囲のものもホームページで閲覧できますので、活用し、基礎的な考える力が身についているか振り返り、確認することが大切です。

「数学A」で複数ステップで考えなければならない問題が苦手な状況は、「数学B」でも同じです。結論だけでなく、プロセスや理由・根拠を生徒に説明させ、学級で共有するような言語活動を日常的に行っていくことで、根拠を考えながら結論を導く習慣や、思考のプロセスを組み立てる力が身についていきます。

< 1 (2) >

目的に応じて必要な情報を選択できるよう、実生活の場面での問題を解決する活動を取り入れ、事象に即して数学を活用できるように指導することが必要です。

< 2 (1) >

「中央の整数の3倍」などの数量の関係を文字式に表すことができるよう指導することが必要です。また、「連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍になる。」などのように、命題の形で表現することを指導することも大切です。そのうえで、その予想が他の連続する3つの整数でも成り立つかどうかを確かめ、「 $3 \times (\text{中央の整数})$ 」の形で表すことができるよう指導することが大切です。

< 2 (3) >

問題の条件を変えて見出した事柄について、その前提と結論の両方を明確にして表現できるよう指導することが必要です。

< 5 (2) >

ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向を捉え、適切な代表値を用いて説明する場面の設定や、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する場面の設定をし、指導することが必要です。

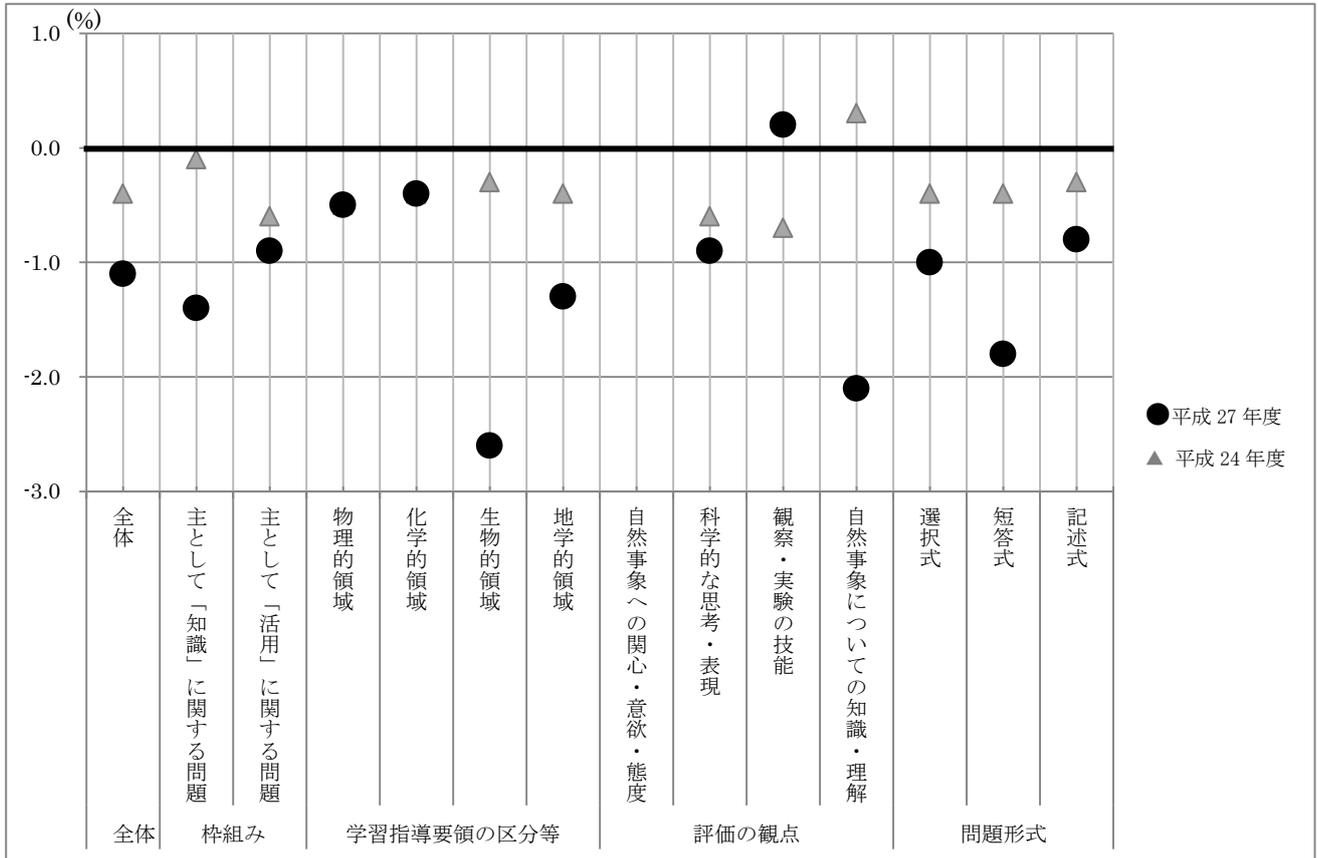
< 5 (3) >

日常生活の事象を数学的に表現し、その意味を解釈する場面を設定し、解釈したことを判断の根拠に用いることができるよう指導することが必要です。

理科 領域、観点、問題形式別

全国の割合に比べて課題が見られます。
1分野（物理的領域・化学的領域）よりも、2分野（生物的領域・地学的分野）に課題が見られます。

抽出調査の平成24年度と比較して、全般的に平均正答率が下がっています。中でも生物的領域については、物理的領域、化学的領域に比べ、生物的領域に課題が見られます。



※該当の出題がない年度には印がありません。

理科 設問別

【よくできていた設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
1 (1) 濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる	47.0	45.0	2
5 (2)	電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができる	57.1	56.8	0.3
6 (1)	音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる	41.3	40.1	1.2

【課題があると考えられる設問】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	三重県	全国	差
2 (4)	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状態を推論する	気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画することができる	59.7	62.2	-2.5
8 (1)	背骨のある動物の名称を答える	背骨のある動物を、セキツイ動物と表すことができる	56.9	63.9	-7
8 (3)	課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する	他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述することができる	44.5	47.4	-2.9

「理科」の出題は、全て観察・実験をベースにしたものでした。物理的領域、化学的領域の平均正答率は、相対的に高かったものの、生物的領域、地学的領域では、全設問において全国の平均正答率を－1%以上下回っています。

学校質問紙の理科の観察・実験に関わる質問を見ると、「仮説をもとにした観察・実験計画、結果の分析、レポート作成方法」に関する全ての質問において、「よく行った」という回答が3%程度全国を下回っています。

観察、実験を通して科学的な思考力・表現力を付けていくことが重要です。

< 2 (4) >

与えられている情報から高度と気圧の関係を押さえることと、空気が減るということと気圧の関係を考えなければならない問題ですが、「下降中」の誤答が多く、資料を十分読めていないと考えられます。

< 8 (1) >

用語の知識・理解が不足しています。観察・実験の結果を比較して検討したり、関連して考察したり、事物・現象に固有な性質や多様性、共通点や規則性を見いだすことが大切です。

< 8 (3) >

課題や仮説に対応させて、実験結果に基づき、適切に考察を記述する練習を積み重ねていくことが大切です。

4

無解答率の分析

【関連：第2章P.24～】

全国と同程度となっています。

全体的には無解答率の状況は全国平均並みです。ただし、「国語B」の記述式の設問に関しては、全国平均の無解答率を上回っています。

		三重県	全国	差	全国平均より上回っている (課題がある)	
					設問数	比率
国語 A	選択式	0.57%	0.62%	-0.05	0/23	0.00%
	短答式	6.60%	7.05%	-0.45	1/10	10.00%
	合計	2.40%	2.57%	-0.17	1/33	3.03%
国語 B	選択式	0.35%	0.40%	-0.05	0/6	0.00%
	記述式	6.17%	5.90%	0.27	2/3	66.67%
	合計	2.29%	2.23%	0.06	2/9	22.22%
数学 A	選択式	0.76%	0.95%	-0.19	0/19	0.00%
	短答式	6.02%	6.82%	-0.80	0/17	0.00%
	合計	3.24%	3.72%	-0.48	0/36	0.00%
数学 B	選択式	1.05%	1.23%	-0.18	0/4	0.00%
	短答式	15.03%	15.65%	-0.62	1/4	25.00%
	記述式	22.64%	23.23%	-0.59	2/7	28.57%
	合計	14.85%	15.34%	-0.49	3/15	20.00%
理科	選択式	0.69%	0.80%	-0.11	0/15	0.00%
	短答式	12.38%	13.15%	-0.78	1/4	25.00%
	記述式	21.50%	21.90%	-0.40	1/5	20.00%
	合計	6.97%	7.25%	-0.28	2/24	8.33%

※問題形式別および全体について、設問ごとの無解答率を平均した数値です。

※網かけは、三重県のほうが全国に比べて無解答率が大ききなところを示しています。

●国語Bの記述式問題における平均正答率と平均無解答率との関係●

<国語Bの記述式問題>

設問	平均正答率			無解答率		
	三重県	全国	差	三重県	全国	差
1三	55.1	56.2	-1.1	2.8	2.8	0.0
2三	20.9	23.0	-2.1	3.9	3.7	0.2
3三	28.4	31.1	-2.7	11.8	11.2	0.6

<生徒質問紙(57)>

質問		最後まで で努力	あきら めた	書かな かった	その他	無回答
今回の国語の問題について、解答を文章で 書く問題がありました。どのように解答 しましたか	三重県	77.1	18.8	3.4	0.0	0.7
	全国	76.4	19.5	3.4	0.0	0.7
	差	0.7	-0.7	0.0	0.0	0.0

3問中全ての設問で平均正答率は全国を下回り、3問中2問で無解答率が全国を上回っています。全国との平均正答率の差は、全国平均無解答率の差よりも大きい状況となっています。

第6章 中学校詳細分析～学校質問紙～

1

結果の状況

【関連：第1章P.5～、第3章P.27～】

学校質問紙について、肯定的な回答をした学校の割合と全国の割合との差が5%以上のものについて、成果と課題として以下に挙げます。

全国との比較

【成果】調査結果の保護者等への情報共有、補充的な学習のサポート等に注力されています。

分類	番号	質問	三重県	全国	差
調査結果の保護者等への情報共有	(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	95.6	83.9	11.7
学力向上に向けた取組	(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか(週に1回以上)	87.6	82.6	5.0
	(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか(実施した日数の累計)(延べ5日以上)	75.8	57.3	18.5
教員研修	(98)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	93.2	85.8	7.4
地域の人材・施設の活用	(80)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	64.0	58.8	5.2

【課題】主体的な学びを引き出す授業づくり、個に応じた指導、家庭学習、理科の指導法に課題が見られます。

分類	番号	質問	三重県	全国	差
指導方法・学習規律	(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか	87.6	95.7	-8.1
	(31)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	79.5	86.7	-7.2
	(34)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	67.7	81.9	-14.2

	(36)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	68.3	79	-10.7
	(38)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	72.0	78	-6.0
	(39)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	66.5	78.1	-11.6
個に応じた指導	(55)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	13.1	25.3	-12.2
	(56)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	8.7	19.8	-11.1
	(67)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	57.8	63.4	-5.6
地域の人材・施設の利用	(85)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	59.0	69.7	-10.7
	(86)	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	82.6	90	-7.4
家庭学習	(92)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）	71.4	78.5	-7.1
	(94)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／数学共通）	77.6	85.7	-8.1
	(95)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	67.7	73.2	-5.5
	(97)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	81.4	87.9	-6.5
理科の指導方法	(71)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	82.6	88.1	-5.5
	(72)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	74.0	79.4	-5.4
	(73)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	59.6	65.8	-6.2

指導改善の状況

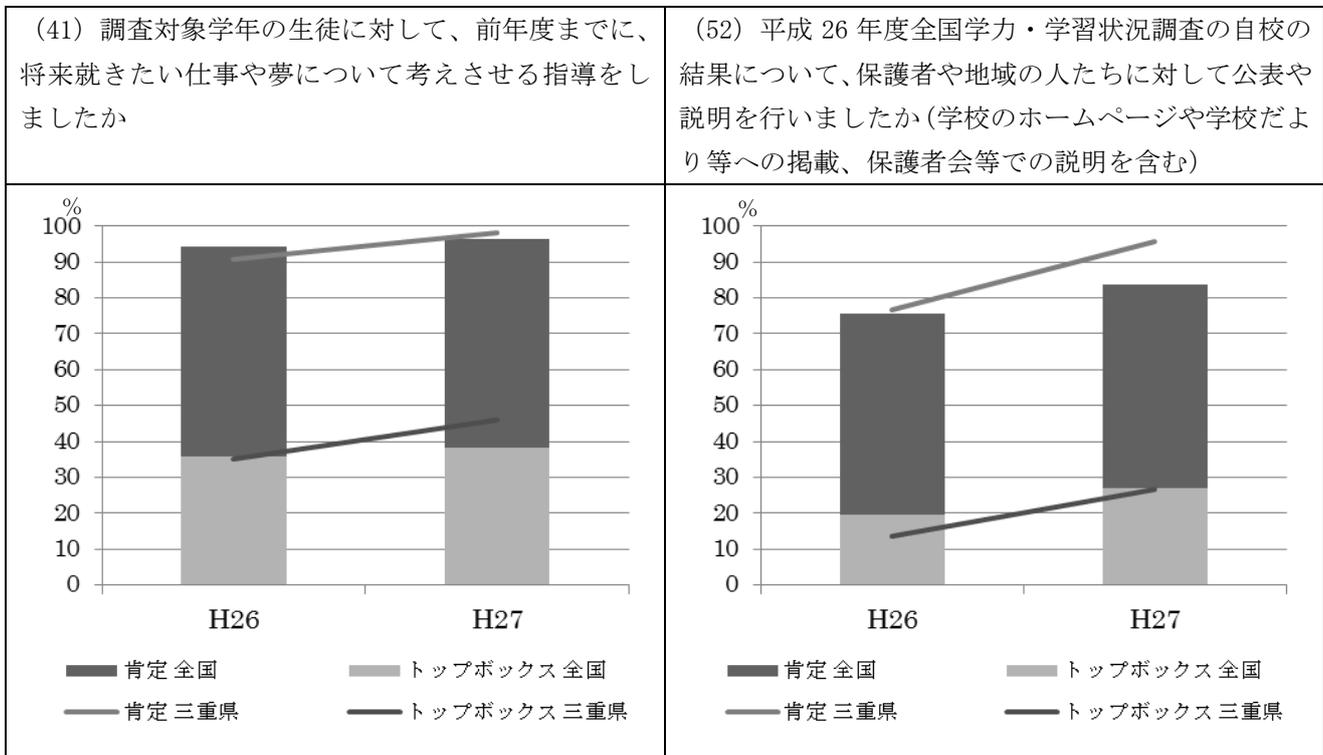
平成26年度と平成27年度の学校質問紙で同じ質問項目の結果を比較し、全体的に中学校でどのような指導改善に注力されているのかを確認します。

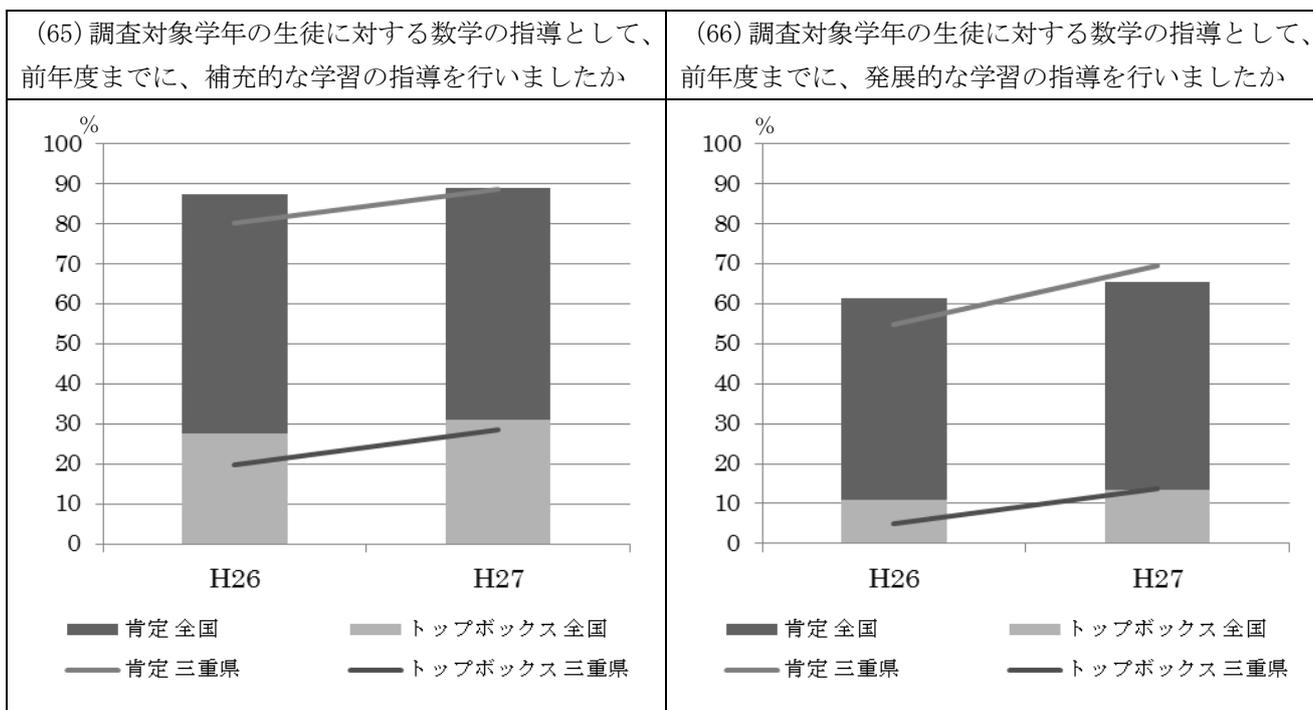
特に大きく変化したと考えてよいものとして、次の条件の全てに当てはまる質問を抽出しました。

- 肯定的な回答をした割合が5%以上向上したもの
- 特に力を入れたと考えられる「よく行った」などのトップボックスの割合が5%以上向上したもの
- 肯定的な回答をした割合の全国との差を5%以上縮めたもの
- トップボックスの割合の全国との差を5%以上縮めたもの

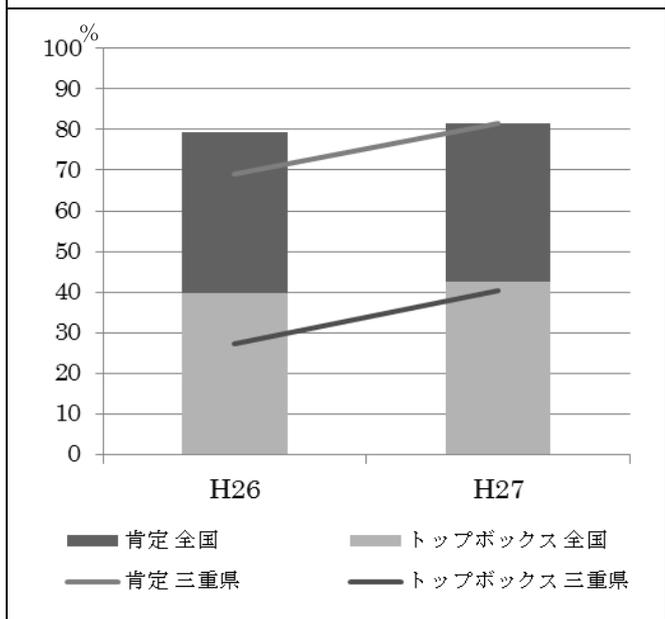
多くの項目で改善が見られました。

【成果】全国学力・学習状況調査の保護者等への情報共有、校長の授業の見回りにおいて、大きく改善が見られます。





(110) 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか（週2～3日程度以上）



◇◇◇調査結果を正面から受け止める◇◇◇

質問番号（52）にあるように、全国学力・学習状況調査の結果を正面から受け止めて、事項の状況を保護者や地域の方と共有し、指導改善に活用するという姿勢が全国よりも高くなっています。コミュニティ・スクールや学校支援地域本部等の学校ボランティア組織が拡大していく中で、そこに関わる保護者や地域の方々にも生徒理解を深めていただく必要があります。

全国学力・学習状況調査の結果分析の共有は、地域とともによりよい学校づくりをしていくための一つの材料となります。

◇◇◇学習へのモチベーションの向上◇◇◇

中学生にとっては高校入試等の卒業後の進路決定という外発的動機付けが存在します。しかし本来は「これを学ぶのがおもしろい」「これを学ぶことが自分にとって必要だ」という内的な動機付けによって学習に向かうようにしたいところです。

キャリア教育は内的な動機を高める一翼を担っていることと無関係ではなく、質問番号(41)の「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか」という質問への肯定的な回答率が大きく上がっています。特に、「よく行った」というトップボックスの回答率は、全国を7.9%上回っており、生徒のモチベーション向上に熱心な学校像が見て取れます。

◇◇◇数学の指導改革◇◇◇

質問番号(65)、(66)のグラフを見ると、数学の補足的な学習指導、発展的な学習指導のどちらもが強化されていることがわかります。

数学は学力が二極化しやすい教科ですのでどうしても全員に同じ学習指導ということだけでは不足してしまいます。一人ひとりの生徒の成長のために取組が強化されているところです。その成果として、「数学A」があとわずかで全国平均に届き、数学Bも年々全国平均に近づいてきています。

◇◇◇学校を挙げての取組◇◇◇

小学校と異なり、中学校の教員には担当教科があり、校長も自身の担当教科以外の授業で個別に指導をしていくことが難しい面もあります。しかし、教員の年齢構成の関係で、まだ経験の浅い教員も増加しており、日々の育成が重要になっています。

そのような中、大切なプロセスは、全国学力・学習状況調査等の結果も参考にして、教科を超えて、学校全体としてどのような生徒を育てていくのか、どのような力を育成していくのかを共有することです。

次の質問項目は、肯定的な回答の割合はあまり上昇していませんでしたが、「よく行った」というトップボックスの回答率が10%以上向上向上していたものです。

質問番号(51) 「平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」

質問番号(106) 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか」

質問番号(107) 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

質問番号(108) 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか

これらのことにしっかり取り組む学校が増えたということがわかります。

学校を取り巻く課題が複雑化してきており、一人の教員だけでは解決できない状況もあります。そのような中で「学校全体」で課題を共有し、教員がチームとしてその課題を解決していくことはとても重要なことです。

課題やその解決のための施策・目標を教職員間で共有(P)したうえで、責任者である校長が、その施策が適切な手法で実施(D)され、効果が出ているのか、施策としての選択は適切であったのか、経験の浅い先生に対するサポートは必要ないか、施策の見直し・調整は必要ないか(C)、等を自らの目で見て回り、必要に応じて改善を図る(A)ことが大切です。

【課題】直近の課題解決だけにとらわれず、先も見据えた取組が必要です。

<p>(36) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか</p>	<p>(39) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか</p>
<p>(94) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/数学共通)</p>	<p>(101) 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか(年間11回以上)</p>

質問番号(36)、(39)は共通した動きを示しています。いずれもいわゆるアクティブ・ラーニングに関わる項目です。次期学習指導要領の検討の中で、このような活動をさらに重視する考えが示されています。「総合的な学習の時間」や全教科等での言語活動重視の流れの中で、県内も全国も、「よく行った」と回答した学校の割合は、若干ではありますが増えています。

関連して、質問番号（101）について、教科担任制である中学校で授業研究を伴う校内研修を頻繁に行うことは困難ではありますが、次期学習指導要領の検討の中では汎用的な力の育成が重視されています。生徒にどのような力を付けるのかを考えたときには担当教科を超えた授業研究が必要になってきます。今後、中学校での校内研修において、どのように教科を超えた授業研究を取り入れていくか、研究が必要です。

内容的な関連はないように思われますが、質問番号（94）も質問番号（36）、（39）のグラフと同じような動きを示しています。家庭学習の取組は、探究活動や資料を使った発表と同様に、力を入れている学校は増加傾向（トップボックス）にあります。全体としてはやや下降傾向と言えます。つまり、重要な事項ではあるが、改善するに至っていない学校が多い、と考えられます。各校が自校の状況に応じて優先順位を付けて考えている証拠でもあり、必ずしもよくない状況だとは言えません。今後のトップボックスのさらなる伸びと、全体での家庭学習に関する意識の向上を図っていく必要があります。

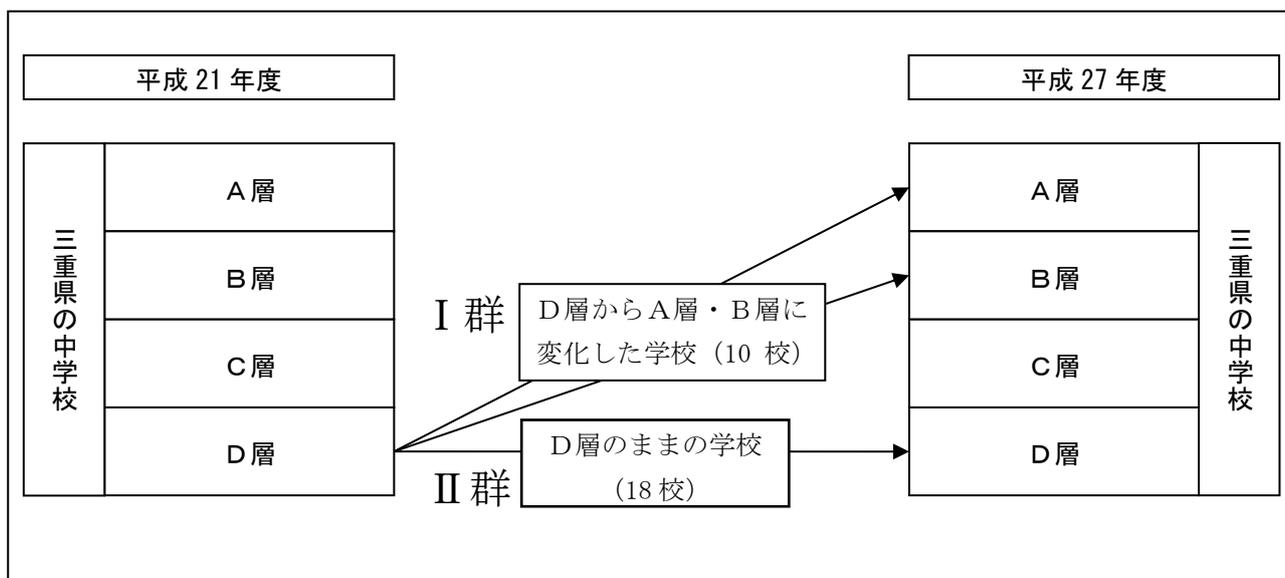
2

学力向上のための優先課題

【関連：第3章P.32～】

学校においては、個々に置かれた環境が異なり、構成する教職員や生徒もそれぞれで異なります。

ここでは、平成21年度と平成27年度の調査結果における教科に関する調査の平均正答率の状況から、中学校を4つの層に分けて、学校質問紙の結果を比較分析します。



分析は、I群の学校質問紙の回答状況で肯定的な回答率が5%以上向上した質問項目を抽出し、それらの質問項目について、I群とII群の肯定的な回答率の差から比較します。

下の表は、太枠で囲った列の値の昇順で並べています。

番号	質問項目 (I群の経年差が5%以上改善した項目を抽出)	I群			II群			I群-II群
		H21	H27	差	H21	H27	差	H27
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	33.3%	33.3%	-13.3%
(42)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	60.0%	70.0%	10.0%	61.1%	83.3%	22.2%	-13.3%
(55)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか(授業の1/2以上)	0.0%	10.0%	10.0%	27.8%	22.2%	-5.6%	-12.2%
(100)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	60.0%	80.0%	20.0%	94.4%	88.9%	-5.6%	-8.9%
(38)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	50.0%	70.0%	20.0%	66.7%	77.8%	11.1%	-7.8%
(102)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	80.0%	90.0%	10.0%	77.8%	94.4%	16.7%	-4.4%
(85)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	40.0%	80.0%	40.0%	38.9%	83.3%	44.4%	-3.3%
(66)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	50.0%	60.0%	10.0%	22.2%	61.1%	38.9%	-1.1%
(27)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか(学期に数回程度以上)	0.0%	10.0%	10.0%	11.1%	11.1%	0.0%	-1.1%
(25)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか(学期に数回程度以上)	0.0%	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
(44)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	90.0%	100.0%	10.0%	83.3%	100.0%	16.7%	0.0%
(17)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	90.0%	100.0%	10.0%	83.3%	100.0%	16.7%	0.0%
(18)	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	70.0%	90.0%	20.0%	61.1%	88.9%	27.8%	1.1%
(56)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか(授業の1/2以上)	0.0%	10.0%	10.0%	16.7%	5.6%	-11.1%	4.4%
(84)	P T Aや地域の人が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか	80.0%	100.0%	20.0%	88.9%	94.4%	5.6%	5.6%
(89)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	80.0%	90.0%	10.0%	83.3%	83.3%	0.0%	6.7%
(16)	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	70.0%	90.0%	20.0%	72.2%	83.3%	11.1%	6.7%
(65)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	80.0%	90.0%	10.0%	77.8%	77.8%	0.0%	12.2%

(32)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	90.0%	100.0%	10.0%	83.3%	83.3%	0.0%	16.7%
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか（週に複数回以上）	80.0%	90.0%	10.0%	94.4%	72.2%	-22.2%	17.8%
(67)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	50.0%	70.0%	20.0%	44.4%	50.0%	5.6%	20.0%
(82)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	0.0%	20.0%	20.0%	16.7%	0.0%	-16.7%	20.0%
(87)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	70.0%	100.0%	30.0%	66.7%	77.8%	11.1%	22.2%
(110)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか（週2～3回程度以上）	80.0%	100.0%	20.0%	61.1%	77.8%	16.7%	22.2%
(39)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	60.0%	90.0%	30.0%	38.9%	44.4%	5.6%	45.6%

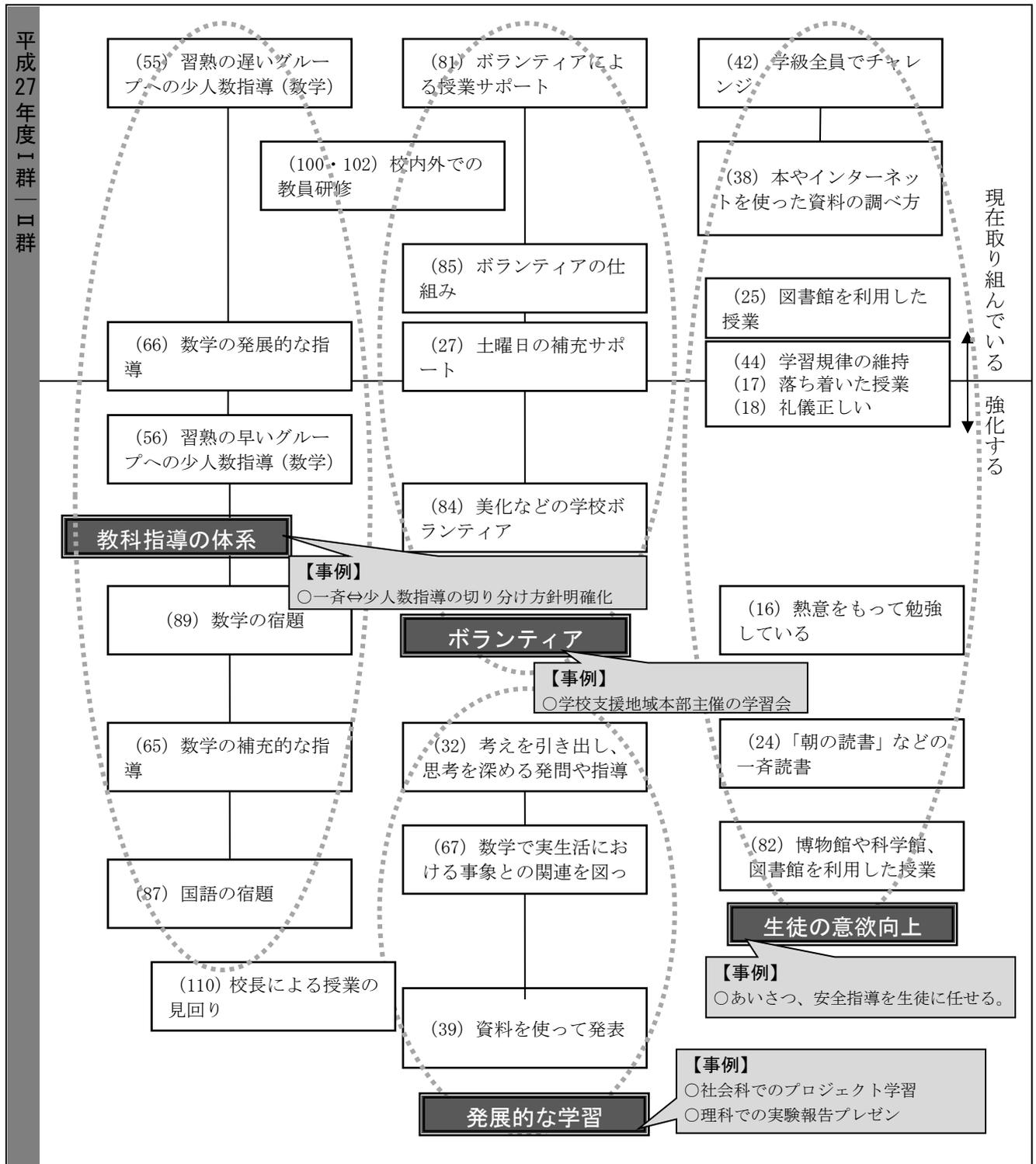
《結果より》

I群とII群との間で取組の差が大きかった（I群で効果が大きかった）と考えられる項目

- ・資料を使って発表ができる指導
- ・校長の見回り
- ・国語の指導として家庭学習の課題（宿題）の提供
- ・図書館等を利用した授業
- ・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業や、補充的な学習の指導
- ・一斉読書の時間の設定（朝の読書など）
- ・様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導 等

これらの項目は、授業における生徒の主体的な学習の実現に向けて、取り組んでいく優先課題の設定の参考になります。自校の状況、生徒の状況に応じて、取組の内容を選択し、組織的・継続的な取組とすることが大切です。

●項目数が多く、表では全体像をつかみにくいので、図でまとめました



II群の学校では、数学の発展的な指導には取り組んでいますが、数学の宿題や補充的な指導はI群に比べてまだ弱い状況です。国語の宿題も徹底されていません。授業と宿題の関係、発展的な指導と基礎基本の指導の関係とバランスなどを明確にして徹底する、ということが必要であると考えられます。

また、学習規律は維持された学級像・学校像、礼儀正しい生徒像などがうかがえますが、勉強に対する熱意は高くありません。教科指導を通して意欲を高めていくとともに、博物館、科学館、図書館の利用、読書など、視野を広げる活動の充実も必要です。

3

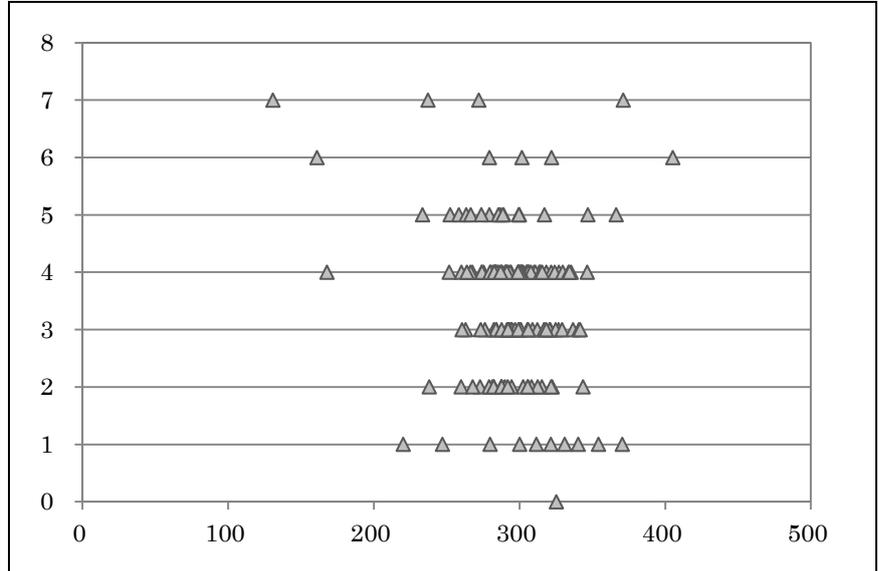
就学援助を受けている生徒の在籍割合との関係について

【関連：第3章P.35～、第10章P.126～】

就学援助を受けている生徒の在籍状況と、学力との関係を見るために、県内の各中学校が選んだ選択肢（縦軸）ごとに、その学校の教科に関する調査の平均正答率の合計がどこに位置しているかをプロットしました。

<選択肢>

- 1 在籍していない
- 2 5%未満
- 3 5%以上、10%未満
- 4 10%以上、20%未満
- 5 20%以上、30%未満
- 6 30%以上、50%未満
- 7 50%以上
- 0 無回答・不明



今回の調査では、就学援助を受けている生徒の在籍数と平均正答率の合計との間には、明確な関連は見られませんでした。

しかしながら、そうした中で、就学援助を受けている生徒の在籍数が同じような状況の学校の中にも平均正答率が高い学校とそうでない学校があります。それらの学校の指導の違いを学校質問紙から探ってみます。

生徒の20%以上が就学援助を受けている学校（選択肢5～7を選択）は16校あり、そのうち、国語A・国語B・数学A・数学B・理科の合計が全国平均を超えている学校が3校ありました。これらをI群とし、16校の中で平均正答率の合計が低い方の3校をII群とします。

I群とII群の学校質問紙の回答状況の差がある質問を抽出し、同様の環境の中でどのような指導の違いがあるのかを見ると、チーム・ティーチングや家庭学習のきめ細かい指導、放課後や長期休業中の学習のサポート、授業の目標の明確化、ICT利活用等に差異があることがわかります。

(数字は選択肢)

番号	質問項目	群	回答状況		
(57)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、チーム・ティーチングによる指導を行いましたか	I群	1	1	1
		II群	5	5	5
(48)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	I群	1	3	1
		II群	4	3	4
(87)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	I群	1	1	1
		II群	2	3	3
(97)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の	I群	2	1	2
		II群	2	4	4

	課題を除く) について、評価・指導しましたか				
(26)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	I 群	1	2	5
		II 群	4	4	4
(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか (実施した日数の累計)	I 群	1	1	2
		II 群	3	2	3
(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標 (めあて・ねらい) を示す活動を計画的に取り入れましたか	I 群	2	1	1
		II 群	2	3	3
(46)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術 (パソコン (タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す) を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習 (協働学習) や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	I 群	2	2	1
		II 群	3	3	3
(93)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか (国語/数学共通)	I 群	2	1	2
		II 群	3	3	3
(95)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題 (宿題) を与えましたか	I 群	2	1	3
		II 群	2	4	4
5教科区分の平均正答率の合計		I 群	302.1	317.2	322
		II 群	258.5	263.6	266.6

4

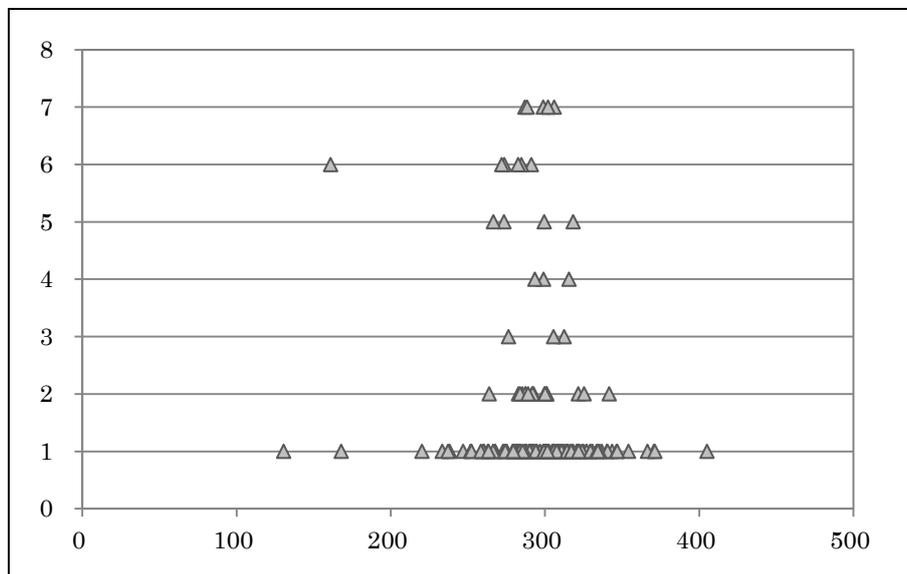
日本語指導が必要な生徒の在籍数との関係について

【関連：第3章P.37～、第10章P.123～】

日本語指導が必要な生徒の在籍状況と、学力との関係を見るために、県内の各中学校が選んだ選択肢（縦軸）ごとに、その学校の教科に関する調査の平均正答率の合計がどこに位置しているかをプロットしました。

<選択肢>

- 1 在籍していない
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人
- 5 4人
- 6 5～7人
- 7 8人以上
- 0 無回答・不明



今回の調査では、日本語指導が必要な生徒の在籍数と平均正答率の合計との間には、明確な関連は見られませんでした。

しかしながら、そうした中で、日本語指導が必要な生徒の在籍数が同じような状況の学校の中にも平均正答率が高い学校とそうでない学校があります。それらの学校の指導の違いを学校質問紙から探ってみます。

複数名の日本語指導が必要な生徒がいる学校（選択肢3～7を選択）は21校あり、そのうち、国語A・国語B・数学A・数学B・理科の合計が全国平均を超えている学校が6校ありました。これらをI群とし、21校の中で平均正答率の合計が低い方の6校をII群とします。

I群とII群の学校質問紙の回答状況の差がある質問を抽出し、同様の環境の中でどのような指導の違いがあるのかを見ると、必ずしもまとまった傾向は見られませんでした。が、体験的な学習や読書、言語活動、個に応じた指導に関して差異が見られました。

(数字は選択肢)

番号	質問	群	回答状況					
			2	1	1	2	1	1
(96)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	I群	2	1	1	2	1	1
		II群	3	1	1	3	4	1
(72)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	I群	3	1	2	1	1	1
		II群	1	3	2	2	4	2

(57)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、チーム・ティーチングによる指導を行いましたか	I群	1	4	4	5	1	3
		II群	4	5	3	5	5	1
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	I群	1	1	1	1	1	1
		II群	1	1	1	1	6	1
(77)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	I群	1	1	1	1	1	1
		II群	1	2	1	1	2	2
(99)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	I群	3	1	1	1	1	1
		II群	3	2	1	1	3	1
(21)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	I群	2	2	1	3	2	1
		II群	1	3	3	2	3	2
5教科区分の平均正答率の合計		I群	302.1	305.7	306.1	312.6	315.7	318.4
		II群	161	266.6	272.1	273.5	273.8	276.4

第7章 中学校詳細分析～生徒質問紙～

1

生徒質問紙と教科に関する調査との関連

【関連：第1章P.5～、第4章P.39～】

「全国学力・学習状況調査結果チャート[児童生徒]」の領域名を基本に分類しています。
各領域では、教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目について以下に分析します。

◆◆国語への関心◆◆

「理由がわかるように書く」ということを常に意識できるような指導が大切です。

【関連項目】

番号	質問
(55)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか

よく言われるように国語の能力は、各教科等の学習の基本ともなるものであり、質問番号(50)は全ての教科において関連が見られます。

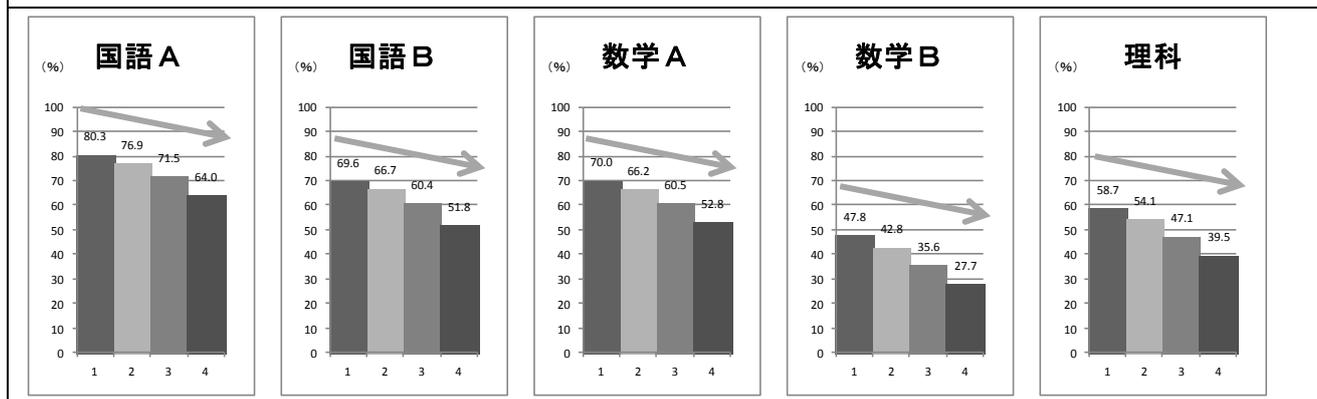
また、質問番号(55)は「判断してその理由を書くような問題」を解決できるような学習・練習ができていないかを聞いているもので、「国語B」「数学B」との関連が顕著に出ています。

理由を挙げて書く場合、「なぜかという～」、「その理由は～」、「～のためである。」などの表現についても指導する必要があります。また、普段から、理由や事例などを挙げながら、筋道を立てて話すことを意識させることも大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

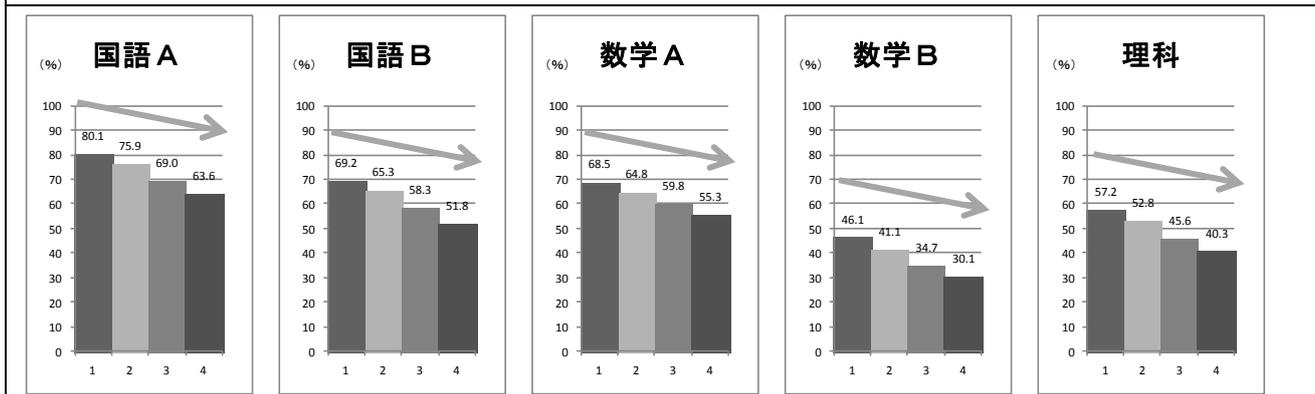
(55) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(50) 国語の授業の内容はよく分かりますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆数学への関心◆◆

いろいろな方法を考える意欲、「『根拠』を理解する」ことが重要です。

【関連項目】

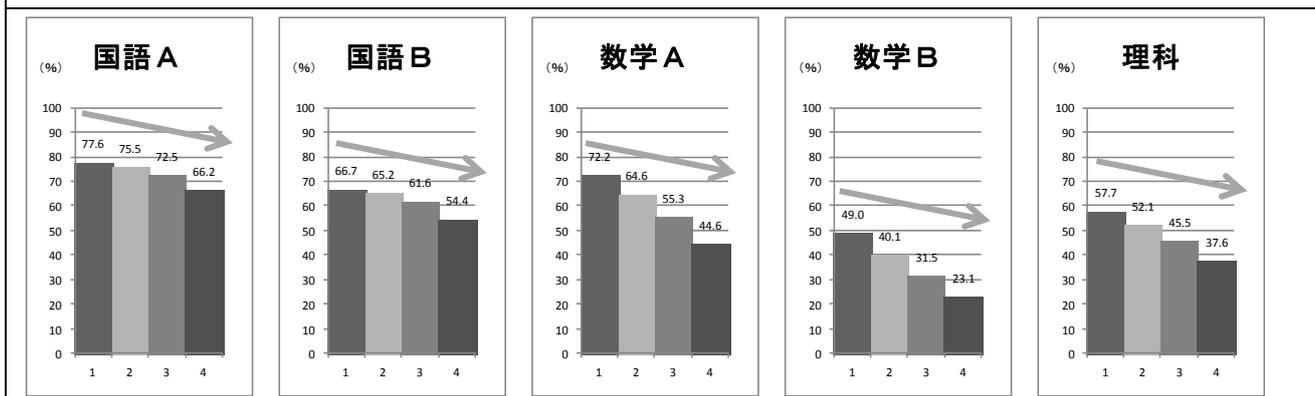
番号	質問
(60)	数学の授業の内容はよく分かりますか
(62)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか
(66)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか

数学科の学習では根拠を明らかにして論理的に考える力や課題を解決するためのプロセスを組み立て、実行する力を養っているという認識をもって指導し、それが生徒にも伝わるように工夫することが必要です。これらの力は国語科とも共通しており、他教科との関係も深くなっています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

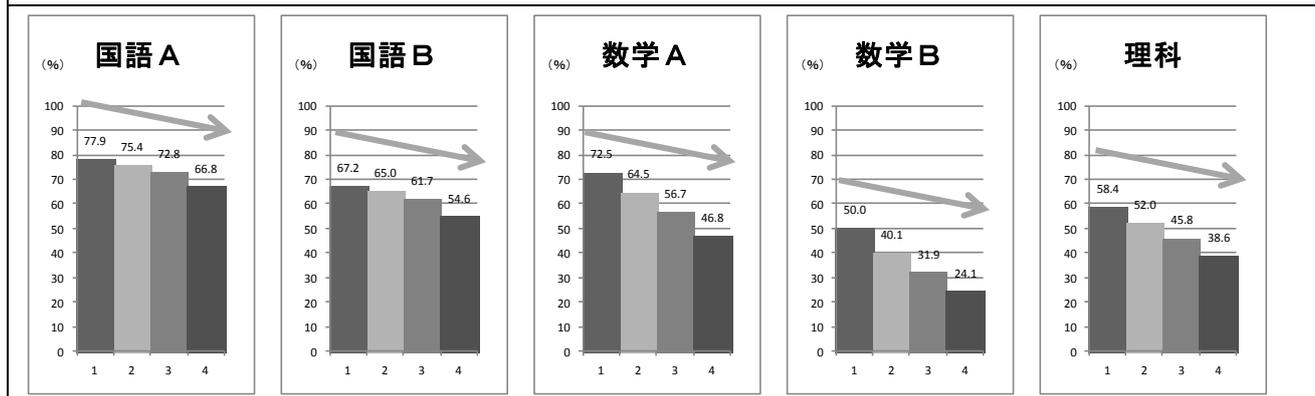
(60) 数学の授業の内容はよく分かりますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



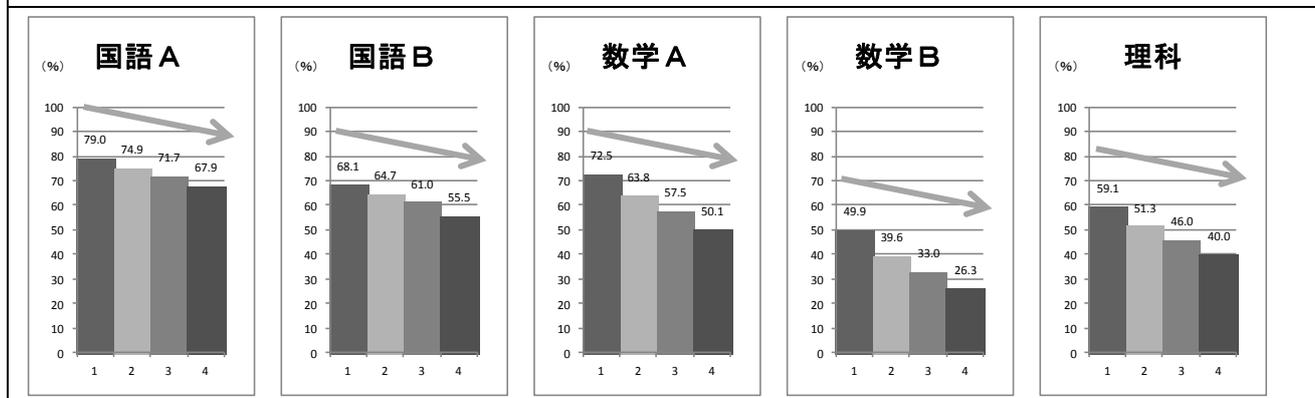
(62) 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(66) 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆理科への関心◆◆

観察、実験を充実させ、考えたことを生徒同士で交流する活動が大切です。

【関連項目】

番号	質問
(80)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか
(71)	理科の授業の内容はよく分かりますか
(76)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか

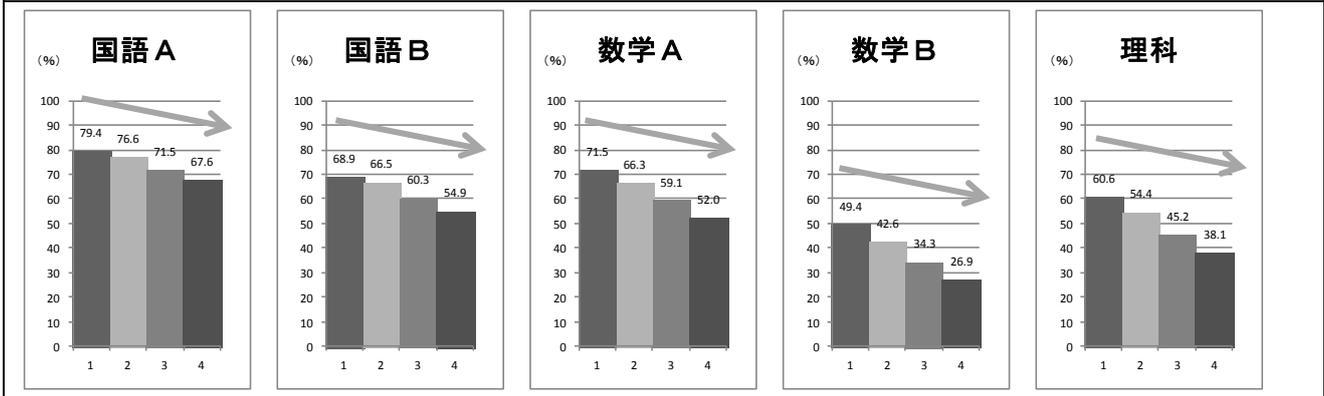
質問番号 (80) と平均正答率との関係から、観察、実験を通じて考察する力が数学、特に「数学B」とも関連していることがわかります。

観察、実験をグループで行って、グループでレポートを作成する、ということがよく行われますが、事前の仮説、方法、結果、考察をできるだけ個人個人が考えたうえでノートに書くようにし、それらを相互に発表し、考え方を学び合える場を設定することが大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

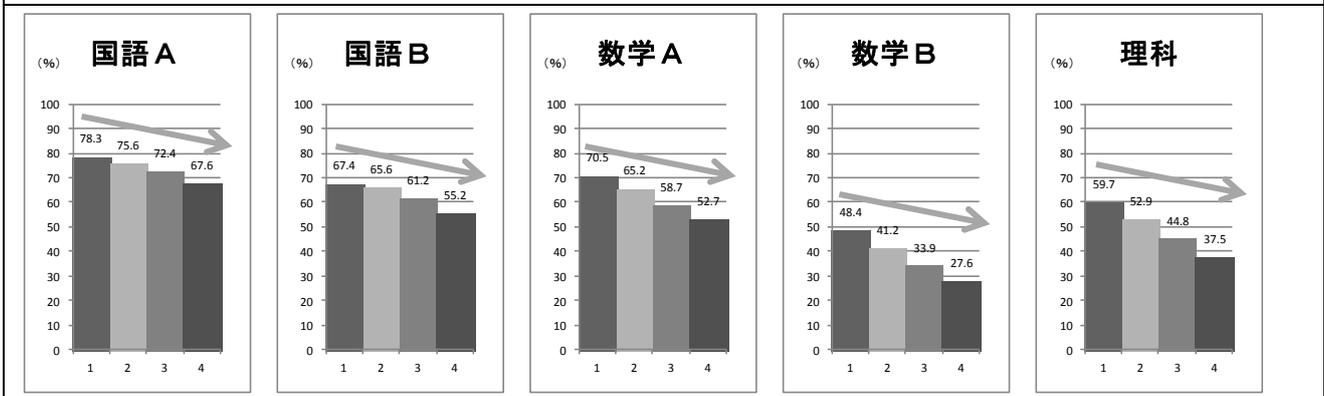
(80) 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



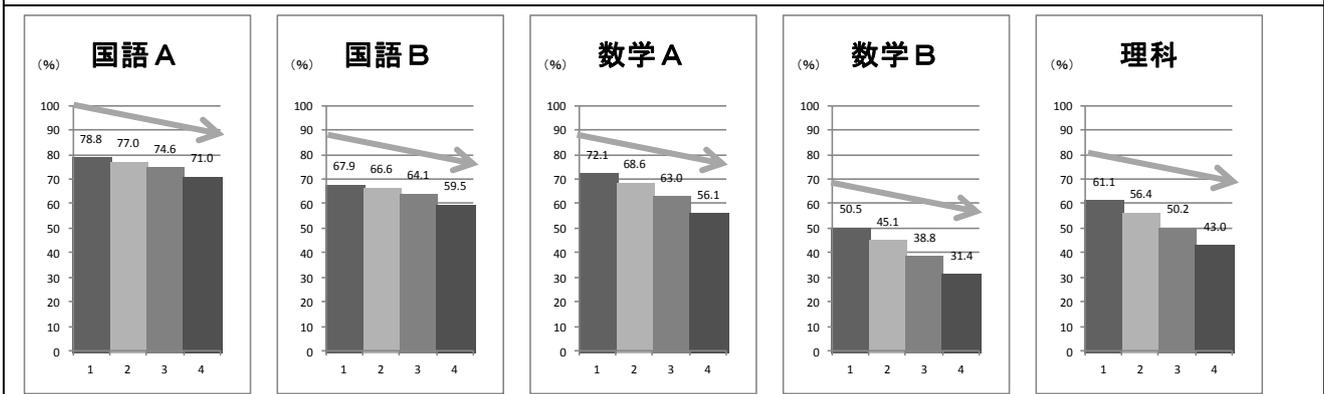
(71) 理科の授業の内容はよくわかりますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(76) 理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆総合的な学習への関心◆◆

社会で求められる力と中学校で培う力の関連の可視化と主体的な学び方の獲得が大切です。

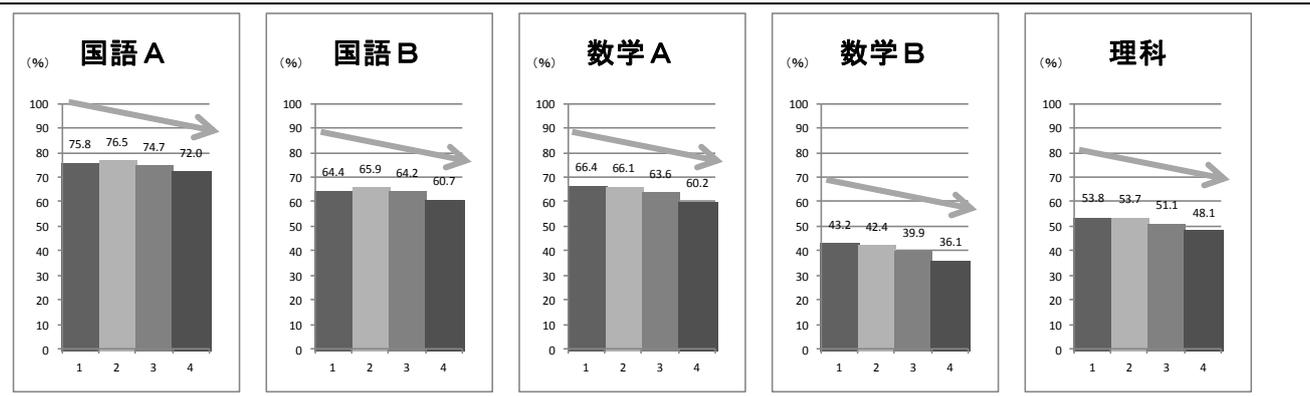
【関連項目】

番号	質問
(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

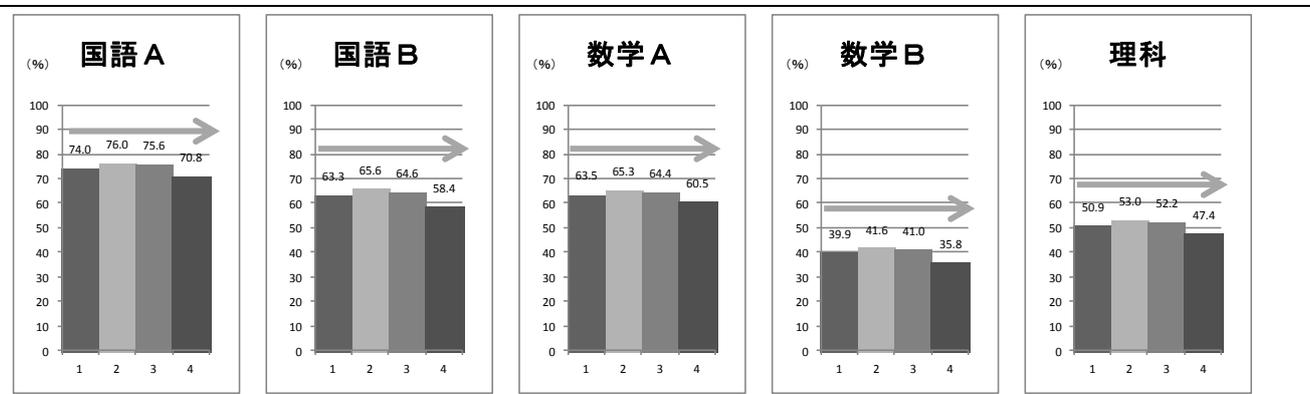
学校は子どもたちに力を付けて社会に送り出していくところです。「総合的な学習の時間」の中で社会で求められるどのような力を付けるのか、その力を付けるためにどのような活動を行うのかを明確にする必要があります。次期学習指導要領では、この考え方が各教科等にも広がっていき、どの教科でどのような力を付けるのかを明確にしていく方向で検討されています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

(37)「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
 (1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(36)「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか
 (1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆規範意識◆◆

心を育てることは全生徒にとって必要なことです。

【関連項目】

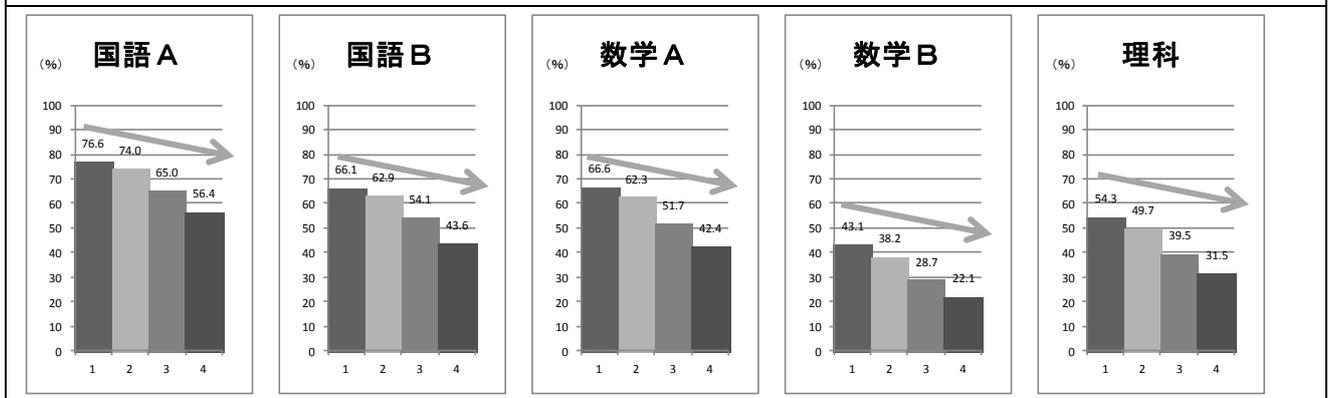
番号	質問
(32)	学校の規則を守っていますか
(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

質問番号(33)や(34)では、質問番号(32)と違い、学力との関連は明確ではありません。学力に関係なく、全生徒の心が豊かになるように育てていくことが大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

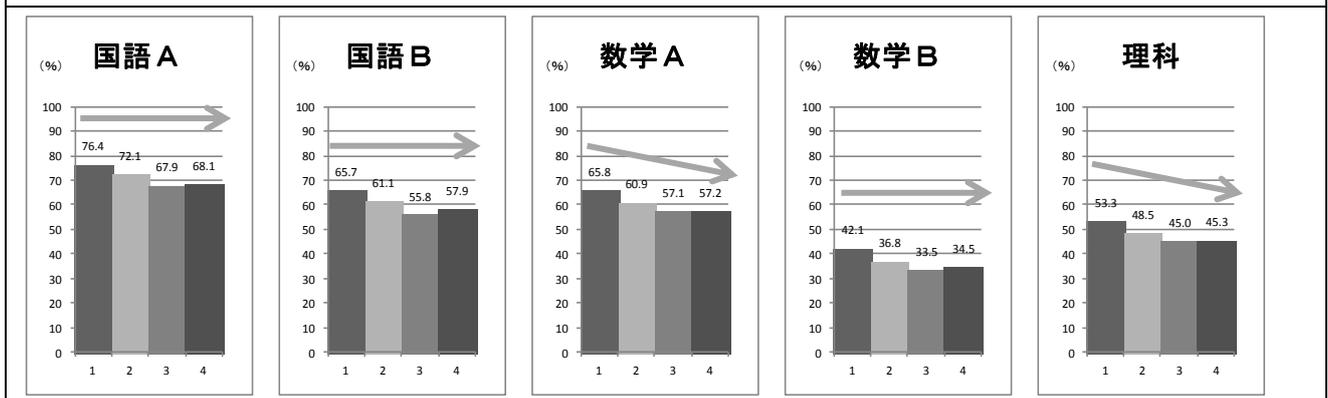
(32) 学校の規則を守っていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



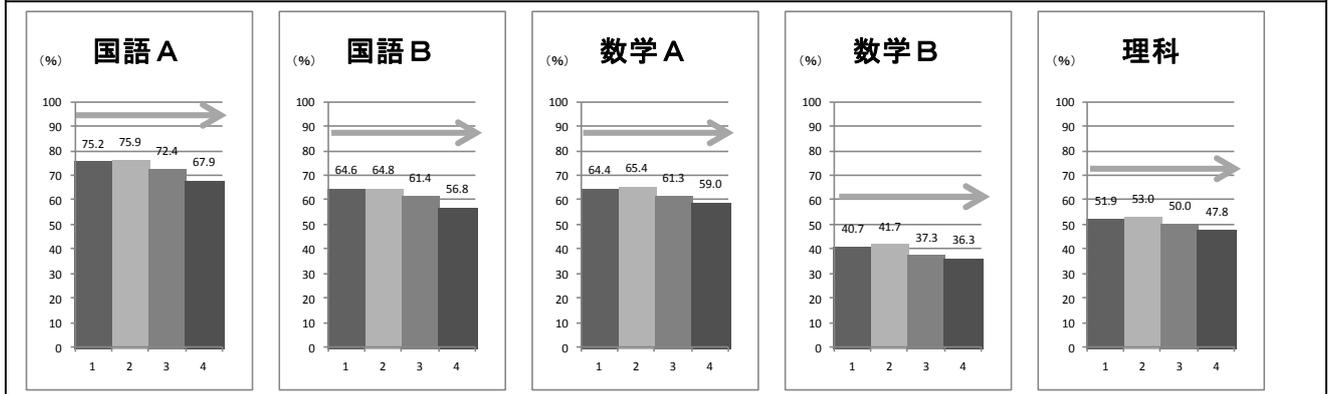
(33) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(34) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆自尊感情◆◆

全員が自己肯定感をもてるようなしかけづくりが大切です。

【関連項目】

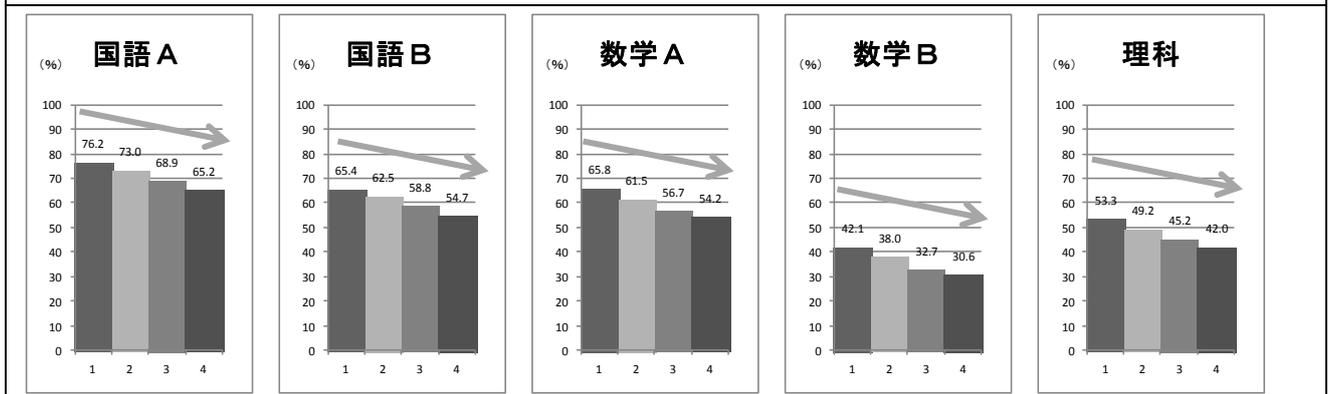
番号	質問
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
(6)	自分には、よいところがあると思いますか
(5)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか

質問番号(4)については全体的に平均正答率との関連が見られます。しかし質問番号(6)、(5)は選択肢1～3ではあまり差がなく、選択肢4を選んだ生徒の平均正答率が他の選択肢を選んだ生徒よりも低くなっています。全体としての自尊感情を高めることも大切ですが、一部の生徒については、個に応じた指導等が必要です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

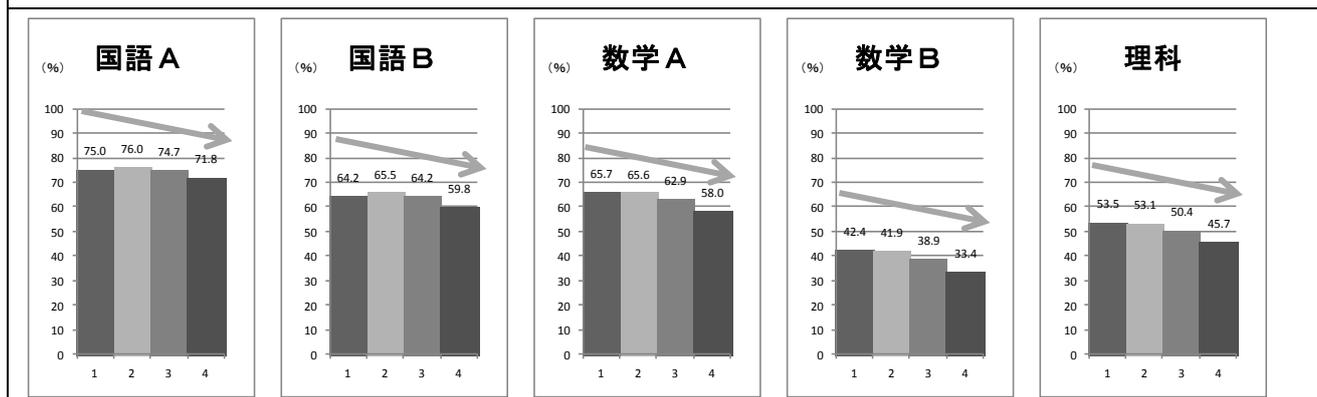
(4) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



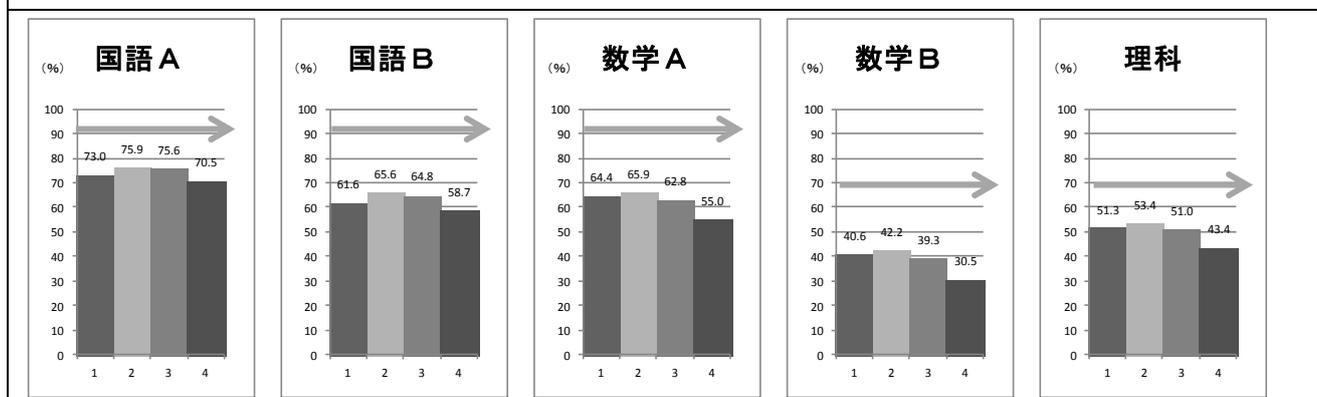
(6) 自分には、よいところがあると思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(5) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆言語活動・読解力◆◆

「自分の考えを発表する機会」の有無はどの教科とも関連しています。

【関連項目】

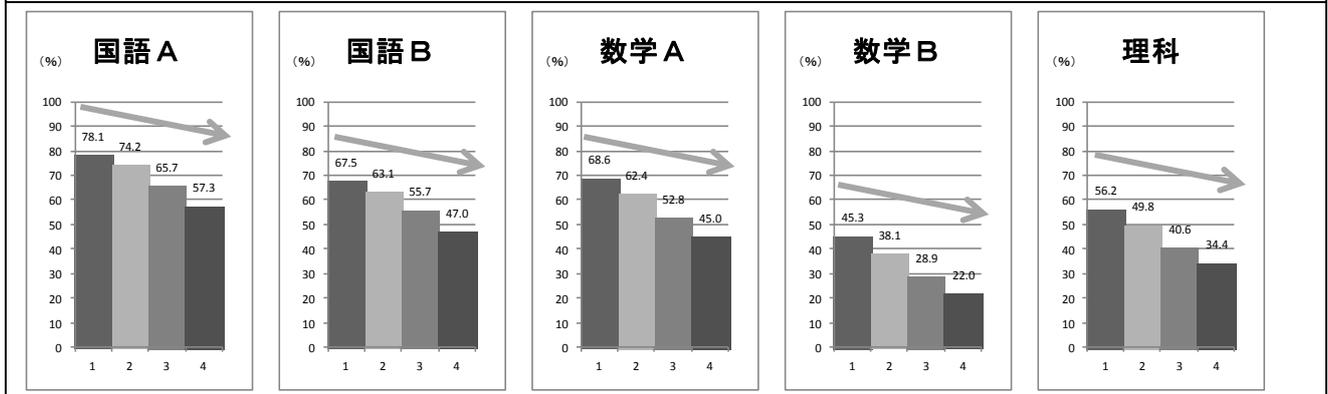
番号	質問
(38)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

質問番号(38)はどの教科とも関連が深く、「発表の指導をした」ではなく一人ひとりの生徒に発表する機会が与えられていたか、という観点での見直しも必要です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

(38) 1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆生活習慣◆◆

生活習慣が学習習慣の基盤。

【関連項目】

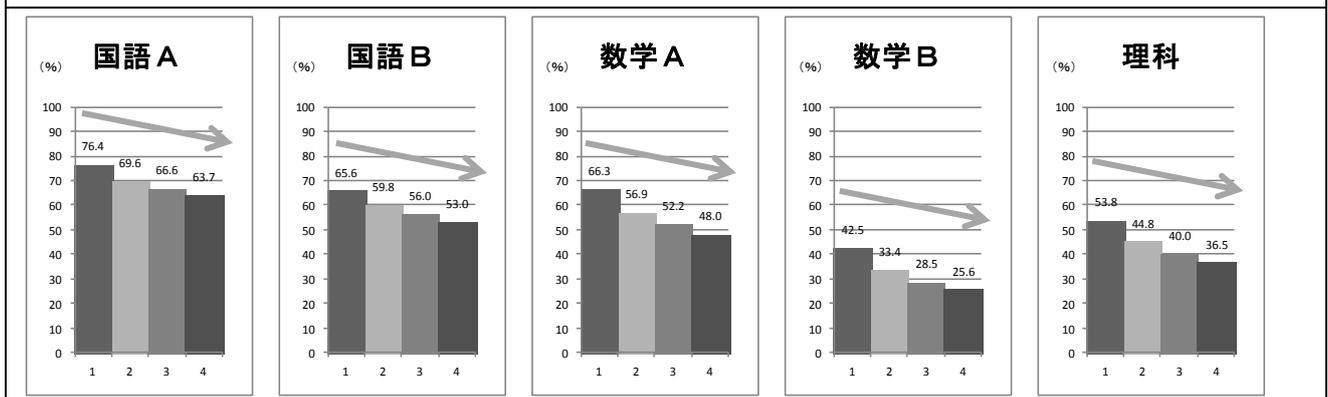
番号	質問
(1)	朝食を毎日食べていますか

生活習慣の安定が学力向上につながります。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

(1) 朝食を毎日食べていますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆学習習慣1◆◆

自分で計画を立てて家庭学習ができるようになるための支援が大切です。

【関連項目】

番号	質問
(21)	家で、学校の宿題をしていますか
(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか

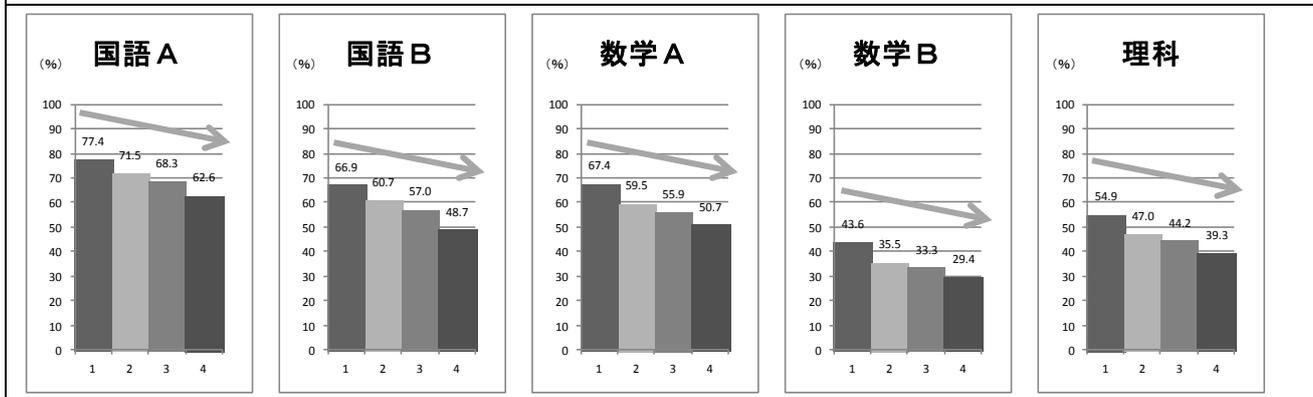
質問番号 (21)、(20)、(23) いずれも全ての教科との関連が見られます。

「自主的な勉強」は放任してはできるようになりません。学校として、どのように考えて計画を立てるかを教え、日々計画を立てる場と時間を設けることからスタートし、本当の意味での主体的な学びへと導いていくことが大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

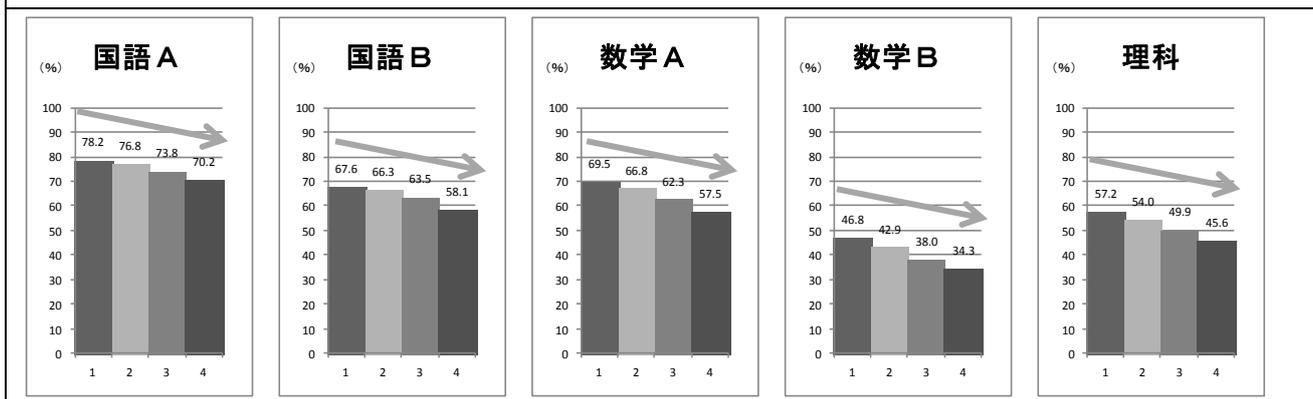
(21) 家で、学校の宿題をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



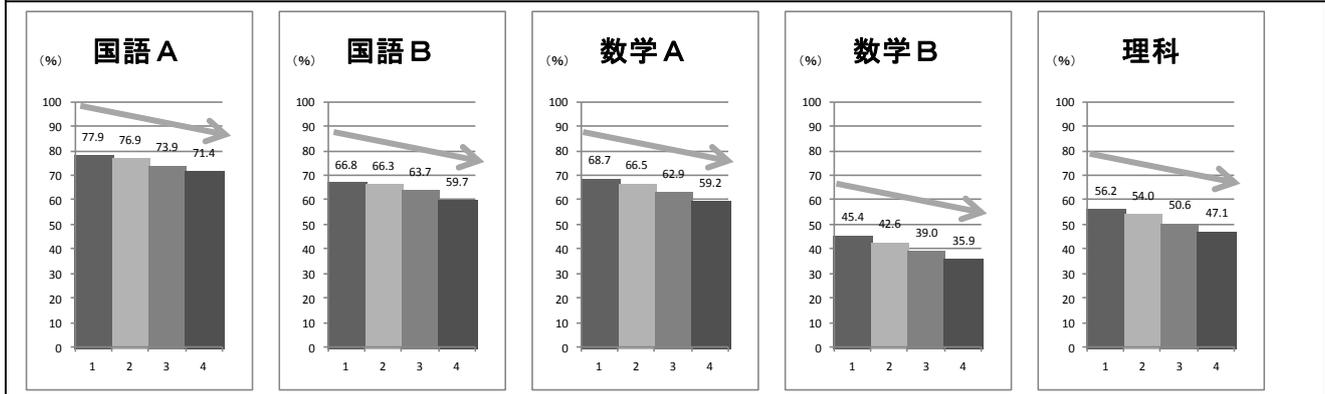
(20) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



(23) 家で、学校の授業の復習をしていますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



◆◆学習習慣2◆◆

土日も含めた家庭学習促進の働きかけをしましょう。各家庭でスマホルールづくりの会話をしましょう。

【関連項目】

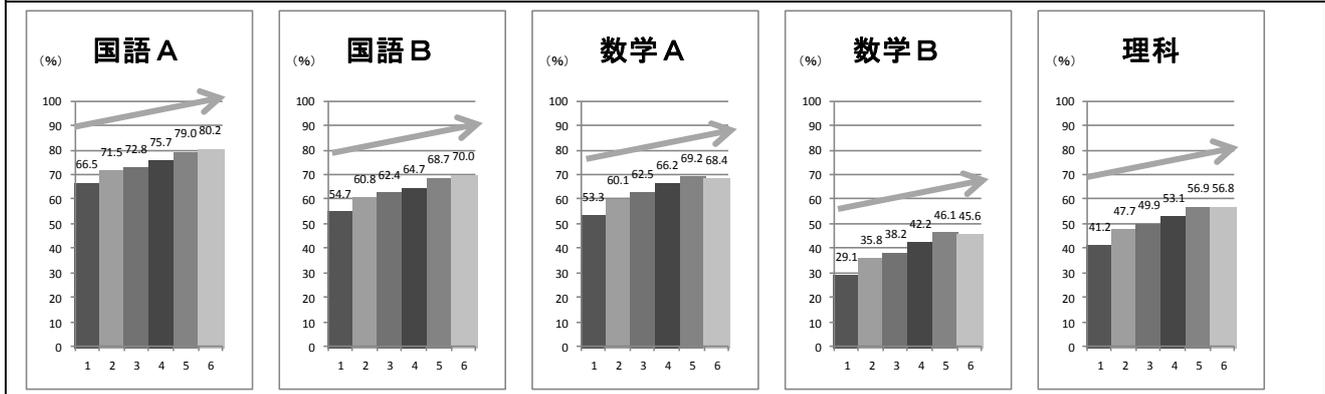
番号	質問
(11)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
(14)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
(12)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）
(13)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

特に中学校では、スマホの使用時間の増加が全国にもまして著しく、このことが家庭での学習時間にも影響していると考えられます。家庭での時間の使い方は学校だけでは解決できない課題です。家庭への協力を求めるとともに、協力を求める際にも、自治体や学校が規則を決めて「守らせる」というやり方だけではなく、親子が話し合って自らルールをつくり、それを守る、という方法が増えてきています。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

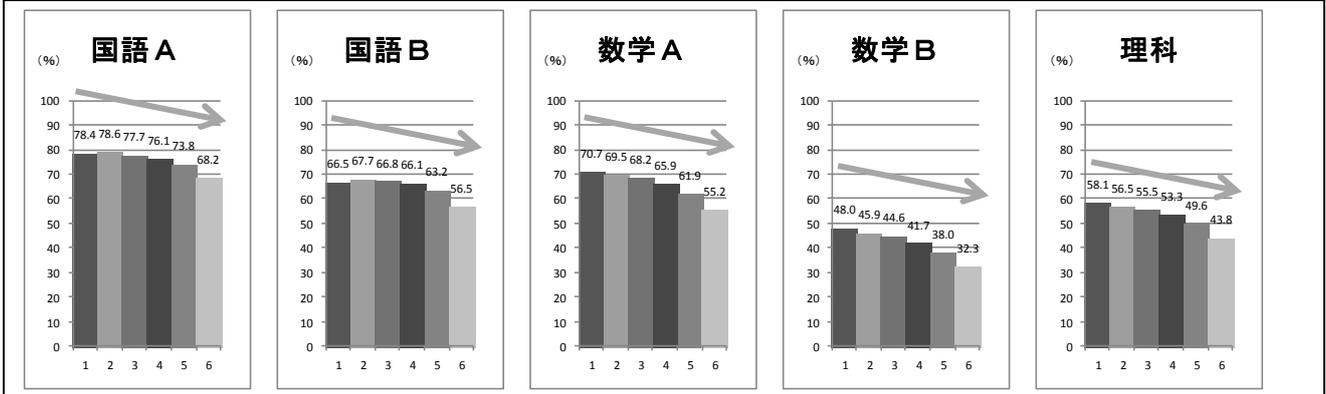
(11) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

(1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない)



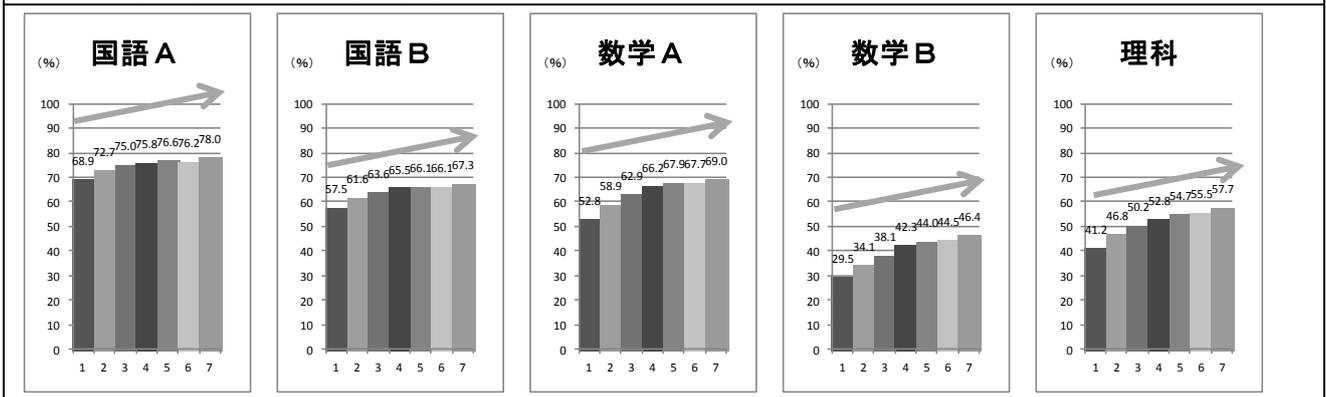
(14) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

- (1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない)



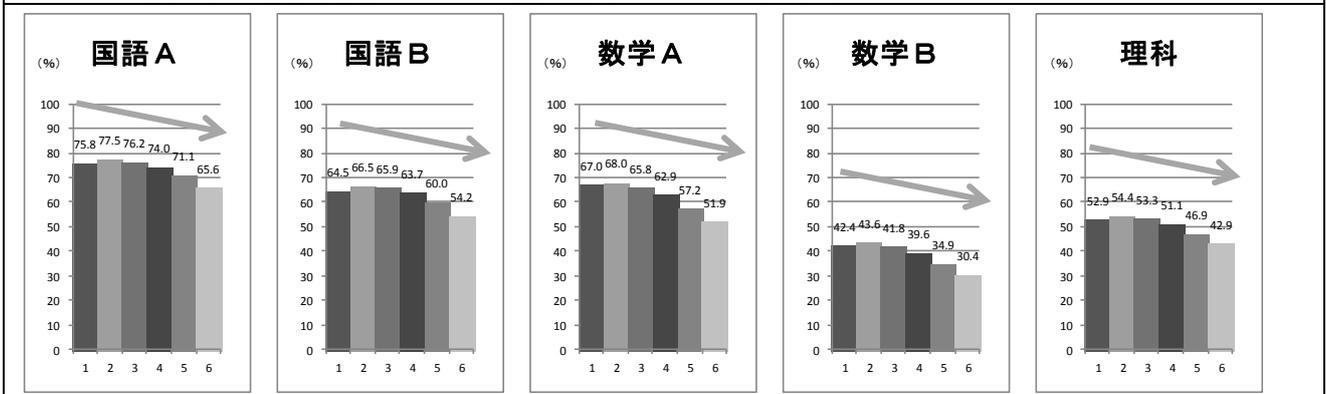
(12) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

- (1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない 5 30分以上、1時間より少ない 6 30分より少ない
7 携帯電話やスマートフォンを持っていない)



(13) 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

- (1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない
4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない)



◆◆家庭・地域との関わり◆◆

異世代間のコミュニケーションを活性化させましょう。

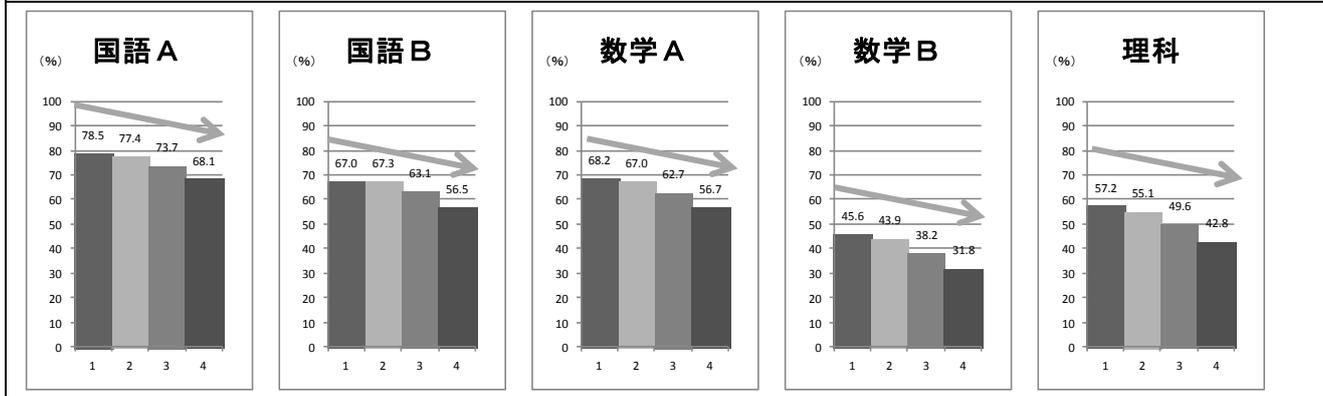
【関連項目】

番号	質問
(28)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか
(19)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか
(18)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

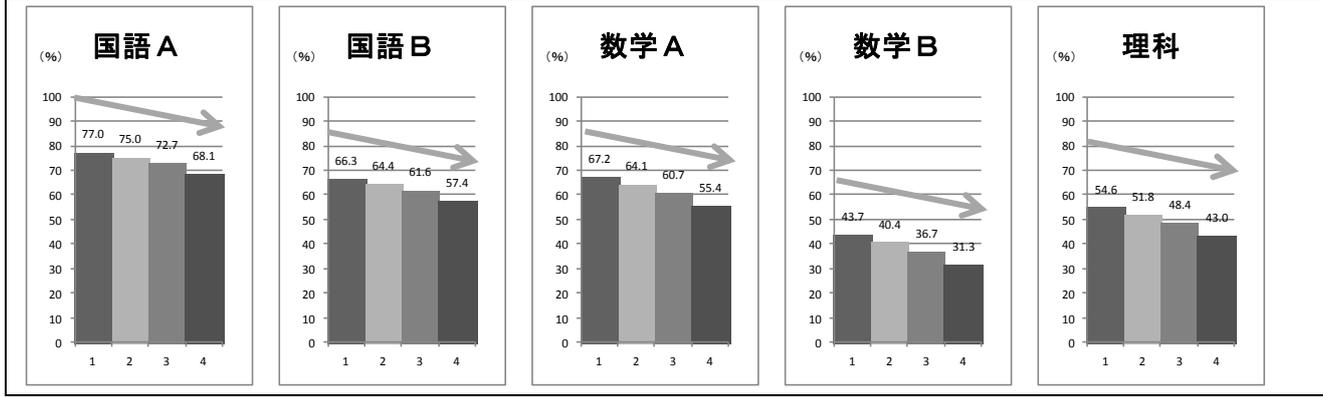
質問番号(28)の地域や社会の出来事への関心は「数学B」や「理科」と関連が高いようです。また、コミュニケーションに関わる質問番号(18)は国語との関連が高いようです。保護者や地域の方々を含めた大人との会話で学べることもたくさんあります。学校支援ボランティア等の活動に生徒をうまく巻き込み、異世代間のコミュニケーションの活性化を図ることが大切です。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

(28) 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか
 (1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)

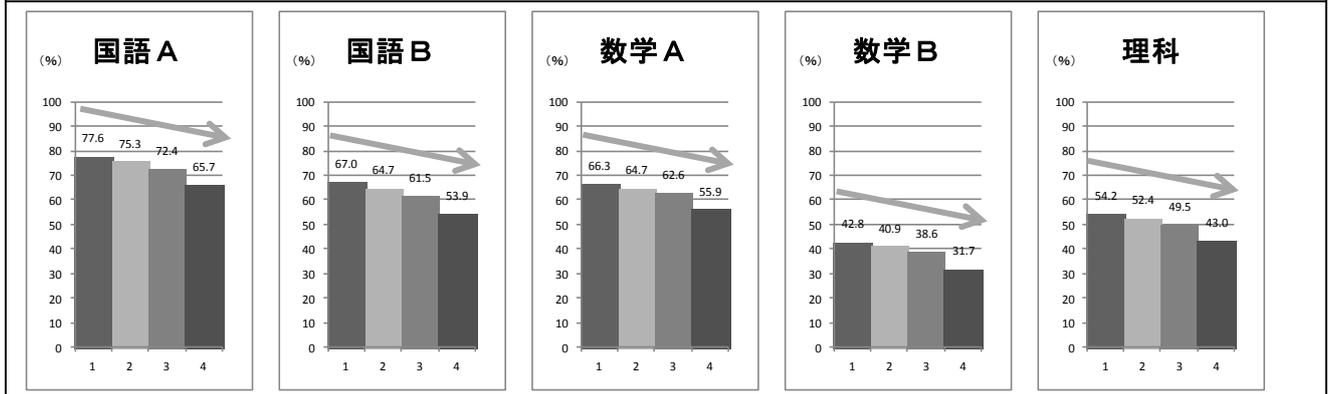


(19) 家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか
 (1 よく来る 2 時々来る 3 あまり来ない 4 全く来ない)



(18) 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

(1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない)



◆◆学校での学び◆◆

学習に向かうには、協力し合える学級づくりが重要です。

【関連項目】

番号	質問
(26)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか
(41)	1、2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

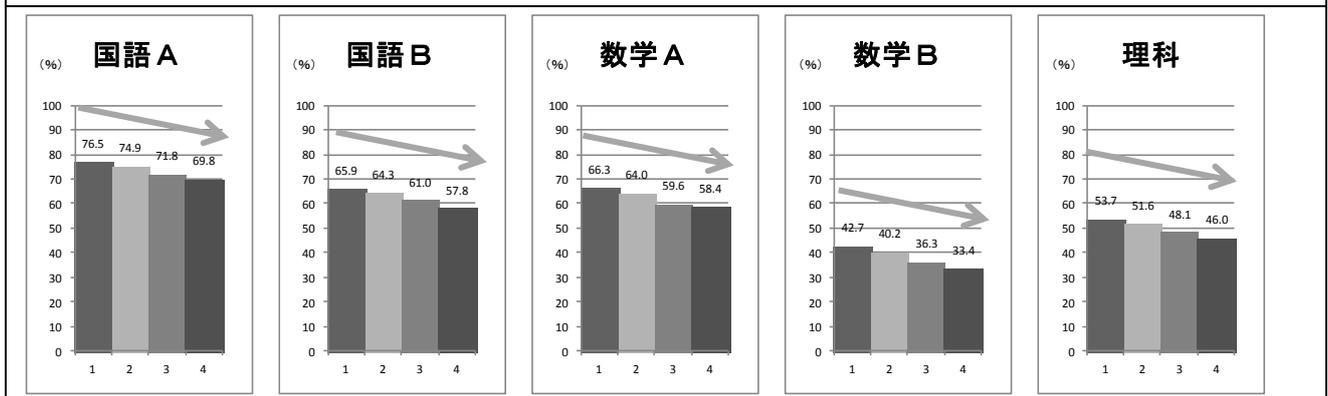
質問番号（26）と各教科の平均正答率の間には一定の関連が見られます。学習のベースには学級づくりがあります。学級担任、教科担任全員が協力して学級づくりを行っていくことが大切です。

質問番号（41）については目標の示し方、示すタイミング、示すだけでなく、その目標を常に意識させる手法など、工夫の余地があるようです。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

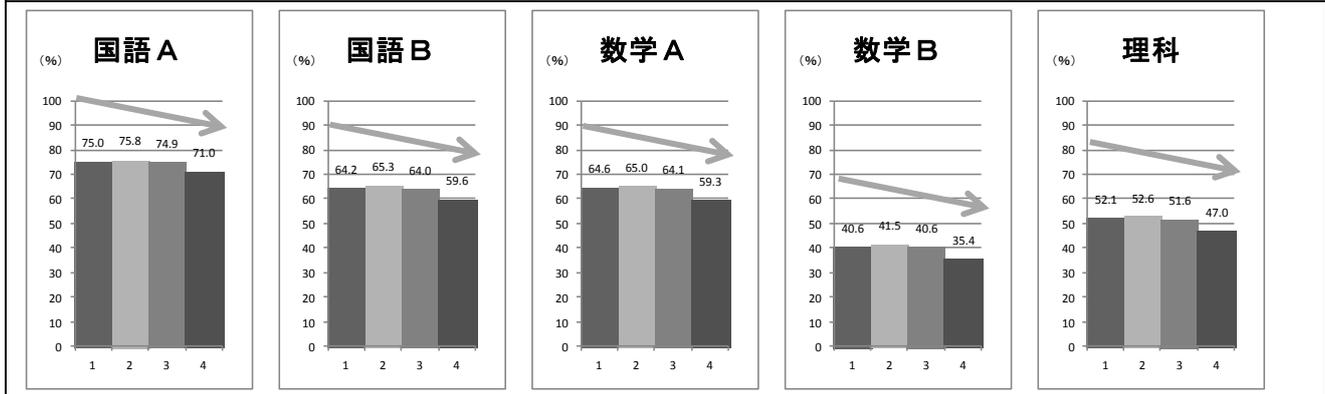
(26) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



(41) 1、2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

(1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない)



◆◆解答への姿勢◆◆

調査実施に対する事前の生徒の心構えの形成が大切です。

【関連項目】

番号	質問
(57)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか
(68)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか
(82)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

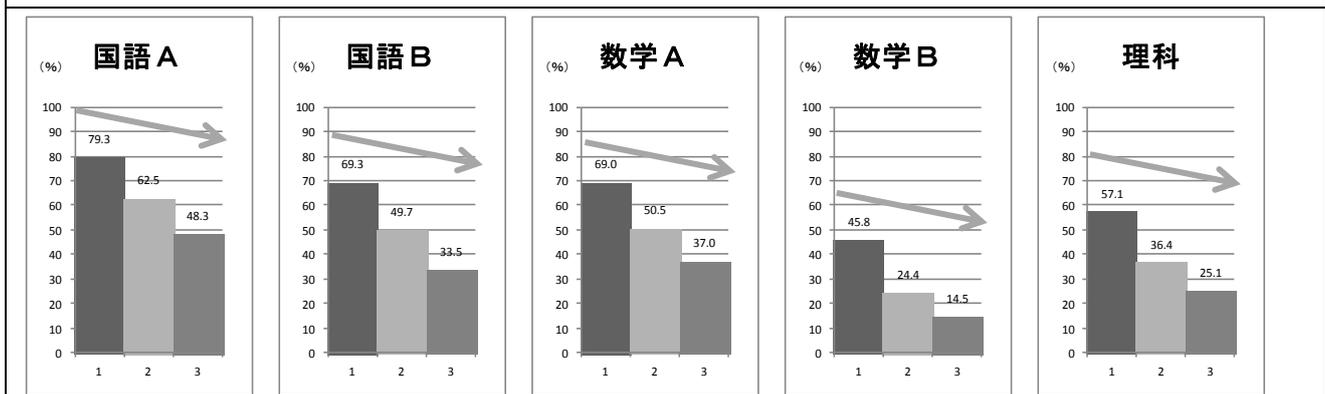
どの質問項目も全ての教科と明確な関連があることがわかります。教科に関係なく、調査問題に対して最後まで粘り強く取り組めるかということ、もっと言えば、何事にも粘り強く取り組むことができるか、ということが結果に反映されています。

また、担任等からの調査前の意義の説明や調査中の励ましの有無にも影響があると考えられます。

【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

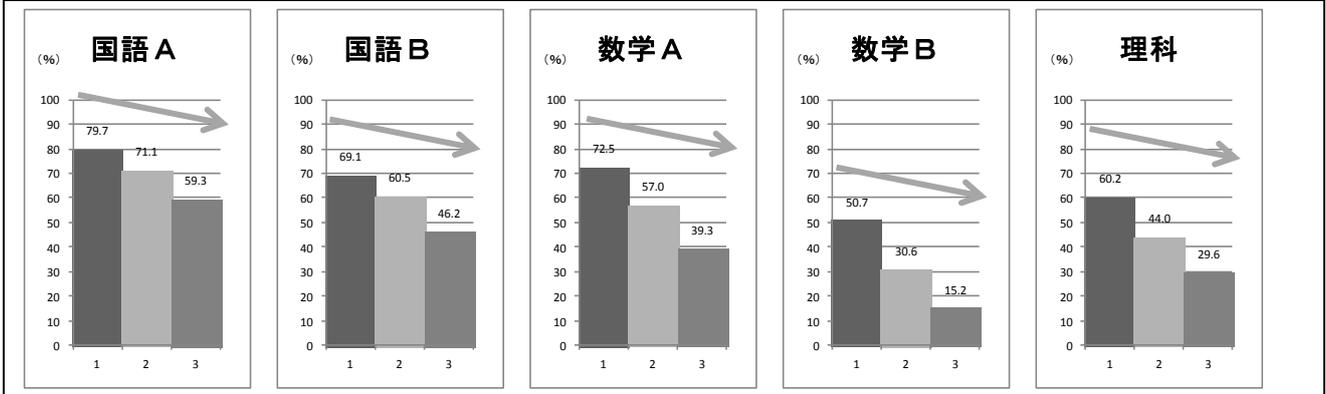
(57) 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

(1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった)



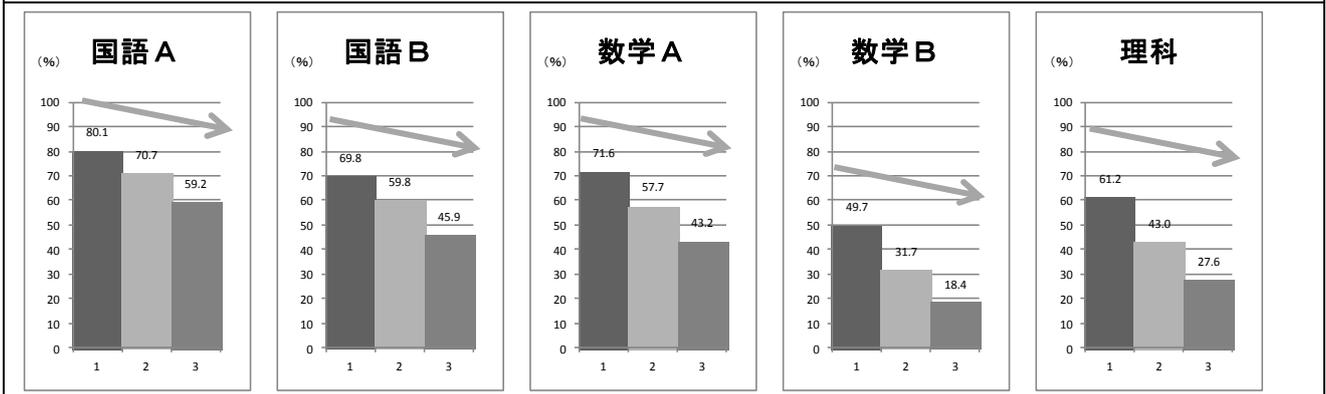
(68) 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか

- (1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった)



(82) 今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか

- (1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった)



第8章 県内の取組事例

今年度、小学校、中学校ともに各校の指導改善努力によって、教科に関する調査は全国の平均正答率との差も縮まってきました。この流れをさらに確かなものとするため、学校や市町等教育委員会の努力や子どもたちの成長の様子に焦点を当て、指導事例として共有します。ここに紹介します学校や市町等教育委員会は、今年度調査の結果のみではなく、教育に関わる困難な状況を、継続的・組織的な取組や教職員の意識改革を進める中で克服しながら、学力向上の成果へと結びつけている学校や市町等教育委員会の例を取り上げたものです。

[幼保・小中学校一体] [3感教育]

－ 1歳から15歳までの「16年一貫教育の実現」

東員町教育委員会

目 標	全ての子どもたちが社会でいきいきとした自分の人生を歩めるように
-----	---------------------------------

東員町は、学力の面では近年高い位置で推移しており、学力に関する課題の解決という観点だけではなく、さらに進んで、幼・保・小中学校一体となって、子どもたちが将来にわたって豊かな人生を送れることを考えた教育政策に取り組んでいます。

取 組 ①	第1次～第4次「3つの提言」
-------	----------------

東員町では、平成15年度から中学校第1学年を対象に学力調査を開始しました。当時、読解力が弱いことが明らかになり、具体的な対応策が必要でした。

平成17年度に現場の先生で構成される「研究委員会」から「3つの提言」が出され、以降、3年ごとに継続して提言が出されています。

第1次 H17～19	10分間朝読書	豊かな心を育て、読書習慣をつける
	国語力の向上	話す・聞く・読む・書く力などの育成
	基本的な生活習慣の確立	子どもたちの学びの基礎を育てる
第2次 H20～22	PISA型読解力の向上	様々なテキストを理解し、熟考する力の育成
	家庭学習の習慣づくり	基礎学力の定着と主体的に学ぶ力の育成
	幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の連携	学びの連続性を考慮した教育の充実
第3次 H23～25	「対話力と活用力」の向上	相手とともに問題を解決する対話力と課題を解決するための生活的・実践的な活用力の育成
	関わる力の育成	授業や生活の場で、「コミュニケーション力」の育成
	幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の連携	学びの連続性を重視した教育の充実
第4次 H26～28	「書く力」の育成	思考したことを相手に伝わるように自己表現する術として、「書く力」を基礎基本から育てる
	運動能力の向上と社会性の育成	外遊びを充実させることで、運動能力の向上を図ると同時に、多くの友だちと関わりながら社会性を育てる
	16年一貫教育プランの実践	保護者とともに3感教育(※)の意義・内容を理解し、連携しながら共に取り組んでいく

※3感教育：「16年一貫教育プラン」で大切にしている、基本的信頼感、自己肯定感、自己有能感。

提言の年度は区切られていますが、過去の提言は全て現在も継続して重点実践事項として位置付けられ、積みあがっています。

これを見ると、学校（または教育政策）が成長・発展していくプロセスが見えてきます。第1次提言の時代は小中学校の範囲、学習指導要領の範囲で考えられていますが、第2次提言ではある意味世界標準とも言

えるPISA型読解力に着目するとともに、その力の育成は小中学校だけが関わるものではないことから幼保・小・中の連携が打ち出されています。第3次では、次期学習指導要領で重視されるであろう、コラボレーション力、コミュニケーション力といったいわゆる21世紀型能力の育成が提言されています。そして、第4次では全ての提言を包含する「16年一貫教育プラン（平成25年度～）」という大きな理念の実践とともに、顕在化している課題にもしっかりと対応する、というものになっています。

目の前の課題を解決するだけでなく、国の政策をも先んじるような先進的な教育政策が打ち出されており、しかもそれが、教育委員会・有識者からではなく、現場の先生によって構成される研究委員会から発信されている、ということが大きなポイントです。だからこそ、全ての園・校においての確実な実践・定着につながっていています。

取組② 16年一貫教育プラン

16年とは、命が宿ったー1歳から義務教育修了までの16年間を指します。地域福祉課とも連携しながら、母子保健事業等の充実も図られています。

また、東員町では幼保一体型の施設が小学校と隣接しているという環境にも恵まれ、保育者、教職員、園児・児童・生徒の交流が活発に行われています。

16年一貫教育プランの根幹をなすのが、前出の、3感 EDUCATION です。

人を信じる力の欠如、困り感が出せない関係	⇒	基本的信頼感 「この世に受け入れられているんだ」 「信頼してもいいんだ」
自分のことが「好き」と思える子どもが減少	⇒	自己肯定感 「自分は大切な存在なんだ」 「自分はかけがえのない存在なんだ」
たくましさ、鈍感さ、傷つきにくさがあった子どもたちの変化	⇒	自己有能感 「自分はこんなに得意なことがあるんだ」 「頑張れば、きつとうまくいく！」

これらを大切に育てていくことによって、子どもたちの「意欲」を高める保育・教育を目指しています。

取組③ さまざまな取組

16年一貫教育を包含する「3つの提言」に基づいて、東員町ではさまざまな取組が行われています。以下はその一例です。

とういん学び検定	「書く力」を高めるための国語力、国文法に関する検定 独自テキストを作成 テキストをしっかり勉強しておけば合格できる「とういん学び検定」（町民も参加可能） 該当学年のうちに繰り返し受検し、認定証を受け取る ⇒自己有能感を育てる
読書登山	0歳から15歳までに読んでほしい301冊 前期・後期に分けてオリジナルの感想コメント記入欄付きシール台紙を配布 読破したら認定証を受け取る ⇒自己有能感を育てる ⇒親子の会話など、関わる時間が増加 図書館・書店の利用が増加
弁当の日	小学校第6学年で、年3回、給食をなくし、児童自身が献立を考え、買い物をし、弁当を作り、弁当箱を洗う、という取組 ⇒自立できる力を養う
ぼくの夢・私の未来	0歳から15歳まで、年度末に夢を書きつづって蓄積

これ以外にも、園・校全体で取り組んでいることがたくさんあります。それぞれの園・校が特色ある取組を創造している中、東員町として大事にしている一定のことについては、どの園・校で過ごしても得られるように、ということが考えられています。

学校が動きやすいようにバックアップ

松阪市教育委員会

課題 平成26年度の教科に関する調査の結果と市全体の統一感

平成26年度の全国学力・学習状況調査は厳しい結果でした。

それまでも各校で調査結果の分析・公表を行ってきましたが、各校独自の観点で行っており、市全体で同じ方向を向いて力を発揮する体制が十分ではありませんでした。

取組① 共通の「課題把握シート」ですばやく、深い分析

松阪市教育委員会は、教育の中心は学校であり、どのようにしたら学校が動きやすくなり、学校での教育の充実が図れるかを考えるのが教育委員会の役割である、という姿勢が徹底されています。

調査結果も、児童生徒を直接見ている学校で分析を深め、児童生徒理解をさらに深めることが、課題の解決につながる、という考え方のもと、これまで学校独自で行ってきた調査結果の分析と授業改善への反映をやりやすくするために、平成26年度に市統一の「課題把握シート」を作成しました。

「課題」の基準を決める

市全体の状況を踏まえ「課題」ととらえる基準を明確にすることによって、スムーズな分析を実現しました。基準を決めておけば、これも課題ではないか、あれはどうか、と課題の特定の検討に時間を使わずに済み、どのようにして課題を解決していくのか、授業を改善していくのかにいち早く力を注ぐことができます。

教科に関する調査において、「平均正答率30%以下」「全国との差-10%以上」「無解答率20%以上」の設問に課題あり、と位置付けました。

これによって10月にはすでに全校「課題把握シート」の作成を完了し、解決に向けて動き出すことができました。

授業に返す

「課題把握シート」における主要な改善検討事項は、

- ・課題につながると考えられる要因（授業の中で）
- ・課題克服のためにどのように取り組むか
- ・教育委員会に求めること

の3項目です。

課題は授業の中にあるはずである、どのように授業を改善していくことが必要なのか、ということ、質問紙の結果も踏まえて検討しました。このような観点で課題を意識することで、「どのような力が求められているのか」ということについて教員の中で理解が深まっていきました。

取組② 教員研修の変化

市の研修では、「授業の充実」ということを主眼に、ワークショップ形式の実践的な講座を増やし、そこにはできるかぎり外部の講師を依頼し、今までの取組をより充実するため新たな視点を入れるようにしました。

また、校内研修にも、これまでは指導主事がなかなか出向けなかった状況がありましたが、松阪市独自のOB教員によるアドバイザー組織を作り、指導主事とともにできる限り各校の校内研修に参加し、学校とともに授業改善のための知恵をしぼってきました。

取組③ 本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ

松阪市では、学識経験者、保護者代表、地域代表、学校関係者、教育委員会職員で構成される学力向上推進協議会を平成21年度から運営しています。

昨年度の協議会では、全国学力・学習状況調査の結果も踏まえ、郷土の偉人である本居宣長が残した多くの教えの中から課題解決に資するものを取り上げ、さらに子どもたちが実行できる「5つのチャレンジ」を定めました。これらはリーフレットになり全保護者に配布されているとともに、自治会でも回覧され、さらには、全教室にポスターとして貼られています。

子どもたちにとっては、プリントを一度見ておわりではなく、また校内の取り決めではなくもっと大きな公的なものとして毎日ポスターを目にします。自己を律する契機になるとともに、故郷を愛する気持ちにつながっていきます。学校からも、学校として発信したいことを、市を挙げてバックアップしてもらっていてありがたい、との声もありました。



取組④ 市独自の学力調査スタート

小学校第6学年、中学校第3学年になってから学力の状況を客観的に把握・分析をしても、卒業学年であり、なかなか本質的な手立てにつながるができなかったのが、子どもたちの状況を早い段階で把握し、できる限り課題を積み残さないようにするために平成27年4月から市独自の学力調査をスタートしました。(小学校第4・5学年、中学校第1・2学年国語・算数/数学)

6月に返却された結果データをもとに、夏休みの校内研修会では課題解決の手立ての検討を行い、短いサイクルでのPDCAサイクルの構築を実現しています。また、明らかになったつまづきを解消するために、ウェブページから「個別復習教材」を各学校で活用できるようにしています。

成 果 確かな学力の向上

平成27年度の結果には、児童生徒が粘り強く最後まで問題に取り組むことができるようになり、学校・家庭が一体となって改善に取り組むことができている状況が現れました。また、授業の冒頭でのめあての提示、最後での振り返りも徹底されてきており、小学校・中学校、国語・算数/数学全てが昨年度よりも向上し、特に小学校においては全てにおいて三重県の平均を上回りました。

今 後 ICTの活用の充実へ

フューチャースクールに指定されていた三雲中学校を核に、特に中学校でのアクティブ・ラーニングの充実を、ICTを活用して推進していく計画です。これによって、知識のつめこみではなく、自ら考え、行動できる子どもたちを育てていくことがねらいです。

「チーム笹川東小学校」の力を発揮

四日市市立笹川東小学校

はじめに 本校の概要

本校は団地造成後約40年を経過した住宅地に位置しており、住民の間には郷土意識が根づきはじめ、ふるさとづくりをめざした文化的・体育的活動が活発に行われています。地域住民の教育への関心も高く、子どもへの期待が大きい地域です。近年、外国にルーツを持つ人も多く住みはじめ、新しい地域の在り方が求められています。現在、本校には、全校の約5分の1にあたる約40名の外国にルーツを持つ子どもたちが在籍しており、多文化共生教育の推進を学校教育ビジョンの一つとして取組を進めています。

また、平成26年度から、県の学力向上に向けた指導体制確立支援事業の実践推進校の指定を受け、

「① 子どもに付けたい力を明確にした授業実践」「② 全国学力・学習状況調査、CRTの詳細な分析と授業改善サイクルの確立」「③ 家庭・地域と連携した取組の充実」の3つの視点から取組を進めています。

取組 ① 全国学力・学習状況調査の分析から課題を焦点化して校内研修の柱を設定

全国学力・学習状況調査の結果から「書く力」について課題があることが明らかになったため、校内研修主題を「書く力をつけるための指導法の研究～読み手を意識して相手に伝えたいことを適切に表現できる子どもの育成」として、全ての教科で取組を進めています。目的や意図に応じて文章全体の構成を工夫したり、必要な内容を整理したりして表現する活動を充実させ、相手に分かりやすく伝える力をどのようにつけていくのか、その手立てを探ることを校内研修の柱としています。

取組 ② 効果的な習熟度別少人数指導の充実

学力向上に向けた指導体制確立支援事業による非常勤講師を活用して、3年生以上の算数科において、3つのコースに分かれた習熟度別少人数授業を実施しています。学習内容に応じて、コースを子どもたちが選択できるので、よりきめ細かな指導を行うことができます。また、発言したり、みんなの前で説明したりする機会が増えることから、子どもたちの表現力を高めたり、自己肯定感を高めたりすることにもつながっています。

取組 ③ 指導力を高める研修の推進

(1) 授業提案（全員）、本校の各種教育課題に対応した「ミニ研修会」を行うとともに、日常的なOJTの推進に努め、ライフステージに応じた指導力の向上を図っています。

・「ノート指導活用交流会」「ICT活用実践交流会」「国語科実践研修会」など

(2) 学力向上に関する研修会を年3回行い、授業改善の視点等について、少人数非常勤講師も含め全教職員で共通理解を図っています。

① 5月「全国学力・学習状況調査 採点研修会」

「国語A」「国語B」「算数A」「算数B」の4つのグループに分かれて採点を行い、本校子どもの「強み」「弱み」について、全員が共通理解を図りました。本校の課題が「出題の意図を捉えたり、条件付きの問題の意図を読み取ったりして、記述回答すること」「根拠となる事柄を過不足なく示して判断の理由を説明したり、数量の関係を図に表したりすること」であることについて全員が把握でき、その後の課題解決に向けての意識がより高まりました。

② 8月「算数指導力向上研修会」

夏の研修会では、全学年を通して、どの単元でどういう図をかくのかを全教職員で洗い出し、それ

それぞれのよう指導をしていくのがよいかの教材研究を行いました。「丁寧に書きなさい」式の指導ではなく、具体的な指導方法について共通理解を図ることができました。

取組 ④ 家庭・地域と連携した取組

- (1) 生活科・総合的な学習の時間で学んだことの発表の場として、11月に保護者・地域の方を招いての「ワールドフェスティバル」を行っています。地域に出かけて調べたり、地域の方をゲストティーチャーとして招いてお話を伺ったりして、学んだこと、考えたことをまとめ、学年ごとに発表をしました。学校での学習の様子を保護者・地域住民に理解していただくよい機会となっています。
- (2) 学校での学習の様子、取組の内容等をホームページにて毎日配信しています。年々アクセス数が増え、保護者の関心も高まってきています。
- (3) 地域ボランティアと連携して「夏休み特別学習会」を実施し5日間の補充学習を行いました。平成25年度から始まったこの取組は、保護者からも好評であり、本校の夏の補充学習として定着してきました。

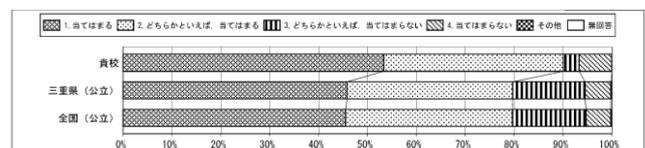
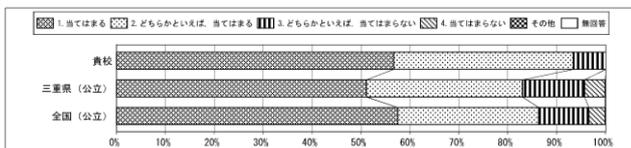
成果 「チーム笹川東小学校」として教職員が一丸となって取り組む体制が整いつつある。

- (1) 非常勤講師も含めた全ての教職員が「学力向上研修会」にて「授業改善の視点」について共通理解を図ることで、「めあて」「振り返り」を意識した授業実践が、全ての授業において行われるようになってきました。児童質問紙でもこの項目について肯定回答が多く、子どもたちの学習に対する意欲も変化してきています。

【全国学力・学習状況調査「児童質問紙」から】

「5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」

「算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」



- (2) 今年度の調査結果を受けて、10月からは、「学んだことが日常生活といかに関連しているか、感じられるような場の設定を行おう」ということで、次のような取組を全校で行っています。

- クラス全員でジャンケンして、勝った人を計算して割合で表し、表にまとめよう。
- 一日3回教室の温度を測って、折れ線グラフにまとめよう。
- 委員会活動の中に、平均、割合などを使って情報を整理する活動を取り入れていこう。

計算結果を四捨五入したり、温度計の2度刻みのメモリを読んで折れ線グラフにしたりする活動、平均を計算する活動などを日常化して、毎日の生活の中にある算数的活動の場を意図的に設定しています。

今後 笹川東小学校学習スタンダードの確立へ

教職員一人ひとり違う考えを持っていても、全員で子どもの成長を考える「チーム笹川東小学校」として、これからも実態把握と指導方法の交流を活発に行っていきます。そして、「笹川東小学校学習スタンダード」の確立に向けて取組を進めていきます。

「まなびばセット」の活用で授業が変わった

鈴鹿市立稲生小学校

課題 教科に関する調査は全国平均前後

児童は朝の授業の前も静かに席に座っており、掃除もよくやる落ち着いた学校です。学力は徐々に上がってはきていましたが、全国平均前後でとどまりそうな状況でした。

取組① 「生きる力につながる『言語力』の育成」の研究・研修（平成25年度～）

平成18年度から、「伝え合う力」の育成に取り組んでおり、活発な話し合い活動ができるようになった反面、発言が一部の児童中心になっていたり、自分の考えがもてない、表現できない、という児童がいたりすることが明らかになり、平成25年度からは「読む」「書く」を中心に、言語を活用するための基礎・基本の定着を図ってきました。辞書引き、群読、詩、パンフレットづくりなどを通して、語いも増え、書くことへの抵抗も減ってきました。

このことがベースにあったからこそ、次の「まなびばセット」の活用の効果が大きく表れたと考えられます。

取組② 「まなびばセット」の活用

平成26年度は、その時期に身に付けるべき基礎的・基本的な事項を確実に身に付けさせ、計算力、漢字力を高めるために家庭学習に取り組んできました。それとともに、第5学年では3学期には毎日「まなびばセット」を活用し、過去問も含めて、活用に関する問題に取り組んできました。

もちろん、児童が活用に関する問題に慣れてきたという面もあるでしょうが、ここで変わったのは、授業であり、指導法でした。複数の情報が与えられたときに、ポイントになる言葉に線を引いて整理しながら読んでいくように指導し、授業で児童の発言からなんとなくわかっている状態でよしとせず、きちんと最後まで言わせ、考えを漫然と書くのではなく、根拠を明確にして書くように指導する、など、普段の授業の中での発問が変わり、指導が変わってきました。

このように、短期決戦で、たくさんの活用に関する問題に触れることで、何をどう考えれば正解できるのか、そのためにどのような力を付けなければならないのか、その力はどうしたら付くのか、ということを教員自身がつかんだ、ということが最も大きな変容でした。おそらく、1年かけてゆっくり少しずつ取り組んでいたら、この変化は起こらなかったと考えられます。集中して教員が考え抜き、実践して得られた変化だと言えます。

全国学力・学習状況調査の問題、特に「国語B」「算数B」は、こういう授業をしてほしい、という国立教育政策研究所の問題作成のチームからのメッセージだと言われています。きっかけは「問題を解かせて解説する」ということでしたが、結果的に、教員は児童に力をつける指導のポイントを手に入れることができました。

取組③ プリントを使って自主的に言語技能を磨く

「言語技能を磨くワーク」と名付けて、プリントをあらかじめ印刷して棚に入れ、自主的に基礎学力の向上に取り組める環境を作っています。

1～3年生用と4～6年生用に分けて、学年を超えて取り組めるようにしています。

**取組④** 教員研修の充実

教師が変われば児童が変わる、教師を変えるのが校長の役目、という認識のもと、校長が率先して研修の充実を図っています。

校内研修を実施する前に、研修を担当している学力保障部から職員会議等で校内研修の具体的な進め方についての提案を行い、よりよい研修にできるように考え、参加する教員のレディネスを高めています。

また、タブレットPC（40台整備）を含めたICT機器の活用も積極的に研修プログラムに取り入れています。

校内だけでなく、積極的に校外の研修に出て、今までと異なる指導法に出会うことも推進しています。

取組⑤ 調査当日

全国学力・学習状況調査当日の児童への声掛けも大切です。最後まで考え抜くよう励ましたり、解答を忘れていたところ等を指さして指摘したりすることで、児童が自分の力を最大限発揮できるようにサポートしています。

成 果 児童の自信になった

稲生小学校の児童は比較的自己肯定感が低い傾向にあります。全国学力・学習状況調査で測っているのは、学力の一部ではありますが、前年度よりもどの教科も高い結果を残せたということは自信になります。3学期から「まなびばセット」をがんばって使ってきて、やればできるという証明になりました。

また結果もさることながら、授業改善の方策を手に入れることができたのが、大きな成果でした。

今 後 アクティブ・ラーニングの充実へ

平成27年度から、全領域において「相手を意識しながら、ともに学び合う子ども」をテーマに研究を行っています。言いつばなしの一方通行ではなく、相手を意識しながら聴き合う伝え合う活動を大切に、「ともに学び合う」ことで自らの力を高めていく子どもを育てる研究を進めています。これまで培ってきた、「読む力」「書く力」や習得してきた基礎基本をベースに、真のコミュニケーション力の育成に努めていきます。

進路保障をめざすキャリア教育の充実

伊賀市立柘植小学校

課題 生活体験の少なさから、広がりにくい将来ビジョン

十年ほど前、修学旅行で初めてE T Cを見た児童、臨海学校で初めて海の水が塩辛いと体感した児童、「将来の夢はフリーター」と近所のお兄さんをモデルとして見ていた児童、そういう子どもたちがいました。将来のビジョンも広がらない中で、学力も二極化し、授業も進めにくい状況に陥っていました。

そのころから、学校教育の中で見聞を広め、さまざまな経験ができるようにと取り組み始めました。

取組① 教育目標達成のための原則

柘植小学校では次の4つの考え方を軸に教育活動を組み立てています。

なかまづくり・学級集団づくり	メインエンジン・土台。人権空間を作り出す。
エンパワーメント	人権の燃料タンク。自尊感情・自己肯定感の育成。
リテラシー	学力の燃料タンク。コミュニケーション能力の育成。
キャリアビジョン	さまざまなキャリアモデルとの出会い。自己効力感・自己有用感の育成。

また各学年の年間計画は、「進路保障をめざすキャリア教育年間計画」と題し、授業・行事その他の活動が上の4つの原則のどこに位置づいているかを明確化して作成されています。タイトルから、全ての教育活動は、児童の進路（キャリア・将来）に資するものである、という考え方がうかがえます。

取組② 一枚文集

柘植小学校の教育の土台である「なかまづくり・学級集団づくり」のために重要な要素となっているのが、「一枚文集」です。児童は毎日日記を付けています。担任は毎日の日記を見て、これはみんなと共有したい、という題材を選び、給食後の時間に児童と話をしながら、思い出し直しをさせ、その対話の中で文章を膨らませ、推敲をさせ、完成に導いていきます。完成した作文は帰りの会で読みあいます。

ここで大事にしていることは、教員と児童、児童同士の距離が近くなるような題材選びです。児童同士がわかりあえるようなこと、失敗のエピソードなどを共有することで、距離が近づいていきます。

こうやって完成した作文は、「一枚文集」として年間70号以上を発行します。

日常の児童同士の会話以上にお互いのことがわかることによって、よりよい学級集団づくりができていきます。

取組③ 修学旅行で大学訪問・企業訪問

大阪・京都方面への修学旅行では、大学や企業を訪問しています。

大規模私立大学の美しいキャンパス、広々としたグラウンド、学内にあるコンビニエンスストア、見るものが全てが驚きであり、大学生のお兄さん、お姉さんが輝いて見えます。また、見学だけでなく、人権活動に取り組んでいる学生や高齢の学生、留学生などとの交流会も行っています。柘植小学校では人権教育に力を入れています、今やっていることが、将来大学に入っても、社会に出てもつながっている、ということが実感できます。

また、企業にも訪問し、お客様のためにいろいろと知恵をしばりながら生き生きと仕事をしている姿を見せて、働くということはどういうことか、ということを感じさせています。

取組④ 職場体験は5年生と6年生で

平成27年度全国学力・学習状況調査の学校質問紙によると、小学校で職場体験を行っているのは、全国、三重県ともに42.0%でした。柘植小学校では、5年生（2学期）、6年生（1学期）の両方で実施しています。

児童一人1事業所とし、当日は児童が一人で体験先に行きます。半日を3日間行い、事業所の方に評価を書いていただいています。5年生を受け入れていただく事業所の方には、あえて厳しいフィードバックをしていただくようお願いしています。それをもとに担任は児童と話をし、6年生でのリベンジを誓います。よくなかったところを改め、6年生での職場体験を緊張の中で無事に終えた後、2学期には前述の修学旅行があり、生き生きと働く人たちの姿に触れ、働く意義を感じていきます。

このように、ひとつのねらいをもって、学年を超えて、学校全体で指導の流れを作ることができているところが柘植小学校の強さと言えます。

取組⑤ ^{つば}T-1グランプリ

人前で発表する力が弱かったため、コミュニケーション力を楽しみながら高める活動として、漫才選手権「T-1グランプリ」を開催しています。プロの漫才師に指導・審査に来ていただき、徐々に本格的な大会になってきました。今では敬老会に呼ばれたり、大会に敬老会の方を招待したりと、地域との関わりも深くなってきました。

また、通常の集会での委員会からの発表などでも、児童が意図して笑いをはさんだりして、明るく笑いのある学校となっています。

ほかにもCMづくりなど、プロジェクト・ベースト・ラーニングに取り組んでおり、いわゆる21世紀型能力の育成に力を入れています。

取組⑥ 学力向上のために

各学年、小テストなどで満点を取れなかった児童は、放課後、教員が徹底して個別指導を行っています。100点になるまで繰り返し指導し、基礎基本の徹底に注力しています。夏季休業中も半期60枚の国算を中心としたプリントを準備しており、プールの後で指導しています。

こういう指導に児童ががんばってついてくるのも、前述のような活動を通じて、教員と児童の、また児童同士の関係性ができているからです。

また、家庭学習強調月間や親子読書強調月間を設定し、家庭との連携も強化しています。

ほかにも、漢字検定への取組や新聞コラムの書き写しなど、さまざまな活動を行っています。

成 果 授業がわかりやすく楽しい

全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の結果も伸びていますが、学校として重視しているのは、「授業がわかりやすく楽しい」という指標です。実に96%の児童がYESと答えています。「笑いのある学校」ということだけでなく、学校が自分を成長させてくれる場である、ということを感じ取っているのでしょう。

今 後 授業改革と自ら学ぶ力の育成

これまでの取組から一定の成果は出てきましたが、教科の学習に関して言えば、児童は学校の指導の流れに乗って勉強をしているにすぎないのが現状です。まだ「自分の学び」になっていません。児童自らが学ぼうとする授業づくりが必要です。経験の浅い教員が多いので、「学びあい」を中心に、環境が変わっても将来にわたって自ら学ぶ力を付けられるような授業づくりの研究と指導力の向上が今後必要です。

生徒の成長を目指した、落ち着いた学校づくり

四日市市立常磐中学校

課題 まじめに取り組む生徒がきちんと取り組める環境づくり

四日市市の市街地に隣接した本校は、以前は授業に集中できない、指導が困難な生徒や不登校傾向に陥る生徒も目につく学校でした。そのため落ち着いて授業を進めることが困難な時期もありました。

そのような中で、まじめに取り組む生徒がきちんと取り組める環境づくりを目指して、保護者や地域の協力も得ながら全職員が取組を進めてきました。

取組① 教職員の組織的な学校づくり

学習に前向きに取り組むことができる授業を進めるために、まず安心して過ごすことができる学校づくりが必要となります。そのために個々の教員が取り組むのではなく、教員集団の組織として取り組む以下の体制を継続しています。

- 1 教師の意識確立⇒教師＝指導者であることの確認
- 2 生徒情報の共有⇒報－連－相の徹底
- 3 指導内容の統一⇒学級指導・授業規律・生活指導など、組織として決めたことを全教師が取り組む
- 4 全教師での指導⇒必ず複数の教師の目が届く状態での生徒の活動環境をつくる・・・廊下巡回など
- 5 家庭訪問の励行⇒複数教師による家庭訪問を積極的に実施する
- 6 基本的生活習慣の確立⇒あいさつ・言葉づかい・身だしなみ・時間厳守の指導の徹底
- 7 生徒会・委員会活動の活性化⇒あいさつ運動、交通安全指導、生徒集会など
- 8 教育相談や指導に関する研修活動の活性化⇒教育相談期間の設定・Q U研修など
- 9 保護者・地域・関係機関・専門機関との連携⇒P T A・自治会・教育委員会・児童相談所・警察など
- 10 研修活動の活性化⇒授業研修・生徒指導研修・教育相談研修・人権教育研修

このような取組で生徒の学校生活が安定し、授業に前向きに取り組むことができる状況がつくられてきました。そして、「学校生活＝社会生活」という観点から、生徒が中学校を卒業し社会生活を営むための基本となる社会性を身に付けることを意識した指導を進めています。

取組② 授業に前向きに取り組むための雰囲気づくり

落ち着いて積極的に授業に参加し取り組もうとすることが、学習内容の理解を深め、より学習意欲と学力を高めることにつながります。日々の落ち着いた学校生活のスタートを目指して「朝の10分間読書」を毎日実施しており、担任は教室内で、また副担任は廊下を巡回し生徒の様子を観察しながら読書を進めています。この間に登校していない家庭への連絡等も行い、朝の読書終了と同時に朝の学活を始めています。また、授業はチャイムと同時に始め、チャイムと同時に終わることを徹底し、生徒の規則正しい生活リズムを作っています。休憩時間中も生徒だけの状況は作らず、前時の授業の教師が教室や廊下を巡回しながら、生徒とのふれあいを深める取組を続け効果を上げています。また、「わかる授業・わかりやすい授業づくり」を目指して各教科での取組と学校全体での研修を進めています。

取組③ 意欲と学力を高める授業づくり

学ぶことの楽しさ、考えることの面白さ、そして学んだことを生活に役立てようとする姿勢を育てるために、「点数の順位」ではなく、生徒の「生きる力」としての学力の向上を目指した取組を進めています。

- 1 小グループによる「学びあい」の活性化・・・教員の研修活動のテーマとして、各教科で生徒どうしのコミュニケーション力の向上を目指した、話し合い・教えあいの活動を積極的に取り入れた各教科の授業指導を進めており、個人の公開授業や全体での授業研究も積極的に進めています。
- 2 少人数指導と学習支援の取組強化・・・学習意欲と授業理解を目指して、県や市の加配を活用しながら、2・3年生の英語でティームティーチング、また数学で習熟度別少人数編成による授業を進めています。

ティームティーチングでは、個々の生徒の支援がしやすくなり、また少人数編成では生徒の習熟度に合わせた指導の進め方や生徒どうしの「教えあい」や「話し合い」を深める活動が可能です。特に数学では「きらい」や「わからない」生徒の割合を減らす効果が出ており、学調の生徒質問紙でもその傾向は表れています。

3 積極的な学習支援・・・英語や数学以外の教科では、空き時間の教師が授業に入り、学習を支援する取組を進めています。このような取組が、落ち着いた授業の雰囲気をつくりだしています。

4 毎時の授業の「めあて」の提示と「振り返り」の取組・・・県教育委員会の学力向上推進指定校の取組をとおして、毎時の「めあての提示」、「振り返り」を意識した授業づくりを進めています。取組は徐々に定着しつつありますが、生徒の目線では「めあての提示」に弱さがあり、校内研修の一環として行う全教師による授業公開でも「めあての提示」を意識した取組を目指したいと思います。

5 基礎学力の定着を目指した取組・・・本校では帰り学活前の10分間を使って、漢字や英単語、計算などの基礎学力の定着を目指した学習を授業進度に合わせた課題で毎日継続的に進めています。この学習内容も定期テストに取り入れ、評価の対象として活用しています。また、長期休業中は学力補充や質問日を設定、自主的な学習の支援も行っています。

6 掲示物教材の活用・・・教室や廊下に、学習内容の基礎事項に関する掲示物を積極的に掲示する取組をすることで、生徒が興味を持って学習を進めるきっかけづくりをしている教科もあります。

取組④ 保護者・地域と連携した取組

四日市市の中学校では、年間8回の土曜授業・土曜活動を実施しています。この取組は、保護者や地域住民の参加も得ながら生徒とともに活動する機会を増やし、保護者や地域住民と生徒をつなげ「地域の中学生」という観点で見守っていただく雰囲気を醸成しています。しかし、学調質問紙の「地域活動への参画意識」や「地域貢献への意欲」は相対的に低い傾向にあります。保護者や地域住民と連携した取組をより深めることで「地域の一員」としての意識を高めていきたいと思っています。

成 果 現在の生徒の状況

長い年月をかけての教職員や保護者・地域住民の取組の中で、生徒たちの学校生活は年々落ち着きを見せています。保護者や地域からも良い評価をいただき、学校行事や部活動も活性化し成果を上げています。

また総合的な学習や道徳・学活の取組の中で考え、体験を深めることが生徒の自信につながり、学調質問紙の「自尊心」や「将来の夢」また「社会貢献意欲」などは、全国平均を大きく上回る結果を示しています。「学校へ行くことが楽しい」と答える生徒の割合も高く、生活の安定と、学習や活動に積極的に取り組もうとする姿勢が育っていると考えられ、生徒の学校生活の安定化とともに学力も向上している傾向にあります。

四日市市では、「小中学びの一体化」の取組を全市で進めており、小中が連携する形で「9年間の学び」ととらえながら「授業づくり」「生活指導」「人権教育」などを進めています。そして小学校では、滑らかに中学校に繋げるための取組を積極的に進めています。また小中学校の教員の「乗り入れ授業」や「生徒情報交換」などの交流も進めています。このような小中学校の連携も中学生の学力の向上にむすびついていると考えられます。

今 後 生徒が主体となる、より活気がある学校づくり

現在の本校の生徒は安定した学校生活を送っていますが、今後厳しい状況に戻る可能性は十分にあります。そのような事態を避けるためにも、現在全職員で進めている取組を継続・発展させ、生徒が主体となる、より活気がある安定した学校づくりを進めていくことが最大の課題です。そのために職員間の信頼と連携を深め、同時に保護者や地域との連携を深めていくことが大切です。

また、生徒の学力を一層向上させるために、毎時の「授業の目当ての明確化」と「授業の振り返り」を継続しながら、「授業の振り返り」と「学習内容の定着」に結びつけた「効率的な家庭学習の在り方」についての研修を進めていきたいと思っています。

居心地のよい落ち着いた集団づくりとともに 行事を通じた自己肯定感の育成

紀北町立紀北中学校

課題 学びに向かうレディネスが低い

全体的に素朴でまじめではありますが、かつては、落ち着いて読書をしたり、自主的に勉強をしたりすることが苦手な生徒が多い学校でした。

学力面では基礎的な知識理解にも課題がありましたが、特に相手に自分の考えを伝える力に課題がありました。また、学力の向上のためには、「楽しい学校」を学校像にし、居心地のよい学級集団づくりと安心できる人間関係づくりも必要であると考えました。

このような中で、授業改善と並行して、QU（学級満足度調査）等を活用しながら、居心地のよい落ち着いた集団づくりに取り組んできました。

取組① 本を通じた活動

朝読書

総合的な学習の時間の中に位置づけて、朝の10分間読書を行っています。定時前から読書を始めている生徒も多く、落ち着いた雰囲気の中で読書に取り組むことができおり、その雰囲気のまま第1時限の授業に入ることができるようになりました。

メディアセンター（学校図書館）の活用

紀北中学校では図書館司書の配置を受けており、定期的に学校に来てもらい、図書館活用の授業の支援をしてもらっています。

「ブックトーク」により中学生が興味をもつような本を紹介してもらったり、教科の授業での調べ学習と連携して、「ライブラリー・クエスト」を行ったりしています。「ライブラリー・クエスト」とは、メディアセンターにある本に答えが載っている教科学習に関わるクイズを出題し、本を探して答えを見つける、という活動です。4人一組で協力し合って答えを探します。また、4人という少人数なので、全員が自発的に調べ学習に参加できます。

読み聞かせ

3年生の生徒が隣接する幼稚園で読み聞かせを行っています。人前で何かをやるというよい経験になるとともに、園児との交流で気持ちがやさしくなり、笑顔を作り出す場にもなっています。

このように、読書に関連した取組を進めることによって、生徒にとって本は身近な存在となり、本が好きだと答える生徒の割合は増えてきました。

今後、さらに小学校での読み聞かせにも広げていき、本を核にしての幼・小・中の連携の強化が構想されています。

取組② フラワー・ブラボー・コンクール

東海地区近県の学校で取り組まれているフラワー・ブラボー・コンクールに1年生が参加し、花を育てています。長年取り組んでいる活動であり、地道な作業が多く、がんばったプロセスを大切に、そのことを評価するよう心がけてきました。そのような中で平成27年度は学校花壇コンクールで大賞を受賞し、1年生にはよい自信につながりました。1年生の取組なのですが、台風が来たときに、部活をやっていた2、3年生が自主的に花を安全な場所に移動させることに協力するなど、すでに学校全体の大切な伝統・文化になっています。

花壇に入らない余った苗は、地域の方へ配布していますが、前述の本と同様、花を核にした小学校や幼稚園との今後の連携も考えられています。

取組③ 行事を通じた自己肯定感

自己肯定感を高めるためには、他者と比べてどうか、という観点ではなく、過去の自分と比べて成長していることを確認することが大切です。また、結果は必ずしもうまくいかないこともあります。結果だけではなく、プロセスにおいてどれだけがんばったかを大切にするように常々指導しています。

その一環として、体育祭などの行事において準備段階も含めて、一人ひとりがどのようにがんばっていたかを生徒同士で相互評価をしています。一人がクラスメート一人ひとりのがんばりを全員分カードに記入して、交換します。ほめられることばかりなので、周囲からの認められ感が得られ、自己肯定感を高めることに役立ちます。

取組④ 振り返りシート

授業改善として、グループで話し合いをさせる場面を意図的に設定したり、その結果を発表させたりするなどの工夫をしています。このことで相手に自分の考えを伝える力が少しずつ育ってきています。また、三重県全体の課題として、授業の冒頭でのめあての提示、終了時の振り返りが挙げられていました。紀北中学校でも実施しているのは一部の教科であり、学校全体では徹底できていないのが現状でした。

そこで、平成26年度は全ての教科で共通のフォーマットを準備し、「今日のめあて」と「振り返りとして、できたこと・わかったこと・感想」を書くように徹底しました。その結果、関連の生徒質問紙では全国や県の平均よりも大きく上回るようになりました。平成26年度に全体で取り組んだ結果として、振り返りシートについては、共通のフォーマットではなく、教科の特性に応じた形式が必要であるということがわかってきました。徹底したからこそ、現在は、教科特性に応じた形式が必要であるということがわかってきました。そのため、自由に感想を書くのではなく、穴埋め形式で知識事項を確認する等の工夫も含めて教科ごとの振り返りシートの検討を進めているところです。

取組⑤ 学習サポート

3年生では9割近くが塾へ行っていますが、家庭学習はあまり定着していない実態があります。今年度は宿題の出し方を工夫することで自主的に家庭学習に取り組むような習慣を身につけさせたいと考えています。そのために、家庭で取り組みやすい宿題になるように基礎と応用のバランスを考えるなど宿題の出し方とそのチェックや評価のし方を工夫しています。

また、今年度の夏季休業中の学習会への3年生の出席率は、ほぼ100%でした。この学習意欲の向上は、これまでの学級づくりや、人間関係づくり、授業づくりの取組の成果であるといえます。

今 後 小中の連携を強化し、9年間の成長の姿を明確に

落ち着いて学校生活を送り、多くの生徒が学校が楽しいと感じるようになりました。また、読書や勉強に向かう気持ちも少しずつ高まってきています。

今後は本や花などのアイテムを活用し、小学校との連携を強めながら、小中の9年間でどう過ごし、どういう姿で卒業していったほしいか、小中で共有していく必要があります。そして、居心地のよい落ち着いた集団づくりを基盤にし、めざす子どもの姿を明確にして取り組むことが、学力の向上につながると考えます。

第9章 県外の実践事例

1

1 学校の取組

県外の学校の最前線で取り組まれている事例を紹介します。児童・生徒の状況に応じて、日本全国でさまざまな実践的な取組が行われています。

国語での論理的に考える力の育成（小学校）

背景

文章を読み取って論理的に自分の考えをまとめたり、自分の意見を文章で表現して他者に伝えたりすることへの課題意識あり。

- ・記述問題の正答率が低く、無解答の子どもも少なくなかった。
- ・出題意図の把握やグラフなどから必要な情報を取り出す分析力が弱い。
- ・条件に合わせて文章にまとめる論理構築力が弱い。

取組のポイント

「論理的に考える力の育成」をテーマに研究教科を国語に設定した。

① 説明文を中心に分析力と論理構築力の向上に力点

研究授業では、分析力と論理構築力をどのように高めるかを明記した指導案を作成。

通常授業では、起承転結などの文章構造に注目させる発問を増やし、子どもに文章中から根拠を見つけて発言させるなど、指導を工夫。

② 文章を書く力の育成

6年生では、既習事項を生かし単元末に説明文を書かせたり絵の分析をさせたりした。

（例）鳥獣戯画に関する文章を読んだ時は、子どもが好きな絵についてその理由を800字で書き、互いに読み合い、感想を付せんに書いた。

③ 国語以外の教科・領域でも分析力や論理構築力を

「総合的な学習の時間」では、調べ学習をレポートにまとめる宿題を出し、考えを文章で表現させた。

算数では、読解力をつけるために応用問題の問題文を長くしたり、知識活用のために類題を作らせたりした。

成果

- ① 「全国学力・学習状況調査」では記述問題の正答率が上がり、無解答も少なくなった。
- ② 問題文が長くても文意を正確に把握できるようになった。
- ③ 記述内容から問われたことに過不足なく答えようとする姿勢が醸成された。
- ④ 作文を書くことを楽しむ雰囲気が育まれた。

算数での学び合い活動を通して思考力・表現力の育成（小学校）

背景

- ・答えは出せるが、思考の過程を説明できない。
- ・自分から考えたり工夫したりすることには消極的。
- ・知識や技能は比較的身に付いてはいるが、自分の考えを話したり書いたりする力に課題。
- ・熟考が求められる問題では、すぐにあきらめてしまう。

取組のポイント

①基礎基本の定着促進

学び合い活動で時間がかかるからこそ、思考や表現の土台となる基礎・基本の定着を重視。家庭学習や計算練習を充実させた。

②学校独自の学習スタイルを構築し、ノート指導に反映

どの学年でも、どの教員も、共通の進め方を原則として授業を進める。

問題	問題文は青線で囲む。求めることに赤の二重下線を引く。
見通し	答え（結果）の見通し、解き方の見通し
自分の考え	絵や図で表す、数直線で表す、表やグラフで表す、式で表す、言葉の式で表す、その他の考え方
友達の考え	友達のよい考えを書く。
まとめ	今日の学習でわかったことを書く。赤線で囲む。
練習問題	練習問題を解く。
ふりかえり	今日の授業の感想を、言葉で書く。

これによって、授業の見通しを児童自身がもち、自ら進んで学ぼうとする姿が見られるようになった。全教科で取り入れており、担任や学年が変わっても学習形態が変わらず、児童はスムーズに学習に入ることができる。

③学び合いによる思考と表現の深化

「個人→ペア→グループ→全体」の過程を設定。

まず個人学習の時間を十分に取る。自分の考えをもって学び合いに臨めるように、まず「型」を学ぶ。

<話し合いのマニュアル 中学年>

■発表する児童

- ①右角の児童から順に、時計回りで発表する。→質問に答える。
- ②答えが合っているかどうか確かめる。
→間違っていると思ったとき→どこをどう直せばいいか話し合う。
- ③複数の考え方が出たとき、一番いい考え方とその理由をまとめる。

■発表を聞く児童

- ①自分の考えと違うところを確かめる。→わからない時は聞く。
- ②答えが合っているかどうか確かめる。
→間違っていると思ったとき→どこをどう直せばいいか話し合う。
- ③複数の考え方が出たとき、一番いい考え方とその理由をまとめる。

児童自身が振り返りながら適切に進められるようにする。

成果

- ①「理由は……」「だから……です」など、つなぎ言葉を使って根拠を論理的に説明できるようになった。
- ②自分の考えや気持ちを相手に伝えようとする態度が育った。
- ③普段の生活の中でも友だちを思いやり、優しい言葉を掛けるなど、人間関係にも好影響が及んでいる。

思考の過程を大切に！（小学校）

背景

正解を出すことに重きを置く傾向があり、友達の意見を聞いて考えを深めたり、自ら問いを立てたりするおもしろさを知らない。

取組のポイント

指導の中心は、「内言」と「外言」をスパイラルに高めていく方法。

「内言」は思考の手段となる自分自身のための音声のない内的言語、「外言」は意思伝達の手段となる他者に向けられた音声言語。

①学習言語の獲得

子どもが授業中に与えられる最も重要な外言は、教師の言葉。子どもは教師の言葉を思考の手掛かりとして学びを深めていく。

教材研究では言葉の吟味を徹底し、授業中に体験させたい学習言語を指導案に記入して授業に臨み、授業の最後には、その子どもが学習言語を内言として獲得している状態を目指す。

授業では、教師は学習言語をすぐには口にせず、子どもから出てくるのを待ったり、子どもの言葉をつないで気付くように促したりし、学習言語を単に暗記するだけでなく、本当の意味で理解し獲得できるようにする。

高学年になると、獲得した内言を深めるために、授業振り返りの時間に「この考えは、生活のどんな場面で使えますか」「次に学びたいことは何ですか」などと質問し、自ら問いを持たせるように促している。

②内言を深めるために算数のノートにはふきだしで考えを書く

ノートの余白にふきだしを書いて、考えたことや思ったこと、大事だと思うことなどを自由に記入させる。

学習に楽しく取り組んでほしいという思いから、ふきだしは「何を書いてもOK」としている。当初は「暑い」「眠い」など学習とは無関係の内容も少なくなかったが、次第に教科の本質に迫る内容が増え、「質」が高まっていった。

成果

①教師や友だちの発する言葉への関心が高まり、かかわり合いが生まれた。

②間違いや分からないことを素直に表現できるようになった。

③つまづきのプロセスがわかり指導観が変化した。

振り返りの時間と家庭学習の連動（中学校）

背景

家庭学習習慣の定着が長年の課題
自分で計画を立てて実行するのが苦手

取組のポイント

① 6時限目終了後に1日の授業の振り返りの時間を設定

6時限目が終わると、その日の授業で使った教科書やノート、ワークを全て机の上に出し、生徒が1日の授業を振り返り、分かったこと、分からなかったことを整理。帰宅後、いつ、何を学習するのかを決めて、教科・内容・教材・時間をノートに書き込む。

15分の時間のうち、残った時間は自学をしたり、その日に授業を行った全学級を巡回する教科担当に質問したりする。その後学活を終えて部活、下校へ。

これまでは部活で疲れて帰って、何をやるか考える力も残っていなかったが、やることはすでに決めているので行動に移りやすくなった。

朝の読書の静けさで始まり、振り返りの時間の静けさで終わる。

この15分は、登校時間を5分早め、給食の時間を5分削り、部活動を5分遅らせてねん出。学校全体で共通理解がなければ実現できなかった。

② 授業ごとのめあてと振り返り

1日の振り返りが短時間で、しっかり出来るように、どの教科でも、毎時間、授業の冒頭で本時の“めあて”を明確にし、最後の5分間で“振り返り”をする。方法は教員によって異なる。見通しを持って学習できるように、単元ごとの「学習のめあて」の一覧を示している教科もある。

成果

学習習慣の定着・家庭学習時間の増加

「根拠」に基づき、論理的に考え、表現する力を養う（中学校）

背景

言語活動と言っても話し合い活動が中心で、生徒が考えを深めていく工夫が足りなかった。
 言語活動と話し合い活動はイコールではないことの認識が教員の中に浅かった。
 生徒は優しく穏やかな半面、自信を持って自分を表現する積極性が欠けていた。
 成績に関係することには一生懸命だが、それ以外のところで目標を持って挑戦する熱意が弱かった。

取組のポイント

①授業の在り方を変える

授業中に考える場面、表現して伝える場面を設定することで、分析的・論理的思考力を育み、物事や情報をうのみにせず、自分で考える力を身に付けるのがねらい。

指導において最も重視するのが、「根拠」を示しながら論理的に表現する力を付けること。「根拠」は、生徒がそれまでに学んだ「既習事項」を指す。自分が持っている知識や経験を総動員して課題を追究することによって、思考力・判断力・表現力を高めると共に、知識・理解の定着も図る。

国語科 授業で学んだ倒置法や擬人法などの表現技法を用いた俳句鑑賞で、「私はこの部分が心に残りました。その理由は、〇〇の表現技法が使われ、それによって〇〇の効果が生まれているからです」というように、既習事項を活用し、それを根拠に示しながら結論と結び付けられるように指導する。

社会科 資料やデータの読み取りが中心。教科書に書いてあることだけでは説明しきれないことを、幅広い資料やデータを活用させながら体感させる。ワークシートを活用して、発表が得意な生徒の意見にひきずられず、書くことによって全員が意見表明できる。

②研究授業では「生徒の動き」に着目し教科を超えて授業を見合う

研究授業は教科横断で行う。授業を見るポイントは「生徒の動きを見ること」。

参観側の教師は、「この発問で生徒がどのように動いていた」「誰々は指示が分からず固まっていた」など生徒の活動を観察する。生徒の動きに対しての意見なので、他教科でも抵抗なく発言できる。このスタイルを取り入れてから、研究授業が活発になった。

○生徒のグループごとに担当教師を決めて観察する方法

⇒学級全体がどのように動いていたのか、各グループで生徒がどのように活動していたのかを見るのに適している。

○異なるタイプの生徒を数人取り上げて、授業内における変容を見る方法

⇒生徒の思考の深まりを個別に見る場合に適している。活発に発言するタイプ、静かに考えるタイプなど、特徴の異なる生徒を数人指定し、その生徒の動きや発言、表情、ノートの記載内容を付せんに記録し、事後研究ではそれらを基に話す。

成果

- ①「意見を言うとき、その根拠や理由を明確にして話すようにしている」生徒が増加。
- ②記述問題の無解答の生徒はほとんどいなくなり、思考から逃げない姿勢が身に付いた。
- ③授業で記録する習慣が身に付いた。
- ④生徒、相手を意識した聞き方や話し方が出来る生徒が増加。
- ⑤何よりも大きな成果は、教師の意識改革がなされたこと。

少人数指導（小学校・中学校）

※さまざまな児童・生徒の状況に応じた学校での取組ですので、相互に矛盾することも入っています。各学校の状況に合わせて取捨選択が必要です。

事例①	<p><方法> 習熟度別授業</p> <p><編成> ○第4学年～第6学年で2クラスを3クラスに分割</p> <p><時間数> ○過去には小6で算数の全授業を習熟度別を実施したこともあったが、固定しがちな下位層では意欲が下がってしまった。 ○最大で年間の授業の半分とした。</p> <p><領域・単元> ○つまずきやすいポイントについてのみ実施。 ○小数や分数のかけ算、割り算など、つまずきやすい計算の学習において効果あり。 ○図形は全員で意見を出し合うほうが考えが深まる。</p>
事例②	<p><学習の流れ></p> <p>A（一斉指導）単元の導入・学習内容理解（ティーム・ティーチング） ↓</p> <p>B（均等分割）少人数で理解を深める。教えあい・学びあい ↓</p> <p>C（自己診断）振り返り ↓</p> <p>D（習熟度別クラス選択） ↓</p> <p>E（習熟度別分割）「基礎・基本」「習熟・発展」に分けて課題に応じて学習 ↓ （ここでも新たな教えあい・学びあいが発生） （以下、BCDEを繰り返して小単元を学習していく。）</p>
事例③	<p><習熟度別授業を行う時期と時間></p> <p>○土曜授業で習熟度別に復習。 ○大単元の終わり、学期の終わり、年度の終わりなど、時期を決めた復習の時間において習熟度別に指導。</p>
事例④	<p><習熟度別各コースの人数></p> <p>2クラスを3つに分ける際に、Aコース：30名、Bコース：15名、Cコース5名のような比率で分け、Aコースは基本的に自分で教科書を進め、教師が補助をしたり、子ども同士で教えあったりする。Cコースではほとんど個別に指導する。</p>
事例⑤	<p><ティーム・ティーチング></p> <p>市町独自に採用した臨時講師がT2を務めることが多いが、事前の打ち合わせの時間がとりにくいため、意図どおりの進行ができにくい場合がある。 ベテラン教員がT2に入ることで、T1の意図をくみ取り、スムーズな授業の流れを作りながら、T1に対して指導法などについてのフィードバックを即座に行うことができ、教員の育成にもつながっている。</p>

学力向上をめざした都道府県や市町村教育委員会としての取組を紹介します。

指導助言等の充実～優秀教員や指導主事が広く学校に入れる体制づくり～

学力向上を果たしてきた都道府県の多くでは、1校1校の改革、1つ1つの授業の改善を大切にしています。そのためには、丁寧に指導助言を行う体制の強化が必要です。

現場の教員への委嘱	多くの都道府県で優秀教員の表彰制度を実施していますが、単に表彰制度で終わらずに、優秀教員について、授業時数を減らす、複数校勤務とするなど、他校を訪問し、アドバイスができる体制を構築している県が複数あります。特に小規模な市町村など指導主事の数が少ない地域において、力になっているとともに、他の教員から見たキャリアモデルともなっています。
T2はベテラン教員で	県全体の教員の体制として、特に経験の浅い教員（T1）に対して、学力向上推進の役割を委嘱された教頭や教諭が学校を超えてT2として入ったり、モデル授業を提示したりできる体制を構築しているところがあります。こうすることにより、少人数教育と教員の育成を兼ねて教育の質を上げることができます。
県教育委員会の体制強化	<p>県教育委員会の体制を強化し、学校に訪問できる人数を確保したことが学力向上のポイントであったと振り返る県もあります。市町教育委員会と協力しながら県の指導主事が直接的に学校に入り、指導改善を加速させるとともに、リアルな現場で自ら感じたことを県の教育政策に生かしていく好循環のサイクルができて学力が向上していきました。</p> <p>指導法等に関する情報は、校内よりも市町教育委員会、市町教育委員会よりも県教育委員会に集まっています。その情報を有効に広げていける方法です。</p>
日常の授業での指導	限られた人数の市町教育委員会指導主事だけでは、授業を見るにしても、研究授業や校内研修で手いっぱいになりがちです。上記のような体制を組むことで、日常の授業を参観し、すぐにフィードバックすることができるようになります。周到に準備された研究授業ではない、日々の授業の改善を重視しています。
校内ミドルリーダー指名	<p>全校に「学力向上推進主任」を置き、各学校の学力向上に関するPDCAサイクルをけん引している県もあります。</p> <p>これは学力向上の施策を通して、ミドルリーダーの育成にもつながっています。</p>

活用に関するプリント・問題作成

三重県同様、都道府県でプリント等の教材を準備しているところも多くあります。その多くは活用に関する問題を取り扱っています。

親子で一緒に考える「活用」のプリント	多くは、授業や朝学習、宿題で使うものですが、ある県では親子で一緒に考えることを前提にした難度の高い、活用に関する問題」も小学校、中学校ともに準備し、webで配信し広く家庭での活用を呼びかけています。
定点観測アセスメント	<p>日常使うプリントだけでなく、時期を決めた県独自、市町独自の学力調査を行うところも多くあります。小学校第6学年、中学校第3学年のみの問題ではなく、学校全体として、低学年から結果データを活用したPDCAサイクルを回し、課題解決していくための材料としています。</p> <p>問題を作ることを教員の育成の場ともとらえ、問題作成委員を毎年各地区から選出し、問題を作成している自治体もあります。特にいわゆるB問題がどういう力を求めているか、その力をどのようにして測るのかをしっかりと考え、自然に授業に生かせるようにしています。</p> <p>集計に当たっては、実施結果をweb上に入力することで集計、データ作成が行えるシステムを備えている都道府県も増えてきています。</p>

自校採点

全国学力・学習状況調査実施直後の自校採点を呼びかける自治体も増えてきました。

目的	<p>自校採点を行う目的は様々あります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施直後、児童生徒が問題の記憶が新しいうちに教員が出来具合を把握し、授業等でフィードバック、学びなおしを行う。 ・調査結果を平均正答率で語ることから脱し、児童生徒一人ひとりの状況把握への意識を高める。 ・教員が採点前に問題を熟読することで、どのような力が求められているかを理解する。 ・児童生徒がどういう力を付けており、どういう力が不足しているかを教員が把握し、指導改善に生かす。 ・学校全体、教員全員で児童生徒の状況を把握する。
体制	<p>該当学年の担任団を中心に行う場合と学校全体で行う場合がありますが、学校全体で行うことのほうが教員全体での共有、学校全体の一体感の面や、短期間での完了による児童生徒へのフィードバックの早期化という面でメリットがあります。</p>
集計システム	<p>前述の自治体独自の集計システムの仕組みを全国学力・学習状況調査の自校採点にも使えるようにしている県もあります。5月にはデータを投入し、いち早く仮の県平均を集計し分析をし、授業改善に生かしています。</p>

教員の負荷軽減

教員が児童・生徒に向き合う時間を増やしていくために、教員の負荷軽減のための取組をしています。

<p>事務の共同実施</p>	<p>中学校区を単位として、複数の学校・園の事務を担当するチームを編成し、業務の平準化、効率化を図っている市があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務職員は、所属する学校を本務校としつつ、共同実施を円滑に行うため、地域学校園内の全学校を兼務 ・ 地域学校園事務室を総括するリーダーとして「地域学校園事務室長」を設置 ・ 事務部門の情報共有、事務処理方法の統一 ・ 予算の執行管理、財務情報の共有 ・ 事務職員の連携による教員が行う事務の効率化 ・ 学籍に関する事務 ・ 就学援助に関する事務、教育委員会等と連携した精算業務 ・ 学校・園相互の物品の有効活用 ・ 教育活動への協力 等
<p>大学との連携</p>	<p>地元大学の教員養成系の学部の子生による学校ボランティアとしての活動が徐々に活発化しています。</p> <p>ある大学では、学校ボランティアに参加した学生は、日数、内容など一定の要件を満たすと、教職に準ずる科目「教職体験入門」の単位申請が可能になっています。市教育委員会が大学、学校と連携をして効果的な運用方法を検討して進めています。</p> <p>教材、教具、実験等の準備や1人の教員では児童・生徒一人ひとりのきめ細かい支援が困難な実技教科や理科の実験、学力差が生じやすい数学、英語において、学生ボランティアによる授業支援を実施しています。</p> <p>また部活動支援のボランティアとしても活躍しています。</p>

公設塾、放課後・土曜学習

家庭学習時間がなかなか増えない、またテレビやゲーム、インターネットに費やす時間も減らない中で、学びの場と時間を確保するために、市町村教育委員会による公設塾の事業も広がっています。学校や公民館を利用して、教員、役所職員、地域住民によるボランティアで学習の場を提供しているところ、NPO法人に運営を委託しているところ、民間の塾等に一部受益者負担がある形で委託しているところなど、形態はさまざまです。

また、放課後子どもプランと学童保育とを一体で運営する放課後子ども総合プランの事業も始まり、ここでは、遊びや見守り、宿題だけでなく、外国語活動やプリント学習など、プログラムに基づいた学習の提供も行われはじめています。

第10章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

1

学力向上に向けた県の施策における取組等の状況

【関連：第1章P.5～、第11章P.145～】

1 学校の組織的な取組

(1) 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セットの活用について

項目	指標	結果
3点セット活用	活用校と未活用校での 全国平均正答率との差	<ul style="list-style-type: none"> 活用校（H26：約7割）では、小中学校とも全教科（特に小中とも国B）で、<u>全国平均との差の改善が大きい傾向</u>。 （例）小算A：活 1.9（未 1.4） 小国B：活 3.4（未 3.0） 中国B：活 0.8（未-0.02）
みえスタディ・チェック実施	実施校と未実施校での 全国平均正答率との差	<ul style="list-style-type: none"> 実施校（H26：約8割）では、大半の教科（特に中学校数学）で、<u>全国平均との差の改善が大きい傾向</u>。 （例）小国A：実 0.16（未-1.2） 小国B：実 0.13（未 1.2） 中数B：実 0.53（未-2.0）

(2) 学校訪問の取組について

項目	指標	結果
小学校 257 校訪問	訪問校と未訪問校での 全国平均正答率との差	<ul style="list-style-type: none"> 訪問校（H26：小学校の約2/3）では、全教科で、<u>全国平均との差の改善が大きい傾向</u>。 （例）小国A：訪 1.2（未 0.8） 小算B：訪 1.9（未 0.6）

(3) めあて・振り返る活動の設定（ノート指導を含む）、校長の見回り等組織的な取組について

項目	指標	結果
授業でのめあての提示・振り返る活動の設定 【児童質問紙（小） ・学校質問紙（小）】	肯定的な回答と平均正答率	・小学校では、全国、三重県ともに、めあて・振り返りの指導や受止めに <u>肯定的な回答</u> を行っている学校・児童ほど、 <u>全教科で、平均正答率が高い傾向</u> 。
めあてとまとめのノート記載 （※H27 新規追加） 【同上】	同上	・本年度から新たに質問項目に加わった、めあて・振り返りを「ノートに書いていた（書くよう指導した）」については、上記にもまして、 <u>肯定的回答と平均正答率との間に関係性が高い傾向</u> 。 （参考）めあて・振り返りノート記載 小：児童 83.1（全国 87.1） 学校 87.2（全国 94.1） 中：生徒 64.4（全国 73.7） 学校 67.7（全国 81.9）
校長の見回り 【学校質問紙（小）】	実施頻度と平均正答率	・全国の小学校では、実施頻度に応じて、全教科で平均正答率が高い傾向。三重県では、 <u>実施頻度は大幅に改善したものの、平均正答率との関連は必ずしも大きくないことから、質的充実を図ることが必要</u> 。

(4) 指導方法について

① 発展的な学習の指導等について

項目	指標	結果
発展的な学習の指導 （小・国、算数・数学） 【学校質問紙】	回答ごとの平均正答率	・三重県では、左記項目について、 <u>実施回数が多いほど平均正答率が高い傾向</u> 。
補充的な学習の指導 （数学） 【学校質問紙（中）】		・なお、習熟度別少人数指導については、実施率が1割（全国的にも2～3割）前後に留まること等もあり、必ずしも明確な傾向が見られず（特に小学校）、今後の検討課題。

② 実践推進校との関係について

項目	指標	結果
実践推進校 100 校	指定前（H26 調査）と指定後（H27 調査）の平均正答率の全国平均との差	<ul style="list-style-type: none"> ・指定校では、課題を抱えるところが少なくない中、全国平均との差が全教科で改善し、<u>特に算数・数学では、差の改善が大きい傾向。</u> （例）小算B：指 1.7（非 1.2） 中国B：指 0.7（非 0.5） 中数B：指 1.4（非 0.4）

【参考】通塾との関係について

項目	指標	結果
通塾状況 【児童生徒質問紙】	回答ごとの割合	<ul style="list-style-type: none"> ・全国でも、三重県でも、通塾している児童生徒（小 52%（全国 47%）、中 68%（全国 61%））のうち、小中学校とも、学校の勉強で分からなかった内容を勉強している割合（15%前後）より、学校の勉強より難しい内容を勉強している割合（小：約半数、中：約 1/3）の方が多い。（なお、三重県では、全国に比べ、僅差ではあるが、小学校では分からない内容、中学校では難しい内容の割合が多い。） ・通塾している場合、<u>難しい内容を勉強しているときや、中学数学等で、平均正答率が高い傾向。</u>

(5) 日本語指導が必要な児童生徒の在籍数との関係について

項目	指標	結果
日本語指導が必要な児童生徒	在籍数と平均正答率、学校質問紙の回答	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導が必要な児童生徒の<u>在籍数と平均正答率との間には明確な関係性は見られない。</u> ・なお、平均正答率の高い学校では、読書指導、地域による学校支援、家庭学習指導、体験を通じた授業、言語活動などの取組が、学校全体で行われている傾向。 （前出 P. 37、P. 80 参照）

(6) 自校採点の取組について

項目	指標	結果
全国学力・学習状況調査の自校分析結果に係る学校全体での活用【学校質問紙】	肯定的な回答と平均正答率	・自校採点実施校は、大幅に増加（H26：約5割→H27：約9割）。小中学校ともに、対象学年・教科だけでなく学校全体で活用している割合が高くなっており（小学校でも全国平均を上回った）、 <u>全教科で、平均正答率との関係も強く見られる傾向。</u>

(7) あきらめずに取り組むこととの関係について

項目	指標	結果
文章で解答する問題（国語）や、言葉や数式を使ってわけや求め方を書く問題（算数・数学）に、どのように解答したか【児童生徒質問紙】	肯定的回答の割合の全国平均との差 (参考) 選択肢概要 1 全問最後まで努力 2 途中であきらめた 3 まったく解答せず	・校種、教科に関わらず、 <u>最後まで解答しよう</u> と努力した児童生徒の割合が増加し、 <u>全国平均との差の改善が大きい傾向。</u> (例) 小国：1.9 H26：74.7(全国差 -1.4) H27：78.2(全国差 0.5) 中数：3.7 H26：56.8(全国差 -0.9) H27：54.1(全国差 2.8)

2 家庭・地域との関わり

(1) 学校質問紙調査結果の公表について

項目	指標	結果
学校質問紙調査結果の公表	公表校と未公表校での全国平均との差	・公表校（H26：約3割）のうち、 <u>小学校では、全国平均との差の改善が見られる傾向。</u> (例) 小国B：公 3.2 (未 3.1) 小算A：公 1.9 (未 1.6) 中国A：公-0.2 (未 0.8)

(2) コミュニティ・スクール、学校支援地域本部との関係について

コミュニティ・スクールと学校支援地域本部については、地方創生のために、地域とともにある学校づくりはもとより、学校を核とした地域づくりに向けて、学力向上を含む、多面的な機能の発揮が期待されています。

全国の平均正答率との差に係る経年変化からは、コミュニティ・スクール、学校支援地域本部のいずれについても、特に小学校で着実に成果をあげている傾向がうかがえる一方、今後、国による制度変更・支援策拡充に係る動向も踏まえながら、中学校（区）に着目した推進策も検討していく必要があります。

項目	指標	結果
保護者や地域住民への調査結果の公表 【学校質問紙】	指定校と指定校以外での学校質問紙への回答	・小中学校とも指定校が <u>大きく上回っている</u> （なお、伸び率も同様）。 小 指定校 51.3% 非指定校 25.7% 中 指定校 46.7% 非指定校 24.7%
保護者や地域住民への調査結果を踏まえた 学力向上の働きかけ 【学校質問紙】	同上	・小中学校とも指定校が <u>大きく上回っている</u> （なお、伸び率も同様）。 小 指定校 33.3% 非指定校 14.9% 中 指定校 20.0% 非指定校 11.6%
学校支援ボランティアの仕組みによる保護者や地域住民が教育活動への参加 【学校質問紙】	同上	・小中学校とも指定校が <u>大きく上回っている</u> （なお、伸び率も同様）。 小 指定校 71.8% 非指定校 33.4% 中 指定校 26.7% 非指定校 23.3%

（3）宿題の出し方について

項目	指標	結果
家庭学習の仕方 （計画的、宿題、予習、復習） 【児童生徒質問紙】	肯定的な回答と平均正答率	・全国、三重県ともに、校種、教科に関わらず、 <u>肯定的な回答を行っている児童生徒ほど、全教科で、平均正答率が高い傾向</u> 。
家庭学習の課題（宿題）の出し方 【学校質問紙】	同上	・全国の小中学校では、下記のいずれについても、肯定的な回答を行った学校では、平均正答率が高い傾向（ただし、中学校では一部、関係性がやや弱いものもある）。 ①宿題をよく与えた。 ②与えた宿題について、評価・指導を行った。 ③保護者に対して、家庭学習を促すよう働きかけを行った。 ④宿題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った。 ⑤調べたり文章を書いたりする宿題を与えた。

		<p>⑥家庭学習の方法を、具体例を挙げながら教えた。</p> <p>・三重県でも、<u>小学校では、③を除き基本的に関連性が見られるが、中学校では一般的に、平均正答率との関連が大きくない傾向。</u></p>
--	--	--

(4) 生活習慣・読書習慣チェックシートの取組について

項目	指標	結果
チェックシート実施	実施校と未実施校での全国平均正答率との差	<p>・実施校（H26：約8割）のうち、<u>小学校では、全教科で、全国平均との差の改善が大きい傾向。</u></p> <p>（例）小国B：実 0.50（未-0.36） 小算A：実 0.51（未-1.09） 中国A：実-0.12（未 0.01）</p>

(5) 就学援助を受けている児童生徒の在籍割合との関係について

項目	指標	結果
就学援助を受けている児童生徒	在籍割合と平均正答率、学校質問紙の回答	<p>・就学援助を受けている児童生徒の<u>在籍割合と平均正答率との間には明確な関係性は見られない。</u></p> <p>・ただし、就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校は、各校の平均正答率のばらつきが見られ、平均正答率の高い学校では、校内研修、言語活動、学習規律、ICT利活用、放課後等の学習サポートなどの取組が、学校全体で行われている傾向。</p> <p>（前出 P. 35、P. 78 参照）</p>

《児童生徒質問紙》

※「みえの学力向上県民運動」開始（H24）以前の直近の悉皆調査（H21）、H26年及びH27年の調査を比較。
 ※表中の矢印は、三重県の割合の変位、及び「全国との差」の変位を表し、↑は「改善・上昇」を、→は「変動なし」を、↓は「下降」を表す。また、児童生徒質問紙⑩、⑫、⑬については、↓は「改善・上昇」を、↑は「下降」を表す。
 ※表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。
 ※表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。
 ※表中の○は、上記に示した「A、B、C」及び「+、-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。
 ※表中の網かけは、平成21年度の質問紙に同じ質問項目がなかったものである。

■ ■ 小学校 ■ ■

質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
① 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。将来の夢や目標を持ち、難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する	三重県			80.6	↑	81.0	+	
	全国			80.9		81.5		
	全国との差			-0.3	↓	-0.5	C	
② 自分には、よいところがあると思う	三重県	75.1	↑	75.7	↓	75.1	-	→
	全国	74.6		76.1		76.4		C
	全国との差	0.5	↓	-0.4	↓	-1.3		↓
③ 基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合（朝食を毎日食べている・毎日、同じくらしい時刻に起床就寝している）	三重県	87.2	↑	88.3	→	88.3		↑
	全国	87.1		88.7		88.7		C
	全国との差	0.1	↓	-0.4	→	-0.4	B	↓
④ 家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	51.5	↑	59.4	↑	60.5	+	↑
	全国	54.7		61.0		62.8		A
	全国との差	-3.2	↑	-1.6	↓	-2.3	C	↑
⑤ 家で、学校の宿題をしている	三重県	96.1	↑	97.3	→	97.3		↑
	全国	95.5		96.5		96.8		C
	全国との差	0.6	↑	0.8	↓	0.5		↓
⑥ 家で、学校の授業の予習をしている	三重県	33.9	↑	42.0	→	42.0		↑
	全国	37.5		43.2		43.4		A
	全国との差	-3.6	↑	-1.2	↓	-1.4	C	↑
⑦ 家で、学校の授業の復習をしている	三重県	39.1	↑	48.7	↑	50.1	+	↑
	全国	46.0		54.0		54.5		A
	全国との差	-6.9	↑	-5.3	↑	-4.4	A	↑
⑧ 学校図書館・室や地域の図書館の利用（月1回以上）	三重県	39.8	↑	42.1	↓	40.0	-	↑
	全国	42.5		42.9		40.7		A
	全国との差	-2.7	↑	-0.8	↑	-0.7	A	↑
⑨ 家の人の学校行事への参観等	三重県			97.4	↑	97.6	+	
	全国			96.5		96.6		A
	全国との差			0.9	↑	1.0		
⑩ 地域行事への参加	三重県	65.7	↑	73.2	↓	72.0	-	↑
	全国	62.4		68.0		66.9		A
	全国との差	3.3	↑	5.2	↓	5.1	C	↑
⑪ 平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	47.1	↓	38.4	↓	35.8	+	↓
	全国	45.7		38.0		36.1		A
	全国との差	1.4	↓	0.4	↓	-0.3	A	↓
⑫ 平日のテレビゲーム等使用時間（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	13.0	↑	18.8	↓	18.2	+	↑
	全国	11.6		17.0		17.0		A
	全国との差	1.4	↑	1.8	↓	1.2	A	↓
⑬ 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）	三重県	4.0	↑	5.6	↑	6.3	-	↑
	全国	3.4		5.0		5.7		B
	全国との差	0.6	→	0.6	→	0.6	B	→
⑭ 平日の学習時間（1時間以上）	三重県	55.4	↑	59.4	↓	58.4	-	↑
	全国	57.2		62.0		62.7		C
	全国との差	-1.8	↓	-2.6	↓	-4.3		↓
⑮ 休みの日の学習時間（3時間以上）	三重県	8.8	↑	9.0	→	9.0		↑
	全国	11.3		11.5		11.9		C
	全国との差	-2.5	→	-2.5	↓	-2.9	C	↓
⑯ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	94.7	↑	96.3	↑	96.5	+	↑
	全国	94.9		96.4		96.2		A
	全国との差	-0.2	↑	-0.1	↑	0.3	A	↑
⑰ 「総合的な学習の時間」での自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動	三重県			53.3	↑	54.5	+	
	全国			63.8		65.8		C
	全国との差			-10.5	↓	-11.3		
⑱ 授業のはじめに目標（めあて・ねらい）の提示	三重県			75.7	↑	83.0		
	全国			82.0		86.3		A
	全国との差			-6.3	↑	-3.3		
⑲ 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			67.1	↑	71.4	+	
	全国			71.9		75.3		A
	全国との差			-4.8	↑	-3.9		
⑳ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする	三重県	52.0	↑	56.6	↑	60.3	+	↑
	全国	56.0		61.4		65.2		C
	全国との差	-4.0	↓	-4.8	↓	-4.9		↓

第10章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

■ ■ 中学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。将来の夢や目標を持ち、難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する	三重県			70.6	↗	70.7	+	C
		全国			69.7		70.3		
		全国との差			0.9	↘	0.4		
②	自分には、よいところがあると思う	三重県	63.0	↗	69.1	↗	69.4	+	↗
		全国	61.2		67.1		68.1		
		全国との差	1.8	↗	2.0	↘	1.3		
③	基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合（朝食を毎日食べている・毎日、同じくらいの時刻に起床就寝している）	三重県	84.0	↗	86.9	↘	86.8	-	↗
		全国	84.2		86.6		86.9		
		全国との差	-0.2	↗	0.3	↘	-0.1		
④	家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	36.8	↗	47.3	↗	51.0	+	↗
		全国	37.9		46.6		48.8		
		全国との差	-1.1	↗	0.7	↗	2.2		
⑤	家で、学校の宿題をしている	三重県	80.9	↗	87.7	↗	90.9	+	↗
		全国	83.0		88.2		89.3		
		全国との差	-2.1	↗	-0.5	↗	1.6		
⑥	家で、学校の授業の予習をしている	三重県	29.0	↗	34.6	↗	37.4	+	↗
		全国	29.5		34.2		35.3		
		全国との差	-0.5	↗	0.4	↗	2.1		
⑦	家で、学校の授業の復習をしている	三重県	33.7	↗	45.5	↗	48.9	+	↗
		全国	40.5		50.4		52.0		
		全国との差	-6.8	↗	-4.9	↗	-3.1		
⑧	学校図書館・室や地域の図書館の利用（月1回以上）	三重県	17.5	↗	18.4	↘	17.4	-	↘
		全国	18.4		18.9		19.6		
		全国との差	-0.9	↗	-0.5	↘	-2.2		
⑨	家の人の学校行事への参観等	三重県			78.8	↗	78.9	+	
		全国			83.1		83.4		
		全国との差			-4.3	↘	-4.5		
⑩	地域行事への参加	三重県	43.6	↗	50.4	↗	50.7	+	↗
		全国	37.8		43.5		44.8		
		全国との差	5.8	↗	6.9	↘	5.9		
⑪	平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	42.1	↘	35.2	↘	32.4	+	↘
		全国	38.0		31.5		30.5		
		全国との差	4.1	↘	3.7	↘	1.9		
⑫	平日のテレビゲーム等使用時間（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	13.1	↗	24.0	↘	22.9	+	↗
		全国	10.4		20.3		20.5		
		全国との差	2.7	↗	3.7	↘	2.4		
⑬	平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）	三重県	10.2	↗	24.5	↘	21.5	+	↗
		全国	8.6		19.8		18.2		
		全国との差	1.6	↗	4.7	↘	3.3		
⑭	平日の学習時間（1時間以上）	三重県	64.6	↘	64.4	↗	66.5	+	↗
		全国	65.3		67.9		69.0		
		全国との差	-0.7	↘	-3.5	↗	-2.5		
⑮	休みの日の学習時間（3時間以上）	三重県	11.2	↗	12.6	↗	12.9	+	↗
		全国	15.4		16.9		17.7		
		全国との差	-4.2	↘	-4.3	↘	-4.8		
⑯	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	89.8	↗	92.8	↗	93.9	+	↗
		全国	90.3		93.4		93.7		
		全国との差	-0.5	↘	-0.6	↗	0.2		
⑰	「総合的な学習の時間」での自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動	三重県			46.2	↗	48.9	+	
		全国			54.8		58.0		
		全国との差			-8.6	↘	-9.1		
⑱	授業のはじめに目標（めあて・ねらい）の提示	三重県			62.1	↗	75.5	⊕	
		全国			71.5		79.7		
		全国との差			-9.4	↗	-4.2		
⑲	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			51.4	↗	58.3	⊕	
		全国			53.3		59.3		
		全国との差			-1.9	↗	-1.0		
⑳	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする	三重県	39.6	↗	53.2	↗	55.1	+	↗
		全国	41.8		56.1		59.2		
		全国との差	-2.2	↘	-2.9	↘	-4.1		

《学校質問紙》

■ ■ 小学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	72.0	↗	92.9	↗	98.1	⊕ A	↗ ⊕
		全国	83.5		93.6		95.8		
		全国との差	-11.5	↗	-0.7	↗	2.3		
②	対象児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に実施(学期に数回以上)	三重県	69.8	↗	77.2	↗	81.8	+	↗ ⊕
		全国	77.8		80.5		82.6		
		全国との差	-8.0	↗	-3.3	↗	-0.8		
③	対象児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施(「週に2回以上」)	三重県	15.9	↗	18.9	↗	22.7	+	↗ ⊕
		全国	14.2		17.5		17.7		
		全国との差	1.7	↘	1.4	↗	5.0		
④	校長の授業の見回り(週に2日以上)	三重県	65.1	↗	84.5	↗	95.4	⊕ ⊕	↗ ⊕
		全国	81.5		91.6		93.1		
		全国との差	-16.4	↗	-7.1	↗	2.3		

■ ■ 中学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	71.5	↗	91.4	↗	94.4	+	↗ ⊕
		全国	78.7		90.4		93.2		
		全国との差	-7.2	↗	1.0	↗	1.2		
②	対象生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に実施(学期に数回以上)	三重県	35.2	↗	39.5	↗	44.7	⊕ A	↗ ⊕
		全国	47.6		42.2		44.9		
		全国との差	-12.4	↗	-2.7	↗	-0.2		
③	対象生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施(「週に2回以上」)	三重県	12.1	↘	11.8	↗	13.7	+	↗ +
		全国	13.6		14.1		14.9		
		全国との差	-1.5	↘	-2.3	↗	-1.2		
④	校長の授業の見回り(週に2日以上)	三重県	53.3	↗	69.2	↗	81.4	⊕ ⊕	↗ ⊕
		全国	68.3		79.3		81.4		
		全国との差	-15.0	↗	-10.1	↗	0.0		

■ ■ 小学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	授業のはじめに目標(めあて・ねらい)の提示	三重県			91.3	↗	97.8	⊕ ⊕	
		全国			96.9		98.1		
		全国との差			-5.6	↗	-0.3		
②	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			76.3	↗	89.9	⊕ ⊕	
		全国			91.6		93.9		
		全国との差			-15.3	↗	-4.0		

■ ■ 中学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	授業のはじめに目標(めあて・ねらい)の提示	三重県			88.3	↘	87.6	-	
		全国			94.0		95.7		
		全国との差			-5.7	↘	-8.1		
②	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			84.5	↗	87.5	+	
		全国			89.2		90.9		
		全国との差			-4.7	↗	-3.4		

3

関係事業における取組状況

全国学力・学習状況調査は4月に実施されることから、教科に関する調査では前年度までの学習状況を、質問紙調査では前年度の取組状況をまとめています。このことから、平成27年度調査では平成26年度の取組を検証することになります。

平成26年度学力向上に向けた指導体制確立支援事業について

【関連：第10章P.123】

児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査の活用に係る市町の取組への支援を行うとともに、県教育委員会の指導主事や学力向上アドバイザーを学力の定着に課題を抱え、主体的に課題改善に取り組む実践推進校（小学校70校、中学校30校）へ派遣するなどし、取組を支援してきました。

平均正答率について

全国と実践推進校の4教科の平均正答率の合計の差による検証を行いました。

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H26→H27	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎

◎…全国と実践推進校との差が改善されており、非実践推進校よりも改善幅が大きい。

○…全国と実践推進校との差が改善されているが、非実践推進校よりは改善幅が小さい。

＋…全国と実践推進校との差が改善されており、非実践推進校と改善幅が同じ。

学校質問紙について

平成26年度の1年間の取組に対して、肯定的な回答をした割合の増減の変化から、実践推進校が特に力を入れてきたと考えられる取組や指導状況は、次のようになります。

<小学校>

(40)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか			
		H26	H27	
		推進校	79.7%	
推進校以外	83.3%	87.2%		
(108)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか			
		H26	H27	
		推進校	82.6%	
推進校以外	88.1%	88.1%		
(109)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか			
		H26	H27	
		推進校	78.3%	
推進校以外	84.6%	88.8%		

<中学校>

(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）			
		H26		H27
	推進校	60.0%		80.0%
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか			
		H26		H27
	推進校	10.0%		23.3%
(89)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか			
		H26		H27
	推進校	90.0%		96.7%
	推進校以外	95.5%	91.6%	

分析結果

- ・各教科の平均正答率では、小中学校ともに、課題を抱えるところが少なくない中、全ての教科で全国との差が縮まり、改善が見られ、特に算数B、数学Bで改善が大きいことがわかります。
- ・小学校では、国語以外の教科等においても学校全体として言語活動の充実を図るとともに、自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導を行っている割合が高い状況です。
- ・中学校ではそれに加えて補充的なサポートや家庭学習の充実が図られています。

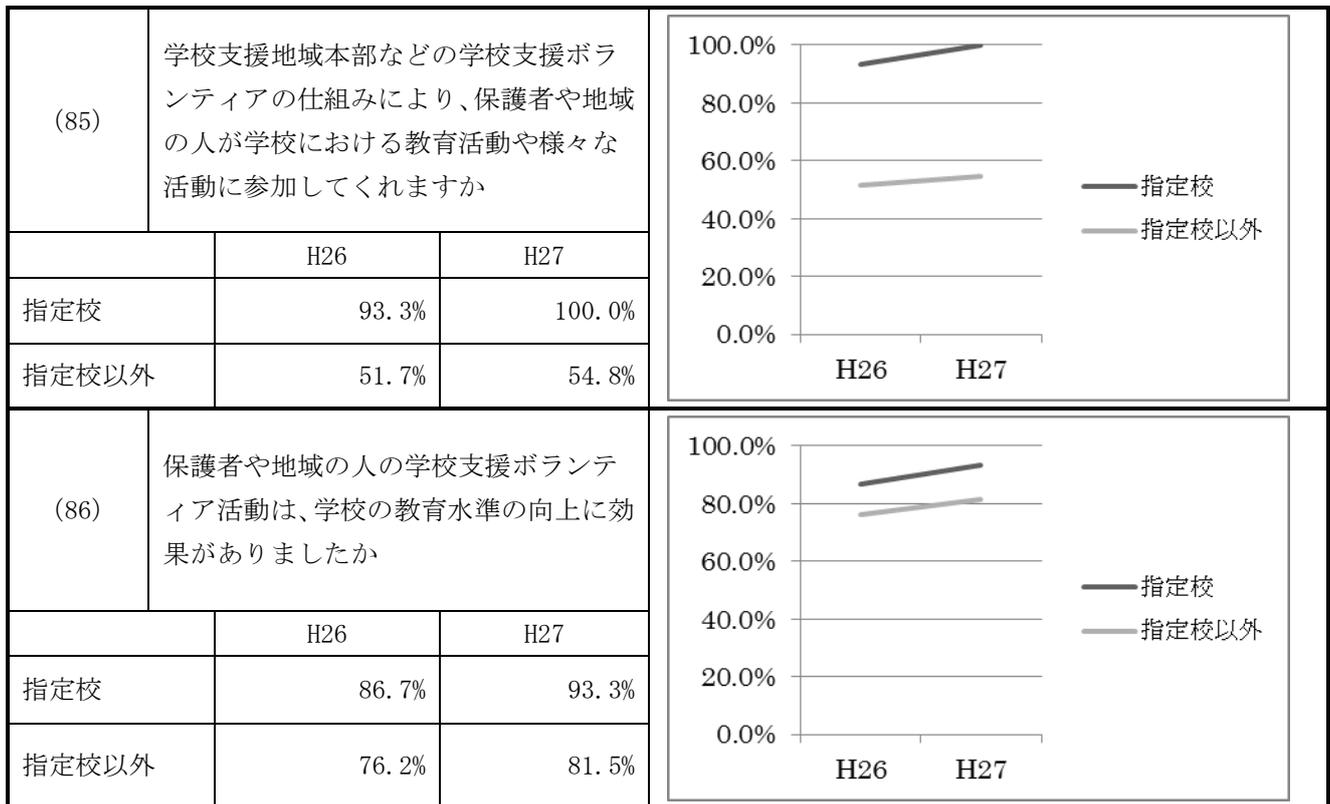
改善ポイントなど

- ・小学校における算数の基礎的・基本的な知識・技能の習得には、国語科の中での言語活動の充実や家庭学習の充実において見直しをしていくことで、さらなる学力向上が期待できます。
- ・中学校では、国語科において様々な文章を深く読み、思考を深め、書いたり発表したりする学習活動を充実させていくことで、さらなる学力向上が期待できます。
- ・少人数教育のよりよい在り方を研究し、実践することで、さらなる学力向上が期待できます。

(87)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人々が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	100.0%	
指定校以外	80.7%	80.3%		
(88)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	97.4%	
指定校以外	90.4%	94.9%		

<中学校>

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	86.7%	
指定校以外	75.5%	95.2%		
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	60.0%	
指定校以外	72.1%	79.5%		



分析結果

- ・コミュニティ・スクールに指定されている学校では、ほぼ全ての教科で全国の平均正答率との差が改善されており、小学校国語B、中学校国語A・B、数学Aでは、非指定校を上回っています。
- ・指定校では、保護者や地域住民と子どもたちの抱える課題等を共有し、三者が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」が推進されています。また、保護者や地域住民が学校運営に参画することにより、地域との連携・協働体制が構築され、子どもたちの豊かな育ちが実現しています。

改善ポイントなど

- ・これからの学校では、学校運営に保護者や地域住民等が参画することを通じて、学校・家庭・地域の関係者が目標やビジョンを共有し、学校の教育方針の決定や教育活動の実践に、地域のニーズを反映させるとともに、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくことが求められています。
- ・まずは、コミュニティ・スクールに比べて導入しやすい学校支援地域本部の取組を拡大する中で、学習意欲や学力の向上を図りながら、段階的にコミュニティ・スクールへと発展させるなど、学校・家庭・地域の三者が協働して子どもの教育環境を充実させていく必要があります。

平成26年度地域による学力向上支援事業について

【関連：第10章P.124～】

大学生や教員OB等地域住民がその知識・技能を活用し、教科指導の補助を行う等、学校支援地域本部の仕組みを導入した地域による学力向上の支援体制を構築してきました。

平均正答率について

平成26年度に学校支援地域本部を設置している学校の調査結果を分析しました。

学校支援地域本部設置校：小学校 148校、中学校 50校（平成27年3月31日現在）

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H25→H26	×	◎	◎	○	○	×	○	○
H26→H27	◎	◎	○	◎	◎	◎	—	◎
H21→H27	◎	◎	○	◎	◎	×	×	×

- ◎…全国と設置校との差が改善されており、非設置校よりも改善幅が大きい。
- …全国と設置校との差が改善されているが、非設置校よりは改善幅が小さい。
- ×…全国と設置校との差が改善されておらず、非設置校より改善幅が小さい。
- …全国と設置校との差が改善されておらず、非設置校と全国との差が同じ。

学校質問紙について

<小学校>

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)			
		H26	H27	
		設置校	82.4%	
非設置校	76.4%	95.1%		
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか			
		H26	H27	
		設置校	83.8%	
非設置校	79.0%	90.7%		

(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか			
		H26		H27
	設置校	48.6%		50.0%
非設置校	27.9%	31.0%		
(88)	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか			
		H26		H27
	設置校	93.2%		98.0%
非設置校	89.7%	93.8%		

<中学校>

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)			
	中学校	H26		H27
	設置校	86.0%		98.0%
非設置校	72.3%	94.6%		
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか			
	中学校	H26		H27
	設置校	76.0%		90.0%
非設置校	68.8%	76.6%		

(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか				
	中学校			H26	H27
	設置校			26.0%	30.0%
	非設置校		16.1%	15.3%	
(86)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか				
	中学校			H26	H27
	設置校			84.0%	86.0%
	非設置校		74.1%	81.1%	

分析結果

- ・学校支援地域本部を設置している小学校では、全ての教科で全国の平均正答率との差が改善されていますが、中学校では、国語A以外の教科で、全国の平均正答率との差が広がっています。
- ・全国学力・学習状況調査の結果から見られる子どもたちの強みや弱みを保護者や地域住民と共有し、学力向上のための働きかけを行っている学校が増加しており、いずれも設置校が非設置校を上回っています。

改善ポイントなど

- ・ボランティア等の授業サポートを行っている学校は増加傾向にあります。多くの学校が、学校支援ボランティアの活用が学校の教育水準の向上に効果があることを実感しています。子どもたちの学びと育ちを支えるため、学校の教育活動を組織的に支援するとともに、地域の教育資源を組織化・ネットワーク化する仕組みを構築することが大切です。
- ・小学校に比べ、中学校への学習支援はまだまだ少ない状況にあります。今後、大学生や教員OBなど地域住民の協力による学習の遅れがちな中学生等を対象とした学習支援「地域未来塾」等、中学生に対する学習支援の充実を図る必要があります。

平成26年度子ども支援ネットワーク構築事業について

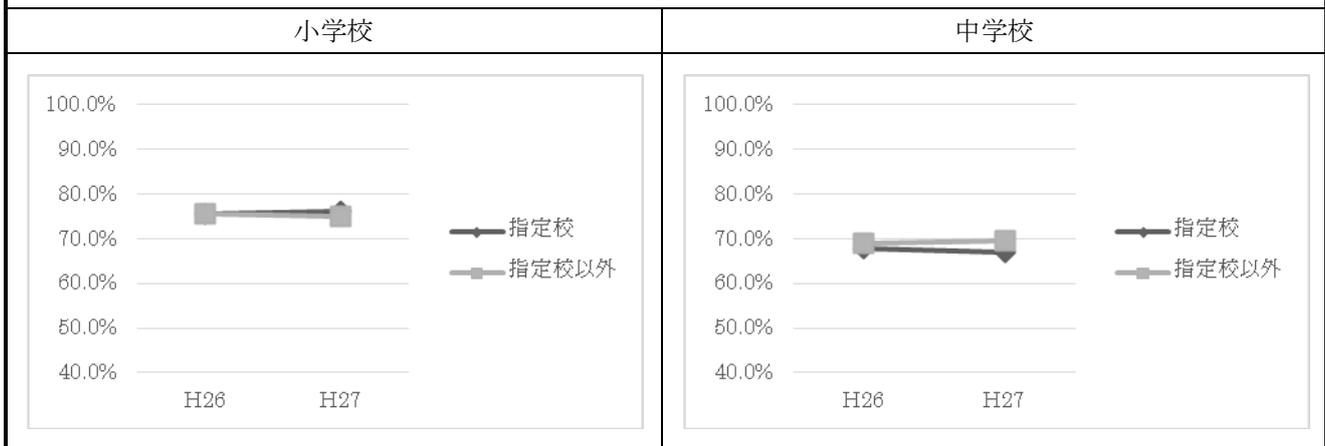
【関連：第1章P.9、
第4章P.46～、第7章P.88～】

平成24年度より、毎年10中学校区程度を指定し、教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情や学習意欲が高まるよう、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの学びを支援する「子ども支援ネットワーク」の構築に取り組んできました。

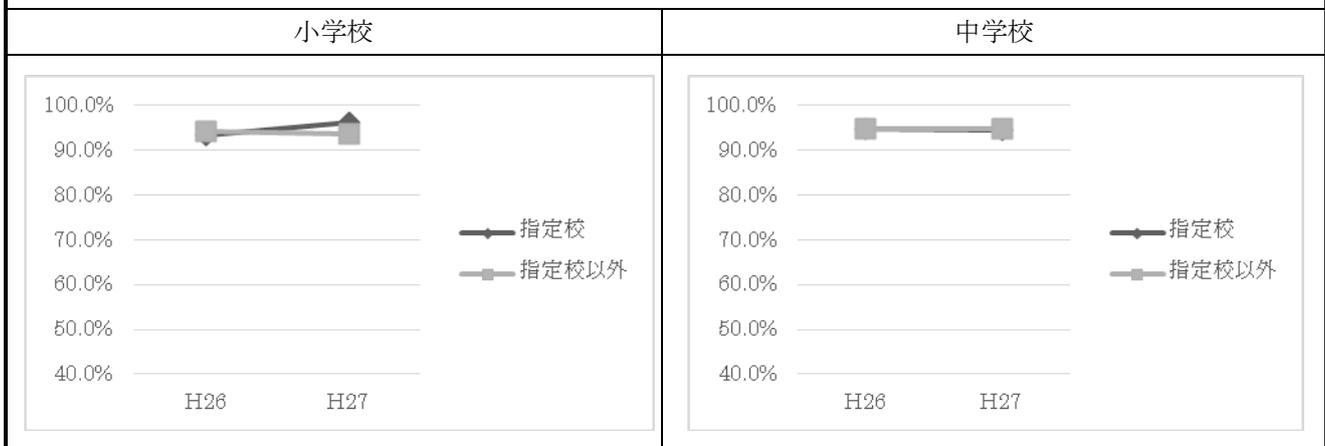
平成26年度の11指定中学校区（小学校32校、中学校11校）について、関連する質問紙の結果を分析しました。

児童・生徒質問紙について

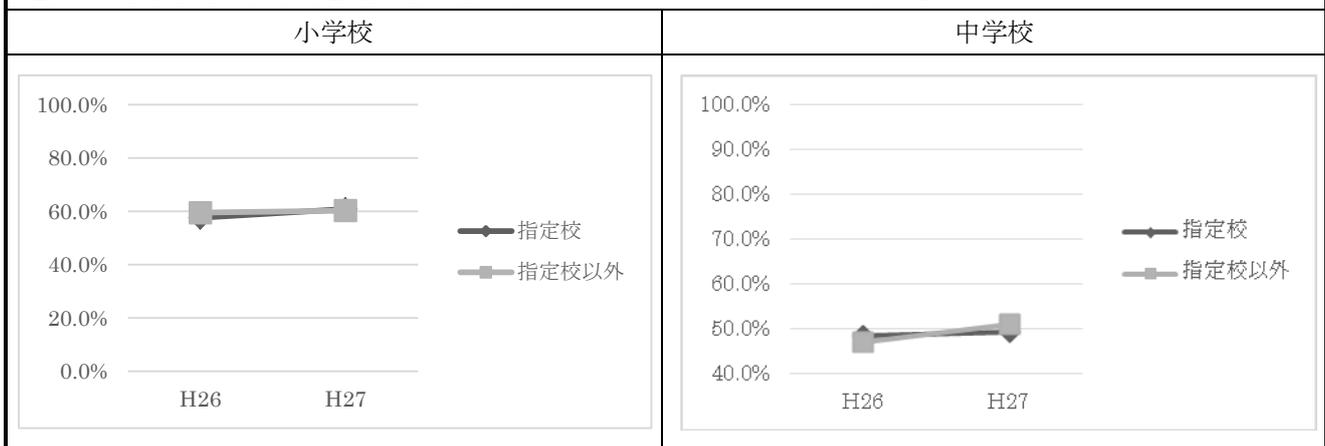
【児童生徒質問番号（6）】自分には、よいところがあると思いますか。

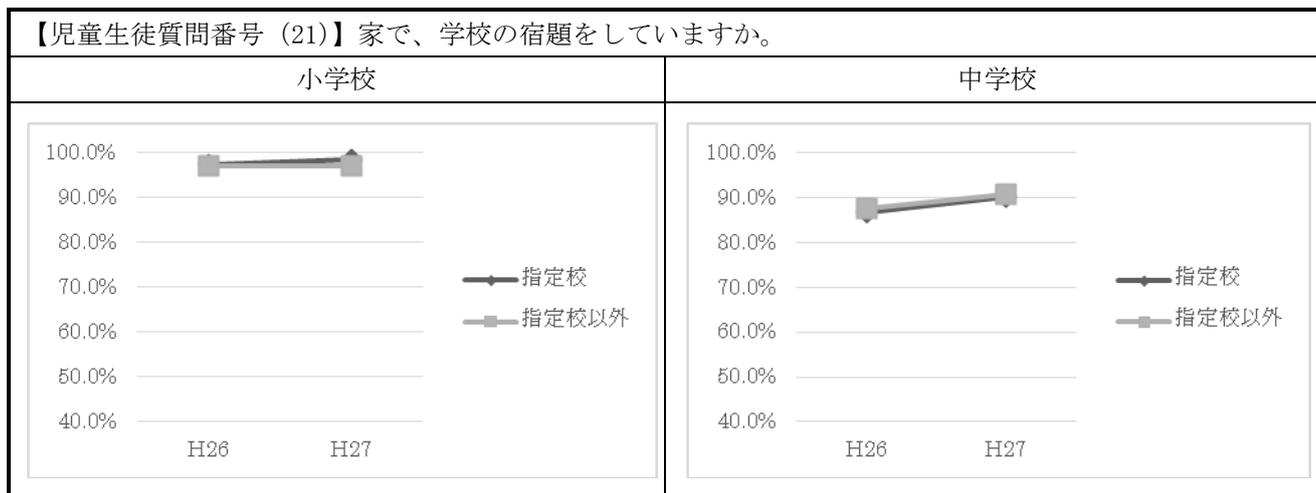


【児童生徒質問番号（33）】人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



【児童生徒質問番号（20）】家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。





分析結果

- ・自尊感情は、主に小学校において高まっています。
- ・学習意欲は小学校、中学校ともに向上の傾向が見られます。
- ・家で宿題を「している」「どちらかといえば、している」と答えた児童・生徒の割合は、小学校、中学校とも指定校のほうが非指定校よりも伸びています。
- ・学校・家庭・地域の連携により、確実に学習支援がなされています。

改善ポイントなど

- ・中学校において自尊感情を高めていく取組の深化が必要です。中学生の自尊感情は教科学習と切り離すことはできません。教科学習において、「わかった」「できた」という体験を増やしていくことも大切です。
- ・キャリア教育を前面に出して、あいさつやマナー、人前で自分の考えを伝えることなど、社会生活を送るうえで大切な力を高めていく活動も有効です。

平成26年度いじめを許さない「絆」プロジェクト事業について

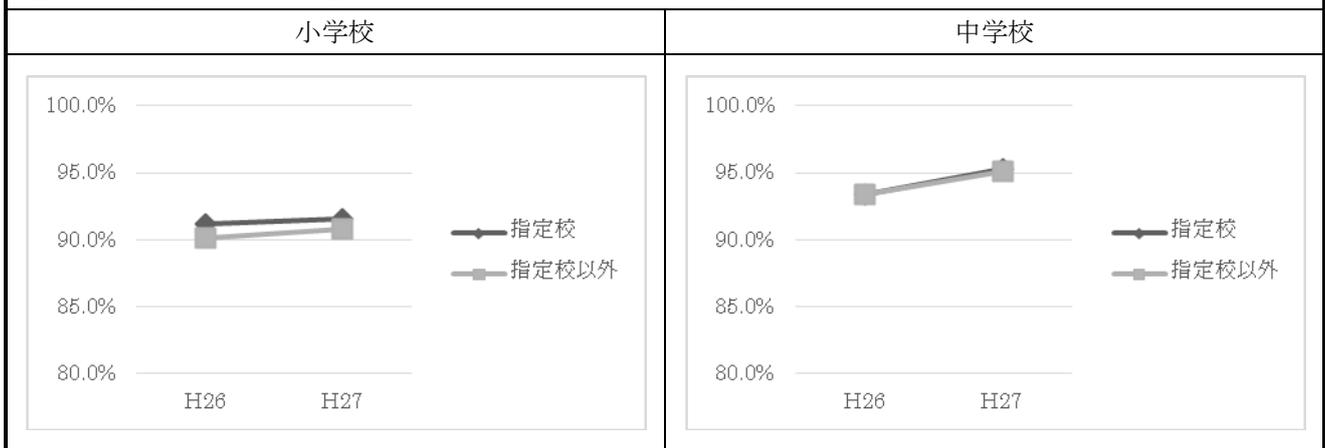
【関連：第4章P.45～、第7章P.87～】

県内29市町の課題克服のモデルになりうる29中学校区の小中学校を指定校として、子どもたちが自らつながり合い、問題を解決していく力を育成し、いじめや暴力のない安全・安心な学校づくりに取り組んできました。

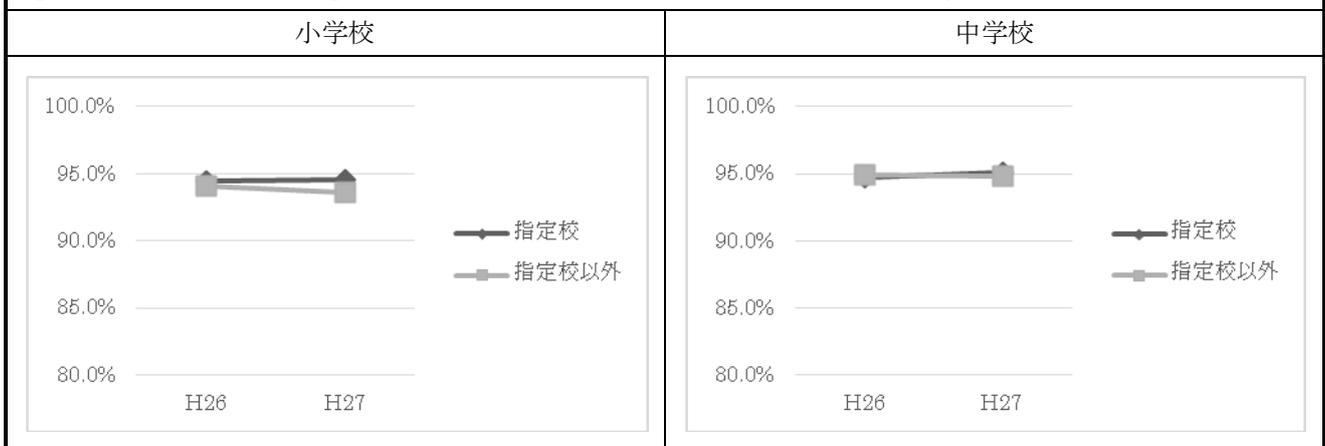
平成26年度の29中学校区(小学校79校、中学校29校)の結果を分析しました。

児童・生徒質問紙について

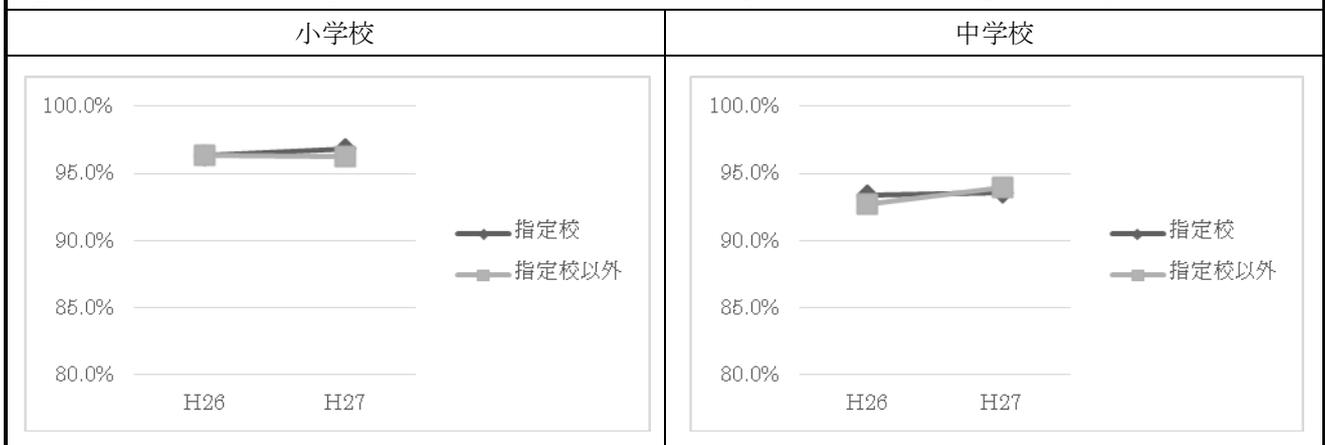
【児童生徒質問番号(32)】学校のきまりを守っていますか。



【児童生徒質問番号(33)】人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



【児童生徒質問番号(34)】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



分析結果

- ・指定校では全ての項目において小学校、中学校ともに昨年度より高い状況が見られ、100%に近づいています。
- ・児童生徒の規範意識等が向上しています。特に、「いじめはいけない」という意識の醸成に効果がありました。
- ・指定校では各質問90%を超える高い肯定的な回答の割合の中でさらに向上しています。一方指定校以外では「(33)人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」に対する肯定的な回答の割合が、小学校、中学校ともごくわずかですが下降しています。

改善ポイントなど

- ・児童生徒の意識は改善の方向にあるものの、崩れるときには一気に崩れていく領域ですので、引き続き、落ち着いて授業ができる学校環境をつくっていく必要があります。
- ・学校内・地区内での取組に終わらず、他校・他地区への波及のための動きが期待されます。

平成26年度学力向上のための読書活動推進事業について

【関連：第1章P.8】

子どもの学力向上を目的に、図書館司書が配置されておらず読書環境の整備に課題のある学校（6市町11校）をモデル校に指定し、民間事業者への委託により図書館司書を配置し、司書教諭をはじめとした教員に対して学校図書館を活用した授業支援等の読書活動を推進してきました。

平成26年度のモデル校(小学校9校、中学校2校)の結果を分析しました。

平均正答率について

<小学校>

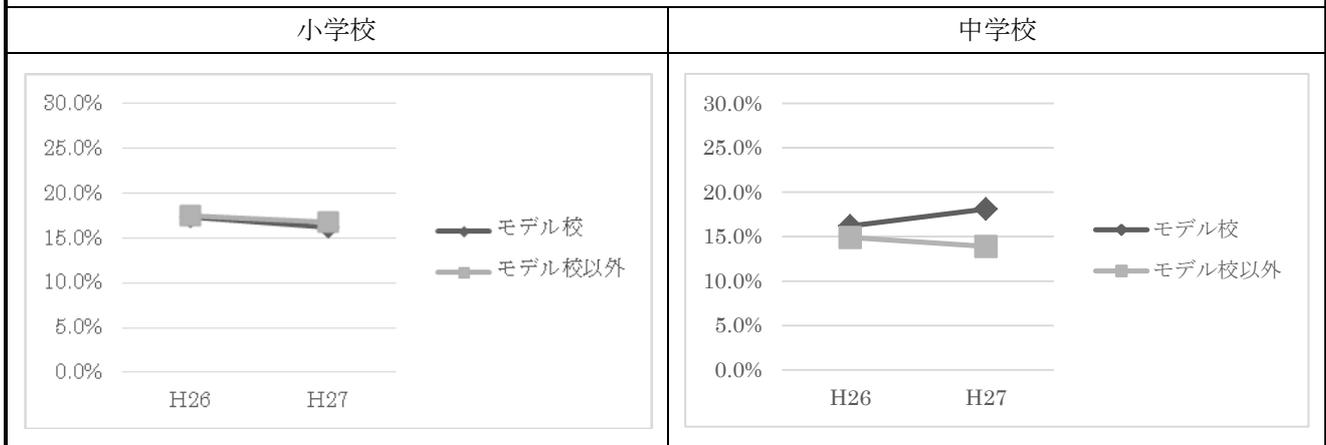
実施年度	国語A			国語B			算数A			算数B		
	H25	H26	H27									
モデル校	61.8	66.8	69.3	47.3	49.4	66.3	75.2	74.2	75.1	53.0	54.1	44.3
全国との差	-0.9	-6.1	-0.7	-2.1	-6.1	0.9	-2.0	-3.9	-0.1	-5.4	-4.1	-0.7
モデル校以外	60.3	69.6	68.0	46.6	52.6	65.2	75.9	76.2	74.9	55.4	56.0	44.1
全国との差	-2.4	-3.3	-2.0	-2.8	-2.9	-0.2	-1.3	-1.9	-0.3	-3.0	-2.2	-0.9
三重県	60.3	69.6	68	46.7	52.5	65.3	75.8	76.2	74.8	55.3	56	44.1
全国	62.7	72.9	70	49.4	55.5	65.4	77.2	78.1	75.2	58.4	58.2	45

<中学校>

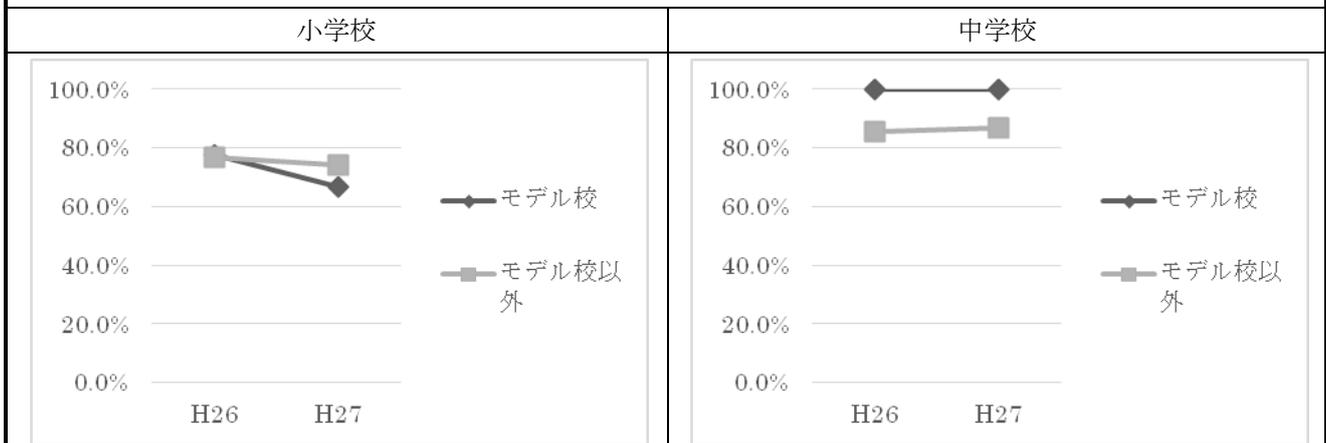
実施年度	国語A			国語B			数学A			数学B		
	H25	H26	H27									
モデル校	73.7	76.6	73.4	61.1	46.0	61.0	60.0	67.4	58.9	33.8	56.1	35.2
全国との差	-2.7	-2.8	-2.4	-6.3	-5.0	-4.8	-3.7	0.0	-5.5	-7.7	-3.7	-6.4
モデル校以外	75.1	78.0	75.1	65.9	49.1	64.3	63.3	67.1	64.4	39.4	58.3	40.7
全国との差	-1.3	-1.4	-0.7	-1.5	-1.9	-1.5	-0.4	-0.3	0.0	-2.1	-1.5	-0.9
三重県	75	78	75	65.8	49	64.3	63.2	67.1	64.3	39.3	58.3	40.6
全国	76.4	79.4	75.8	67.4	51	65.8	63.7	67.4	64.4	41.5	59.8	41.6

学校・児童・生徒質問紙について

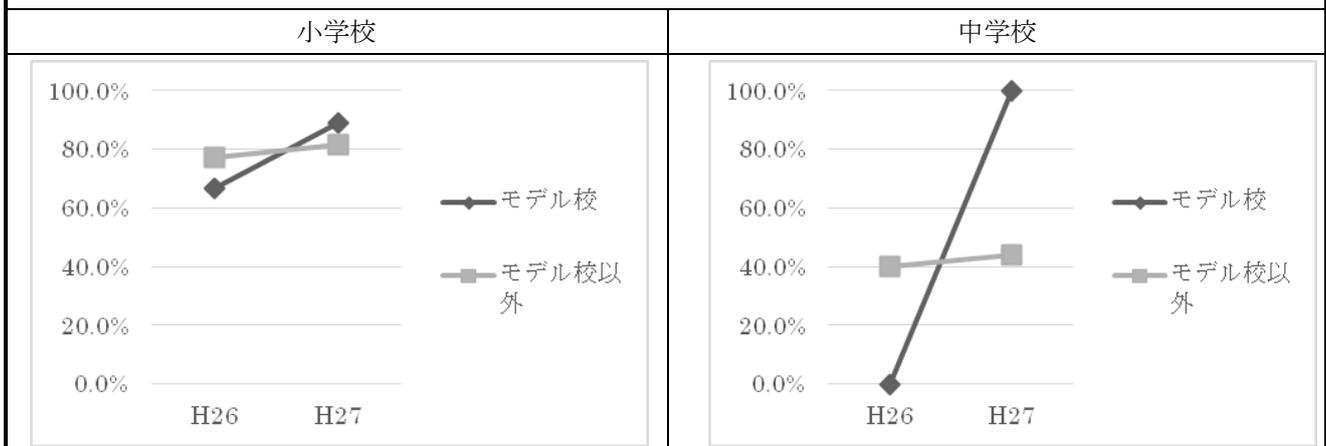
【児童生徒質問番号 (16)】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（「1時間以上」と回答した割合）



【学校質問番号 (24)】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。（「基本的に毎日行った」「週に複数回、定期的に行った」と回答した割合）



【学校質問番号 (25)】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。（「週に1回程度、または、それ以上行った」「月に数回程度行った」「学期に数回程度行った」と回答した割合）



分析結果

- ・小学校、中学校とも学校図書館を活用した計画的な授業が大幅に増えています。
- ・小学校では読書指導を授業中心に進めていくことで「朝の読書」を実施する割合が減ったと考えられます。

- ・一方、中学校では、「朝の読書」は、読書そのものの効果だけでなく、落ち着いて朝をスタートするという生徒指導的な側面での実施の意義も強いので、継続して行われています。

改善ポイントなど

- ・司書と教員との連携を強化し、授業の進捗状況に合わせたテーマコーナーやブックトーク、クイズ形式での調べ学習等、授業内容への興味・関心を高めるための取組を継続するとともに、他校への取組拡大も必要です。
- ・図書館司書の勤務日だけに限らず、年間を通じて、児童・生徒が図書館に頻繁に出入りする仕掛けが必要です。
市町あるいは学校で指定図書を選定する、教員が好きな本、推薦図書等を発信するなどを行っているところもあります。

第11章 児童生徒の学力向上のための県教育委員会による今後の取組

《県教育委員会による今後の取組》

子どもたちがわかる喜びを実感するために、
これまで以上に創意工夫した取組を進めてまいります

1 これまでの取組の徹底

- ① 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セットを活用した授業改善、授業研究等の組織的取組の徹底

【具体的な取組】

- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック実施後に自校採点研修会実施
- ・学力向上に特化した校内研修の支援

- ② 県指導主事等による学力向上に向けた効果的な取組の周知・徹底

【具体的な取組】

- ・県教育委員会の横断的な取組としての県指導主事・研修主事等の学校訪問
- ・小中学校長研修会の開催
- ・学力向上のための情報発信

- ③ 家庭での生活習慣・読書習慣の確立

【具体的な取組】

- ・県PTA連合会と連携した生活習慣・読書習慣「チェックシート」の活用の促進

2 県内外の先進校視察を踏まえた有効な取組 (学校における組織的・継続的な学校体制づくり)

【具体的な取組】

- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果に見られる課題に対応したワークシートの速やかな作成・配信
- ・学力向上に向けた効果的な授業スタイル、ノート指導、宿題の出し方等の整理・検討
- ・国の調査官を招いての研修会等の開催

3 地域とともにある学校づくりの促進

- ① コミュニティ・スクール（CS）、学校支援地域本部等の取組の充実・拡大
【具体的な取組】
 - ・ CSに向けた段階的な取組も三重県型CSとして積極的に支援
 - ・ 地域未来塾等を活用した学習支援を促進
- ② 学校からの積極的な情報発信（全国学力・学習状況調査の分析結果等、家庭・地域との情報共有）
【具体的な取組】
 - ・ 保護者・地域の学校教育への理解・協力を得るために、調査結果等の情報共有を促進

4 教育環境の改善

- 【具体的な取組】
- ・ 少人数指導のための教員定数の維持及び配置の工夫
 - ・ 小規模な市町等教育委員会に対する支援
 - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用の充実
 - ・ 子ども支援ネットワークモデル中学校区支援（毎年10校区程度を指定）

等

県教育委員会では、「毎日が未来への分岐点」との認識のもと、子どもたちが「やればできる」と実感できる達成感ある取組を市町等教育委員会、学校とこれまで以上に連携し進めてまいります

《主体的な取組に向けて》

学校関係者の皆様へ

全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査結果の分析からは、多くの学校において学力向上に向けた取組が進んできていることが明らかになっているところです。引き続き、校長のリーダーシップのもと、学力向上に向けた授業改善、教員の指導力の向上に、組織的・継続的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

さらに一層の取組の充実を図るため、調査結果から見えてきた課題を次に挙げます。

- ①全ての教科における言語活動の充実
- ②主体的な学びを引き出す授業づくりの工夫
- ③家庭学習の充実に向けた家庭への働きかけ等

なお、一昨年度から進めている、授業のはじめに「目標（めあて・ねらい）」の提示と、最後に「振り返る活動」を計画的に設定した授業改善、言語活動の充実についても引き続き、各学校での組織的な取組の構築をお願いします。

さらに、昨年度に引き続き、各学校においては、全国学力・学習状況調査問題の活用とともに、調査結果を分析し、それぞれの児童生徒の実態を把握していただき、日々の授業や個別のきめ細かな指導に役立てていただきますようお願いいたします。

また、分析結果等については、家庭・地域への情報共有や説明を行い、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学力を育む取組を進めていただくことが重要です。

保護者の皆様へ

児童生徒質問紙調査結果からは、生活習慣、読書習慣、家庭での学習習慣において、依然課題が見られます。

家庭での学習に対する環境づくりに対して、ご理解・ご協力をお願いします。

地域住民の皆様へ

県では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの学力を一層育むため、県民総参加による「みえの学力向上県民運動」を展開しています。

地域住民の皆様には、子どもたちが自己肯定感・自尊感情を持ち、安心して学び、生活できる環境づくりや、地域における子どもたちの居場所づくりなどへのご協力をお願いします。

第12章 各市町等別の質問紙調査

1

「みえの学力向上県民運動」主な関連指標(市町別の経年比較)

【関連：第10章P.127】

小学校

1 / 6

番号	質問事項		三重県	桑名市	木曾岬町	いなべ市	東員町	四日市市	菟野町	朝日町	川越町	鈴鹿市
①	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合(質問番号(5))「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」と質問番号(9)「将来の夢や目標を持っていますか」の「当てはまる+どちらか」といえば、当てはまる」の比率の平均)	割合	81.0 (80.6)	82.5 (79.9)	81.4 (81.1)	82.6 (82.9)	85.2 (81.6)	81.6 (80.6)	79.9 (81.1)	80.4 (77.0)	82.6 (78.5)	79.7 (82.2)
		県との差		1.5 (-0.8)	0.5 (0.5)	1.6 (2.3)	4.2 (1.0)	0.6 (0.0)	-1.1 (0.5)	-0.6 (-3.7)	1.6 (-2.1)	-1.3 (1.6)
		全国との差	-0.5 (-0.3)	1.0 (-1.1)	0.0 (0.2)	1.1 (2.0)	3.7 (0.7)	0.1 (-0.3)	-1.6 (0.2)	-1.1 (-4.0)	1.1 (-2.5)	-1.8 (1.3)
②	自分には、よいところがあると思いますか。(質問番号(6))「当てはまる+どちらか」といえば、当てはまる)	割合	75.1 (75.7)	76.6 (79.2)	66.7 (68.9)	82.7 (75.7)	86.2 (72.9)	75.4 (75.2)	74.2 (78.4)	84.4 (72.1)	67.4 (70.2)	74.0 (77.5)
		県との差		1.5 (3.5)	-8.4 (-6.8)	7.6 (0.0)	11.1 (-2.8)	0.3 (-0.5)	-0.9 (2.7)	9.3 (-3.6)	-7.7 (-5.5)	-1.1 (1.8)
		全国との差	-1.3 (-0.4)	0.2 (3.1)	-9.7 (-7.2)	6.3 (-0.4)	9.8 (-3.2)	-1.0 (-0.9)	-2.2 (2.3)	8.0 (-4.0)	-9.0 (-5.9)	-2.4 (1.4)
③	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合(質問番号(1))朝食を毎日食べていますか、質問番号(2)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、質問番号(3)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか、「している+どちらか」といえば、している」の割合の平均)	割合	88.3 (88.3)	88.4 (88.7)	87.6 (91.8)	91.1 (88.6)	88.5 (89.5)	89.2 (89.3)	89.1 (89.3)	90.9 (86.5)	84.9 (88.5)	88.7 (90.6)
		県との差		0.1 (0.4)	-0.7 (3.5)	2.8 (0.3)	0.2 (1.2)	0.8 (1.0)	0.7 (1.0)	2.6 (-1.8)	-3.4 (0.2)	0.4 (2.3)
		全国との差	-0.4 (-0.4)	-0.3 (0.0)	-1.1 (3.1)	2.4 (-0.1)	-0.2 (0.8)	0.5 (0.6)	0.4 (0.6)	2.2 (-2.2)	-3.8 (-0.2)	0.0 (1.9)
④	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。(質問番号(20))「している+どちらか」といえば、している)	割合	60.5 (59.4)	56.5 (54.9)	58.8 (46.6)	60.9 (61.1)	65.1 (70.9)	60.9 (60.9)	58.2 (61.9)	60.0 (50.0)	51.1 (52.3)	61.4 (61.2)
		県との差		-4.0 (-4.5)	-1.7 (-12.8)	0.4 (1.7)	4.6 (11.5)	0.4 (1.5)	-2.3 (2.5)	-0.5 (-9.4)	-9.4 (-7.1)	0.9 (1.8)
		全国との差	-2.3 (-1.6)	-6.3 (-6.1)	-4.0 (-14.4)	-1.9 (0.1)	2.3 (9.9)	-1.9 (-0.1)	-4.6 (0.9)	-2.8 (-11.0)	-11.7 (-8.7)	-1.4 (0.2)
⑤	家で、学校の宿題をしていますか。(質問番号(21))「している+どちらか」といえば、している)	割合	97.3 (97.3)	97.7 (97.2)	98.0 (100.0)	98.7 (98.5)	99.6 (98.0)	96.5 (97.5)	96.2 (98.3)	97.5 (94.9)	97.8 (98.7)	97.6 (97.1)
		県との差		0.4 (-0.1)	0.7 (2.7)	1.4 (1.2)	2.3 (0.7)	-0.8 (0.2)	-1.1 (1.0)	0.2 (-2.4)	0.5 (1.4)	0.3 (-0.2)
		全国との差	0.5 (0.8)	0.9 (0.7)	1.2 (3.5)	1.9 (2.0)	2.8 (1.5)	-0.3 (1.0)	-0.6 (1.8)	0.7 (-1.6)	1.0 (2.2)	0.8 (0.6)
⑥	家で、学校の授業の予習をしていますか。(質問番号(22))「している+どちらか」といえば、している)	割合	42.0 (42.0)	42.2 (38.9)	39.3 (26.7)	41.9 (44.8)	46.0 (40.9)	43.4 (44.1)	30.0 (38.3)	45.0 (50.0)	33.3 (35.8)	43.7 (45.9)
		県との差		0.2 (-3.1)	-2.7 (-15.3)	-0.1 (2.8)	4.0 (-1.1)	1.4 (2.1)	-12.0 (-3.7)	3.0 (8.0)	-8.7 (-6.2)	1.7 (3.9)
		全国との差	-1.4 (-1.2)	-1.2 (-4.3)	-4.1 (-16.5)	-1.5 (1.6)	2.6 (-2.3)	0.0 (0.9)	-13.4 (-4.9)	1.6 (6.8)	-10.1 (-7.4)	0.3 (2.7)
⑦	家で、学校の授業の復習をしていますか。(質問番号(23))「している+どちらか」といえば、している)	割合	50.1 (48.7)	48.4 (42.7)	54.9 (42.2)	55.6 (53.7)	62.8 (40.2)	50.6 (53.3)	39.7 (47.2)	50.7 (55.1)	45.9 (44.4)	52.0 (52.8)
		県との差		-1.7 (-6.0)	4.8 (-6.5)	5.5 (5.0)	12.7 (-8.5)	0.5 (4.6)	-10.4 (-1.5)	0.6 (6.4)	-4.2 (-4.3)	1.9 (4.1)
		全国との差	-4.4 (-5.3)	-6.1 (-11.3)	0.4 (-11.8)	1.1 (-0.3)	8.3 (-13.8)	-3.9 (-0.7)	-14.8 (-6.8)	-3.8 (1.1)	-8.6 (-9.6)	-2.5 (-1.2)
⑧	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。(質問番号(17))「月に1~3回以上行く」)	割合	40.0 (42.1)	34.7 (37.2)	29.4 (35.6)	41.1 (37.8)	58.0 (55.7)	39.8 (45.8)	45.8 (45.8)	31.3 (31.1)	45.9 (35.2)	33.7 (38.0)
		県との差		-5.3 (-4.9)	-10.6 (-6.5)	1.1 (-4.3)	18.0 (13.6)	-0.2 (3.7)	5.8 (3.7)	-8.7 (-11.0)	5.9 (-6.9)	-6.3 (-4.1)
		全国との差	-0.7 (-0.8)	-6.0 (-5.7)	-11.3 (-7.3)	0.4 (-5.1)	17.3 (12.8)	-0.9 (2.9)	5.1 (2.9)	-9.4 (-11.8)	5.2 (-7.7)	-7.0 (-4.9)
⑨	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。(質問番号(19))「よく来る+時々来る」)	割合	97.6 (97.4)	97.6 (97.9)	98.1 (100.0)	98.4 (99.0)	99.1 (98.3)	97.2 (97.2)	96.5 (99.0)	99.4 (95.6)	99.2 (98.1)	97.5 (97.5)
		県との差		0.0 (0.5)	0.5 (2.6)	0.8 (1.6)	1.5 (0.9)	-0.4 (-0.2)	-1.1 (1.6)	1.8 (-1.8)	1.6 (0.7)	-0.1 (0.1)
		全国との差	1.0 (0.9)	1.0 (1.4)	1.5 (3.5)	1.8 (2.5)	2.5 (1.8)	0.6 (0.7)	-0.1 (2.5)	2.8 (-0.9)	2.6 (1.6)	0.9 (1.0)
⑩	今住んでいる地域の行事に参加していますか。(質問番号(27))「当てはまる+どちらか」といえば、当てはまる)	割合	72.0 (73.2)	67.1 (67.8)	72.6 (64.5)	86.6 (87.9)	86.3 (83.2)	73.0 (73.9)	78.8 (79.5)	72.5 (70.8)	82.2 (73.6)	69.9 (75.1)
		県との差		-4.9 (-5.4)	0.6 (-8.7)	14.6 (14.7)	14.3 (10.0)	1.0 (0.7)	6.8 (6.3)	0.5 (-2.4)	10.2 (0.4)	-2.1 (1.9)
		全国との差	5.1 (5.2)	0.2 (-0.2)	5.7 (-3.5)	19.7 (19.9)	19.4 (15.2)	6.1 (5.9)	11.9 (11.5)	5.6 (2.8)	15.3 (5.6)	3.0 (7.1)
⑪	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く)(質問番号(10))「3時間以上」)	割合	35.8 (38.4)	38.0 (39.8)	31.3 (40.0)	33.5 (33.0)	28.7 (36.9)	29.5 (33.5)	37.0 (42.8)	36.9 (37.3)	45.2 (41.1)	34.8 (32.0)
		県との差		2.2 (1.4)	-4.5 (1.6)	-2.3 (-5.4)	-7.1 (-1.5)	-6.3 (-4.9)	1.2 (4.4)	1.1 (-1.1)	9.4 (2.7)	-1.0 (-6.4)
		全国との差	-0.3 (0.4)	1.9 (1.8)	-4.8 (2.0)	-2.6 (-5.0)	-7.4 (-1.1)	-6.6 (-4.5)	0.9 (4.8)	0.8 (-0.7)	9.1 (3.1)	-1.3 (-6.0)
⑫	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。(質問番号(11))「3時間以上」)	割合	18.2 (18.8)	15.2 (18.0)	9.8 (8.9)	15.0 (17.0)	13.7 (13.6)	17.3 (16.5)	20.1 (18.8)	19.4 (25.3)	24.5 (25.2)	18.4 (14.7)
		県との差		-3.0 (-0.8)	-8.4 (-9.9)	-3.2 (-1.8)	-4.5 (-5.2)	-0.9 (-2.3)	1.9 (0.0)	1.2 (6.5)	6.3 (6.4)	0.2 (-4.1)
		全国との差	1.2 (1.8)	-1.8 (1.0)	-7.2 (-8.1)	-2.0 (0.0)	-3.3 (-3.4)	0.3 (-0.5)	3.1 (1.8)	2.4 (8.3)	7.5 (8.2)	1.4 (-2.3)

※表中の () の値は、平成 26 年度の値です。

番号	質問事項		三重県	桑名市	木曾岬町	いなべ市	東員町	四日市市	菟野町	朝日町	川越町	鈴鹿市
⑬	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)〔質問番号(12)「3時間以上」〕	割合	6.3 (5.6)	4.8 (3.5)	2.0 (4.4)	6.3 (6.1)	4.0 (3.3)	6.0 (5.0)	4.8 (7.0)	5.7 (7.6)	7.4 (7.3)	6.5 (4.3)
		県との差		-1.5 (-2.1)	-4.3 (-1.2)	0.0 (0.5)	-2.3 (-2.3)	-0.3 (-0.6)	-1.5 (1.4)	-0.6 (2.0)	1.1 (1.7)	0.2 (-1.3)
		全国との差	0.6 (0.6)	-0.9 (-1.5)	-3.7 (-0.6)	0.6 (1.1)	-1.7 (-1.7)	0.3 (0.0)	-0.9 (2.0)	0.0 (2.6)	1.7 (2.3)	0.8 (-0.7)
⑭	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)〔質問番号(13)「1時間以上」〕	割合	58.4 (59.4)	58.3 (59.0)	60.8 (48.8)	62.4 (65.3)	80.1 (67.2)	58.1 (61.8)	53.1 (60.9)	52.5 (54.5)	57.7 (53.0)	58.4 (60.9)
		県との差		-0.1 (-0.4)	2.4 (-10.6)	4.0 (5.9)	21.7 (7.8)	-0.3 (2.4)	-5.3 (1.5)	-5.9 (-4.9)	-0.7 (-6.4)	0.0 (1.5)
		全国との差	-4.3 (-2.6)	-4.4 (-3.0)	-1.9 (-13.2)	-0.3 (3.3)	17.4 (5.2)	-4.6 (-0.2)	-9.6 (-1.1)	-10.2 (-7.5)	-5.0 (-9.0)	-4.3 (-1.1)
⑮	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)〔質問番号(14)「3時間以上」〕と回答した割合	割合	9.0 (9.0)	8.5 (7.2)	3.9 (2.2)	5.5 (4.6)	5.8 (7.4)	7.9 (8.1)	8.0 (4.7)	8.1 (5.7)	4.4 (7.9)	10.1 (9.9)
		県との差		-0.5 (-1.8)	-5.1 (-6.8)	-3.5 (-4.4)	-3.2 (-1.6)	-1.1 (-0.9)	-1.0 (-4.3)	-0.9 (-3.3)	-4.6 (-1.1)	1.1 (0.9)
		全国との差	-2.9 (-2.5)	-3.4 (-4.3)	-8.0 (-9.3)	-6.4 (-6.9)	-6.1 (-4.1)	-4.0 (-3.4)	-3.9 (-6.8)	-3.8 (-5.8)	-7.5 (-3.6)	-1.8 (-1.6)
⑯	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。〔質問番号(34)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	96.5 (96.3)	96.2 (96.1)	96.1 (100.0)	97.0 (96.8)	99.6 (94.7)	96.5 (96.9)	96.0 (97.8)	91.3 (89.3)	94.0 (92.8)	97.1 (97.4)
		県との差		-0.3 (-0.2)	-0.4 (3.7)	0.5 (0.5)	3.1 (-1.6)	0.0 (0.6)	-0.5 (1.5)	-5.2 (-7.0)	-2.5 (-3.5)	0.6 (1.1)
		全国との差	0.3 (-0.1)	0.0 (-0.3)	-0.1 (3.6)	0.8 (0.4)	3.4 (-1.7)	0.3 (0.5)	-0.2 (1.4)	-4.9 (-7.1)	-2.2 (-3.6)	0.9 (1.0)
⑰	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(37)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	54.5 (53.3)	54.4 (50.8)	43.2 (53.3)	59.4 (55.5)	78.7 (56.2)	52.1 (53.0)	43.2 (52.0)	41.3 (51.9)	51.2 (35.7)	52.4 (52.8)
		県との差		-0.1 (-2.5)	-11.3 (0.0)	4.9 (2.2)	24.2 (2.9)	-2.4 (-0.3)	-11.3 (-1.3)	-13.2 (-1.4)	-3.3 (-17.6)	-2.1 (-0.5)
		全国との差	-11.3 (-10.5)	-11.4 (-13.0)	-22.6 (-10.5)	-6.4 (-8.3)	12.9 (-7.6)	-13.7 (-10.8)	-22.6 (-11.8)	-24.5 (-11.9)	-14.6 (-28.1)	-13.4 (-11.0)
⑱	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。〔質問番号(41)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	83.0 (75.7)	79.6 (75.6)	86.3 (77.8)	90.6 (82.7)	95.1 (74.6)	81.8 (77.1)	77.2 (77.4)	80.6 (64.0)	72.6 (74.2)	82.6 (77.0)
		県との差		-3.4 (-0.1)	3.3 (2.1)	7.6 (7.0)	12.1 (-1.1)	-1.2 (1.4)	-5.8 (1.7)	-2.4 (-11.7)	-10.4 (-1.5)	-0.4 (1.3)
		全国との差	-3.3 (-6.3)	-6.7 (-6.4)	0.0 (-4.2)	4.3 (0.7)	8.8 (-7.4)	-4.5 (-4.9)	-9.1 (-4.6)	-5.7 (-18.0)	-13.7 (-7.8)	-3.7 (-5.0)
⑲	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(42)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	71.4 (67.1)	66.3 (65.6)	66.7 (64.4)	80.4 (69.7)	87.2 (72.5)	70.4 (67.7)	60.3 (64.7)	64.4 (48.7)	68.9 (59.6)	69.2 (69.4)
		県との差		-5.1 (-1.5)	-4.7 (-2.7)	9.0 (2.6)	15.8 (5.4)	-1.0 (0.6)	-11.1 (-2.4)	-7.0 (-18.4)	-2.5 (-7.5)	-2.2 (2.3)
		全国との差	-3.9 (-4.8)	-9.0 (-6.3)	-8.6 (-7.5)	5.1 (-2.2)	11.9 (0.6)	-4.9 (-4.2)	-15.0 (-7.2)	-10.9 (-23.2)	-6.4 (-12.3)	-6.1 (-2.5)
⑳	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。〔質問番号(53)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	60.3 (56.6)	59.9 (52.8)	58.8 (48.9)	70.3 (60.1)	74.8 (61.9)	57.5 (55.5)	53.1 (55.5)	54.4 (48.1)	64.5 (49.6)	60.0 (56.9)
		県との差		-0.4 (-3.8)	-1.5 (-7.7)	10.0 (3.5)	14.5 (5.3)	-2.8 (-1.1)	-7.2 (-1.1)	-5.9 (-8.5)	4.2 (-7.0)	-0.3 (0.3)
		全国との差	-4.9 (-4.8)	-5.3 (-8.6)	-6.4 (-12.5)	5.1 (-1.3)	9.6 (0.5)	-7.7 (-5.9)	-12.1 (-5.9)	-10.8 (-13.3)	-0.7 (-11.8)	-5.2 (-4.5)
㉑	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。〔質問番号(51)「よく行った+行った」〕	割合	98.1 (92.9)	100.0 (92.9)	100.0 (100.0)	100.0 (93.3)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (96.7)
		県との差		1.9 (0.0)	1.9 (7.1)	1.9 (0.4)	1.9 (7.1)	1.9 (7.1)	1.9 (7.1)	1.9 (7.1)	1.9 (7.1)	1.9 (3.8)
		全国との差	2.3 (-0.7)	4.2 (-0.7)	4.2 (6.4)	4.2 (-0.3)	4.2 (6.4)	4.2 (6.4)	4.2 (6.4)	4.2 (6.4)	4.2 (6.4)	4.2 (3.1)
㉒	小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。〔質問番号(25)「学期に回数程度以上行った」〕	割合	81.8 (77.2)	66.6 (53.6)	100.0 (100.0)	86.7 (86.7)	100.0 (83.4)	92.1 (94.7)	80.0 (40.0)	100.0 (100.0)	50.0 (50.0)	83.4 (80.0)
		県との差		-15.2 (-23.6)	18.2 (22.8)	4.9 (9.5)	18.2 (6.2)	10.3 (17.5)	-1.8 (-37.2)	18.2 (22.8)	-31.8 (-27.2)	1.6 (2.8)
		全国との差	-0.8 (-3.3)	-16.0 (-26.9)	17.4 (19.5)	4.1 (6.2)	17.4 (2.9)	9.5 (14.2)	-2.6 (-40.5)	17.4 (19.5)	-32.6 (-30.5)	0.8 (-0.5)
㉓	小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。〔質問番号(26)「週に2~3回以上行った」〕	割合	22.7 (18.9)	7.4 (10.7)	0.0 (0.0)	13.3 (33.3)	33.3 (33.3)	2.6 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	16.7 (10.0)
		県との差		-15.3 (-8.2)	-22.7 (-18.9)	-9.4 (14.4)	10.6 (14.4)	-20.1 (-18.9)	-22.7 (-18.9)	-22.7 (-18.9)	-22.7 (-18.9)	-6.0 (-8.9)
		全国との差	5.0 (1.4)	-10.3 (-6.8)	-17.7 (-17.5)	-4.4 (15.8)	15.6 (15.8)	-15.1 (-17.5)	-17.7 (-17.5)	-17.7 (-17.5)	-17.7 (-17.5)	-1.0 (-7.5)
㉔	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号小学校(112)・中学校(110)「週に2~3日程度以上」〕	割合	95.4 (84.5)	100.0 (85.8)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (83.3)	100.0 (97.4)	100.0 (80.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (96.6)
		県との差		4.6 (1.3)	4.6 (15.5)	4.6 (15.5)	4.6 (-1.2)	4.6 (12.9)	4.6 (-4.5)	4.6 (15.5)	4.6 (15.5)	4.6 (12.1)
		全国との差	2.3 (-7.1)	6.9 (-5.8)	6.9 (8.4)	6.9 (8.4)	6.9 (-8.3)	6.9 (5.8)	6.9 (-11.6)	6.9 (8.4)	6.9 (8.4)	6.9 (5.0)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		龟山市	津市	松阪市	多気町	明和町	大台町	伊勢市	玉城町	大紀町	南伊勢町
①	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合(質問番号(5)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」と質問番号(9)「将来の夢や目標を持っていますか」の「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」の比率の平均)	割合	77.8 (79.0)	81.8 (81.7)	80.0 (79.1)	84.7 (83.8)	81.3 (82.0)	83.8 (76.2)	80.7 (81.0)	75.5 (72.8)	89.5 (73.8)	81.8 (76.3)
		県との差	-3.2 (-1.6)	0.8 (1.1)	-1.0 (-1.5)	3.7 (3.2)	0.3 (1.4)	2.9 (-4.4)	-0.3 (0.4)	-5.5 (-7.8)	8.6 (-6.8)	0.8 (-4.3)
		全国との差	-3.7 (-2.0)	0.3 (0.8)	-1.5 (-1.8)	3.2 (2.8)	-0.2 (1.1)	2.4 (-4.8)	-0.8 (0.1)	-6.0 (-8.1)	8.1 (-7.2)	0.3 (-4.7)
②	自分には、よいところがあると思いますか。(質問番号(6))「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	68.5 (71.7)	74.1 (74.9)	76.6 (74.2)	84.6 (81.0)	72.3 (72.5)	82.3 (82.9)	76.2 (75.3)	69.9 (77.2)	66.2 (68.8)	80.3 (73.1)
		県との差	-6.6 (-4.0)	-1.0 (-0.8)	1.5 (-1.5)	9.5 (5.3)	-2.8 (-3.2)	7.2 (7.2)	1.1 (-0.4)	-5.2 (1.5)	-8.9 (-6.9)	5.2 (-2.6)
		全国との差	-7.9 (-4.4)	-2.3 (-1.2)	0.2 (-1.9)	8.2 (4.9)	-4.1 (-3.6)	5.9 (6.8)	-0.2 (-0.8)	-6.5 (1.1)	-10.2 (-7.3)	3.9 (-3.0)
③	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合(質問番号(1)朝食を毎日食べていますか、質問番号(2)毎日、同じくらの時刻に寝ていますか、質問番号(3)毎日、同じくらの時刻に起きていますかの「している+どちらかといえば、している」の割合の平均)	割合	84.6 (84.9)	87.7 (87.8)	87.2 (84.7)	90.5 (89.7)	89.0 (88.2)	91.7 (93.2)	87.5 (89.0)	86.7 (91.8)	87.1 (85.8)	93.0 (84.2)
		県との差	-3.8 (-3.4)	-0.6 (-0.5)	-1.1 (-3.6)	2.2 (1.4)	0.7 (-0.1)	3.3 (4.9)	-0.8 (0.7)	-1.6 (3.5)	-1.2 (-2.5)	4.6 (-4.1)
		全国との差	-4.1 (-3.8)	-1.0 (-0.9)	-1.5 (-4.0)	1.8 (1.0)	0.3 (-0.5)	3.0 (4.5)	-1.2 (0.3)	-2.0 (3.1)	-1.6 (-2.9)	4.3 (-4.5)
④	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。(質問番号(20))「している+どちらかといえば、している」)	割合	54.4 (56.7)	61.6 (60.6)	64.3 (58.3)	66.9 (64.3)	66.0 (56.9)	55.9 (59.1)	60.0 (58.2)	46.4 (57.5)	54.8 (44.2)	69.7 (66.7)
		県との差	-6.1 (-2.7)	1.1 (1.2)	3.8 (-1.1)	6.4 (4.9)	5.5 (-2.5)	-4.6 (-0.3)	-0.5 (-1.2)	-14.1 (-1.9)	-5.7 (-15.2)	9.2 (7.3)
		全国との差	-8.4 (-4.3)	-1.2 (-0.4)	1.5 (-2.7)	4.1 (3.3)	3.2 (-4.1)	-6.9 (-1.9)	-2.8 (-2.8)	-16.4 (-3.5)	-8.0 (-16.8)	6.9 (5.7)
⑤	家で、学校の宿題をしていますか。(質問番号(21))「している+どちらかといえば、している」)	割合	94.5 (96.5)	97.4 (97.4)	97.6 (96.7)	97.6 (99.2)	96.6 (97.2)	98.5 (100.0)	97.5 (97.5)	98.7 (98.2)	100.0 (95.1)	100.0 (100.0)
		県との差	-2.8 (-0.8)	0.1 (0.1)	0.3 (-0.6)	0.3 (1.9)	-0.7 (-0.1)	1.2 (2.7)	0.2 (0.2)	1.4 (0.9)	2.7 (-2.2)	2.7 (2.7)
		全国との差	-2.3 (0.0)	0.6 (0.9)	0.8 (0.2)	0.8 (2.7)	-0.2 (0.7)	1.7 (3.5)	0.7 (1.0)	1.9 (1.7)	3.2 (-1.4)	3.2 (3.5)
⑥	家で、学校の授業の予習をしていますか。(質問番号(22))「している+どちらかといえば、している」)	割合	32.2 (37.0)	42.9 (42.6)	42.1 (39.2)	50.7 (42.9)	44.1 (35.3)	32.4 (38.7)	43.4 (43.0)	50.9 (38.4)	46.8 (44.3)	39.4 (46.2)
		県との差	-9.8 (-5.0)	0.9 (0.6)	0.1 (-2.8)	8.7 (0.9)	2.1 (-6.7)	-9.6 (-3.3)	1.4 (1.0)	8.9 (-3.6)	4.8 (2.3)	-2.6 (4.2)
		全国との差	-11.2 (-6.2)	-0.5 (-0.6)	-1.3 (-4.0)	7.3 (-0.3)	0.7 (-7.9)	-11.0 (-4.5)	0.0 (-0.2)	7.5 (-4.8)	3.4 (1.1)	-4.0 (3.0)
⑦	家で、学校の授業の復習をしていますか。(質問番号(23))「している+どちらかといえば、している」)	割合	36.1 (35.4)	48.5 (47.8)	53.1 (45.3)	52.3 (56.4)	58.3 (42.4)	50.0 (46.6)	50.4 (48.8)	49.7 (47.9)	64.6 (52.4)	59.1 (59.0)
		県との差	-14.0 (-13.3)	-1.6 (-0.9)	3.0 (-3.4)	2.2 (7.7)	8.2 (-6.3)	-0.1 (-2.1)	0.3 (0.1)	-0.4 (-0.8)	14.5 (3.7)	9.0 (10.3)
		全国との差	-18.4 (-18.6)	-6.0 (-6.2)	-1.4 (-8.7)	-2.2 (2.4)	3.8 (-11.6)	-4.5 (-7.4)	-4.1 (-5.2)	-4.8 (-6.1)	10.1 (-1.6)	4.6 (5.0)
⑧	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。(質問番号(17))「月に1~3回以上行く」)	割合	48.7 (49.7)	43.9 (47.6)	36.1 (34.3)	66.1 (62.7)	38.8 (36.9)	39.7 (31.8)	40.5 (39.4)	35.3 (43.2)	59.7 (54.1)	45.5 (42.3)
		県との差	8.7 (7.6)	3.9 (5.5)	-3.9 (-7.8)	26.1 (20.6)	-1.2 (-5.2)	-0.3 (-10.3)	0.5 (-2.7)	-4.7 (1.1)	19.7 (12.0)	5.5 (0.2)
		全国との差	8.0 (6.8)	3.2 (4.7)	-4.6 (-8.6)	25.4 (19.8)	-1.9 (-6.0)	-1.0 (-11.1)	-0.2 (-3.5)	-5.4 (0.3)	19.0 (11.2)	4.8 (-0.6)
⑨	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。(質問番号(19))「よく来る+時々来る」)	割合	96.0 (96.1)	96.6 (96.5)	98.5 (97.6)	98.5 (99.2)	98.0 (98.1)	100.0 (96.6)	98.5 (97.9)	99.3 (99.4)	100.0 (98.3)	98.5 (97.4)
		県との差	-1.6 (-1.3)	-1.0 (-0.9)	0.9 (0.2)	0.9 (1.8)	0.4 (0.7)	2.4 (-0.8)	0.9 (0.5)	1.7 (2.0)	2.4 (0.9)	0.9 (0.0)
		全国との差	-0.6 (-0.4)	0.0 (0.0)	1.9 (1.1)	1.9 (2.7)	1.4 (1.6)	3.4 (0.1)	1.9 (1.4)	2.7 (2.9)	3.4 (1.8)	1.9 (0.9)
⑩	今住んでいる地域の行事に参加していますか。(質問番号(27))「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	81.3 (80.3)	66.9 (68.2)	75.3 (72.3)	85.3 (84.1)	72.3 (75.7)	83.8 (82.9)	69.5 (73.6)	69.9 (75.4)	88.7 (77.0)	84.8 (88.4)
		県との差	9.3 (7.1)	-5.1 (-5.0)	3.3 (-0.9)	13.3 (10.9)	0.3 (2.5)	11.8 (9.7)	-2.5 (0.4)	-2.1 (2.2)	16.7 (3.8)	12.8 (15.2)
		全国との差	14.4 (12.3)	0.0 (0.2)	8.4 (4.3)	18.4 (16.1)	5.4 (7.7)	16.9 (14.9)	2.6 (5.6)	3.0 (7.4)	21.8 (9.0)	17.9 (20.4)
⑪	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く)(質問番号(10))「3時間以上」)	割合	36.5 (42.7)	39.2 (40.7)	38.2 (40.5)	28.4 (33.4)	37.3 (45.9)	38.2 (47.7)	35.9 (42.2)	42.5 (36.6)	33.9 (39.4)	45.4 (44.9)
		県との差	0.7 (4.3)	3.4 (2.3)	2.4 (2.1)	-7.4 (-5.0)	1.5 (7.5)	2.4 (9.3)	0.1 (3.8)	6.7 (-1.8)	-1.9 (1.0)	9.6 (6.5)
		全国との差	0.4 (4.7)	3.1 (2.7)	2.1 (2.5)	-7.7 (-4.6)	1.2 (7.9)	2.1 (9.7)	-0.2 (4.2)	6.4 (-1.4)	-2.2 (1.4)	9.3 (6.9)
⑫	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯ゲーム機、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。(質問番号(11))「3時間以上」)	割合	19.8 (20.5)	18.3 (19.4)	20.3 (22.1)	10.0 (14.3)	20.4 (22.0)	25.0 (15.9)	20.3 (21.3)	19.6 (16.8)	16.2 (32.8)	19.7 (25.7)
		県との差	1.6 (1.7)	0.1 (0.6)	2.1 (3.3)	-8.2 (-4.5)	2.2 (3.2)	6.8 (-2.9)	2.1 (2.5)	1.4 (-2.0)	-2.0 (14.0)	1.5 (6.9)
		全国との差	2.8 (3.5)	1.3 (2.4)	3.3 (5.1)	-7.0 (-2.7)	3.4 (5.0)	8.0 (-1.1)	3.3 (4.3)	2.6 (-0.2)	-0.8 (15.8)	2.7 (8.7)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		亀山市	津市	松阪市	多気町	明和町	大台町	伊勢市	玉城町	大紀町	南伊勢町
児童質問紙	⑬ 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)〔質問番号(12)「3時間以上」〕	割合	7.1 (7.2)	6.5 (5.8)	6.8 (6.3)	3.1 (4.0)	6.8 (4.0)	5.8 (3.4)	6.9 (7.0)	5.2 (4.2)	8.0 (19.6)	6.0 (8.9)
		県との差	0.8 (1.6)	0.2 (0.2)	0.5 (0.7)	-3.2 (-1.6)	0.5 (-1.6)	-0.5 (-2.2)	0.6 (1.4)	-1.1 (-1.4)	1.7 (14.0)	-0.3 (3.3)
		全国との差	1.4 (2.2)	0.8 (0.8)	1.1 (1.3)	-2.6 (-1.0)	1.1 (-1.0)	0.1 (-1.6)	1.2 (2.0)	-0.5 (-0.8)	2.3 (14.6)	0.3 (3.9)
	⑭ 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)〔質問番号(13)「1時間以上」〕	割合	51.1 (53.3)	59.8 (60.4)	60.3 (57.6)	62.3 (64.2)	66.5 (52.8)	52.9 (56.9)	56.1 (56.1)	51.6 (57.5)	70.9 (49.2)	75.8 (66.6)
		県との差	-7.3 (-6.1)	1.4 (1.0)	1.9 (-1.8)	3.9 (4.8)	8.1 (-6.6)	-5.5 (-2.5)	-2.3 (-3.3)	-6.8 (-1.9)	12.5 (-10.2)	17.4 (7.2)
		全国との差	-11.6 (-8.7)	-2.9 (-1.6)	-2.4 (-4.4)	-0.4 (2.2)	3.8 (-9.2)	-9.8 (-5.1)	-6.6 (-5.9)	-11.1 (-4.5)	8.2 (-12.8)	13.1 (4.6)
	⑮ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)〔質問番号(14)「3時間以上」と回答した割合〕	割合	9.9 (10.0)	12.4 (13.9)	11.4 (11.4)	7.7 (6.4)	7.8 (6.7)	7.4 (9.1)	9.3 (7.3)	1.3 (4.8)	6.4 (6.6)	4.5 (11.5)
		県との差	0.9 (1.0)	3.4 (4.9)	2.4 (2.4)	-1.3 (-2.6)	-1.2 (-2.3)	-1.6 (0.1)	0.3 (-1.7)	-7.7 (-4.2)	-2.6 (-2.4)	-4.5 (2.5)
		全国との差	-2.0 (-1.5)	0.5 (2.4)	-0.5 (-0.1)	-4.2 (-5.1)	-4.1 (-4.8)	-4.5 (-2.4)	-2.6 (-4.2)	-10.6 (-6.7)	-5.5 (-4.9)	-7.4 (0.0)
	⑯ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。〔質問番号(34)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	95.2 (96.5)	96.0 (96.3)	96.0 (96.0)	97.7 (98.4)	95.6 (97.3)	95.6 (95.5)	95.7 (94.9)	94.8 (98.8)	98.4 (95.1)	98.5 (98.8)
		県との差	-1.3 (0.2)	-0.5 (0.0)	-0.5 (-0.3)	1.2 (2.1)	-0.9 (1.0)	-0.9 (-0.8)	-0.8 (-1.4)	-1.7 (2.5)	1.9 (-1.2)	2.0 (2.5)
		全国との差	-1.0 (0.1)	-0.2 (-0.1)	-0.2 (-0.4)	1.5 (2.0)	-0.6 (0.9)	-0.6 (-0.9)	-0.5 (-1.5)	-1.4 (2.4)	2.2 (-1.3)	2.3 (2.4)
⑰ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(37)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	49.1 (49.8)	56.7 (54.2)	56.8 (49.9)	61.5 (63.5)	60.7 (51.0)	64.7 (59.1)	58.6 (61.4)	62.1 (62.3)	62.9 (41.0)	84.9 (70.5)	
	県との差	-5.4 (-3.5)	2.2 (0.9)	2.3 (-3.4)	7.0 (10.2)	6.2 (-2.3)	10.2 (5.8)	4.1 (8.1)	7.6 (9.0)	8.4 (-12.3)	30.4 (17.2)	
	全国との差	-16.7 (-14.0)	-9.1 (-9.6)	-9.0 (-13.9)	-4.3 (-0.3)	-5.1 (-12.8)	-1.1 (-4.7)	-7.2 (-2.4)	-3.7 (-1.5)	-2.9 (-22.8)	19.1 (6.7)	
⑱ 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。〔質問番号(41)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	84.0 (72.8)	85.5 (75.0)	84.4 (72.4)	78.5 (67.5)	80.1 (73.3)	80.9 (86.4)	81.7 (75.3)	79.1 (77.8)	85.4 (80.3)	90.9 (84.6)	
	県との差	1.0 (-2.9)	2.5 (-0.7)	1.4 (-3.3)	-4.5 (-8.2)	-2.9 (-2.4)	-2.1 (10.7)	-1.3 (-0.4)	-3.9 (2.1)	2.4 (4.6)	7.9 (8.9)	
	全国との差	-2.3 (-9.2)	-0.8 (-7.0)	-1.9 (-9.6)	-7.8 (-14.5)	-6.2 (-8.7)	-5.4 (4.4)	-4.6 (-6.7)	-7.2 (-4.2)	-0.9 (-1.7)	4.6 (2.6)	
⑲ 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(42)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	74.5 (64.6)	72.9 (66.3)	77.7 (65.2)	73.1 (75.4)	69.0 (63.1)	79.4 (78.4)	68.9 (67.7)	66.7 (71.2)	74.2 (50.8)	75.7 (79.5)	
	県との差	3.1 (-2.5)	1.5 (-0.8)	6.3 (-1.9)	1.7 (8.3)	-2.4 (-4.0)	8.0 (11.3)	-2.5 (0.6)	-4.7 (4.1)	2.8 (-16.3)	4.3 (12.4)	
	全国との差	-0.8 (-7.3)	-2.4 (-5.6)	2.4 (-6.7)	-2.2 (3.5)	-6.3 (-8.8)	4.1 (6.5)	-6.4 (-4.2)	-8.6 (-0.7)	-1.1 (-21.1)	0.4 (7.6)	
⑳ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。〔質問番号(53)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	51.9 (52.5)	60.3 (58.9)	63.8 (55.6)	65.3 (58.7)	63.1 (57.6)	57.4 (60.2)	61.3 (60.0)	54.2 (58.1)	69.4 (49.1)	72.7 (71.8)	
	県との差	-8.4 (-4.1)	0.0 (2.3)	3.5 (-1.0)	5.0 (2.1)	2.8 (1.0)	-2.9 (3.6)	1.0 (3.4)	-6.1 (1.5)	9.1 (-7.5)	12.4 (15.2)	
	全国との差	-13.3 (-8.9)	-4.9 (-2.5)	-1.4 (-5.8)	0.1 (-2.7)	-2.1 (-3.8)	-7.8 (-1.2)	-3.9 (-1.4)	-11.0 (-3.3)	4.2 (-12.3)	7.5 (10.4)	
学校質問紙	㉑ 平成26年度全国学力・学習状況調査の本校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。〔質問番号(51)「よく行った＋行った」〕	割合	100.0(100.0)	98.1 (96.3)	100.0 (94.4)	100.0 (80.0)	100.0 (83.4)	100.0 (50.0)	95.8 (95.9)	100.0 (75.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		県との差	1.9 (7.1)	0.0 (3.4)	1.9 (1.5)	1.9 (-12.9)	1.9 (-9.5)	1.9 (-42.9)	-2.3 (3.0)	1.9 (-17.9)	1.9 (7.1)	1.9 (7.1)
		全国との差	4.2 (6.4)	2.3 (2.7)	4.2 (0.8)	4.2 (-13.6)	4.2 (-10.2)	4.2 (-43.6)	0.0 (2.3)	4.2 (-18.6)	4.2 (6.4)	4.2 (6.4)
	㉒ 小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。〔質問番号(25)「学期に数回程度以上行った」〕	割合	90.9 (100.0)	81.1 (73.5)	91.7 (86.1)	100.0(100.0)	83.3 (83.3)	75.0 (100.0)	83.3 (66.7)	75.0 (50.0)	75.0 (75.0)	66.7 (100.0)
		県との差	9.1 (22.8)	-0.7 (-3.7)	9.9 (8.9)	18.2 (22.8)	1.5 (6.1)	-6.8 (22.8)	1.5 (-10.5)	-6.8 (-27.2)	-6.8 (-2.2)	-15.1 (22.8)
		全国との差	8.3 (19.5)	-1.5 (-7.0)	9.1 (5.6)	17.4 (19.5)	0.7 (2.8)	-7.6 (19.5)	0.7 (-13.8)	-7.6 (-30.5)	-7.6 (-5.5)	-15.9 (19.5)
	㉓ 小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。〔質問番号(26)「週に2～3回以上行った」〕	割合	18.2 (9.1)	28.3 (22.7)	22.2 (25.0)	20.0 (20.0)	16.7 (16.7)	0.0 (25.0)	29.2 (16.7)	75.0 (0.0)	25.0 (0.0)	33.3 (33.3)
		県との差	-4.5 (-9.8)	5.6 (3.8)	-0.5 (6.1)	-2.7 (1.1)	-6.0 (-2.2)	-22.7 (6.1)	6.5 (-2.2)	52.3 (-18.9)	2.3 (-18.9)	10.6 (14.4)
		全国との差	0.5 (-8.4)	10.6 (5.2)	4.5 (7.5)	2.3 (2.5)	-1.0 (-0.8)	-17.7 (7.5)	11.5 (-0.8)	57.3 (-17.5)	7.3 (-17.5)	15.6 (15.8)
	㉔ 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号小学校(112)・中学校(110)「週に2～3日程度以上」〕	割合	100.0 (72.7)	98.1 (90.5)	100.0 (94.4)	80.0 (80.0)	100.0 (50.0)	100.0 (25.0)	91.7 (91.7)	100.0 (75.0)	75.0 (75.0)	100.0(100.0)
		県との差	4.6 (-11.8)	2.7 (6.0)	4.6 (9.9)	-15.4 (-4.5)	4.6 (-34.5)	4.6 (-59.5)	-3.7 (7.2)	4.6 (-9.5)	-20.4 (-9.5)	4.6 (15.5)
		全国との差	6.9 (-18.9)	5.0 (-1.1)	6.9 (2.8)	-13.1(-11.6)	6.9 (-41.6)	6.9 (-66.6)	-1.4 (0.1)	6.9 (-16.6)	-18.1(-16.6)	6.9 (8.4)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		度会町	鳥羽市	志摩市	伊賀市	名張市	尾鷲市	紀北町	熊野市	御浜町	紀宝町
①	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合 (質問番号(5)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」と質問番号(9)「将来の夢や目標を持っていますか」の「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」の比率の平均)	割合	71.8 (85.8)	80.4 (80.1)	78.8 (76.3)	81.1 (83.3)	82.2 (80.6)	81.6 (83.3)	78.0 (75.8)	71.7 (81.2)	84.9 (76.9)	78.4 (75.9)
		県との差	-9.1 (5.2)	-0.6 (-0.5)	-2.1 (-4.3)	0.1 (2.7)	1.3 (0.0)	0.6 (2.7)	-3.0 (-4.8)	-9.3 (0.6)	3.9 (-3.8)	-2.6 (-4.7)
		全国との差	-9.6 (4.9)	-1.1 (-0.9)	-2.6 (-4.7)	-0.4 (2.3)	0.8 (-0.3)	0.1 (2.4)	-3.5 (-5.1)	-9.8 (0.3)	3.4 (-4.1)	-3.1 (-5.0)
②	自分には、よいところがあると思いますか。(質問番号(6))「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	73.1 (81.5)	71.5 (74.1)	68.3 (68.4)	79.4 (81.4)	75.7 (78.6)	68.0 (72.5)	67.0 (79.2)	62.1 (74.5)	86.8 (63.4)	57.7 (62.0)
		県との差	-2.0 (5.8)	-3.6 (-1.6)	-6.8 (-7.3)	4.3 (5.7)	0.6 (2.9)	-7.1 (-3.2)	-8.1 (3.5)	-13.0 (-1.2)	11.7 (-12.3)	-17.4 (-13.7)
		全国との差	-3.3 (5.4)	-4.9 (-2.0)	-8.1 (-7.7)	3.0 (5.3)	-0.7 (2.5)	-8.4 (-3.6)	-9.4 (3.1)	-14.3 (-1.6)	10.4 (-12.7)	-18.7 (-14.1)
③	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合(質問番号(1)朝食を毎日食べていますか、質問番号(2)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、質問番号(3)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか)の「している+どちらかといえば、している」の割合の平均)	割合	86.3 (87.2)	89.3 (87.9)	87.5 (87.6)	88.9 (88.7)	89.1 (87.4)	89.6 (86.7)	87.6 (88.4)	84.5 (86.6)	89.9 (84.5)	87.6 (83.6)
		県との差	-2.0 (-1.1)	1.0 (-0.4)	-0.8 (-0.7)	0.6 (0.4)	0.8 (-0.9)	1.3 (-1.6)	-0.7 (0.1)	-3.8 (-1.7)	1.6 (-3.8)	-0.7 (-4.7)
		全国との差	-2.4 (-1.5)	0.6 (-0.8)	-1.2 (-1.1)	0.2 (0.0)	0.4 (-1.3)	0.9 (-2.0)	-1.1 (-0.3)	-4.2 (-2.1)	1.2 (-4.2)	-1.1 (-5.1)
④	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。(質問番号(20))「している+どちらかといえば、している」	割合	56.4 (53.1)	58.5 (63.3)	51.4 (58.7)	62.0 (63.2)	65.7 (58.3)	59.8 (57.5)	62.7 (61.1)	42.6 (51.0)	75.0 (56.1)	47.5 (42.6)
		県との差	-4.1 (-6.3)	-2.0 (3.9)	-9.1 (-0.7)	1.5 (3.8)	5.2 (-1.1)	-0.7 (-1.9)	2.2 (1.7)	-17.9 (-8.4)	14.5 (-3.3)	-13.0 (-16.8)
		全国との差	-6.4 (-7.9)	-4.3 (2.3)	-11.4 (-2.3)	-0.8 (2.2)	2.9 (-2.7)	-3.0 (-3.5)	-0.1 (0.1)	-20.2 (-10.0)	12.2 (-4.9)	-15.3 (-18.4)
⑤	家で、学校の宿題をしていますか。(質問番号(21))「している+どちらかといえば、している」	割合	92.3 (98.8)	97.9 (96.2)	97.9 (96.0)	97.6 (96.3)	96.4 (97.5)	100.0 (95.0)	96.6 (98.0)	93.8 (94.6)	97.4 (97.6)	98.0 (97.2)
		県との差	-5.0 (1.5)	0.6 (-1.1)	0.6 (-1.3)	0.3 (-1.0)	-0.9 (0.2)	2.7 (-2.3)	-0.7 (0.7)	-3.5 (-2.7)	0.1 (0.3)	0.7 (-0.1)
		全国との差	-4.5 (2.3)	1.1 (-0.3)	1.1 (-0.5)	0.8 (-0.2)	-0.4 (1.0)	3.2 (-1.5)	-0.2 (1.5)	-3.0 (-1.9)	0.6 (1.1)	1.2 (0.7)
⑥	家で、学校の授業の予習をしていますか。(質問番号(22))「している+どちらかといえば、している」	割合	34.7 (43.2)	36.8 (48.2)	42.3 (36.1)	39.4 (43.6)	49.0 (42.2)	40.1 (36.6)	24.5 (38.3)	30.3 (38.3)	34.2 (44.0)	24.7 (32.4)
		県との差	-7.3 (1.2)	-5.2 (6.2)	0.3 (-5.9)	-2.6 (1.6)	7.0 (0.2)	-1.9 (-5.4)	-17.5 (-3.7)	-11.7 (-3.7)	-7.8 (2.0)	-17.3 (-9.6)
		全国との差	-8.7 (0.0)	-6.6 (5.0)	-1.1 (-7.1)	-4.0 (0.4)	5.6 (-1.0)	-3.3 (-6.6)	-18.9 (-4.9)	-13.1 (-4.9)	-9.2 (0.8)	-18.7 (-10.8)
⑦	家で、学校の授業の復習をしていますか。(質問番号(23))「している+どちらかといえば、している」	割合	39.8 (56.8)	47.6 (58.3)	49.7 (42.9)	48.6 (51.4)	56.1 (46.7)	54.9 (53.4)	49.1 (57.1)	34.9 (42.3)	55.2 (46.3)	31.9 (33.3)
		県との差	-10.3 (8.1)	-2.5 (9.6)	-0.4 (-5.8)	-1.5 (2.7)	6.0 (-2.0)	4.8 (4.7)	-1.0 (8.4)	-15.2 (-6.4)	5.1 (-2.4)	-18.2 (-15.4)
		全国との差	-14.7 (2.8)	-6.9 (4.3)	-4.8 (-11.1)	-5.9 (-2.6)	1.6 (-7.3)	0.4 (-0.6)	-5.4 (3.1)	-19.6 (-11.7)	0.7 (-7.7)	-22.6 (-20.7)
⑧	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどくらくらいきますか。(質問番号(17))「月に1~3回以上行く」	割合	46.2 (61.7)	33.9 (54.6)	44.9 (38.2)	39.9 (41.1)	36.3 (38.2)	45.2 (40.8)	51.7 (42.4)	35.6 (41.7)	53.9 (52.4)	55.7 (50.0)
		県との差	6.2 (19.6)	-6.1 (12.5)	4.9 (-3.9)	-0.1 (-1.0)	-3.7 (-3.9)	5.2 (-1.3)	11.7 (0.3)	-4.4 (-0.4)	13.9 (10.3)	15.7 (7.9)
		全国との差	5.5 (18.8)	-6.8 (11.7)	4.2 (-4.7)	-0.8 (-1.8)	-4.4 (-4.7)	4.5 (-2.1)	11.0 (-0.5)	-5.1 (-1.2)	13.2 (9.5)	15.0 (7.1)
⑨	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事にきますか。(質問番号(19))「よく来る+時々来る」	割合	96.1 (100.0)	97.3 (98.4)	96.9 (97.8)	97.4 (97.8)	96.0 (96.5)	99.1 (97.5)	100.0 (97.3)	98.4 (97.4)	97.3 (97.6)	100.0 (95.4)
		県との差	-1.5 (2.6)	-0.3 (1.0)	-0.7 (0.4)	-0.2 (0.4)	-1.6 (-0.9)	1.5 (0.1)	2.4 (-0.1)	0.8 (0.0)	-0.3 (0.2)	2.4 (-2.0)
		全国との差	-0.5 (3.5)	0.7 (1.9)	0.3 (1.3)	0.8 (1.3)	-0.6 (0.0)	2.5 (1.0)	3.4 (0.8)	1.8 (0.9)	0.7 (1.1)	3.4 (-1.1)
⑩	今住んでいる地域の行事に参加していますか。(質問番号(27))「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	71.8 (69.1)	74.1 (82.2)	67.0 (69.8)	78.1 (81.3)	68.8 (66.2)	55.7 (44.1)	78.0 (72.5)	54.3 (69.1)	75.0 (69.5)	68.1 (71.3)
		県との差	-0.2 (-4.1)	2.1 (9.0)	-5.0 (-3.4)	6.1 (8.1)	-3.2 (-7.0)	-16.3 (-29.1)	6.0 (-0.7)	-17.7 (-4.1)	3.0 (-3.7)	-3.9 (-1.9)
		全国との差	4.9 (1.1)	7.2 (14.2)	0.1 (1.8)	11.2 (13.3)	1.9 (-1.8)	-11.2 (-23.9)	11.1 (4.5)	-12.6 (1.1)	8.1 (1.5)	1.2 (3.3)
⑪	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く)(質問番号(10))「3時間以上」	割合	33.3 (35.8)	46.3 (42.2)	40.0 (45.3)	36.0 (38.2)	34.4 (44.1)	40.2 (41.7)	37.2 (35.6)	39.5 (42.9)	32.9 (37.8)	34.0 (47.3)
		県との差	-2.5 (-2.6)	10.5 (3.8)	4.2 (6.9)	0.2 (-0.2)	-1.4 (5.7)	4.4 (3.3)	1.4 (-2.8)	3.7 (4.5)	-2.9 (-0.6)	-1.8 (8.9)
		全国との差	-2.8 (-2.2)	10.2 (4.2)	3.9 (7.3)	-0.1 (0.2)	-1.7 (6.1)	4.1 (3.7)	1.1 (-2.4)	3.4 (4.9)	-3.2 (-0.2)	-2.1 (9.3)
⑫	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。(質問番号(11))「3時間以上」	割合	15.4 (19.7)	15.7 (18.4)	17.9 (19.5)	15.7 (18.3)	19.1 (22.4)	22.2 (25.8)	28.8 (21.5)	26.4 (22.8)	10.6 (25.6)	17.5 (16.7)
		県との差	-2.8 (0.9)	-2.5 (-0.4)	-0.3 (0.7)	-2.5 (-0.5)	0.9 (3.6)	4.0 (7.0)	10.6 (2.7)	8.2 (4.0)	-7.6 (6.8)	-0.7 (-2.1)
		全国との差	-1.6 (2.7)	-1.3 (1.4)	0.9 (2.5)	-1.3 (1.3)	2.1 (5.4)	5.2 (8.8)	11.8 (4.5)	9.4 (5.8)	-6.4 (8.6)	0.5 (-0.3)

※表中の () の値は、平成 26 年度の値です。

番号	質問事項	割合	度会町	鳥羽市	志摩市	伊賀市	名張市	尾鷲市	紀北町	熊野市	御浜町	紀宝町
⑬	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)〔質問番号(12)「3時間以上」〕	割合	5.1 (2.5)	4.7 (4.9)	6.0 (5.6)	6.4 (6.3)	8.1 (7.6)	7.4 (6.7)	13.5 (6.7)	10.1 (5.4)	3.9 (3.6)	4.1 (6.5)
		県との差	-1.2 (-3.1)	-1.6 (-0.7)	-0.3 (0.0)	0.1 (0.7)	1.8 (2.0)	1.1 (1.1)	7.2 (1.1)	3.8 (-0.2)	-2.4 (-2.0)	-2.2 (0.9)
		全国との差	-0.6 (-2.5)	-1.0 (-0.1)	0.3 (0.6)	0.7 (1.3)	2.4 (2.6)	1.7 (1.7)	7.8 (1.7)	4.4 (0.4)	-1.8 (-1.4)	-1.6 (1.5)
⑭	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)〔質問番号(13)「1時間以上」〕	割合	55.2 (77.8)	45.6 (52.9)	52.7 (54.5)	58.6 (67.2)	63.9 (58.1)	64.8 (60.8)	39.8 (61.8)	44.3 (41.5)	51.3 (43.9)	54.6 (32.5)
		県との差	-3.2 (18.4)	-12.8 (-6.5)	-5.7 (-4.9)	0.2 (7.8)	5.5 (-1.3)	6.4 (1.4)	-18.6 (2.4)	-14.1 (-17.9)	-7.1 (-15.5)	-3.8 (-26.9)
		全国との差	-7.5 (15.8)	-17.1 (-9.1)	-10.0 (-7.5)	-4.1 (5.2)	1.2 (-3.9)	2.1 (-1.2)	-22.9 (-0.2)	-18.4 (-20.5)	-11.4 (-18.1)	-8.1 (-29.5)
⑮	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)〔質問番号(14)「3時間以上」と回答した割合〕	割合	7.7 (8.6)	6.1 (6.5)	3.3 (4.1)	7.6 (10.1)	9.7 (8.8)	9.8 (8.3)	1.6 (4.7)	6.3 (5.4)	7.8 (6.1)	1.0 (2.8)
		県との差	-1.3 (-0.4)	-2.9 (-2.5)	-5.7 (-4.9)	-1.4 (1.1)	0.7 (-0.2)	0.8 (-0.7)	-7.4 (-4.3)	-2.7 (-3.6)	-1.2 (-2.9)	-8.0 (-6.2)
		全国との差	-4.2 (-2.9)	-5.8 (-5.0)	-8.6 (-7.4)	-4.3 (-1.4)	-2.2 (-2.7)	-2.1 (-3.2)	-10.3 (-6.8)	-5.6 (-6.1)	-4.1 (-5.4)	-10.9 (-8.7)
⑯	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。〔質問番号(34)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	91.0 (97.5)	98.0 (95.7)	97.1 (96.9)	96.9 (95.8)	97.8 (96.7)	98.4 (95.8)	97.5 (97.3)	95.4 (94.0)	98.7 (97.6)	99.0 (95.4)
		県との差	-5.5 (1.2)	1.5 (-0.6)	0.6 (0.6)	0.4 (-0.5)	1.3 (0.4)	1.9 (-0.5)	1.0 (1.0)	-1.1 (-2.3)	2.2 (1.3)	2.5 (-0.9)
		全国との差	-5.2 (1.1)	1.8 (-0.7)	0.9 (0.5)	0.7 (-0.6)	1.6 (0.3)	2.2 (-0.6)	1.3 (0.9)	-0.8 (-2.4)	2.5 (1.2)	2.8 (-1.0)
⑰	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(37)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	52.6 (74.1)	54.5 (58.9)	49.8 (47.2)	50.3 (50.7)	58.6 (54.9)	65.6 (50.8)	63.6 (60.4)	34.2 (55.7)	42.1 (46.3)	29.9 (34.3)
		県との差	-1.9 (20.8)	0.0 (5.6)	-4.7 (-6.1)	-4.2 (-2.6)	4.1 (1.6)	11.1 (-2.5)	9.1 (7.1)	-20.3 (2.4)	-12.4 (-7.0)	-24.6 (-19.0)
		全国との差	-13.2 (10.3)	-11.3 (-4.9)	-16.0 (-16.6)	-15.5 (-13.1)	-7.2 (-8.9)	-0.2 (-13.0)	-2.2 (-3.4)	-31.6 (-8.1)	-23.7 (-17.5)	-35.9 (-29.5)
⑱	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。〔質問番号(41)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	84.6 (77.8)	90.4 (76.2)	81.9 (71.3)	81.3 (74.3)	85.1 (77.2)	84.4 (78.3)	86.4 (77.8)	70.5 (80.6)	85.6 (75.6)	80.5 (68.6)
		県との差	1.6 (2.1)	7.4 (0.5)	-1.1 (-4.4)	-1.7 (-1.4)	2.1 (1.5)	1.4 (2.6)	3.4 (2.1)	-12.5 (4.9)	2.6 (-0.1)	-2.5 (-7.1)
		全国との差	-1.7 (-4.2)	4.1 (-5.8)	-4.4 (-10.7)	-5.0 (-7.7)	-1.2 (-4.8)	-1.9 (-3.7)	0.1 (-4.2)	-15.8 (-1.4)	-0.7 (-6.4)	-5.8 (-13.4)
⑲	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(42)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	52.5 (64.2)	76.9 (75.2)	67.2 (63.9)	72.3 (67.7)	74.7 (67.6)	80.3 (77.5)	74.5 (67.1)	62.8 (64.5)	77.6 (59.7)	64.9 (62.0)
		県との差	-18.9 (-2.9)	5.5 (8.1)	-4.2 (-3.2)	0.9 (0.6)	3.3 (0.5)	8.9 (10.4)	3.1 (0.0)	-8.6 (-2.6)	6.2 (-7.4)	-6.5 (-5.1)
		全国との差	-22.8 (-7.7)	1.6 (3.3)	-8.1 (-8.0)	-3.0 (-4.2)	-0.6 (-4.3)	5.0 (5.6)	-0.8 (-4.8)	-12.5 (-7.4)	2.3 (-12.2)	-10.4 (-9.9)
⑳	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。〔質問番号(53)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	57.7 (70.4)	64.7 (64.3)	55.6 (50.0)	62.0 (56.6)	63.5 (57.4)	66.4 (56.7)	54.3 (57.0)	43.4 (54.3)	73.7 (68.3)	48.5 (47.2)
		県との差	-2.6 (13.8)	4.4 (7.7)	-4.7 (-6.6)	1.7 (0.0)	3.2 (0.8)	6.1 (0.1)	-6.0 (0.4)	-16.9 (-2.3)	13.4 (11.7)	-11.8 (-9.4)
		全国との差	-7.5 (9.0)	-0.5 (2.9)	-9.6 (-11.4)	-3.2 (-4.8)	-1.7 (-4.0)	1.2 (-4.7)	-10.9 (-4.4)	-21.8 (-7.1)	8.5 (6.9)	-16.7 (-14.2)
㉑	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。〔質問番号(51)「よく行った＋行った」〕	割合	100.0 (100.0)	77.8 (100.0)	93.8 (88.2)	100.0 (96.0)	100.0 (100.0)	100.0 (85.7)	100.0 (81.8)	100.0 (66.7)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
		県との差	1.9 (7.1)	-20.3 (7.1)	-4.3 (-4.7)	1.9 (3.1)	1.9 (7.1)	1.9 (-7.2)	1.9 (-11.1)	1.9 (-26.2)	1.9 (7.1)	1.9 (7.1)
		全国との差	4.2 (6.4)	-18.0 (6.4)	-2.0 (-5.4)	4.2 (2.4)	4.2 (6.4)	4.2 (-7.9)	4.2 (-11.8)	4.2 (-26.9)	4.2 (6.4)	4.2 (6.4)
㉒	小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。〔質問番号(25)「学期に数回程度以上行った」〕	割合	100.0 (0.0)	88.8 (100.0)	75.0 (76.5)	77.3 (84.0)	85.7 (85.7)	66.6 (57.2)	70.0 (63.7)	44.4 (77.7)	100.0 (25.0)	80.0 (60.0)
		県との差	18.2 (-77.2)	7.0 (22.8)	-6.8 (-0.7)	-4.5 (6.8)	3.9 (8.5)	-15.2 (-20.0)	-11.8 (-13.5)	-37.4 (0.5)	18.2 (-52.2)	-1.8 (-17.2)
		全国との差	17.4 (-80.5)	6.2 (19.5)	-7.6 (-4.0)	-5.3 (3.5)	3.1 (5.2)	-16.0 (-23.3)	-12.6 (-16.8)	-38.2 (-2.8)	17.4 (-55.5)	-2.6 (-20.5)
㉓	小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。(〔質問番号(26)「週に2～3回以上行った」〕)	割合	0.0 (0.0)	55.5 (50.0)	43.8 (41.2)	13.6 (8.0)	7.1 (14.2)	66.7 (71.4)	60.0 (36.4)	55.6 (44.4)	0.0 (0.0)	40.0 (0.0)
		県との差	-22.7 (-18.9)	32.8 (31.1)	21.1 (22.3)	-9.1 (-10.9)	-15.6 (-4.7)	44.0 (52.5)	37.3 (17.5)	32.9 (25.5)	-22.7 (-18.9)	17.3 (-18.9)
		全国との差	-17.7 (-17.5)	37.8 (32.5)	26.1 (23.7)	-4.1 (-9.5)	-10.6 (-3.3)	49.0 (53.9)	42.3 (18.9)	37.9 (26.9)	-17.7 (-17.5)	22.3 (-17.5)
㉔	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号小学校(112)・中学校(110)「週に2～3日程度以上」〕	割合	100.0 (100.0)	88.9 (62.5)	93.8 (82.3)	100.0 (76.0)	85.7 (71.5)	100.0 (71.4)	70.0 (45.5)	66.6 (55.5)	100.0 (100.0)	80.0 (80.0)
		県との差	4.6 (15.5)	-6.5 (-22.0)	-1.6 (-2.2)	4.6 (-8.5)	-9.7 (-13.0)	4.6 (-13.1)	-25.4 (-39.0)	-28.8 (-29.0)	4.6 (15.5)	-15.4 (-4.5)
		全国との差	6.9 (8.4)	-4.2 (-29.1)	0.7 (-9.3)	6.9 (-15.6)	-7.4 (-20.1)	6.9 (-20.2)	-23.1 (-46.1)	-26.5 (-36.1)	6.9 (8.4)	-13.1 (-11.6)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		三重県	桑名市	木曽岬町	いなべ市	東員町	四日市市	菟野町	朝日町	川越町	鈴鹿市
①	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合 (質問番号(5)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」と質問番号(9)「将来の夢や目標を持っていますか」の「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」の比率の平均)	割合	70.7 (70.6)	70.7 (69.7)	75.0 (65.9)	72.9 (75.1)	77.6 (71.8)	70.2 (70.9)	71.0 (73.1)	67.7 (71.9)	66.9 (77.9)	69.6 (72.6)
		県との差		0.0 (-0.9)	4.3 (-4.7)	2.2 (4.5)	6.9 (1.3)	-0.5 (0.3)	0.3 (2.5)	-3.0 (1.3)	-3.9 (7.4)	-1.1 (2.0)
		全国との差	0.5 (0.8)	0.4 (-0.0)	4.8 (-3.9)	2.7 (5.3)	7.3 (2.1)	-0.1 (1.1)	0.7 (3.3)	-2.6 (2.1)	-3.4 (8.2)	-0.6 (2.9)
②	自分には、よいところがあると思いますか。 ([質問番号(6)]「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	69.4 (69.1)	72.8 (69.4)	72.7 (71.4)	70.9 (73.1)	76.9 (73.0)	71.0 (70.3)	70.1 (68.4)	75.7 (76.6)	56.5 (72.1)	67.2 (74.4)
		県との差		3.4 (0.3)	3.3 (2.3)	1.5 (4.0)	7.5 (3.9)	1.6 (1.2)	0.7 (-0.7)	6.3 (7.5)	-12.9 (3.0)	-2.2 (5.3)
		全国との差	1.3 (2.0)	4.7 (2.3)	4.6 (4.3)	2.8 (6.0)	8.8 (5.9)	2.9 (3.2)	2.0 (1.3)	7.6 (9.5)	-11.6 (5.0)	-0.9 (7.3)
③	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合(質問番号(1)朝食を毎日食べていますか、質問番号(2)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、質問番号(3)毎日、同じくらいの時刻に起きていますかの「している+どちらかといえば、している」の割合の平均)	割合	86.8 (86.9)	86.4 (86.0)	87.4 (91.5)	88.1 (88.9)	89.0 (85.7)	86.0 (86.8)	86.4 (87.6)	92.6 (87.9)	89.0 (90.4)	87.3 (88.7)
		県との差		-0.4 (-0.8)	0.6 (4.7)	1.3 (2.1)	2.2 (-1.1)	-0.7 (-0.1)	-0.4 (0.8)	5.8 (1.1)	2.2 (3.5)	0.5 (1.8)
		全国との差	-0.2 (0.3)	-0.5 (-0.5)	0.5 (5.0)	1.1 (2.4)	2.0 (-0.8)	-0.9 (0.2)	-0.6 (1.1)	5.6 (1.4)	2.1 (3.8)	0.4 (2.1)
④	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。 ([質問番号(20)]「している+どちらかといえば、している」)	割合	51.0 (47.3)	48.9 (43.9)	40.9 (39.7)	56.3 (56.3)	54.8 (53.7)	49.1 (46.2)	48.9 (47.8)	56.6 (55.3)	42.8 (53.3)	52.2 (48.9)
		県との差		-2.1 (-3.4)	-10.1 (-7.6)	5.3 (9.0)	3.8 (6.4)	-1.9 (-1.1)	-2.1 (0.5)	5.6 (8.0)	-8.2 (6.0)	1.2 (1.6)
		全国との差	2.2 (0.7)	0.1 (-2.7)	-7.9 (-6.9)	7.5 (9.7)	6.0 (7.1)	0.3 (-0.4)	0.1 (1.2)	7.8 (8.7)	-6.0 (6.7)	3.4 (2.3)
⑤	家で、学校の宿題をしていますか。 ([質問番号(21)]「している+どちらかといえば、している」)	割合	90.9 (87.7)	90.7 (84.0)	78.8 (80.9)	94.8 (91.5)	93.1 (91.6)	91.5 (89.8)	90.5 (86.5)	98.0 (94.7)	92.1 (94.3)	90.1 (87.7)
		県との差		-0.2 (-3.7)	-12.1 (-6.8)	3.9 (3.8)	2.2 (3.9)	0.6 (2.1)	-0.4 (-1.2)	7.1 (7.0)	1.2 (6.6)	-0.8 (0.0)
		全国との差	1.6 (-0.5)	1.4 (-4.2)	-10.5 (-7.3)	5.5 (3.3)	3.8 (3.4)	2.2 (1.6)	1.2 (-1.7)	8.7 (6.5)	2.8 (6.1)	0.8 (-0.5)
⑥	家で、学校の授業の予習をしていますか。 ([質問番号(22)]「している+どちらかといえば、している」)	割合	37.4 (34.6)	37.4 (37.7)	31.8 (20.6)	33.5 (29.5)	34.8 (30.7)	38.3 (39.6)	34.3 (50.7)	63.6 (42.5)	37.1 (35.3)	30.4 (31.9)
		県との差		0.0 (3.1)	-5.6 (-14.0)	-3.9 (-5.1)	-2.6 (-3.9)	0.9 (5.0)	-3.1 (16.1)	26.2 (7.9)	-0.3 (0.7)	-7.0 (-2.7)
		全国との差	2.1 (0.4)	2.1 (3.5)	-3.5 (-13.6)	-1.8 (-4.7)	-0.5 (-3.5)	3.0 (5.4)	-1.0 (16.5)	28.3 (8.3)	1.8 (1.1)	-4.9 (-2.3)
⑦	家で、学校の授業の復習をしていますか。 ([質問番号(23)]「している+どちらかといえば、している」)	割合	48.9 (45.5)	46.8 (44.2)	30.4 (30.1)	59.0 (53.2)	60.8 (64.9)	53.3 (50.3)	44.2 (42.4)	67.6 (51.1)	50.7 (65.6)	47.1 (44.9)
		県との差		-2.1 (-1.3)	-18.5(-15.4)	10.1 (7.7)	11.9 (19.4)	4.4 (4.8)	-4.7 (-3.1)	18.7 (5.6)	1.8 (20.1)	-1.8 (-0.6)
		全国との差	-3.1 (-4.9)	-5.2 (-6.2)	-21.6(-20.3)	7.0 (2.8)	8.8 (14.5)	1.3 (-0.1)	-7.8 (-8.0)	15.6 (0.7)	-1.3 (15.2)	-4.9 (-5.5)
⑧	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。 ([質問番号(17)]「月に1~3回以上行く」)	割合	17.4 (18.4)	12.3 (14.4)	10.6 (15.9)	12.1 (15.2)	14.8 (21.3)	17.3 (18.1)	11.2 (18.4)	17.2 (14.9)	22.1 (21.4)	12.3 (13.3)
		県との差		-5.1 (-4.0)	-6.8 (-2.5)	-5.3 (-3.2)	-2.6 (2.9)	-0.1 (-0.3)	-6.2 (0.0)	-0.2 (-3.5)	4.7 (3.0)	-5.1 (-5.1)
		全国との差	-2.2 (-0.5)	-7.3 (-4.5)	-9.0 (-3.0)	-7.5 (-3.7)	-4.8 (2.4)	-2.3 (-0.8)	-8.4 (-0.5)	-2.4 (-4.0)	2.5 (2.5)	-7.3 (-5.6)
⑨	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。 ([質問番号(19)]「よく来る+時々来る」)	割合	78.9 (78.8)	68.3 (71.5)	89.4 (77.8)	95.5 (96.9)	93.5 (94.8)	80.5 (81.4)	82.4 (79.2)	91.9 (87.3)	73.5 (73.8)	73.8 (74.8)
		県との差		-10.6 (-7.3)	10.5 (-1.0)	16.6 (18.1)	14.6 (16.0)	1.6 (2.6)	3.5 (0.4)	13.0 (8.5)	-5.4 (-5.0)	-5.1 (-4.0)
		全国との差	-4.5 (-4.3)	-15.1(-11.6)	6.0 (-5.3)	12.1 (13.8)	10.1 (11.7)	-2.9 (-1.7)	-1.0 (-3.9)	8.5 (4.2)	-9.9 (-9.3)	-9.6 (-8.3)
⑩	今住んでいる地域の行事に参加していますか。 ([質問番号(27)]「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	50.7 (50.4)	44.6 (44.1)	69.7 (68.3)	66.6 (54.9)	67.4 (66.5)	48.0 (45.0)	53.3 (53.2)	52.6 (46.8)	46.4 (50.9)	41.7 (48.0)
		県との差		-6.1 (-6.3)	19.0 (17.9)	15.9 (4.5)	16.7 (16.1)	-2.7 (-5.4)	2.6 (2.8)	1.9 (-3.6)	-4.3 (0.5)	-9.0 (-2.4)
		全国との差	5.9 (6.9)	-0.2 (0.6)	24.9 (24.8)	21.8 (11.4)	22.6 (23.0)	3.2 (1.5)	8.5 (9.7)	7.8 (3.3)	1.6 (7.4)	-3.1 (4.5)
⑪	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。 (テレビゲームをする時間は除く)([質問番号(10)]「3時間以上」)	割合	32.4 (35.2)	34.2 (37.6)	24.3 (30.2)	27.7 (28.8)	33.5 (35.1)	30.5 (31.3)	37.9 (36.5)	25.2 (20.2)	43.6 (31.9)	31.3 (30.9)
		県との差		1.8 (2.4)	-8.1 (-5.0)	-4.7 (-6.4)	1.1 (-0.1)	-1.9 (-3.9)	5.5 (1.3)	-7.2 (-15.0)	11.2 (-3.3)	-1.1 (-4.3)
		全国との差	1.9 (3.7)	3.7 (6.1)	-6.2 (-1.3)	-2.8 (-2.7)	3.0 (3.6)	0.0 (-0.2)	7.4 (5.0)	-5.3 (-11.3)	13.1 (0.4)	0.8 (-0.6)
⑫	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。 ([質問番号(11)]「3時間以上」)	割合	22.9 (24.0)	22.1 (25.3)	36.4 (15.8)	19.0 (21.4)	20.8 (25.8)	22.2 (21.4)	25.9 (23.5)	12.1 (19.1)	27.1 (24.6)	23.0 (20.6)
		県との差		-0.8 (1.3)	13.5 (-8.2)	-3.9 (-2.6)	-2.1 (1.8)	-0.7 (-2.6)	3.0 (-0.5)	-10.8 (-4.9)	4.2 (0.6)	0.1 (-3.4)
		全国との差	2.4 (3.7)	1.6 (5.0)	15.9 (-4.5)	-1.5 (1.1)	0.3 (5.5)	1.7 (1.1)	5.4 (3.2)	-8.4 (-1.2)	6.6 (4.3)	2.5 (0.3)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		三重県	桑名市	木曾岬町	いなべ市	東員町	四日市市	菟野町	朝日町	川越町	鈴鹿市
生徒質問紙	⑬ 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)([質問番号12]「3時間以上」)	割合	21.5 (24.5)	20.3 (23.4)	24.2 (20.6)	19.0 (25.2)	15.6 (22.2)	19.7 (22.5)	22.6 (24.8)	9.1 (19.1)	18.6 (18.1)	21.4 (21.8)
		県との差		-1.2 (-1.1)	2.7 (-3.9)	-2.5 (0.7)	-5.9 (-2.3)	-1.8 (-2.0)	1.1 (0.3)	-12.4 (-5.4)	-2.9 (-6.4)	-0.1 (-2.7)
		全国との差	3.3 (4.7)	2.1 (3.6)	6.0 (0.8)	0.8 (5.4)	-2.6 (2.4)	1.5 (2.7)	4.4 (5.0)	-9.1 (-0.7)	0.4 (-1.7)	3.2 (2.0)
	⑭ 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)([質問番号13]「1時間以上」)	割合	66.5 (64.4)	69.3 (68.5)	50.0 (55.5)	74.6 (75.5)	79.6 (70.2)	67.2 (66.1)	64.6 (65.9)	74.8 (75.5)	65.1 (59.0)	60.8 (60.7)
		県との差		2.8 (4.1)	-16.5 (-8.9)	8.1 (11.1)	13.1 (5.8)	0.7 (1.7)	-1.9 (1.5)	8.3 (11.1)	-1.4 (-5.4)	-5.7 (-3.7)
		全国との差	-2.5 (-3.5)	0.3 (0.6)	-19.0(-12.4)	5.6 (7.6)	10.6 (2.3)	-1.8 (-1.8)	-4.4 (-2.0)	5.8 (7.6)	-3.9 (-8.9)	-8.2 (-7.2)
	⑮ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)([質問番号14]「3時間以上」と回答した割合)	割合	12.9 (12.6)	14.8 (14.6)	13.6 (14.2)	10.9 (12.6)	18.7 (22.1)	16.3 (15.4)	15.5 (14.7)	28.3 (17.0)	5.7 (12.3)	10.6 (10.9)
		県との差		1.9 (2.0)	0.7 (1.6)	-2.0 (0.0)	5.8 (9.5)	3.4 (2.8)	2.6 (2.1)	15.4 (4.4)	-7.2 (-0.3)	-2.3 (-1.7)
		全国との差	-4.8 (-4.3)	-2.9 (-2.3)	-4.1 (-2.7)	-6.8 (-4.3)	1.0 (5.2)	-1.4 (-1.5)	-2.2 (-2.2)	10.6 (0.1)	-12.0 (-4.6)	-7.1 (-6.0)
	⑯ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(「質問番号34」「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	93.9 (92.8)	94.4 (91.5)	95.5 (84.1)	96.6 (96.7)	93.5 (92.7)	93.3 (92.1)	94.9 (93.1)	95.9 (92.5)	93.5 (90.2)	92.5 (94.4)
		県との差		0.5 (-1.3)	1.6 (-8.7)	2.7 (3.9)	-0.4 (-0.1)	-0.6 (-0.7)	1.0 (0.3)	2.0 (-0.3)	-0.4 (-2.6)	-1.4 (1.6)
		全国との差	0.2 (-0.6)	0.7 (-1.9)	1.8 (-9.3)	2.9 (3.3)	-0.2 (-0.7)	-0.4 (-1.3)	1.2 (-0.3)	2.2 (-0.9)	-0.2 (-3.2)	-1.2 (1.0)
⑰ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。(「質問番号37」「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	48.9 (46.2)	43.4 (41.4)	54.5 (47.6)	53.8 (50.3)	52.6 (51.6)	54.0 (48.0)	48.4 (48.8)	49.5 (52.1)	37.9 (52.5)	43.2 (44.5)	
	県との差		-5.5 (-4.8)	5.6 (1.4)	4.9 (4.1)	3.7 (5.4)	5.1 (1.8)	-0.5 (2.6)	0.6 (5.9)	-11.0 (6.3)	-5.7 (-1.7)	
	全国との差	-9.1 (-8.6)	-14.6(-13.4)	-3.5 (-7.2)	-4.2 (-4.5)	-5.4 (-3.2)	-4.0 (-6.8)	-9.6 (-6.0)	-8.5 (-2.7)	-20.1 (-2.3)	-14.8(-10.3)	
⑱ 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。(「質問番号41」「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	75.5 (62.1)	67.2 (53.9)	89.4 (60.3)	87.7 (81.3)	80.0 (69.4)	74.9 (61.8)	74.1 (66.4)	54.6 (52.2)	75.7 (68.0)	75.9 (67.8)	
	県との差		-8.3 (-8.2)	13.9 (-1.8)	12.2 (19.2)	4.5 (7.3)	-0.6 (-0.3)	-1.4 (4.3)	-20.9(-9.9)	0.2 (5.9)	0.4 (5.7)	
	全国との差	-4.2 (-9.4)	-12.5(-17.6)	9.7 (-11.2)	8.0 (9.8)	0.3 (-2.1)	-4.8 (-9.7)	-5.6 (-5.1)	-25.1(-19.3)	-4.0 (-3.5)	-3.8 (-3.7)	
⑲ 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。(「質問番号42」「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	58.3 (51.4)	46.8 (40.7)	54.6 (39.7)	66.1 (61.3)	66.5 (61.3)	63.6 (58.3)	69.5 (65.7)	60.6 (48.9)	53.5 (56.6)	56.6 (54.5)	
	県との差		-11.5(-10.7)	-3.7 (-11.7)	7.8 (9.9)	8.2 (9.9)	5.3 (6.9)	11.2 (14.3)	2.3 (-2.5)	-4.8 (5.2)	-1.7 (3.1)	
	全国との差	-1.0 (-1.9)	-12.5(-12.6)	-4.7 (-13.6)	6.8 (8.0)	7.2 (8.0)	4.3 (5.0)	10.2 (12.4)	1.3 (-4.4)	-5.8 (3.3)	-2.7 (1.2)	
⑳ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。(「質問番号53」「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」)	割合	55.1 (53.2)	49.0 (49.9)	72.7 (60.3)	64.7 (62.7)	65.7 (64.9)	56.0 (53.2)	53.0 (53.7)	54.5 (48.9)	45.7 (59.0)	56.8 (57.3)	
	県との差		-6.1 (-3.3)	17.6 (7.1)	9.6 (9.5)	10.6 (11.7)	0.9 (0.0)	-2.1 (0.5)	-0.6 (-4.3)	-9.4 (5.8)	1.7 (4.1)	
	全国との差	-4.1 (-2.9)	-10.2 (-6.2)	13.5 (4.2)	5.5 (6.6)	6.5 (8.8)	-3.2 (-2.9)	-6.2 (-2.4)	-4.7 (-7.2)	-13.5 (2.9)	-2.4 (1.2)	
学校質問紙	㉑ 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。(「質問番号51」「よく行った+行った」)	割合	94.4 (91.4)	90.0 (70.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(50.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		県との差		-4.4 (-21.4)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)	5.6 (-41.4)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)
		全国との差	1.2 (1.0)	-3.2 (-20.4)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)	6.8 (-40.4)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)
	㉒ 小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。(「質問番号25」「学期に数回程度以上行った」)	割合	44.7 (39.5)	10.0 (30.0)	100.0(100.0)	50.0 (50.0)	50.0 (0.0)	68.1 (36.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	100.0(100.0)	30.0 (40.0)
		県との差		-34.7 (-9.5)	55.3 (60.5)	5.3 (10.5)	5.3 (-39.5)	23.4 (-3.1)	-44.7(-39.5)	-44.7(-39.5)	55.3 (60.5)	-14.7 (0.5)
		全国との差	-0.2 (-2.7)	-34.9(-12.2)	55.1 (57.8)	5.1 (7.8)	5.1 (-42.2)	23.2 (-5.8)	-44.9(-42.2)	-44.9(-42.2)	55.1 (57.8)	-14.9 (-2.2)
	㉓ 小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。(「質問番号26」「週に2~3回以上行った」)	割合	13.7 (11.8)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	25.0 (0.0)	0.0 (0.0)	22.7 (31.8)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	10.0 (0.0)
		県との差		-13.7(-11.8)	-13.7(-11.8)	11.3 (-11.8)	-13.7(-11.8)	9.0 (20.0)	-13.7(-11.8)	-13.7(-11.8)	-13.7(-11.8)	-3.7 (-11.8)
		全国との差	-1.2 (-2.3)	-14.9(-14.1)	-14.9(-14.1)	10.1 (-14.1)	-14.9(-14.1)	7.8 (17.7)	-14.9(-14.1)	-14.9(-14.1)	-14.9(-14.1)	-4.9 (-14.1)
	㉔ 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。(「質問番号小学校(112)・中学校(110)」週に2~3日程度以上)	割合	81.4 (69.2)	50.0 (60.0)	100.0(100.0)	75.0 (50.0)	100.0 (50.0)	95.5 (91.0)	50.0 (50.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	90.0 (80.0)
		県との差		-31.4 (-9.2)	18.6 (30.8)	-6.4 (-19.2)	18.6 (-19.2)	14.1 (21.8)	-31.4(-19.2)	18.6 (30.8)	18.6 (30.8)	8.6 (10.8)
		全国との差	0.0 (-10.1)	-31.4(-19.3)	18.6 (20.7)	-6.4 (-29.3)	18.6 (-29.3)	14.1 (11.7)	-31.4(-29.3)	18.6 (20.7)	18.6 (20.7)	8.6 (0.7)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		亀山市	津市	松阪市	多気町	多気松阪	明和町	大台町	伊勢市	玉城町	大紀町
①	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合 (質問番号(5)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」と質問番号(9)「将来の夢や目標を持っていますか」の「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」の比率の平均)	割合	68.7 (69.0)	70.9 (69.2)	70.5 (68.5)	70.3 (57.0)	80.3 (74.4)	73.6 (70.2)	74.0 (70.0)	73.5 (68.1)	68.9 (73.3)	75.7 (52.7)
		県との差	-2.1 (-1.6)	0.1 (-1.4)	-0.2 (-2.1)	-0.4 (-13.6)	9.6 (3.8)	2.9 (-0.4)	3.2 (-0.6)	2.8 (-2.5)	-1.8 (2.8)	5.0 (-17.9)
		全国との差	-1.6 (-0.7)	0.6 (-0.5)	0.3 (-1.2)	0.0 (-12.7)	10.0 (4.6)	3.3 (0.5)	3.7 (0.3)	3.2 (-1.7)	-1.3 (3.6)	5.5 (-17.1)
②	自分には、よいところがあると思いますか。 (質問番号(6))「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	68.3 (64.4)	69.1 (66.0)	68.6 (67.1)	84.4 (65.2)	74.0 (77.8)	63.0 (56.2)	74.0 (81.5)	72.6 (66.4)	65.9 (67.1)	69.5 (66.1)
		県との差	-1.1 (-4.7)	-0.3 (-3.1)	-0.8 (-2.0)	15.0 (-3.9)	4.6 (8.7)	-6.4 (-12.9)	4.6 (12.4)	3.2 (-2.7)	-3.5 (-2.0)	0.1 (-3.0)
		全国との差	0.2 (-2.7)	1.0 (-1.1)	0.5 (0.0)	16.3 (-1.9)	5.9 (10.7)	-5.1 (-10.9)	5.9 (14.4)	4.5 (-0.7)	-2.2 (0.0)	1.4 (-1.0)
③	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合(質問番号(1)朝食を毎日食べていますか、質問番号(2)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、質問番号(3)毎日、同じくらいの時刻に起きていますかの「している+どちらかといえば、している」の割合の平均)	割合	82.3 (83.5)	86.8 (86.1)	87.0 (86.0)	88.6 (86.8)	91.1 (84.0)	86.8 (86.3)	92.7 (93.3)	87.4 (86.9)	91.0 (90.0)	88.9 (78.0)
		県との差	-4.5 (-3.3)	0.0 (-0.8)	0.2 (-0.8)	1.8 (-0.1)	4.3 (-2.8)	0.1 (-0.6)	5.9 (6.5)	0.6 (0.0)	4.3 (3.1)	2.1 (-8.9)
		全国との差	-4.6 (-3.0)	-0.2 (-0.5)	0.1 (-0.5)	1.6 (0.2)	4.2 (-2.5)	-0.1 (-0.3)	5.8 (6.8)	0.5 (0.3)	4.1 (3.4)	1.9 (-8.6)
④	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。 (質問番号(20))「している+どちらかといえば、している」	割合	48.8 (43.7)	51.5 (51.1)	54.2 (46.9)	50.1 (25.6)	59.1 (51.3)	47.7 (46.9)	65.8 (56.9)	51.7 (41.0)	57.4 (54.1)	43.1 (30.4)
		県との差	-2.2 (-3.6)	0.5 (3.8)	3.2 (-0.4)	-0.9 (-21.7)	8.1 (4.0)	-3.3 (-0.4)	14.8 (9.6)	0.7 (-6.3)	6.4 (6.8)	-7.9 (-16.9)
		全国との差	0.0 (-2.9)	2.7 (4.5)	5.4 (0.3)	1.3 (-21.0)	10.3 (4.7)	-1.1 (0.3)	17.0 (10.3)	2.9 (-5.6)	8.6 (7.5)	-5.7 (-16.2)
⑤	家で、学校の宿題をしていますか。 (質問番号(21))「している+どちらかといえば、している」	割合	89.4 (84.2)	92.4 (90.6)	90.0 (83.7)	100.0 (79.1)	97.6 (93.1)	95.3 (89.4)	95.9 (93.9)	89.8 (85.2)	85.9 (80.2)	87.5 (78.5)
		県との差	-1.5 (-3.5)	1.5 (2.9)	-0.9 (-4.0)	9.1 (-8.6)	6.7 (5.4)	4.4 (1.7)	5.0 (6.2)	-1.1 (-2.5)	-5.0 (-7.5)	-3.4 (-9.2)
		全国との差	0.1 (-4.0)	3.1 (2.4)	0.7 (-4.5)	10.7 (-9.1)	8.3 (4.9)	6.0 (1.2)	6.6 (5.7)	0.5 (-3.0)	-3.4 (-8.0)	-1.8 (-9.7)
⑥	家で、学校の授業の予習をしていますか。 (質問番号(22))「している+どちらかといえば、している」	割合	38.7 (31.6)	42.2 (40.8)	36.8 (26.3)	34.4 (13.9)	37.8 (18.8)	48.1 (35.3)	49.3 (30.8)	45.1 (28.5)	43.9 (39.1)	20.9 (23.2)
		県との差	1.3 (-3.0)	4.8 (6.2)	-0.6 (-8.3)	-3.0 (-20.7)	0.4 (-15.8)	10.7 (0.7)	11.9 (-3.8)	7.7 (-6.1)	6.5 (4.5)	-16.5(-11.4)
		全国との差	3.4 (-2.6)	6.9 (6.6)	1.5 (-7.9)	-0.9 (-20.3)	2.5 (-15.4)	12.8 (1.1)	14.0 (-3.4)	9.8 (-5.7)	8.6 (4.9)	-14.4(-11.0)
⑦	家で、学校の授業の復習をしていますか。 (質問番号(23))「している+どちらかといえば、している」	割合	46.9 (39.7)	46.1 (44.8)	50.1 (43.4)	40.7 (27.9)	52.0 (50.4)	55.3 (46.0)	60.3 (50.8)	48.7 (40.0)	54.3 (43.8)	31.9 (26.8)
		県との差	-2.0 (-5.8)	-2.8 (-0.7)	1.2 (-2.1)	-8.2 (-17.6)	3.1 (4.9)	6.4 (0.5)	11.4 (5.3)	-0.2 (-5.5)	5.4 (-1.7)	-17.0(-18.7)
		全国との差	-5.1 (-10.7)	-5.9 (-5.6)	-1.9 (-7.0)	-11.3(-22.5)	0.0 (0.0)	3.3 (-4.4)	8.3 (0.4)	-3.3 (-10.4)	2.3 (-6.6)	-20.1(-23.6)
⑧	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。 (質問番号(17))「月に1~3回以上行く」	割合	18.7 (10.7)	21.0 (20.1)	17.1 (21.7)	50.0 (44.2)	39.4 (41.8)	29.0 (34.9)	38.3 (33.9)	20.3 (19.8)	18.3 (15.7)	19.4 (19.6)
		県との差	1.3 (-7.7)	3.6 (1.7)	-0.3 (3.3)	32.6 (25.8)	22.0 (23.4)	11.6 (16.5)	20.9 (15.5)	2.9 (1.4)	0.9 (-2.7)	2.0 (1.2)
		全国との差	-0.9 (-8.2)	1.4 (1.2)	-2.5 (2.8)	30.4 (25.3)	19.8 (22.9)	9.4 (16.0)	18.7 (15.0)	0.7 (0.9)	-1.3 (-3.2)	-0.2 (0.7)
⑨	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。 (質問番号(19))「よく来る+時々来る」	割合	83.0 (80.1)	76.6 (74.9)	78.4 (76.7)	93.8 (86.0)	89.7 (88.0)	81.7 (84.5)	90.4 (97.0)	86.1 (82.9)	85.9 (83.5)	88.8 (87.5)
		県との差	4.1 (1.3)	-2.3 (-3.9)	-0.5 (-2.1)	14.9 (7.2)	10.8 (9.2)	2.8 (5.7)	11.5 (18.2)	7.2 (4.1)	7.0 (4.7)	9.9 (8.7)
		全国との差	-0.4 (-3.0)	-6.8 (-8.2)	-5.0 (-6.4)	10.4 (2.9)	6.3 (4.9)	-1.7 (1.4)	7.0 (13.9)	2.7 (-0.2)	2.5 (0.4)	5.4 (4.4)
⑩	今住んでいる地域の行事に参加していますか。 (質問番号(27))「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	69.5 (69.5)	48.4 (44.2)	50.1 (52.0)	87.5 (74.4)	55.2 (64.1)	63.4 (58.0)	79.5 (67.7)	55.8 (52.7)	59.7 (51.3)	65.2 (64.3)
		県との差	18.8 (19.1)	-2.3 (-6.2)	-0.6 (1.6)	36.8 (24.0)	4.5 (13.7)	12.7 (7.6)	28.8 (17.3)	5.1 (2.3)	9.0 (0.9)	14.5 (13.9)
		全国との差	24.7 (26.0)	3.6 (0.7)	5.3 (8.5)	42.7 (30.9)	10.4 (20.6)	18.6 (14.5)	34.7 (24.2)	11.0 (9.2)	14.9 (7.8)	20.4 (20.8)
⑪	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く) (質問番号(10))「3時間以上」	割合	31.5 (40.5)	32.9 (35.9)	33.2 (37.1)	31.3 (34.9)	23.6 (24.8)	35.3 (34.1)	28.8 (38.5)	30.7 (39.2)	31.7 (32.2)	37.5 (41.1)
		県との差	-0.9 (5.3)	0.5 (0.7)	0.8 (1.9)	-1.1 (-0.3)	-8.8 (-10.4)	2.9 (-1.1)	-3.6 (3.3)	-1.7 (4.0)	-0.7 (-3.0)	5.1 (5.9)
		全国との差	1.0 (9.0)	2.4 (4.4)	2.7 (5.6)	0.8 (3.4)	-6.9 (-6.7)	4.8 (2.6)	-1.7 (7.0)	0.2 (7.7)	1.2 (0.7)	7.0 (9.6)
⑫	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。 (質問番号(11))「3時間以上」	割合	24.3 (30.2)	22.3 (23.7)	25.2 (28.5)	12.6 (21.0)	20.4 (14.5)	22.5 (23.0)	15.1 (13.9)	21.0 (26.5)	29.9 (21.9)	26.4 (26.7)
		県との差	1.4 (6.2)	-0.6 (-0.3)	2.3 (4.5)	-10.3(-3.0)	-2.5 (-9.5)	-0.4 (-1.0)	-7.8 (-10.1)	-1.9 (2.5)	7.0 (-2.1)	3.5 (2.7)
		全国との差	3.8 (9.9)	1.8 (3.4)	4.7 (8.2)	-7.9 (0.7)	-0.1 (-5.8)	2.0 (2.7)	-5.4 (-6.4)	0.5 (6.2)	9.4 (1.6)	5.9 (6.4)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		亀山市	津市	松阪市	多気町	多気松阪	明和町	大台町	伊勢市	玉城町	大紀町
⑬	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)([質問番号12])「3時間以上」	割合	20.2 (25.6)	21.6 (25.1)	25.9 (28.2)	12.5 (14.0)	15.0 (19.7)	20.0 (25.6)	16.4 (17.0)	20.9 (25.0)	24.4 (26.0)	23.6 (19.6)
		県との差	-1.3 (1.1)	0.1 (0.6)	4.4 (3.7)	-9.0 (-10.5)	-6.5 (-4.8)	-1.5 (1.1)	-5.1 (-7.5)	-0.6 (0.5)	2.9 (1.5)	2.1 (-4.9)
		全国との差	2.0 (5.8)	3.4 (5.3)	7.7 (8.4)	-5.7 (-5.8)	-3.2 (-0.1)	1.8 (5.8)	-1.8 (-2.8)	2.7 (5.2)	6.2 (6.2)	5.4 (-0.2)
⑭	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)([質問番号13])「1時間以上」	割合	61.7 (62.8)	65.9 (65.3)	70.2 (65.0)	78.2 (60.5)	73.3 (69.3)	70.7 (58.4)	76.7 (75.4)	67.5 (63.6)	70.7 (62.3)	66.7 (73.2)
		県との差	-4.8 (-1.6)	-0.6 (0.9)	3.7 (0.6)	11.7 (-3.9)	6.8 (4.9)	4.2 (-6.0)	10.2 (11.0)	1.0 (-0.8)	4.2 (-2.1)	0.2 (8.8)
		全国との差	-7.3 (-5.1)	-3.1 (-2.6)	1.2 (-2.9)	9.2 (-7.4)	4.3 (1.4)	1.7 (-9.5)	7.7 (7.5)	-1.5 (-4.3)	1.7 (-5.6)	-2.3 (5.3)
⑮	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)([質問番号14])「3時間以上」と回答した割合	割合	10.1 (14.3)	13.2 (12.9)	13.9 (11.3)	0.0 (16.3)	12.5 (15.4)	6.4 (3.5)	16.4 (9.2)	13.1 (10.0)	7.9 (10.3)	9.7 (8.9)
		県との差	-2.8 (1.7)	0.3 (0.3)	1.0 (-1.3)	-12.9 (3.7)	-0.4 (2.8)	-6.5 (-9.1)	3.5 (-3.4)	0.2 (-2.6)	-5.0 (-2.3)	-3.2 (-3.7)
		全国との差	-7.6 (-2.6)	-4.5 (-4.0)	-3.8 (-5.6)	-17.7 (-0.6)	-5.2 (-1.5)	-11.3(-13.4)	-1.3 (-7.7)	-4.6 (-6.9)	-9.8 (-6.6)	-8.0 (-8.0)
⑯	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(「質問番号34」)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	92.3 (91.5)	94.5 (92.8)	94.3 (90.4)	93.8 (81.4)	97.6 (94.9)	94.4 (96.0)	100.0 (95.4)	94.1 (92.6)	93.3 (95.2)	95.8 (91.1)
		県との差	-1.6 (-1.3)	0.6 (0.0)	0.4 (-2.4)	-0.1 (-11.4)	3.7 (2.1)	0.5 (3.2)	6.1 (2.6)	0.2 (-0.2)	-0.6 (2.4)	1.9 (-1.7)
		全国との差	-1.4 (-1.9)	0.8 (-0.6)	0.6 (-3.0)	0.1 (-12.0)	3.9 (1.5)	0.7 (2.6)	6.3 (2.0)	0.4 (-0.8)	-0.4 (1.8)	2.1 (-2.3)
⑰	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。(「質問番号37」)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	48.1 (44.2)	50.6 (46.4)	46.7 (46.3)	87.6 (46.6)	46.5 (61.5)	42.5 (36.7)	75.3 (58.4)	53.2 (42.6)	40.2 (61.6)	44.4 (39.3)
		県との差	-0.8 (-2.0)	1.7 (0.2)	-2.2 (0.1)	38.7 (0.4)	-2.4 (15.3)	-6.4 (-9.5)	26.4 (12.2)	4.3 (-3.6)	-8.7 (15.4)	-4.5 (-6.9)
		全国との差	-9.9 (-10.6)	-7.4 (-8.4)	-11.3 (-8.5)	29.6 (-8.2)	-11.5 (6.7)	-15.5(-18.1)	17.3 (3.6)	-4.8 (-12.2)	-17.8 (6.8)	-13.6(-15.5)
⑱	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。(「質問番号41」)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	77.6 (54.5)	77.2 (55.6)	81.5 (67.8)	93.7 (39.6)	75.6 (78.6)	68.1 (46.4)	86.3 (70.8)	67.2 (55.9)	77.4 (84.9)	68.0 (44.7)
		県との差	2.1 (-7.6)	1.7 (-6.5)	6.0 (5.7)	18.2 (-22.5)	0.1 (16.5)	-7.4 (-15.7)	10.8 (8.7)	-8.3 (-6.2)	1.9 (22.8)	-7.5 (-17.4)
		全国との差	-2.1 (-17.0)	-2.5 (-15.9)	1.8 (-3.7)	14.0 (-31.9)	-4.1 (7.1)	-11.6(-25.1)	6.6 (-0.7)	-12.5(-15.6)	-2.3 (13.4)	-11.7(-26.8)
⑲	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。(「質問番号42」)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	65.9 (48.1)	57.0 (45.8)	56.9 (47.8)	65.7 (30.3)	59.9 (76.1)	64.2 (56.7)	64.4 (56.9)	52.5 (42.5)	67.0 (71.3)	65.3 (50.0)
		県との差	7.6 (-3.3)	-1.3 (-5.6)	-1.4 (-3.6)	7.4 (-21.1)	1.6 (24.7)	5.9 (5.3)	6.1 (5.5)	-5.8 (-8.9)	8.7 (19.9)	7.0 (-1.4)
		全国との差	6.6 (-5.2)	-2.3 (-7.5)	-2.4 (-5.5)	6.4 (-23.0)	0.6 (22.8)	4.9 (3.4)	5.1 (3.6)	-6.8 (-10.8)	7.7 (18.0)	6.0 (-3.3)
⑳	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。(「質問番号53」)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」	割合	58.1 (52.9)	53.5 (47.7)	52.9 (49.7)	53.1 (41.9)	56.7 (56.4)	48.1 (51.8)	69.8 (69.2)	56.7 (52.2)	64.0 (67.8)	54.2 (39.3)
		県との差	3.0 (-0.3)	-1.6 (-5.5)	-2.2 (-3.5)	-2.0 (-11.3)	1.6 (3.2)	-7.0 (-1.4)	14.7 (16.0)	1.6 (-1.0)	8.9 (14.6)	-0.9 (-13.9)
		全国との差	-1.1 (-3.2)	-5.7 (-8.4)	-6.3 (-6.4)	-6.1 (-14.2)	-2.5 (0.3)	-11.1(-4.3)	10.6 (13.1)	-2.5 (-3.9)	4.8 (11.7)	-5.0 (-16.8)
㉑	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。(「質問番号51」)「よく行った+行った」	割合	100.0(100.0)	90.9 (90.9)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	0.0 (100.0)	0.0 (100.0)	100.0(100.0)	100.0 (83.3)	100.0 (0.0)	100.0(100.0)
		県との差	5.6 (8.6)	-3.5 (-0.5)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)	-94.4 (8.6)	-94.4 (8.6)	5.6 (8.6)	5.6 (-8.1)	5.6 (-91.4)	5.6 (8.6)
		全国との差	6.8 (9.6)	-2.3 (0.5)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)	-93.2 (9.6)	-93.2 (9.6)	6.8 (9.6)	6.8 (-7.1)	6.8 (-90.4)	6.8 (9.6)
㉒	小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。(「質問番号25」)「学期に数回程度以上行った」	割合	66.7 (66.7)	45.5 (36.4)	25.0 (66.7)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	0.0 (0.0)	0.0 (33.3)	33.3 (16.6)	100.0 (0.0)	100.0(100.0)
		県との差	22.0 (27.2)	0.8 (-3.1)	-19.7 (27.2)	55.3 (60.5)	55.3 (60.5)	-44.7(-39.5)	-44.7(-6.2)	-11.4(-22.9)	55.3 (-39.5)	55.3 (60.5)
		全国との差	21.8 (24.5)	0.6 (-5.8)	-19.9 (24.5)	55.1 (57.8)	55.1 (57.8)	-44.9(-42.2)	-44.9(-8.9)	-11.6(-25.6)	55.1 (-42.2)	55.1 (57.8)
㉓	小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。(「質問番号26」)「週に2~3回以上行った」	割合	66.7 (0.0)	4.5 (4.5)	16.7 (16.7)	0.0 (0.0)	100.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (33.3)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (50.0)
		県との差	53.0 (-11.8)	-9.2 (-7.3)	3.0 (4.9)	-13.7(-11.8)	86.3 (-11.8)	-13.7(-11.8)	-13.7 (21.5)	-13.7(-11.8)	-13.7(-11.8)	-13.7 (38.2)
		全国との差	51.8 (-14.1)	-10.4 (-9.6)	1.8 (2.6)	-14.9(-14.1)	85.1 (-14.1)	-14.9(-14.1)	-14.9 (19.2)	-14.9(-14.1)	-14.9(-14.1)	-14.9 (35.9)
㉔	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。(「質問番号112」)「中学校(110)」週に2~3日程度以上」	割合	100.0(100.0)	81.9 (77.2)	83.3 (41.6)	100.0 (0.0)	100.0 (0.0)	100.0 (0.0)	50.0 (66.7)	75.0 (66.6)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
		県との差	18.6 (30.8)	0.5 (8.0)	1.9 (-27.6)	18.6 (-69.2)	18.6 (-69.2)	18.6 (-69.2)	-31.4 (-2.5)	-6.4 (-2.6)	18.6 (30.8)	18.6 (30.8)
		全国との差	18.6 (20.7)	0.5 (-2.1)	1.9 (-37.7)	18.6 (-79.3)	18.6 (-79.3)	18.6 (-79.3)	-31.4(-12.6)	-6.4 (-12.7)	18.6 (20.7)	18.6 (20.7)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

番号	質問事項		南伊勢町	度会町	鳥羽市	志摩市	伊賀市	名張市	尾鷲市	紀北町	熊野市	御浜町	紀宝町
①	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合 〔質問番号(5)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」と質問番号(9)「将来の夢や目標を持っているか」の「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」の比率の平均〕	割合	76.3 (75.6)	70.0 (70.3)	72.7 (68.9)	64.5 (68.5)	70.2 (72.7)	73.0 (73.3)	69.2 (69.3)	68.2 (68.2)	59.9 (69.9)	71.3 (60.5)	69.0 (74.1)
		県との差	5.6 (5.0)	-0.8 (-0.2)	2.0 (-1.7)	-6.3 (-2.1)	-0.5 (2.1)	2.3 (2.7)	-1.6 (-1.3)	-2.5 (-2.4)	-10.9 (-0.7)	0.6 (-10.1)	-1.8 (3.6)
		全国との差	6.1 (5.8)	-0.3 (0.6)	2.4 (-0.9)	-5.8 (-1.3)	-0.1 (3.0)	2.8 (3.6)	-1.1 (-0.4)	-2.1 (-1.6)	-10.4 (0.1)	1.1 (-9.3)	-1.3 (4.4)
②	自分には、よいところがあると思いますか。〔質問番号(6)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	78.5 (83.3)	61.3 (52.1)	66.5 (67.7)	55.5 (64.8)	70.8 (75.0)	71.1 (70.5)	70.2 (60.1)	70.5 (68.8)	52.8 (65.3)	64.9 (57.2)	62.9 (56.1)
		県との差	9.1 (14.2)	-8.1 (-17.0)	-2.9 (-1.4)	-13.9 (-4.3)	1.4 (5.9)	1.7 (1.4)	0.8 (-9.0)	1.1 (-0.3)	-16.6 (-3.8)	-4.5 (-11.9)	-6.5 (-13.0)
		全国との差	10.4 (16.2)	-6.8 (-15.0)	-1.6 (0.6)	-12.6 (-2.3)	2.7 (7.9)	3.0 (3.4)	2.1 (-7.0)	2.4 (1.7)	-15.3 (-1.8)	-3.2 (-9.9)	-5.2 (-11.0)
③	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合〔質問番号(1)朝食を毎日食べていますか、質問番号(2)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、質問番号(3)毎日、同じくらいの時刻に起きていますかの「している+どちらかといえば、している」の割合の平均〕	割合	88.5 (87.0)	88.2 (86.8)	89.6 (85.2)	83.1 (87.1)	87.9 (86.3)	86.2 (88.8)	85.1 (87.2)	86.4 (85.0)	82.4 (88.4)	88.7 (86.2)	86.4 (82.8)
		県との差	1.8 (0.1)	1.5 (-0.1)	2.8 (-1.7)	-3.7 (0.2)	1.1 (-0.6)	-0.5 (2.0)	-1.7 (0.3)	-0.4 (-1.8)	-4.4 (1.5)	1.9 (-0.7)	-0.3 (-4.1)
		全国との差	1.6 (0.4)	1.3 (0.2)	2.6 (-1.4)	-3.8 (0.5)	1.0 (-0.3)	-0.7 (2.3)	-1.8 (0.6)	-0.6 (-1.5)	-4.5 (1.8)	1.7 (-0.4)	-0.5 (-3.8)
④	家で、自分で計画を立てて勉強していますか。〔質問番号(20)「している+どちらかといえば、している」〕	割合	63.5 (51.0)	51.1 (40.6)	62.8 (46.7)	41.7 (39.6)	55.7 (50.2)	49.8 (50.3)	46.8 (52.9)	50.0 (48.8)	33.8 (47.5)	56.4 (18.2)	33.3 (37.7)
		県との差	12.5 (3.7)	0.1 (-6.7)	11.8 (-0.6)	-9.3 (-7.7)	4.7 (2.9)	-1.2 (3.0)	-4.2 (5.6)	-1.0 (1.5)	-17.2 (0.2)	5.4 (-29.1)	-17.7 (-9.6)
		全国との差	14.7 (4.4)	2.3 (-6.0)	14.0 (0.1)	-7.1 (-7.0)	6.9 (3.6)	1.0 (3.7)	-2.0 (6.3)	1.2 (2.2)	-15.0 (0.9)	7.6 (-28.4)	-15.5 (-8.9)
⑤	家で、学校の宿題をしていますか。〔質問番号(21)「している+どちらかといえば、している」〕	割合	81.7 (93.2)	75.0 (75.0)	92.7 (92.8)	84.8 (89.0)	90.9 (88.4)	94.3 (92.1)	91.5 (87.6)	94.0 (80.0)	77.2 (83.0)	93.6 (76.6)	83.3 (72.8)
		県との差	-9.2 (5.5)	-15.9 (-12.7)	1.8 (5.1)	-6.1 (1.3)	0.0 (0.7)	3.4 (4.4)	0.6 (-0.1)	3.1 (-7.7)	-13.7 (-4.7)	2.7 (-11.1)	-7.6 (-14.9)
		全国との差	-7.6 (5.0)	-14.3 (-13.2)	3.4 (4.6)	-4.5 (0.8)	1.6 (0.2)	5.0 (3.9)	2.2 (-0.6)	4.7 (-8.2)	-12.1 (-5.2)	4.3 (-11.6)	-6.0 (-15.4)
⑥	家で、学校の授業の予習をしていますか。〔質問番号(22)「している+どちらかといえば、している」〕	割合	39.8 (36.3)	25.0 (30.2)	32.1 (30.6)	23.7 (27.4)	43.3 (39.6)	35.9 (36.2)	41.9 (35.9)	37.9 (16.3)	11.8 (21.3)	24.4 (6.5)	16.7 (20.2)
		県との差	2.4 (1.7)	-12.4 (-4.4)	-5.3 (-4.0)	-13.7 (-7.2)	5.9 (5.0)	-1.5 (1.6)	4.5 (1.3)	0.5 (-18.3)	-25.6 (-13.3)	-13.0 (-28.1)	-20.7 (-14.4)
		全国との差	4.5 (2.1)	-10.3 (-4.0)	-3.2 (-3.6)	-11.6 (-6.8)	8.0 (5.4)	0.6 (2.0)	6.6 (1.7)	2.6 (-17.9)	-23.5 (-12.9)	-10.9 (-27.7)	-18.6 (-14.0)
⑦	家で、学校の授業の復習をしていますか。〔質問番号(23)「している+どちらかといえば、している」〕	割合	49.5 (49.0)	51.1 (34.3)	47.5 (43.8)	34.6 (40.8)	53.5 (49.6)	43.2 (48.9)	66.0 (59.4)	40.9 (31.9)	32.3 (34.7)	54.2 (22.1)	27.8 (20.1)
		県との差	0.6 (3.5)	2.2 (-11.2)	-1.4 (-1.7)	-14.3 (-4.7)	4.6 (4.1)	-5.7 (3.4)	17.1 (13.9)	-8.0 (-13.6)	-16.6 (-10.8)	5.3 (-23.4)	-21.1 (-25.4)
		全国との差	-2.5 (-1.4)	-0.9 (-16.1)	-4.5 (-6.6)	-17.4 (-9.6)	1.5 (-0.8)	-8.8 (-1.5)	14.0 (9.0)	-11.1 (-18.5)	-19.7 (-15.7)	2.2 (-28.3)	-24.2 (-30.3)
⑧	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。〔質問番号(17)「月に1~3回以上行く」〕	割合	24.8 (34.2)	17.0 (23.9)	22.7 (22.8)	16.5 (22.3)	14.7 (15.4)	16.2 (12.7)	22.7 (17.6)	28.8 (22.6)	15.8 (21.3)	23.4 (15.6)	30.6 (31.6)
		県との差	7.4 (15.8)	-0.4 (5.5)	5.3 (4.4)	-0.9 (3.9)	-2.7 (-3.0)	-1.2 (-5.7)	5.3 (-0.8)	11.4 (4.2)	-1.6 (2.9)	6.0 (-2.8)	13.2 (13.2)
		全国との差	5.2 (15.3)	-2.6 (5.0)	3.1 (3.9)	-3.1 (3.4)	-4.9 (-3.5)	-3.4 (-6.2)	3.1 (-1.3)	9.2 (3.7)	-3.8 (2.4)	3.8 (-3.3)	11.0 (12.7)
⑨	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。〔質問番号(19)「よく来る+時々来る」〕	割合	93.6 (94.1)	83.0 (82.3)	92.0 (82.8)	81.1 (87.6)	76.2 (72.1)	67.7 (69.9)	84.4 (85.0)	90.9 (90.7)	82.7 (85.8)	76.6 (85.8)	73.2 (76.3)
		県との差	14.7 (15.3)	4.1 (3.5)	13.1 (4.0)	2.2 (8.8)	-2.7 (-6.7)	-11.2 (-8.9)	5.5 (6.2)	12.0 (11.9)	3.8 (7.0)	-2.3 (7.0)	-5.7 (-2.5)
		全国との差	10.2 (11.0)	-0.4 (-0.8)	8.6 (-0.3)	-2.3 (4.5)	-7.2 (-11.0)	-15.7 (-13.2)	1.0 (1.9)	7.5 (7.6)	-0.7 (2.7)	-6.8 (2.7)	-10.2 (-6.8)
⑩	今住んでいる地域の行事に参加していますか。〔質問番号(27)「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	80.6 (71.6)	37.5 (51.1)	56.2 (64.4)	63.9 (72.3)	53.2 (57.3)	44.2 (45.1)	48.3 (45.8)	50.7 (52.5)	40.9 (50.3)	43.7 (39.0)	50.0 (49.1)
		県との差	29.9 (21.2)	-13.2 (0.7)	5.5 (14.0)	13.2 (21.9)	2.5 (6.9)	-6.5 (-5.3)	-2.4 (-4.6)	0.0 (2.1)	-9.8 (-0.1)	-7.0 (-11.4)	-0.7 (-1.3)
		全国との差	35.8 (28.1)	-7.3 (7.6)	11.4 (20.9)	19.1 (28.8)	8.4 (13.8)	-0.6 (1.6)	3.5 (2.3)	5.9 (9.0)	-3.9 (6.8)	-1.1 (-4.5)	5.2 (5.6)
⑪	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く)〔質問番号(10)「3時間以上」〕	割合	30.1 (40.2)	35.2 (30.2)	32.1 (35.5)	33.4 (39.4)	36.1 (41.1)	35.0 (39.9)	29.8 (31.4)	32.5 (38.8)	37.8 (32.6)	30.8 (41.6)	30.6 (41.2)
		県との差	-2.3 (5.0)	2.8 (-5.0)	-0.3 (0.3)	1.0 (4.2)	3.7 (5.9)	2.6 (4.7)	-2.6 (-3.8)	0.1 (3.6)	5.4 (-2.6)	-1.6 (6.4)	-1.8 (6.0)
		全国との差	-0.4 (8.7)	4.7 (-1.3)	1.6 (4.0)	2.9 (7.9)	5.6 (9.6)	4.5 (8.4)	-0.7 (-0.1)	2.0 (7.3)	7.3 (1.1)	0.3 (10.1)	0.1 (9.7)
⑫	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。〔質問番号(11)「3時間以上」〕	割合	22.6 (17.7)	25.0 (24.0)	24.8 (27.7)	28.4 (21.4)	22.1 (28.8)	23.5 (25.9)	27.0 (30.7)	21.3 (28.7)	26.8 (16.3)	17.0 (29.9)	29.6 (22.8)
		県との差	-0.3 (-6.3)	2.1 (0.0)	1.9 (3.7)	5.5 (-2.6)	-0.8 (4.8)	0.6 (1.9)	4.1 (6.7)	-1.6 (4.7)	3.9 (-7.7)	-5.9 (5.9)	6.7 (-1.2)
		全国との差	2.1 (-2.6)	4.5 (3.7)	4.3 (7.4)	7.9 (1.1)	1.6 (8.5)	3.0 (5.6)	6.5 (10.4)	0.8 (8.4)	6.3 (-4.0)	-3.5 (9.6)	9.1 (2.5)

※表中の () の値は、平成 26 年度の値です。

番号	質問事項		南伊勢町	度会町	鳥羽市	志摩市	伊賀市	名張市	尾鷲市	紀北町	熊野市	御浜町	紀宝町
生徒質問紙	⑬ 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)〔質問番号(12)「3時間以上」〕	割合	21.6 (15.6)	22.7 (27.0)	21.2 (23.9)	27.1 (23.6)	19.8 (28.5)	24.5 (29.4)	31.2 (27.5)	21.9 (31.2)	27.6 (27.0)	14.9 (16.9)	31.5 (36.0)
		県との差	0.1 (-8.9)	1.2 (2.5)	-0.3 (-0.6)	5.6 (-0.9)	-1.7 (4.0)	3.0 (4.9)	9.7 (3.0)	0.4 (6.7)	6.1 (2.5)	-6.6 (-7.6)	10.0 (11.5)
		全国との差	3.4 (-4.2)	4.5 (7.2)	3.0 (4.1)	8.9 (3.8)	1.6 (8.7)	6.3 (9.6)	13.0 (7.7)	3.7 (11.4)	9.4 (7.2)	-3.3 (-2.9)	13.3 (16.2)
	⑭ 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)〔質問番号(13)「1時間以上」〕	割合	65.6 (60.7)	63.6 (62.5)	77.3 (68.9)	57.6 (55.7)	68.7 (60.5)	63.5 (60.9)	75.1 (73.9)	71.9 (67.5)	61.4 (48.2)	43.7 (50.7)	47.2 (54.4)
		県との差	-0.9 (-3.7)	-2.9 (-1.9)	10.8 (4.5)	-8.9 (-8.7)	2.2 (-3.9)	-3.0 (-3.5)	8.6 (9.5)	5.4 (3.1)	-5.1 (-16.2)	-22.8 (-13.7)	-19.3 (-10.0)
		全国との差	-3.4 (-7.2)	-5.4 (-5.4)	8.3 (1.0)	-11.4 (-12.2)	-0.3 (-7.4)	-5.5 (-7.0)	6.1 (6.0)	2.9 (-0.4)	-7.6 (-19.7)	-25.3 (-17.2)	-21.8 (-13.5)
	⑮ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)〔質問番号(14)「3時間以上」と回答した割合〕	割合	7.6 (16.7)	13.6 (11.5)	13.8 (11.7)	10.9 (7.9)	12.2 (13.2)	11.2 (13.3)	9.2 (8.5)	6.0 (7.6)	3.2 (5.0)	2.2 (1.3)	4.7 (4.4)
		県との差	-5.3 (4.1)	0.7 (-1.1)	0.9 (-0.9)	-2.0 (-4.7)	-0.7 (0.6)	-1.7 (0.7)	-3.7 (-4.1)	-6.9 (-5.0)	-9.7 (-7.6)	-10.7 (-11.3)	-8.2 (-8.2)
		全国との差	-10.1 (-0.2)	-4.1 (-5.4)	-3.9 (-5.2)	-6.8 (-9.0)	-5.5 (-3.7)	-6.5 (-3.6)	-8.5 (-8.4)	-11.7 (-9.3)	-14.5 (-11.9)	-15.5 (-15.6)	-13.0 (-12.5)
	⑯ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。〔質問番号(34)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	92.5 (90.2)	90.9 (94.8)	97.1 (91.6)	91.2 (94.4)	95.0 (94.9)	94.0 (93.9)	93.0 (90.2)	95.5 (95.7)	85.0 (95.8)	96.8 (92.2)	94.5 (94.7)
		県との差	-1.4 (-2.6)	-3.0 (2.0)	3.2 (-1.2)	-2.7 (1.6)	1.1 (2.1)	0.1 (1.1)	-0.9 (-2.6)	1.6 (2.9)	-8.9 (3.0)	2.9 (-0.6)	0.6 (1.9)
		全国との差	-1.2 (-3.2)	-2.8 (1.4)	3.4 (-1.8)	-2.5 (1.0)	1.3 (1.5)	0.3 (0.5)	-0.7 (-3.2)	1.8 (2.3)	-8.7 (2.4)	3.1 (-1.2)	0.8 (1.3)
⑰ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(37)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	74.2 (58.8)	53.4 (46.9)	53.3 (55.5)	49.2 (54.3)	47.2 (45.1)	45.3 (42.9)	48.2 (45.1)	54.6 (43.1)	34.7 (36.2)	43.6 (62.4)	38.0 (41.2)	
	県との差	25.3 (12.6)	4.5 (0.7)	4.4 (9.3)	0.3 (8.1)	-1.7 (-1.1)	-3.6 (-3.3)	-0.7 (-1.1)	5.7 (-3.1)	-14.2 (-10.0)	-5.3 (16.2)	-10.9 (-5.0)	
	全国との差	16.2 (4.0)	-4.6 (-7.9)	-4.7 (0.7)	-8.8 (-0.5)	-10.8 (-9.7)	-12.7 (-11.9)	-9.8 (-9.7)	-3.4 (-11.7)	-23.3 (-18.6)	-14.4 (7.6)	-20.0 (-13.6)	
⑱ 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。〔質問番号(41)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	86.0 (81.4)	61.4 (45.9)	86.1 (64.5)	72.6 (65.5)	70.1 (67.6)	84.5 (63.4)	70.2 (61.4)	91.6 (72.5)	82.7 (53.9)	73.4 (59.8)	82.4 (56.1)	
	県との差	10.5 (19.3)	-14.1 (-16.2)	10.6 (2.4)	-2.9 (3.4)	-5.4 (5.5)	9.0 (1.3)	-5.3 (-0.7)	16.1 (10.4)	7.2 (-8.2)	-2.1 (-2.3)	6.9 (-6.0)	
	全国との差	6.3 (9.9)	-18.3 (-25.6)	6.4 (-7.0)	-7.1 (-6.0)	-9.6 (-3.9)	4.8 (-8.1)	-9.5 (-10.1)	11.9 (1.0)	3.0 (-17.6)	-6.3 (-11.7)	2.7 (-15.4)	
⑲ 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(42)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	81.7 (72.6)	51.1 (41.7)	76.6 (56.7)	50.5 (52.3)	53.0 (52.1)	62.3 (51.0)	49.7 (46.4)	84.0 (60.0)	54.4 (41.9)	46.9 (29.9)	56.5 (46.5)	
	県との差	23.4 (21.2)	-7.2 (-9.7)	18.3 (5.3)	-7.8 (0.9)	-5.3 (0.7)	4.0 (-0.4)	-8.6 (-5.0)	25.7 (8.6)	-3.9 (-9.5)	-11.4 (-21.5)	-1.8 (-4.9)	
	全国との差	22.4 (19.3)	-8.2 (-11.6)	17.3 (3.4)	-8.8 (-1.0)	-6.3 (-1.2)	3.0 (-2.3)	-9.6 (-6.9)	24.7 (6.7)	-4.9 (-11.4)	-12.4 (-23.4)	-2.8 (-6.8)	
⑳ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。〔質問番号(53)「当てはまる＋どちらかといえば、当てはまる」〕	割合	73.1 (74.5)	50.0 (50.0)	54.7 (53.9)	50.6 (58.4)	50.6 (53.3)	59.3 (57.6)	60.3 (47.7)	68.9 (43.8)	48.0 (48.2)	54.3 (57.2)	43.6 (53.5)	
	県との差	18.0 (21.3)	-5.1 (-3.2)	-0.4 (0.7)	-4.5 (5.2)	-4.5 (0.1)	4.2 (4.4)	5.2 (-5.5)	13.8 (-9.4)	-7.1 (-5.0)	-0.8 (4.0)	-11.5 (0.3)	
	全国との差	13.9 (18.4)	-9.2 (-6.1)	-4.5 (-2.2)	-8.6 (2.3)	-8.6 (-2.8)	0.1 (1.5)	1.1 (-8.4)	9.7 (-12.3)	-11.2 (-7.9)	-4.9 (1.1)	-15.6 (-2.6)	
学校質問紙	㉑ 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。〔質問番号(51)「よく行った＋行った」〕	割合	100.0 (100.0)	100.0 (0.0)	100.0 (100.0)	100.0 (85.7)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (50.0)	100.0 (100.0)	85.7 (71.4)	100.0 (100.0)	50.0 (100.0)
		県との差	5.6 (8.6)	5.6 (-91.4)	5.6 (8.6)	5.6 (-5.7)	5.6 (8.6)	5.6 (8.6)	5.6 (-41.4)	5.6 (8.6)	-8.7 (-20.0)	5.6 (8.6)	-44.4 (8.6)
		全国との差	6.8 (9.6)	6.8 (-90.4)	6.8 (9.6)	6.8 (-4.7)	6.8 (9.6)	6.8 (9.6)	6.8 (-40.4)	6.8 (9.6)	-7.5 (-19.0)	6.8 (9.6)	-43.2 (9.6)
	㉒ 小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。〔質問番号(25)「学期に数回程度以上行った」〕	割合	50.0 (0.0)	100.0 (0.0)	80.0 (100.0)	28.6 (0.0)	60.0 (50.0)	80.0 (80.0)	50.0 (0.0)	50.0 (75.0)	14.3 (0.0)	0.0 (33.3)	50.0 (100.0)
		県との差	5.3 (-39.5)	55.3 (-39.5)	35.3 (60.5)	-16.1 (-39.5)	15.3 (10.5)	35.3 (40.5)	5.3 (-39.5)	5.3 (35.5)	-30.4 (-39.5)	-44.7 (-6.2)	5.3 (60.5)
		全国との差	5.1 (-42.2)	55.1 (-42.2)	35.1 (57.8)	-16.3 (-42.2)	15.1 (7.8)	35.1 (37.8)	5.1 (-42.2)	5.1 (32.8)	-30.6 (-42.2)	-44.9 (-8.9)	5.1 (57.8)
	㉓ 小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。〔質問番号(26)「週に2～3回以上行った」〕	割合	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	20.0 (0.0)	14.3 (0.0)	30.0 (10.0)	0.0 (20.0)	0.0 (50.0)	0.0 (0.0)	42.9 (28.6)	33.3 (33.3)	0.0 (0.0)
		県との差	-13.7 (-11.8)	-13.7 (-11.8)	6.3 (-11.8)	0.6 (-11.8)	16.3 (-1.8)	-13.7 (8.2)	-13.7 (38.2)	-13.7 (-11.8)	29.2 (16.8)	19.6 (21.5)	-13.7 (-11.8)
		全国との差	-14.9 (-14.1)	-14.9 (-14.1)	5.1 (-14.1)	-0.6 (-14.1)	15.1 (-4.1)	-14.9 (5.9)	-14.9 (35.9)	-14.9 (-14.1)	28.0 (14.5)	18.4 (19.2)	-14.9 (-14.1)
	㉔ 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号小学校(112)・中学校(110)「週に2～3日程度以上」〕	割合	100.0 (50.0)	100.0 (100.0)	80.0 (60.0)	57.2 (85.8)	80.0 (80.0)	100.0 (100.0)	100.0 (50.0)	100.0 (25.0)	71.5 (42.9)	100.0 (100.0)	50.0 (50.0)
		県との差	18.6 (-19.2)	18.6 (30.8)	-1.4 (-9.2)	-24.2 (16.6)	-1.4 (10.8)	18.6 (30.8)	18.6 (-19.2)	18.6 (-44.2)	-9.9 (-26.3)	18.6 (30.8)	-31.4 (-19.2)
		全国との差	18.6 (-29.3)	18.6 (20.7)	-1.4 (-19.3)	-24.2 (6.5)	-1.4 (0.7)	18.6 (20.7)	18.6 (-29.3)	18.6 (-54.3)	-9.9 (-36.4)	18.6 (20.7)	-31.4 (-29.3)

※表中の () の値は、平成26年度の値です。

2 各市町等別調査の結果・分析と今後の取組

※各市町等に関する調査結果、分析結果及び取組方策等の公表については、基本的に各市町等の判断により行います。各市町等の情報は、以下の各市町等のホームページ等をご覧ください。なお、リンク等の同意が得られた市町には、市町名に下線が示されています。

- ・ 桑名市
- ・ 朝日町
- ・ 津市
- ・ 明和町
- ・ 南伊勢町
- ・ 名張市
- ・ 紀宝町
- ・ 木曾岬町
- ・ 菰野町
- ・ 松阪市
- ・ 大台町
- ・ 度会町
- ・ 尾鷲市
- ・ いなべ市
- ・ 川越町
- ・ 多気町
- ・ 伊勢市
- ・ 鳥羽市
- ・ 紀北町
- ・ 東員町
- ・ 鈴鹿市
- ・ 多気町松阪市学校組合
- ・ 玉城町
- ・ 志摩市
- ・ 熊野市
- ・ 四日市市
- ・ 亀山市
- ・ 大紀町
- ・ 伊賀市
- ・ 御浜町

《資料》「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」（平成26年12月9日 文部科学省）より抜粋

<p>7. 調査結果の取扱い</p> <p>(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項</p> <p>調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。</p> <p>調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。</p> <p>このことを踏まえ、具体的な公表の手続等は、以下のとおりとする。</p> <p>ア 教育委員会及び学校による調査結果の公表</p> <p>(ア) 都道府県教育委員会においては、調査の実施主体が国であることや、市町村が基本的な参加主体であることなどに鑑みて、以下のとおり取り扱うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自らが設置管理する学校の状況については、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。 2 域内の市町村の状況及び市町村教育委員会が設置管理する学校の状況については、市町村教育委員会の同意を得た場合に限り、(エ)に基づき、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表（市町村名又は学校名を特定することが可能な方法による公表を含む。以下同じ。）を行うことは可能であること。 <p>なお、個々の市町村名・学校名が明らかとならない方法（例えば、教育事務所単位の状況の公表等）で、(エ)に基づき公表することは、都道府県教育委員会の判断において可能であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 1又は2に基づき個々の市町村名・学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。 4 自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合も、自らが個々の学校名を明らかにした公表を行う場合に準じて取り扱うこと。 <p>(イ) 市町村教育委員会においては、以下のとおり取り扱うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当該市町村における公立学校全体の結果について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。 2 自らが設置管理する学校の状況について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。この場合、個々の学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。 3 自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合も、自らが個々の学校名を明らかにした調査結果の公表を行う場合に準じて取り扱うこと。 <p>(ウ) 学校においては、自校の結果について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。</p> <p>(エ) 調査結果の公表に当たっては、以下の1から6までにより行うこと。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1 公表する内容や方法等については、教育上の効果や影響等を考慮して適切なものとなるよう判断すること。 2 調査結果の公表を行う教育委員会又は学校においては、単に平均正答数や平均正答率などの数値のみの公表は行わず、調査結果について分析を行い、その分析結果を併せて公表すること。さらに、調査結果の分析を踏まえた今後の改善方策も速やかに示すこと。 3 (ア) 1又は(イ) 2に基づき教育委員会が個々の学校名を明らかにした公表を行う場合、又は(ア) 2において市町村教育委員会が学校名を明らかにした公表に同意する場合は、当該学校と公表する内容や方法等について事前に十分相談するとともに、公表を行う教育委員会は、当該調査結果を踏まえて自らが実施する改善方策を調査結果の公表の際に併せて示すこと。 <p>また、教育委員会において自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合は、教育委員会は自らが実施する改善方策を速やかに示すとともに、公表する内容等について学校に指示する場合は、教育委員会は当該学校とそれらについて事前に十分相談すること。</p> <p>なお、平均正答数や平均正答率などの数値について一覽での公表やそれらの数値により順位を付した公表などは行わないこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の側面であることなどを明示すること。 5 児童生徒個人の結果が特定されるおそれがある場合は公表しないなど、児童生徒の個人情報の保護を図ること。 6 学校や地域の実情に応じて、個別の学校や地域の結果を公表しないなど、必要な配慮を行うこと。 <p>(オ) 教育委員会が独自に実施する学力調査の公表の取扱いについては、もとよりそれぞれの教育委員会の判断に委ねられること。</p> <p>イ 文部科学省が公表する内容以外の調査結果の取扱い</p> <p>(ア) 文部科学省は、調査結果のうち、公表する内容を除くものについて、これが一般に公開されることになると、序列化や過度な競争が生じるおそれや学校の設置管理者等の実施への協力及び国民的な理解が得られなくなるなど正確な情報が得られない可能性が高くなり、全国的な状況を把握できなくなるなど調査の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあると考えられるため、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）第5条第6号の規定を根拠として、同法における不開示情報として取り扱うこととする。</p> <p>(イ) 教育委員会等は、文部科学省から提供を受けた調査結果のうち公表する内容を除くものについて、上記(ア)を参考に、それぞれの地方公共団体が定める情報公開条例に基づく同様の規定を根拠として、情報の開示により調査の適正な遂行に支障を及ぼすことのないよう、本実施要領の趣旨、特に7 (5) ア (エ)を十分踏まえ、適切に対応する必要があること。</p>
--	--	---

三重県様のデータを分析する中で、先生方が指導改善に努めていらっしゃるがよくわかり、今後のさらなる学力向上に向けてすでに布石が打たれていると感じました。また、市町の教育委員会様や小学校・中学校様にインタビューしましたが、県内には優れた事例がたくさんあります。

今後も、先生方も含め県民の皆様が一体となって子どもたちに力の付く教育を進めていかれることを願っております。

分析協力：株式会社ベネッセコーポレーション

平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果 分析報告書

発行日	平成 27 年 10 月 30 日
発行者	三重県教育委員会 〒514-8570 三重県津市広明町 13 番地
分析協力	株式会社ベネッセコーポレーション